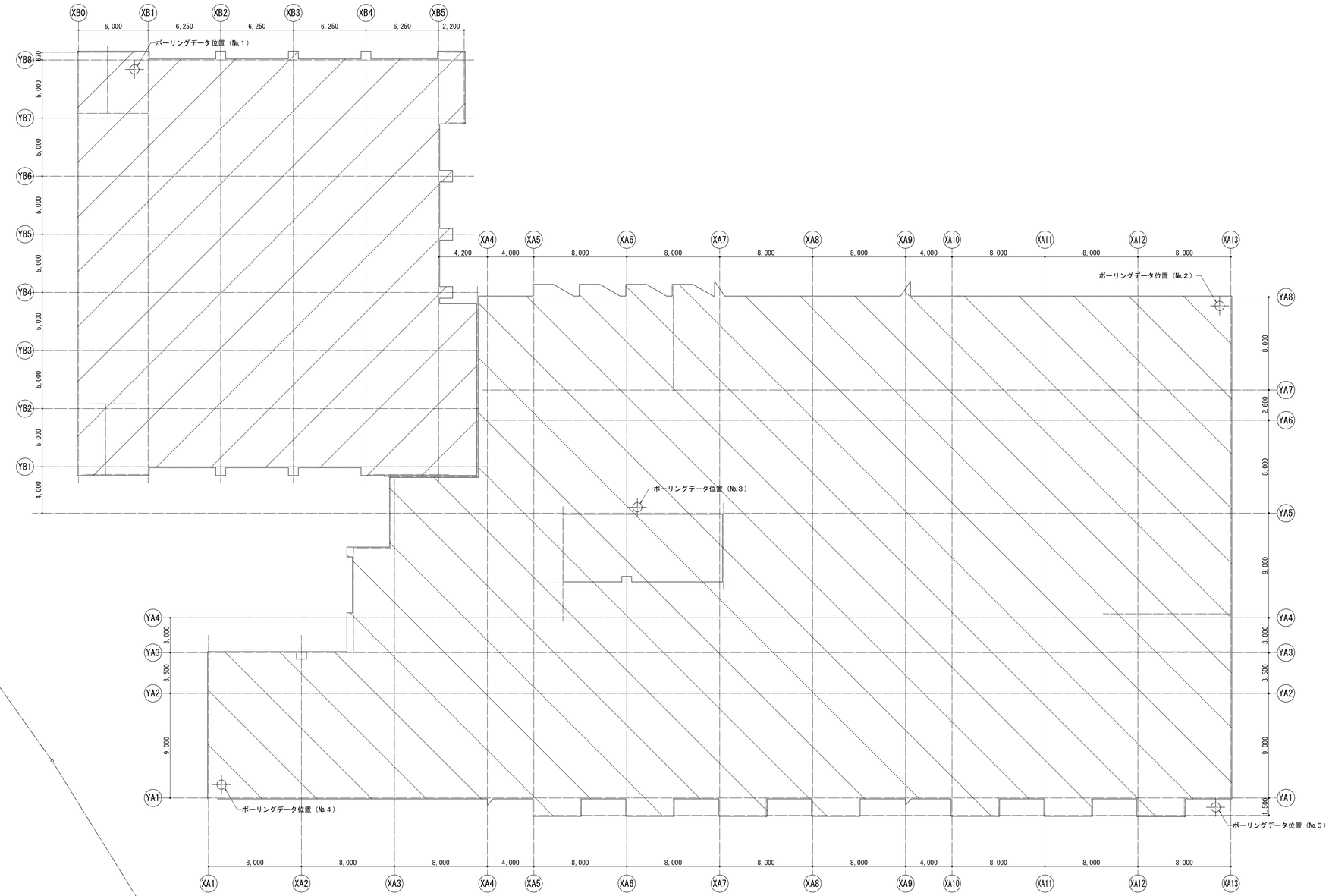


ボーリング位置図

設計G.L=KBM+1,950

工事名称	矢板市立東小学校改築工事		
図面名称／縮尺	地盤調査図（１）	A1(S=N.T.S) A3(S=N.T.S)	図面番号
設計年月日	令和7年2月28日		S-021
設計者			
発注者	矢板市役所		

2025/03/10

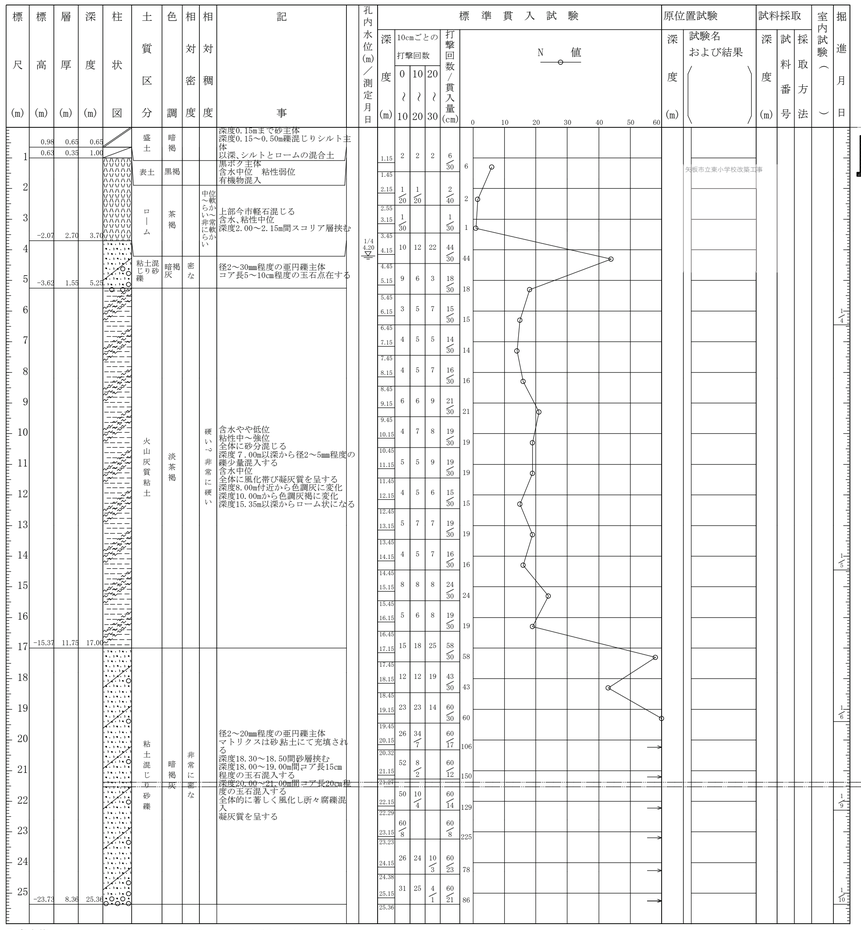
調査名　矢板市立東小学校改築工事

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No.1	調査位置	栃木県矢板市東町616			北緯	36° 48
発注機関	矢板市			調査期間	令和 6年 1月 4日 ？ 6年 1月 10日	東経	139° 59
調査業者名		主任技師		現場代理人	－－－－	コア鑑定者	菊池 和人	ボーリング責任者	菊池 和人
孔口標高	KBM +1.63m	角度	上180° 下0° 90° 0°	方向	北0° 西270° 東90° 南180°	地盤勾配	鉛直90° 水平0°	使用機種	
総掘進長	25.36m	試錐機	KR-100-PB-2	ハンマー落下具	半自動		
		エンジン	TF120V-E	ポンプ	V6-C		



孔内水位　1/5　4.05m　1/6　4.55m　1/9　4.30m　1/10　4.00m

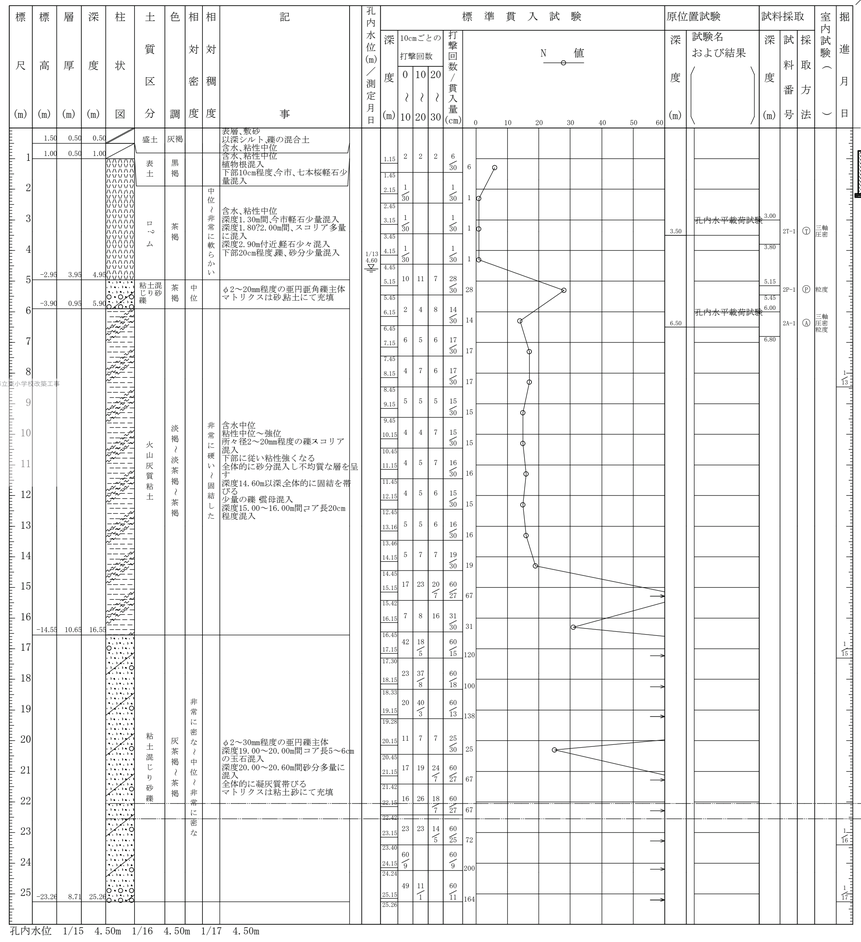
調査名　矢板市立東小学校改築工事

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No.2	調査位置	栃木県矢板市東町616			北緯	36° 48
発注機関	矢板市			調査期間	令和 6年 1月 13日 ？ 6年 1月 17日	東経	139° 56
調査業者名		主任技師		現場代理人	－－－－	コア鑑定者	須藤 大介	ボーリング責任者	須藤 大介
孔口標高	KBM +2.00m	角度	上180° 下0° 90° 0°	方向	北0° 西270° 東90° 南180°	地盤勾配	鉛直90° 水平0°	使用機種	
総掘進長	25.26m	試錐機	TOHO-DODLXSO	ハンマー落下具	半自動		
		エンジン	NFD10-M	ポンプ	BG-3C(L)		



孔内水位　1/15　4.50m　1/16　4.50m　1/17　4.50m

ボーリング柱状図（１）

※印は　現場寸法　による。支持層［砂礫層］を確認すること。

工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称／縮尺	地盤調査図（２）　A1(S=N.T.S) A3(S=N.T.S)
図面番号	S-022
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

2025/07/17

調査名　矢板市立東小学校改築工事

事業・工事名

ボーリングNo

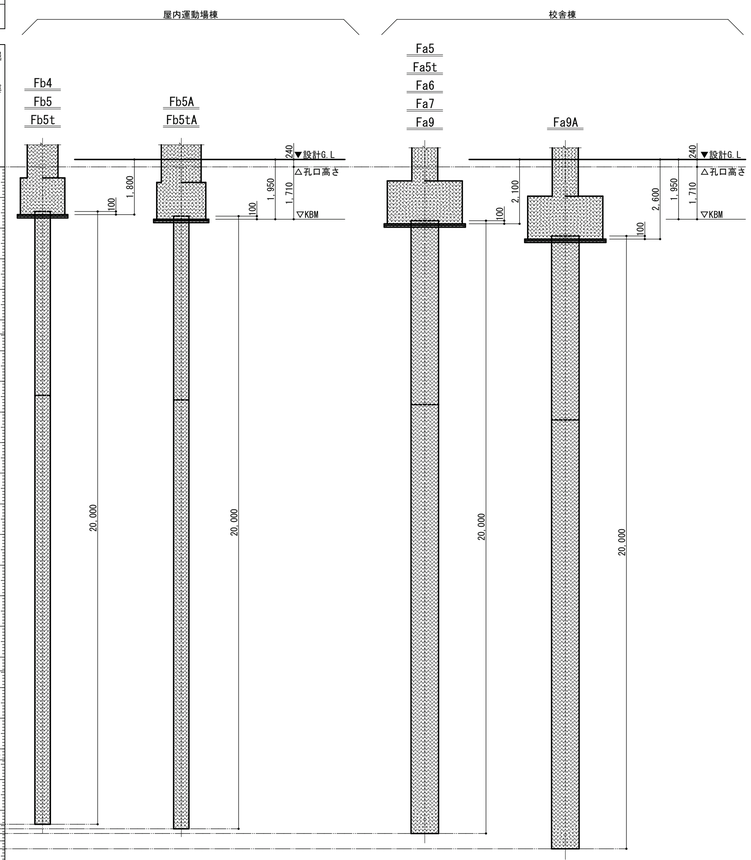
シートNo

ボーリング名	No.3	調査位置	栃木県矢板市東町616			北緯	36° 47		
発注機関	矢板市			調査期間	令和 6年 1月 4日 ? 6年 1月 11日	東経	139° 56		
調査業者名		主任技師		現場代理人	- - - -	コア鑑定者	御代田 将希	ボーリング責任者	御代田 将希
孔口標高	KBM +1.71m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 西 270° 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直90° 0°	使用機種	
総掘進長	25.42m					試錐機	KR-SH-2	ハンマー落下用具	半自動
						エンジン	TF90V-E	ポンプ	V5-P

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	1.16	0.55	0.55		盛土	暗褐			上部10cm程度砂主体 深度0.10m～粘性土主体 砂、砂礫少量混入
	0.61	0.55	1.10		表土	黒褐			含水、粘性中位 有機物少量混入
2					ローム	茶褐		中位/軟らかい	含水、粘性中位 深度1.10?1.30m付近、今市軽石混入 深度2.05～2.20m間φ1～5mm程度のスコリア層を挟む 深度2.20m以深含水やや高位 深度3.25mより5cm程度軽石混入
3	-2.24	2.85	3.95						
4					粘土混じり砂礫	暗茶褐	密な		φ2～35mm程度の亜円亜角礫主体 マトリクスは砂.粘土分にて充填される 深度5.00m付近は含水高位
5	-4.24	2.00	5.95						
6									
7									
8									
9								中位/硬い/非常に硬い/硬い/固結した	
10									
11					火山灰質粘土	黄褐/淡褐/茶褐			含水、粘性中位 全体的に砂.砂礫少量混入し所々多くの均質な層相を呈す 深度14.80m付近より粘性やや強く比較的均質 深度17.25m付近よりφ2～30mm程度の亜円礫混入し下部に従い多い
12									
13									
14									
15									
16	-16.15	11.95	17.90						
17									
18									
19									
20					粘土混じり砂礫	暗褐/灰	非常に密な/密な/非常に密な		φ2～35mm亜円.亜角礫主体 最大礫径φ50mm程度 マトリクスは砂.粘土にて充填される 全体的に層状置き掛ろ 深度19.25m付近ヨリ長さ2cm程度の玉石点在 深度19.00～20.00m間全量または半量逸水 深度23.80～24.40m間砂分優勢
21									
22									
23									
24									
25	-23.71	7.52	25.42						

孔内水位　1/5　4.25m　1/10　4.30m　1/11　4.25m

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数/貫入量(cm)	N値
1.15	2	2	2	6/50	6
2.15	1/50	1/15		2/55	2
3.15	1	1	1/15	3/55	3
4.15	14	15	15	44/50	44
5.15	14	14	12	40/50	40
6.15	2	3	3	8/50	8
7.15	3	5	6	14/50	14
8.15	3	4	5	12/50	12
9.15	4	5	5	14/50	14
10.15	3	4	5	12/50	12
11.15	3	4	5	12/50	12
12.15	3	4	4	11/50	11
13.15	4	4	6	14/50	14
14.15	3	5	5	13/50	13
15.15	5	6	6	17/50	17
16.15	3	3	6	12/50	12
17.15	4	9	19	32/50	32
18.15	60/5			60/5	200
19.15	20	37	3/1	60/21	86
20.15	60/8			60/8	225
21.15	28	32/5		60/17	106
22.15	20	19	21/4	60/24	56
23.15	25	35/5		60/19	95
24.15	9	6	24	39/50	39
25.15	15	18	27/7	60/57	67



ボーリング柱状図（２）

※印は　現場寸法　による。支持層［砂礫層］を確認すること。

工事名称	矢板市立東小学校改築工事		
図面名称／縮尺	地盤調査図（３）	A1(S=N.T.S) A3(S=N.T.S)	図面番号
設計年月日	令和7年2月28日		S-023
設計者			
発注者	矢板市役所		

2025/07/17

調査名　矢板市立東小学校改築工事

事業・工事名

ボーリングNo

シートNo

ボーリング名	No. 4	調査位置	栃木県矢板市東町616			北緯	36° 47
発注機関	矢板市			調査期間	令和 6年 1月 23日 ? 6年 1月 25日	東経	139° 56
調査業者名		主任技師		現場代理人	― ― ― ―	コア鑑定者	御代田 将希	ボーリング責任者	御代田 将希
孔口標高	KBM +1.41m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 西 270° 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直90° 0°	使用機種	試錐機	KR-100-PB-2V6-DH	ハンマー落下用具	半自動
総掘進長	25.41m								エンジン	TF120V-E	ポンプ	V6-C

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1					盛土	暗灰褐／暗褐		非常に軟らかい	深度0.20mまで粘性土主体 深度0.20～0.65mまで砂質土主体 礫分混入 深度0.65～2.10mまで粘性土主体 全体的に不均質 所々砂、礫混入
2	−0.69	2.10	2.10						
3					ローム	茶褐		非常に軟らかい	含水高位　粘性中位 比較的均質 深度3.00～3.10m間は軽石混入する
4	−2.49	1.80	3.90		粘土混じり砂礫	暗茶褐	非常に密な	中位	
5									径2～35mm程度の亜円亜角礫主体 マトリクスは砂質粘土にて密に充填される 深度5.00m付近は砂粘土分多い
6	−4.69	2.20	6.10						
7									
8									
9									
10									
11					火山灰質粘土	黄褐／灰褐／茶褐		硬い／非常に硬い／中位	含水中位、粘性弱位 全体的に砂、細礫混入し所々多く不均質な層相を呈す 深度10.80m付近より上部と比べ礫分少ない 深度13.00m付近より粘性中位 比較的均質 下部に従い砂分少なく深度14.70mより均質粘性土 深度16.00m付近より細礫少量混入
12									
13									
14									
15									
16	−15.19	10.50	16.60						
17									
18									
19									
20					粘土混じり砂礫	暗褐／暗茶褐	非常に密な	非常に密な／密な	径2～35mm程度の亜円礫主体 マトリクスは砂粘土にて密に充填 深度17.00m付近コア長13cm程度の玉石点在 深度18.25mまで砂分多量に混入 以深礫質を帯び全体的に締り度増い
21									
22									
23									
24									
25	−24.00	8.82	25.41						

孔内水位　1/24　4.15m　1/25　4.30m

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)
1.15	1	50		1/50
1.45				
2.15	1	50		1/50
2.45				
3.15	1	5		1/5
3.45				
4.15	33	16	11	60/25
4.45			5	
5.15	6	7	9	22/30
5.45				
6.15	6	4	3	13/30
6.45				
7.15	5	6	7	18/30
7.45				
8.15	4	6	10	20/30
8.45				
9.15	3	4	7	14/30
9.45				
10.15	4	6	7	17/30
10.45				
11.15	3	4	4	11/30
11.45				
12.15	4	4	5	13/30
12.45				
13.15	3	4	4	11/30
13.45				
14.15	2	3	3	8/30
14.45				
15.15	2	2	3	7/30
15.45				
16.15	3	3	3	9/30
16.45	60			60/5
17.00				
17.05				
18.15	5	17	20	42/30
18.45				
19.15	33	27		60/19
19.38				
20.15	60			60/5
20.20				
21.15	24	36		60/30
21.45				
22.15	54	6		60/11
22.36				
23.15	60			60/10
23.29				
24.15	13	20	27	60/29
24.44				
25.15	25	19	16	60/26
25.41				

N 値　0 10 20 30 40 50 60

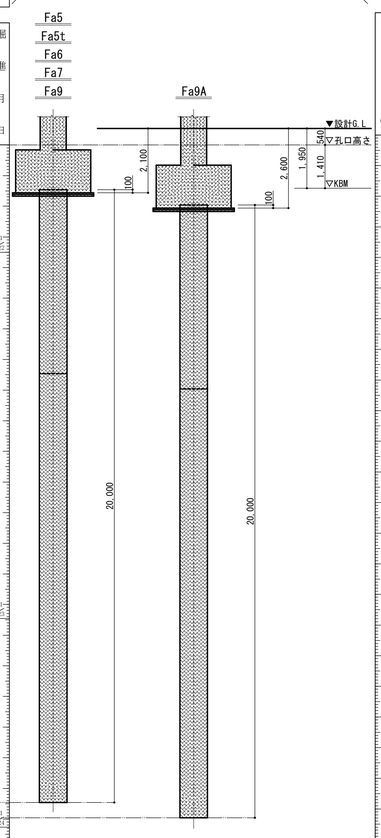
孔内水位　1/23 1.95

原位置試験　深度 (m)　試験名および結果

試料採取　深度 (m)　試料番号　採取方法

室内試験へ

掘進月日　1/24　1/25



調査名　矢板市立東小学校改築工事

事業・工事名

ボーリングNo

シートNo

ボーリング名	No. 5	調査位置	栃木県矢板市東町616			北緯	36° 47
発注機関	矢板市			調査期間	令和 6年 1月 13日 ? 6年 1月 17日	東経	139° 56
調査業者名		主任技師		現場代理人	― ― ― ―	コア鑑定者	御代田 将希	ボーリング責任者	御代田 将希
孔口標高	KBM +1.74m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 西 270° 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直90° 0°	使用機種	試錐機	KR-SH-2	ハンマー落下用具	半自動
総掘進長	25.25m								エンジン	TF90V-E	ポンプ	V5-P

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1					盛土	暗褐			上部5cm程度砂主体 深度0.05m～砂質土主体粘性土砂礫混入 深度0.50?0.60m間は砂礫粘性土多い
2					表土	黒褐			含水、粘性中位 有機物混入
3	−1.96	2.75	3.70		ローム	茶褐		中位非常に軟らかい	含水、粘性中位 上部10cm程度、今市軽石混入 全体にスコリア混入する 下部に従い含水高位となる
4					粘土混じり砂礫	暗茶褐	非常に密な	中位	
5									φ2～35mm程度の亜角礫主体 マトリクスは砂粘土にて充填される 深度4.50m付近、コア長15cm程度の玉石点在 含水高位
6	−5.26	3.30	7.00						
7									
8									
9									
10									
11					火山灰質粘土	暗茶褐／黄褐／灰褐		軟らかい／非常に硬い／固結した／非常に硬い／固結した	含水中位　粘性弱位 全体的に砂、砂礫混入し所々多く不均質な層相を呈す 深度8.30m主でシルト分多い 深度8.30～9.90m間スコリア礫分多量に混入 深度14.00m付近より粘性中位で比較的均質 深度15.25m付近より固結を帯び10～15cm程度のコア状になる 深度15.70mより礫分少量混入
12									
13									
14									
15									
16	−14.71	9.45	16.45						
17									
18									
19									
20					粘土混じり砂礫	暗褐	非常に密な		φ2～30mm程度の亜拍亜角礫主体 マトリクスは砂粘土にて充填される 深度16.45～19.00m間はコア長5cm程度の玉石混入し平均含水 全体的に凝灰質を帯びる
21									
22									
23									
24									
25	−23.51	8.80	25.25						

孔内水位　1/15　4.30m　1/16　4.15m　1/17　4.50m

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)
1.15	1	2	2	5/30
1.45				
2.15	1	1		2/15
2.30		50		
3.15	1			1/15
3.60				
4.15	34	21	5	60/54
4.39			1	
5.15	9	13	5	27/30
5.45				
6.15	13	17	10	40/30
6.45				
7.15	1	1	1	3/30
7.45				
8.15	6	12	8	26/30
8.45				
9.15	14	19	17	50/30
9.45				
10.15	7	7	7	21/30
10.45				
11.15	5	7	9	21/30
11.45				
12.15	5	7	8	20/30
12.45				
13.15	5	6	10	21/30
13.45				
14.15	7	4	5	16/30
14.45				
15.15	6	10	19	35/30
15.45				
16.15	5	16	39	60/58
16.43				
17.00	裏入不能			60/6
17.05				
18.15	60			60/6
18.21				
19.15	41	19		60/14
19.29				
20.15	45	15		60/13
20.28				
21.15	21	39		60/19
21.34				
22.15	60			60/7
22.22				
23.15	14	23	23	60/30
23.43				
24.15	32	28		60/16
24.31				
25.15	60			60/10
25.25				

N 値　0 10 20 30 40 50 60

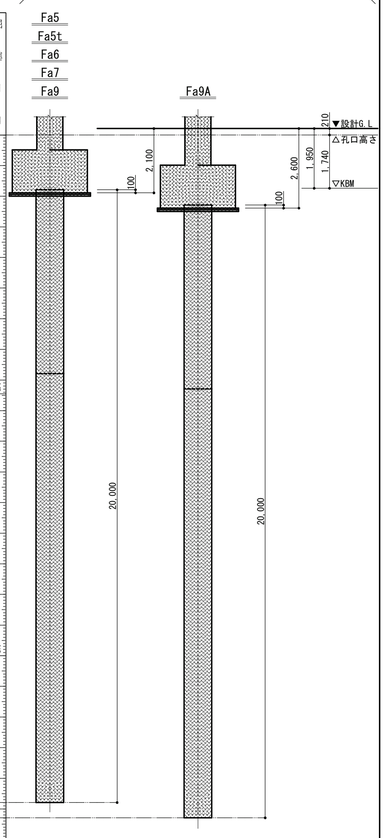
孔内水位　1/15 4.30m

原位置試験　深度 (m)　試験名および結果

試料採取　深度 (m)　試料番号　採取方法

室内試験へ

掘進月日　1/15　1/16　1/17

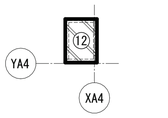


ボーリング柱状図（３）

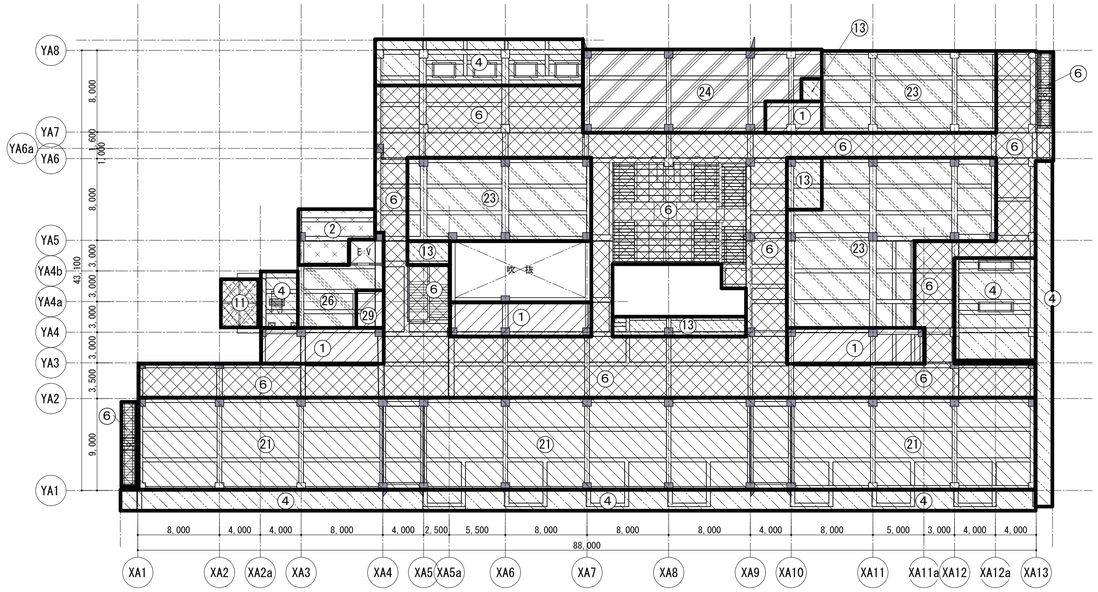
※印は　現場寸法　による。支持層［砂礫層］を確認すること。

工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称／縮尺	地盤調査図（４）　A1(S=N.T.S) A3(S=N.T.S)
図面番号	S-024
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

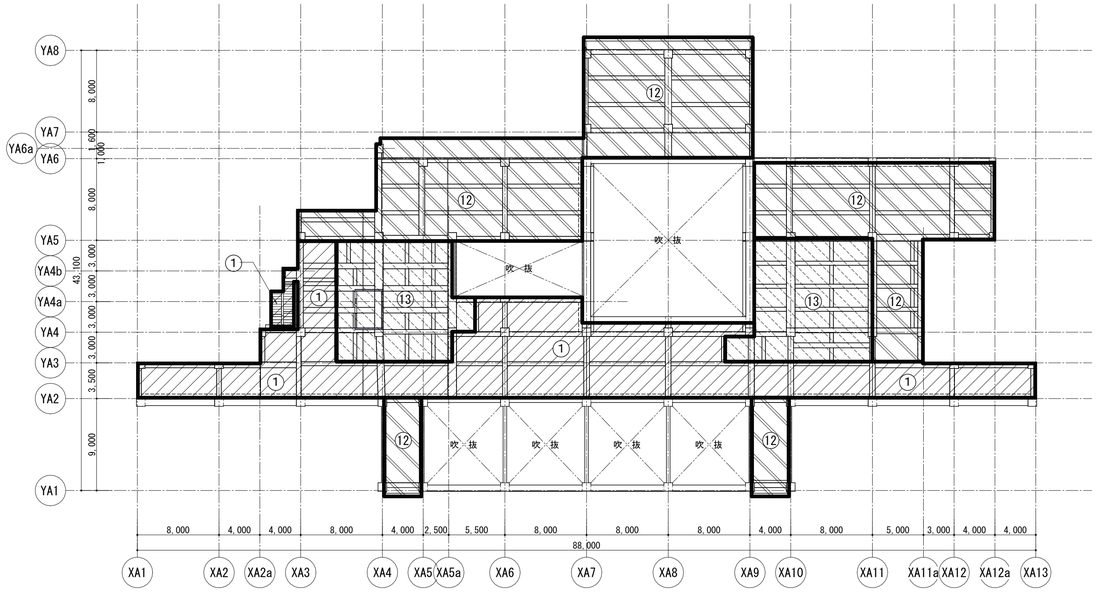
2025/07/11



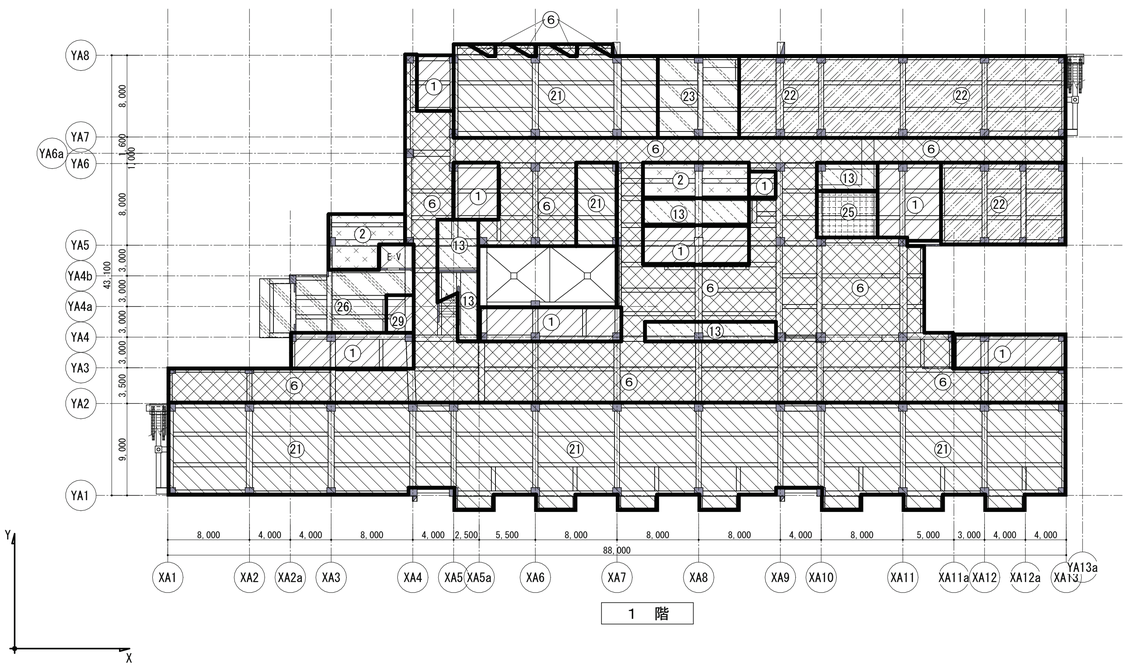
ハト小屋屋根



2　階



R　階



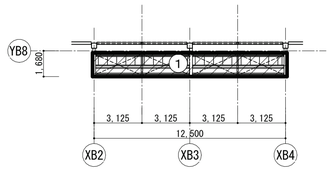
1　階

設計用積載荷重一覧表

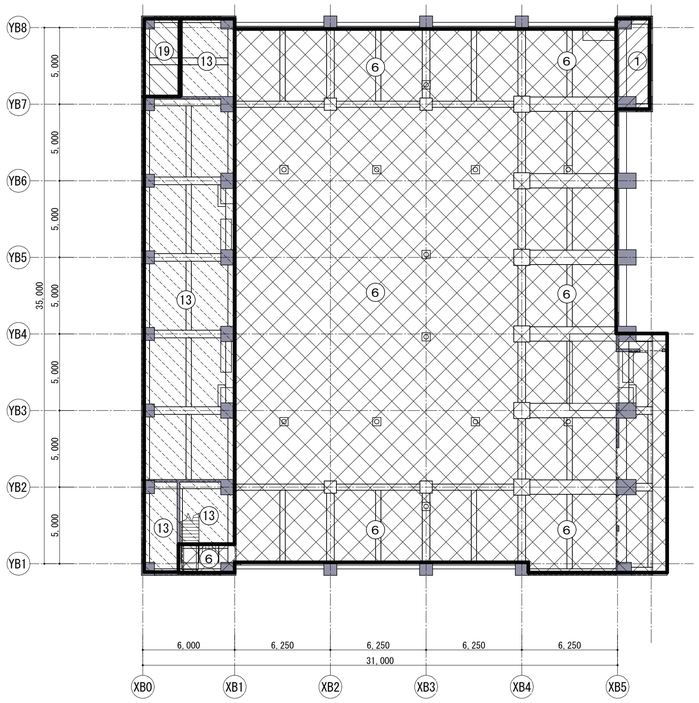
記号		室名	積載荷重 (N/㎡) 床用	小梁用	架構用	地震用	備考
①		WC・屋外階段3 階段下デッドスペース	1,800	1,800	1,300	600	
		屋根5(設備置き場周り)					電気ケーブルラック重量含む
②		更衣室	2,900	2,900	1,800	800	
④		バルコニー 屋根1・屋根2(北側)・屋根4・庇3(東側)	2,900	2,900	2,400	1,300	
⑥		ひがしっこホール・ワークスペース 廊下・ワークテラス・昇降口 大階段・階段1・屋外階段1、2・屋根2(南側)	3,500	3,500	3,200	2,100	
⑪		庇2	490	490	300	200	
⑫		屋根5(設備置き場廻り以外) 屋根6・庇4・ハト小屋屋根	980	980	600	400	
⑬		倉庫・階段下倉庫・教材室・印刷室	7,800	7,800	6,900	4,900	
		屋上設備置き場					設備荷重、基礎の重量含む 既製品ハト小屋重量含む 電気ケーブルラック重量含む
㉑		普通教室・特別支援教室 自習室・相談室	2,900	2,900	2,100	1,100	
㉒		職員室・校長室・会議室 地域活動室・放送室	3,900	3,900	2,100	1,100	
㉓		特別教室・準備室・保健室	3,900	3,900	2,600	1,600	
㉔		図書室	5,900	5,900	5,400	4,900	
㉕		書庫	11,800	11,800	10,300	7,400	
㉖		配膳室・プラットフォーム	4,900	4,900	3,200	2,100	
㉙		EPS	4,900	4,900	2,400	1,300	

工事名称	矢板市立東小学校改築工事	
図面名称/縮尺	(校舎棟) 設計用積載荷重図 A1(S=1/300) A3(S=1/600)	図面番号
設計年月日	令和7年2月28日	S-031
設計者		
発注者	矢板市役所	

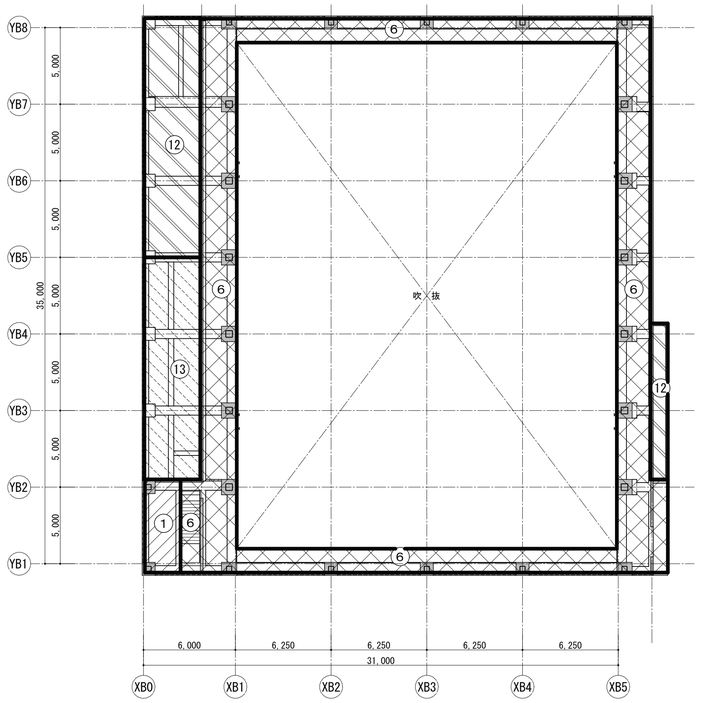
2025/07/11



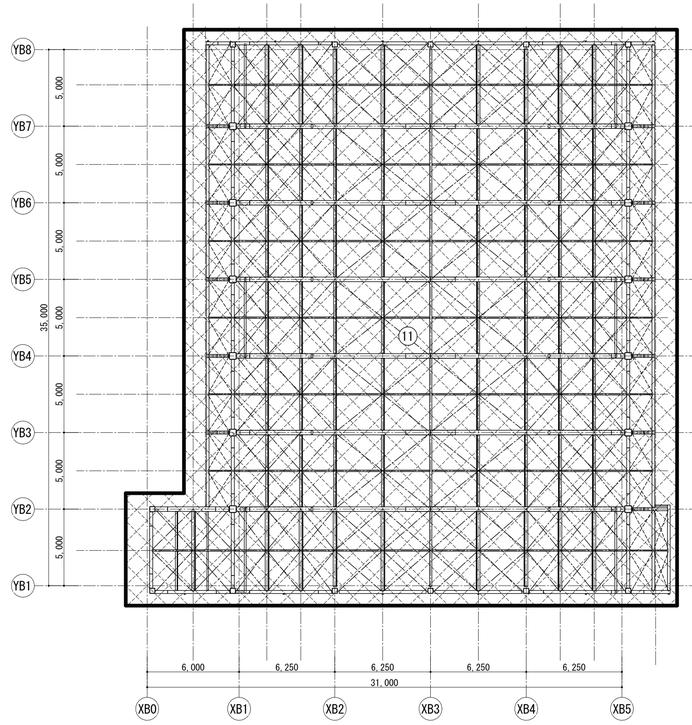
美術バトン用キャットウォーク



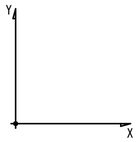
1　階



2　階



R　階

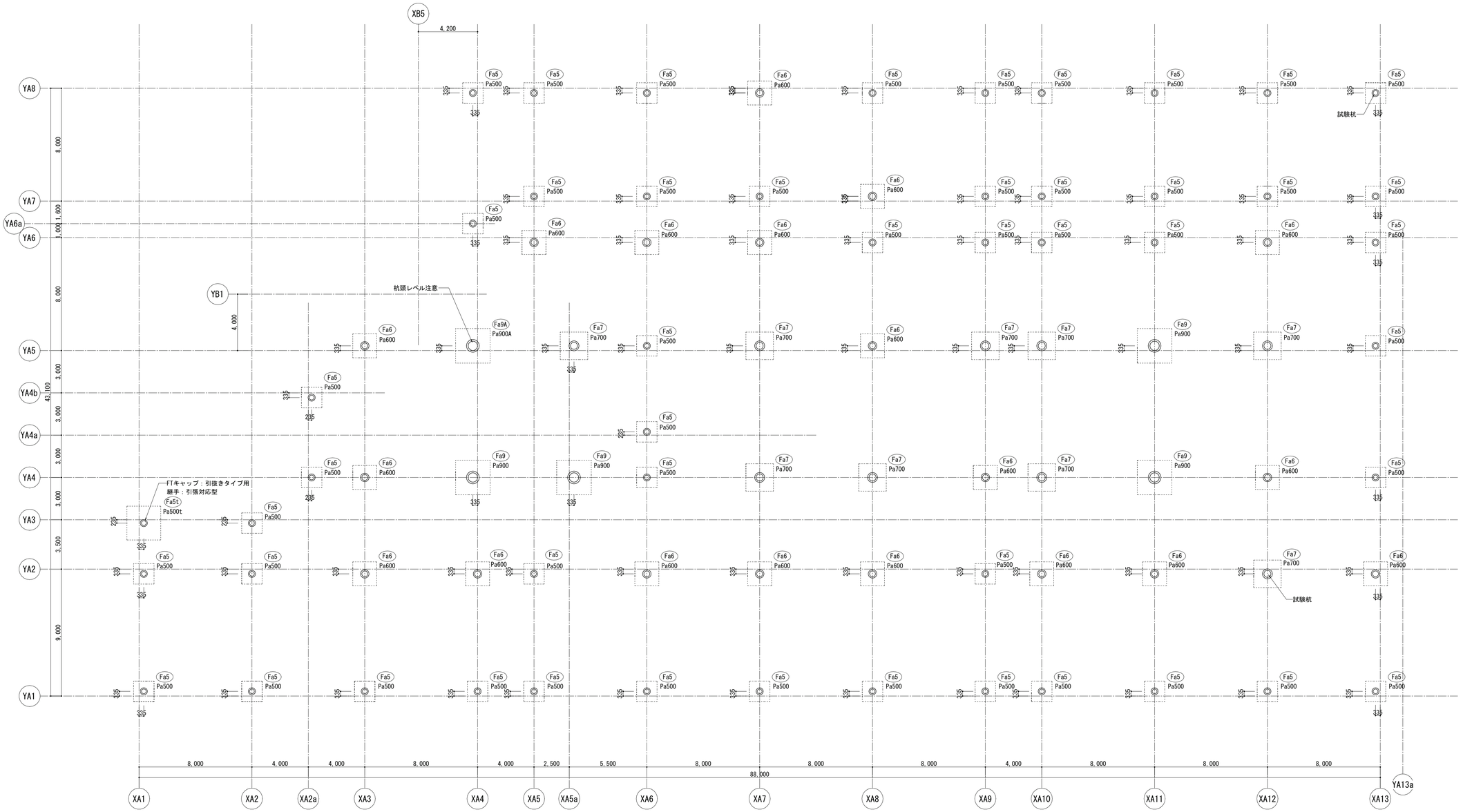


設計用積載荷重一覧表

記号		室名	積載荷重（N/㎡） 床用	小梁用	架構用	地震用	備考
①		WC・ゴミ庫上部デッドスペース	1,800	1,800	1,300	600	
		美術バトン用キャットウォーク					舞台吊物、機械重量含む
⑥		屋内運動場・廊下・階段 ２階キャットウォーク	3,500	3,500	3,200	2,100	
⑪		屋根12	490	490	300	200	
⑫		屋根3(設備置き場以外)	980	980	600	400	
⑬		器具庫・地域開放倉庫・ピアノ庫 ゴミ庫・掃除用具庫	7,800	7,800	6,900	4,900	
		屋根3(設備置き場)					設備荷重、基礎の重量含む 配管重量含む
⑲		ポンプ室	4,900	4,900	2,400	1,300	設備荷重、基礎の重量含む

工事名称	矢板市立東小学校改築工事	
図面名称/縮尺	（屋内運動場） 設計用積載荷重図　A1(S=1/200) A3(S=1/400)	図面番号
設計年月日	令和7年2月28日	S-032
設計者		
発注者	矢板市役所	

2025/04/09



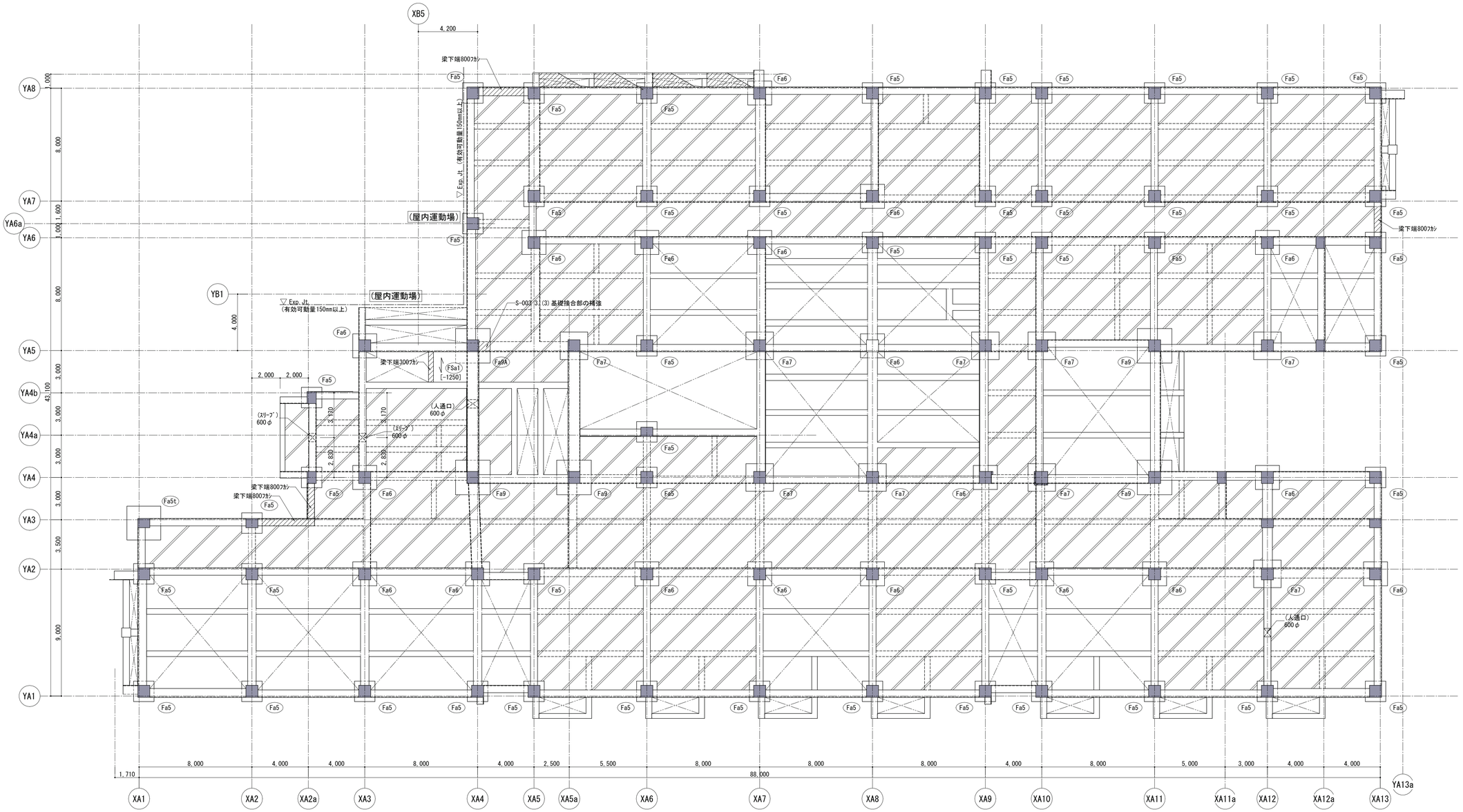
特記事項

- 杭は MAGNUM-BASIC工法(プレボーリング拡大根固め工法)とし、杭種、杭長は右表による。
- 杭頭接合は、F.T.Pile構法(標準タイプ)とする。ただし、Pa500tは引抜きタイプ用とし、杭1本あたりφ11-C種－700mm-7本を配置する。
  なお、杭頭端板の厚さおよび材質は、引抜きタイプ用端板を用いる。
- 杭継手は、無溶接接手を用いること。なお、Pa500tは引張対応型の杭継手とする。
- 杭芯ずれの許容値＝100mm以内とし、許容値を超えた場合は監理者と協議すること。
- 杭頭ﾚﾍﾞﾙの許容値は-50mm～+20mmとし、許容値を超えた場合は監理者と協議すること。
- 杭の施工不良が生じないよう十分検討し、施工計画を監理者へ提出し了承を得ること。
- 試験杭等及び適切な施工管理方法により、設計杭支持力を確保すること。
- 試験杭の位置は、上記の位置を参考に監理者と協議の上、決定すること。

基礎記号	杭記号	部位	杭の種類（杭径）	設計杭長	杭下根固長 杭径比η	長期支持力	引抜抵抗力 短期、終局	本数	備考
Fa5	Pa500	上杭	500φ【105SC-MAS(490)-t=6mm】	6.0 m	1.2	2410kN/本	－	48 本	
		下杭	500φ【105MAS-A種】	14.0 m					
Fa5t	Pa500t	上杭	500φ【105SC-MAS(490)-t=9mm ＷＩ】	6.0 m	1.2	2410kN/本	1316kN/本 1454kN/本	1 本	FTキャップ 引抜抵抗タイプ
		下杭	500φ【105MAS-B種】	14.0 m					
Fa6	Pa600	上杭	600φ【105SC-MAS(490)-t=6mm】	6.0 m	1.2	3200kN/本	－	19 本	
		下杭	600φ【105MAS-A種】	14.0 m					
Fa7	Pa700	上杭	700φ【105SC-MAS(490)-t=6mm】	6.0 m	1.2	4080kN/本	－	9 本	
		下杭	700φ【105MAS-A種】	14.0 m					
Fa9	Pa900	上杭	900φ【105SC-MAS(490)-t=9mm】	6.0 m	1.2	6160kN/本	－	4 本	
		下杭	900φ【105MAS-A種】	14.0 m					
Fa9A	Pa900a	上杭	900φ【105SC-MAS(490)-t=9mm】	6.0 m	1.2	6160kN/本	－	1 本	杭頭レベル注意
		下杭	900φ【105MAS-A種】	14.0 m					
合計								82 本	

工事名称	矢板市立東小学校改築工事	
図面名称/縮尺	(校舎棟) 杭伏図	A1(S=1/150) A3(S=1/300)
図面番号	S-101	
設計年月日	令和7年2月28日	
設計者		
発注者	矢板市役所	

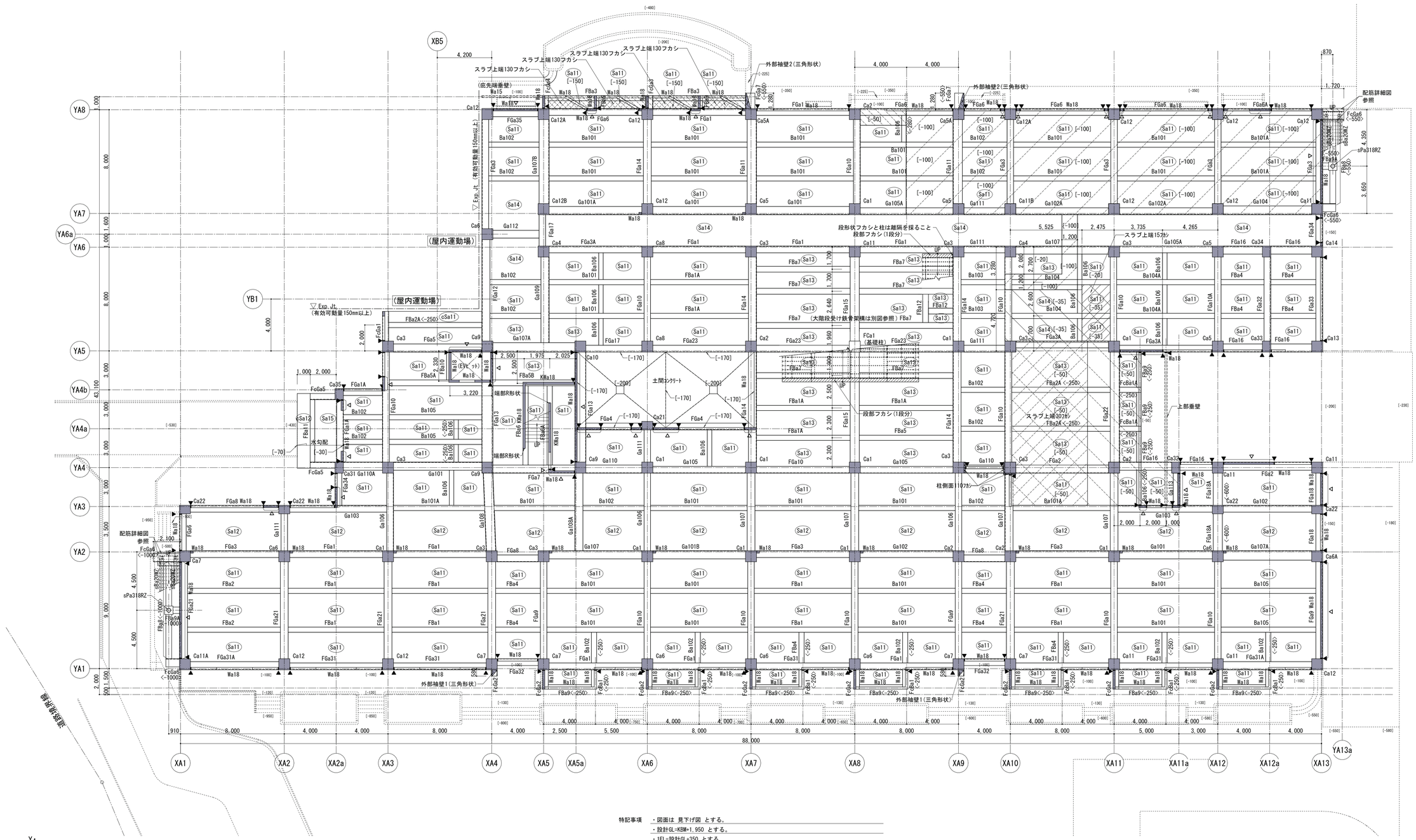
2025/3/31



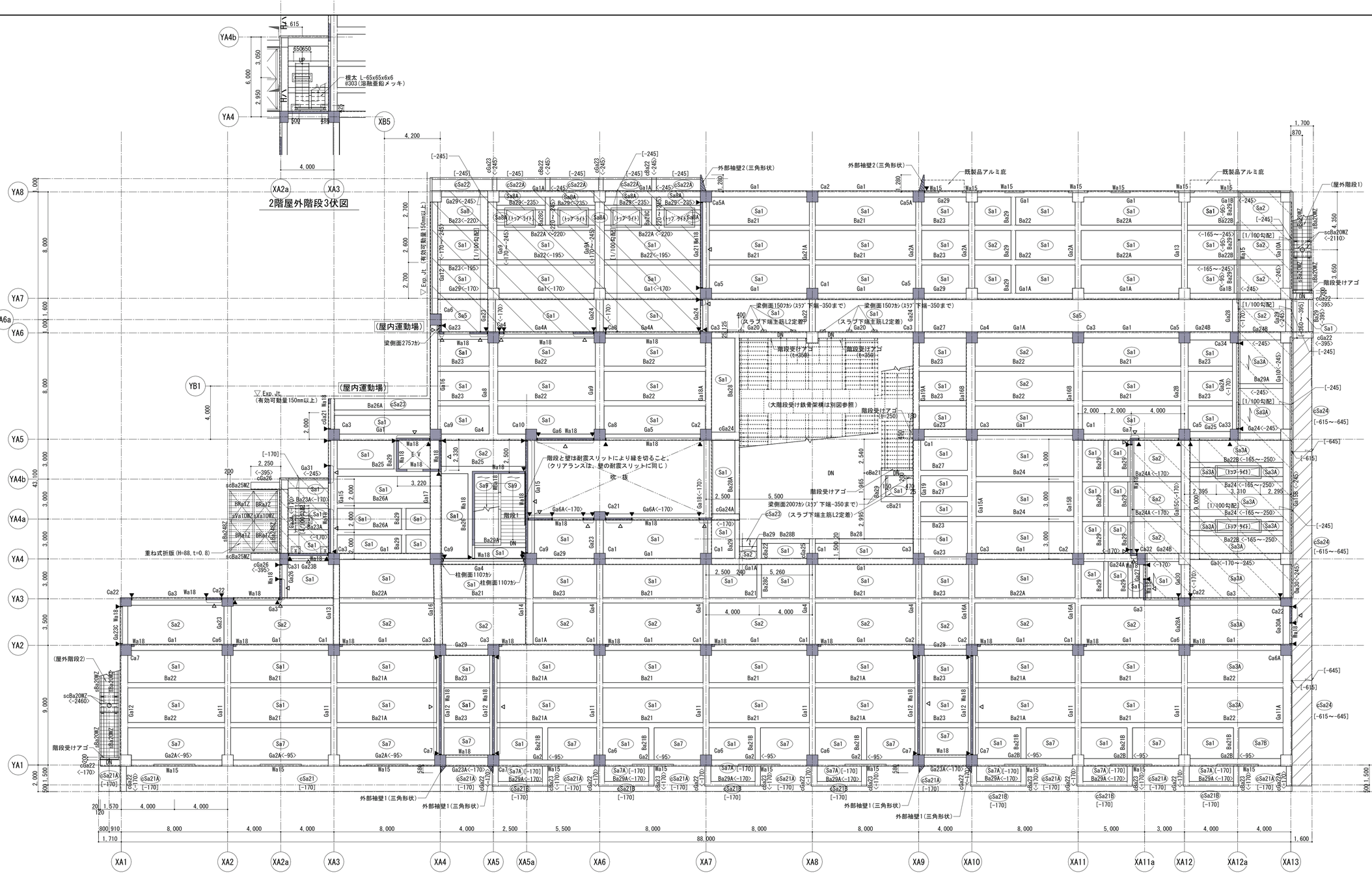
特記事項
- 図面は 見下げ図 とする。
- 設計GL=KBM+1,950 とする。
- 1FL=設計GL+350 とする。
- ⌒ はスラブ主筋方向を示す。
- 保持金物等がかぶり厚内にある場合には、かぶり厚範囲は防錆処理を施すこと。
- 特記なき限り、梁上端は 1FL-400 とする。
- [ ]は、1FLからのスラブ上端レベルを示す。
- ▨ は、捨てコンピット（t=50）,上端1FL-2000 の範囲を示す。
  砕石厚さ、および釜場は、意匠図による。
- ▷◁ は、埋戻し の範囲を示す。
- 上記のスリーブ径は、躯体径（ボイド管などの外径）とする。
  なお、スリーブの適用範囲は躯体径（ボイド管などの外径）で確認すること。

工事名称	矢板市立東小学校改築工事	
図面名称/縮尺	(校舎棟) 基礎伏図 A1(S=1/150) A3(S=1/300)	図面番号
設計年月日	令和7年2月28日	S-102
設計者		
発注者	矢板市役所	

2025/02/18


XB5
YA8
YA7
YA6a
YA6
YB1
YA5
YA4b
YA4a
YA4
YA3
YA2
YA1
XA1
XA2
XA2a
XA3
XA4
XA5
XA5a
XA6
XA7
XA8
XA9
XA10
XA11
XA11a
XA12
XA12a
XA13
YA13a
(屋内運動場)
(屋内運動場)
(庇先端垂壁)
スラブ上端130フカシ
外部袖壁2(三角形状)
段形状フカシと柱は離隔を採ること
段部フカシ(1段分)
スラブ上端15フカシ
スラブ上端30フカシ
柱側面10フカシ
上部垂壁
土間コンクリート
端部R形状
水勾配
配筋詳細図参照
Exp.Jt.(有効可動量150mm以上)
外部袖壁1(三角形状)
(大階段受け鉄骨架構は別図参照)
(基礎柱)
(EVピット)
sPa318RZ
sBa20WZ
FBa9A
FBa9B
FBa9C
FBa9D
FBa9E
FBa9F
FBa9G
FBa9H
FBa9I
FBa9J
FBa9K
FBa9L
FBa9M
FBa9N
FBa9O
FBa9P
FBa9Q
FBa9R
FBa9S
FBa9T
FBa9U
FBa9V
FBa9W
FBa9X
FBa9Y
FBa9Z
FBa9AA
FBa9AB
FBa9AC
FBa9AD
FBa9AE
FBa9AF
FBa9AG
FBa9AH
FBa9AI
FBa9AJ
FBa9AK
FBa9AL
FBa9AM
FBa9AN
FBa9AO
FBa9AP
FBa9AQ
FBa9AR
FBa9AS
FBa9AT
FBa9AU
FBa9AV
FBa9AW
FBa9AX
FBa9AY
FBa9AZ
FBa9BA
FBa9BB
FBa9BC
FBa9BD
FBa9BE
FBa9BF
FBa9BG
FBa9BH
FBa9BI
FBa9BJ
FBa9BK
FBa9BL
FBa9BM
FBa9BN
FBa9BO
FBa9BP
FBa9BQ
FBa9BR
FBa9BS
FBa9BT
FBa9BU
FBa9BV
FBa9BW
FBa9BX
FBa9BY
FBa9BZ
FBa9CA
FBa9CB
FBa9CC
FBa9CD
FBa9CE
FBa9CF
FBa9CG
FBa9CH
FBa9CI
FBa9CJ
FBa9CK
FBa9CL
FBa9CM
FBa9CN
FBa9CO
FBa9CP
FBa9CQ
FBa9CR
FBa9CS
FBa9CT
FBa9CU
FBa9CV
FBa9CW
FBa9CX
FBa9CY
FBa9CZ
FBa9DA
FBa9DB
FBa9DC
FBa9DD
FBa9DE
FBa9DF
FBa9DG
FBa9DH
FBa9DI
FBa9DJ
FBa9DK
FBa9DL
FBa9DM
FBa9DN
FBa9DO
FBa9DP
FBa9DQ
FBa9DR
FBa9DS
FBa9DT
FBa9DU
FBa9DV
FBa9DW
FBa9DX
FBa9DY
FBa9DZ
FBa9EA
FBa9EB
FBa9EC
FBa9ED
FBa9EE
FBa9EF
FBa9EG
FBa9EH
FBa9EI
FBa9EJ
FBa9EK
FBa9EL
FBa9EM
FBa9EN
FBa9EO
FBa9EP
FBa9EQ
FBa9ER
FBa9ES
FBa9ET
FBa9EU
FBa9EV
FBa9EW
FBa9EX
FBa9EY
FBa9EZ
FBa9FA
FBa9FB
FBa9FC
FBa9FD
FBa9FE
FBa9FF
FBa9FG
FBa9FH
FBa9FI
FBa9FJ
FBa9FK
FBa9FL
FBa9FM
FBa9FN
FBa9FO
FBa9FP
FBa9FQ
FBa9FR
FBa9FS
FBa9FT
FBa9FU
FBa9FV
FBa9FW
FBa9FX
FBa9FY
FBa9FZ
FBa9GA
FBa9GB
FBa9GC
FBa9GD
FBa9GE
FBa9GF
FBa9GG
FBa9GH
FBa9GI
FBa9GJ
FBa9GK
FBa9GL
FBa9GM
FBa9GN
FBa9GO
FBa9GP
FBa9GQ
FBa9GR
FBa9GS
FBa9GT
FBa9GU
FBa9GV
FBa9GW
FBa9GX
FBa9GY
FBa9GZ
FBa9HA
FBa9HB
FBa9HC
FBa9HD
FBa9HE
FBa9HF
FBa9HG
FBa9HH
FBa9HI
FBa9HJ
FBa9HK
FBa9HL
FBa9HM
FBa9HN
FBa9HO
FBa9HP
FBa9HQ
FBa9HR
FBa9HS
FBa9HT
FBa9HU
FBa9HV
FBa9HW
FBa9HX
FBa9HY
FBa9HZ
FBa9IA
FBa9IB
FBa9IC
FBa9ID
FBa9IE
FBa9IF
FBa9IG
FBa9IH
FBa9II
FBa9IJ
FBa9IK
FBa9IL
FBa9IM
FBa9IN
FBa9IO
FBa9IP
FBa9IQ
FBa9IR
FBa9IS
FBa9IT
FBa9IU
FBa9IV
FBa9IW
FBa9IX
FBa9IY
FBa9IZ
FBa9JA
FBa9JB
FBa9JC
FBa9JD
FBa9JE
FBa9JF
FBa9JG
FBa9JH
FBa9JI
FBa9JJ
FBa9JK
FBa9JL
FBa9JM
FBa9JN
FBa9JO
FBa9JP
FBa9JQ
FBa9JR
FBa9JS
FBa9JT
FBa9JU
FBa9JV
FBa9JW
FBa9JX
FBa9JY
FBa9JZ
FBa9KA
FBa9KB
FBa9KC
FBa9KD
FBa9KE
FBa9KF
FBa9KG
FBa9KH
FBa9KI
FBa9KJ
FBa9KK
FBa9KL
FBa9KM
FBa9KN
FBa9KO
FBa9KP
FBa9KQ
FBa9KR
FBa9KS
FBa9KT
FBa9KU
FBa9KV
FBa9KW
FBa9KX
FBa9KY
FBa9KZ
FBa9LA
FBa9LB
FBa9LC
FBa9LD
FBa9LE
FBa9LF
FBa9LG
FBa9LH
FBa9LI
FBa9LJ
FBa9LK
FBa9LL
FBa9LM
FBa9LN
FBa9LO
FBa9LP
FBa9LQ
FBa9LR
FBa9LS
FBa9LT
FBa9LU
FBa9LV
FBa9LW
FBa9LX
FBa9LY
FBa9LZ
FBa9MA
FBa9MB
FBa9MC
FBa9MD
FBa9ME
FBa9MF
FBa9MG
FBa9MH
FBa9MI
FBa9MJ
FBa9MK
FBa9ML
FBa9MM
FBa9MN
FBa9MO
FBa9MP
FBa9MQ
FBa9MR
FBa9MS
FBa9MT
FBa9MU
FBa9MV
FBa9MW
FBa9MX
FBa9MY
FBa9MZ
FBa9NA
FBa9NB
FBa9NC
FBa9ND
FBa9NE
FBa9NF
FBa9NG
FBa9NH
FBa9NI
FBa9NJ
FBa9NK
FBa9NL
FBa9NM
FBa9NN
FBa9NO
FBa9NP
FBa9NQ
FBa9NR
FBa9NS
FBa9NT
FBa9NU
FBa9NV
FBa9NW
FBa9NX
FBa9NY
FBa9NZ
FBa9OA
FBa9OB
FBa9OC
FBa9OD
FBa9OE
FBa9OF
FBa9OG
FBa9OH
FBa9OI
FBa9OJ
FBa9OK
FBa9OL
FBa9OM
FBa9ON
FBa9OO
FBa9OP
FBa9OQ
FBa9OR
FBa9OS
FBa9OT
FBa9OU
FBa9OV
FBa9OW
FBa9OX
FBa9OY
FBa9OZ
FBa9PA
FBa9PB
FBa9PC
FBa9PD
FBa9PE
FBa9PF
FBa9PG
FBa9PH
FBa9PI
FBa9PJ
FBa9PK
FBa9PL
FBa9PM
FBa9PN
FBa9PO
FBa9PP
FBa9PQ
FBa9PR
FBa9PS
FBa9PT
FBa9PU
FBa9PV
FBa9PW
FBa9PX
FBa9PY
FBa9PZ
FBa9QA
FBa9QB
FBa9QC
FBa9QD
FBa9QE
FBa9QF
FBa9QG
FBa9QH
FBa9QI
FBa9QJ
FBa9QK
FBa9QL
FBa9QM
FBa9QN
FBa9QO
FBa9QP
FBa9QQ
FBa9QR
FBa9QS
FBa9QT
FBa9QU
FBa9QV
FBa9QW
FBa9QX
FBa9QY
FBa9QZ
FBa9RA
FBa9RB
FBa9RC
FBa9RD
FBa9RE
FBa9RF
FBa9RG
FBa9RH
FBa9RI
FBa9RJ
FBa9RK
FBa9RL
FBa9RM
FBa9RN
FBa9RO
FBa9RP
FBa9RQ
FBa9RR
FBa9RS
FBa9RT
FBa9RU
FBa9RV
FBa9RW
FBa9RX
FBa9RY
FBa9RZ
FBa9SA
FBa9SB
FBa9SC
FBa9SD
FBa9SE
FBa9SF
FBa9SG
FBa9SH
FBa9SI
FBa9SJ
FBa9SK
FBa9SL
FBa9SM
FBa9SN
FBa9SO
FBa9SP
FBa9SQ
FBa9SR
FBa9SS
FBa9ST
FBa9SU
FBa9SV
FBa9SW
FBa9SX
FBa9SY
FBa9SZ
FBa9TA
FBa9TB
FBa9TC
FBa9TD
FBa9TE
FBa9TF
FBa9TG
FBa9TH
FBa9TI
FBa9TJ
FBa9TK
FBa9TL
FBa9TM
FBa9TN
FBa9TO
FBa9TP
FBa9TQ
FBa9TR
FBa9TS
FBa9TT
FBa9TU
FBa9TV
FBa9TW
FBa9TX
FBa9TY
FBa9TZ
FBa9UA
FBa9UB
FBa9UC
FBa9UD
FBa9UE
FBa9UF
FBa9UG
FBa9UH
FBa9UI
FBa9UJ
FBa9UK
FBa9UL
FBa9UM
FBa9UN
FBa9UO
FBa9UP
FBa9UQ
FBa9UR
FBa9US
FBa9UT
FBa9UU
FBa9UV
FBa9UW
FBa9UX
FBa9UY
FBa9UZ
FBa9VA
FBa9VB
FBa9VC
FBa9VD
FBa9VE
FBa9VF
FBa9VG
FBa9VH
FBa9VI
FBa9VJ
FBa9VK
FBa9VL
FBa9VM
FBa9VN
FBa9VO
FBa9VP
FBa9VQ
FBa9VR
FBa9VS
FBa9VT
FBa9VU
FBa9VV
FBa9VW
FBa9VX
FBa9VY
FBa9VZ
FBa9WA
FBa9WB
FBa9WC
FBa9WD
FBa9WE
FBa9WF
FBa9WG
FBa9WH
FBa9WI
FBa9WJ
FBa9WK
FBa9WL
FBa9WM
FBa9WN
FBa9WO
FBa9WP
FBa9WQ
FBa9WR
FBa9WS
FBa9WT
FBa9WU
FBa9WV
FBa9WW
FBa9WX
FBa9WY
FBa9WZ
FBa9XA
FBa9XB
FBa9XC
FBa9XD
FBa9XE
FBa9XF
FBa9XG
FBa9XH
FBa9XI
FBa9XJ
FBa9XK
FBa9XL
FBa9XM
FBa9XN
FBa9XO
FBa9XP
FBa9XQ
FBa9XR
FBa9XS
FBa9XT
FBa9XU
FBa9XV
FBa9XW
FBa9XX
FBa9XY
FBa9XZ
FBa9YA
FBa9YB
FBa9YC
FBa9YD
FBa9YE
FBa9YF
FBa9YG
FBa9YH
FBa9YI
FBa9YJ
FBa9YK
FBa9YL
FBa9YM
FBa9YN
FBa9YO
FBa9YP
FBa9YQ
FBa9YR
FBa9YS
FBa9YT
FBa9YU
FBa9YV
FBa9YW
FBa9YX
FBa9YY
FBa9YZ
FBa9ZA
FBa9ZB
FBa9ZC
FBa9ZD
FBa9ZE
FBa9ZF
FBa9ZG
FBa9ZH
FBa9ZI
FBa9ZJ
FBa9ZK
FBa9ZL
FBa9ZM
FBa9ZN
FBa9ZO
FBa9ZP
FBa9ZQ
FBa9ZR
FBa9ZS
FBa9ZT
FBa9ZU
FBa9ZV
FBa9ZW
FBa9ZX
FBa9ZY
FBa9ZZ
88,000
4,200
4,000
4,000
870
1,720
1,000
8,000
8,000
4,000
1,000
1,600
3,000
4,300
3,000
3,500
9,000
4,500
2,000
1,500
910
8,000
4,000
4,000
8,000
4,000
2,500
5,500
8,000
8,000
8,000
4,000
8,000
5,000
3,000
4,000
4,000
5,525
2,475
3,735
4,265
1,200
2,000
2,000
1,000
2,100
4,350
3,650
2,000
1,975
2,025
3,220
2,330
5,250
2,640
1,960
2,300
2,500
2,700
3,260
4,700
1,700
1,700
1,200
2,600
2,700
2,000
1,000
2,000
1,000
2,000
2,000
1,000
2,000
2,000
1,000
2

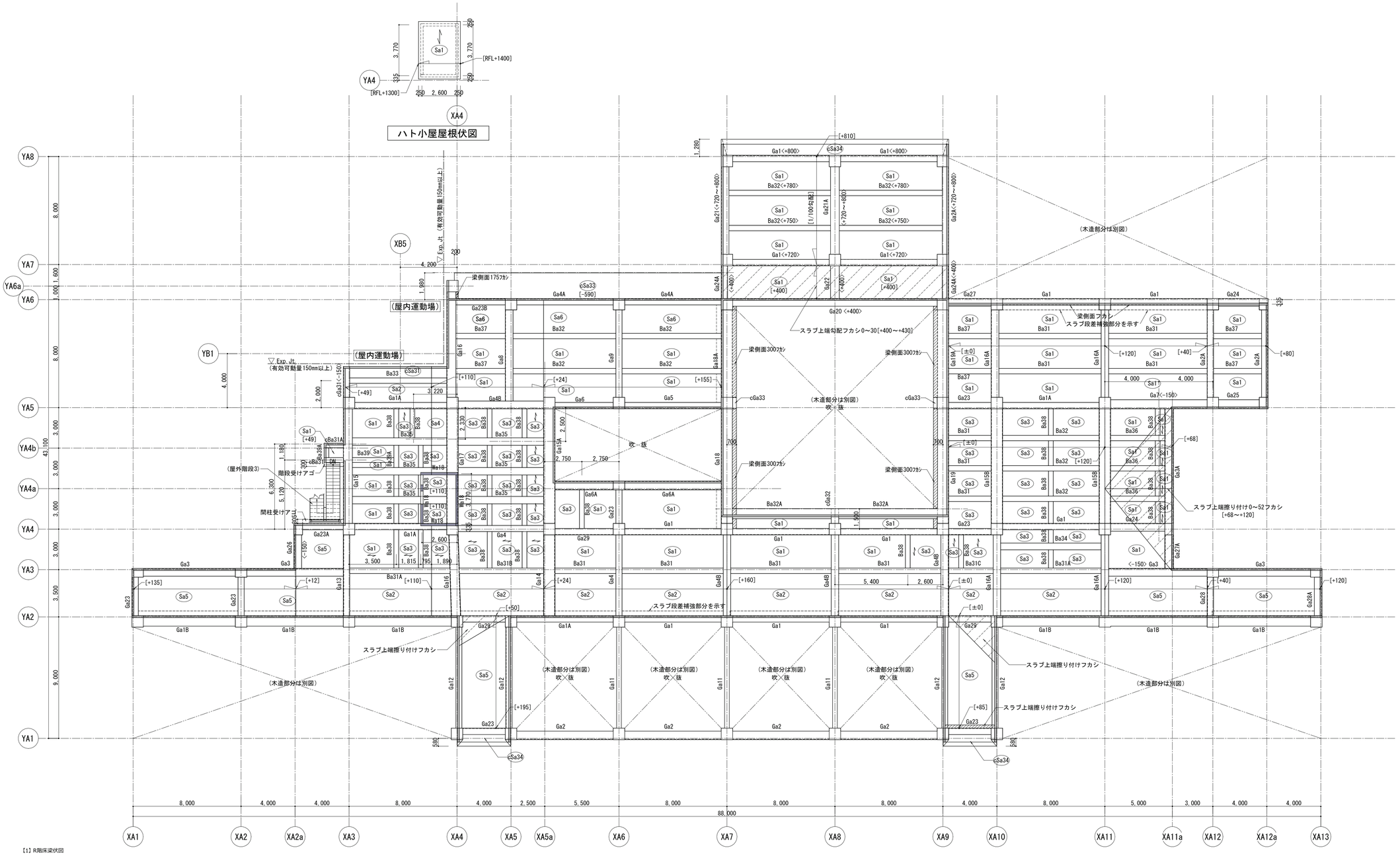
2階屋外階段3伏図



特記事項
- 図面は 見下げ図 とする。
- 2FL＝設計GL+4,200とする。
- ～ はスラブ主筋方向を示す。
- ▲ 印は、鉛直耐震スリットを示す。
- △ 印は、水平耐震スリットを示す。
- 保持金物等がかぶり厚内にある場合には、かぶり厚範囲は防錆処理を施すこと。
- 特記なき限り、梁およびスラブ上端は 2FL-20 とする。
  - < >は、2FLからの梁上端レベルを示す。
  - [ ]は、2FLからのスラブ上端レベルを示す。
  - 梁上端は、スラブ上端までフカシとする。
- スリーブの適用範囲は躯体径（ボイド管などの外径）で確認すること。

工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称/縮尺	(校舎棟) 2階床梁伏図 A1 (S=1/150) A3 (S=1/300)
図面番号	S-104
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

2025/07/11

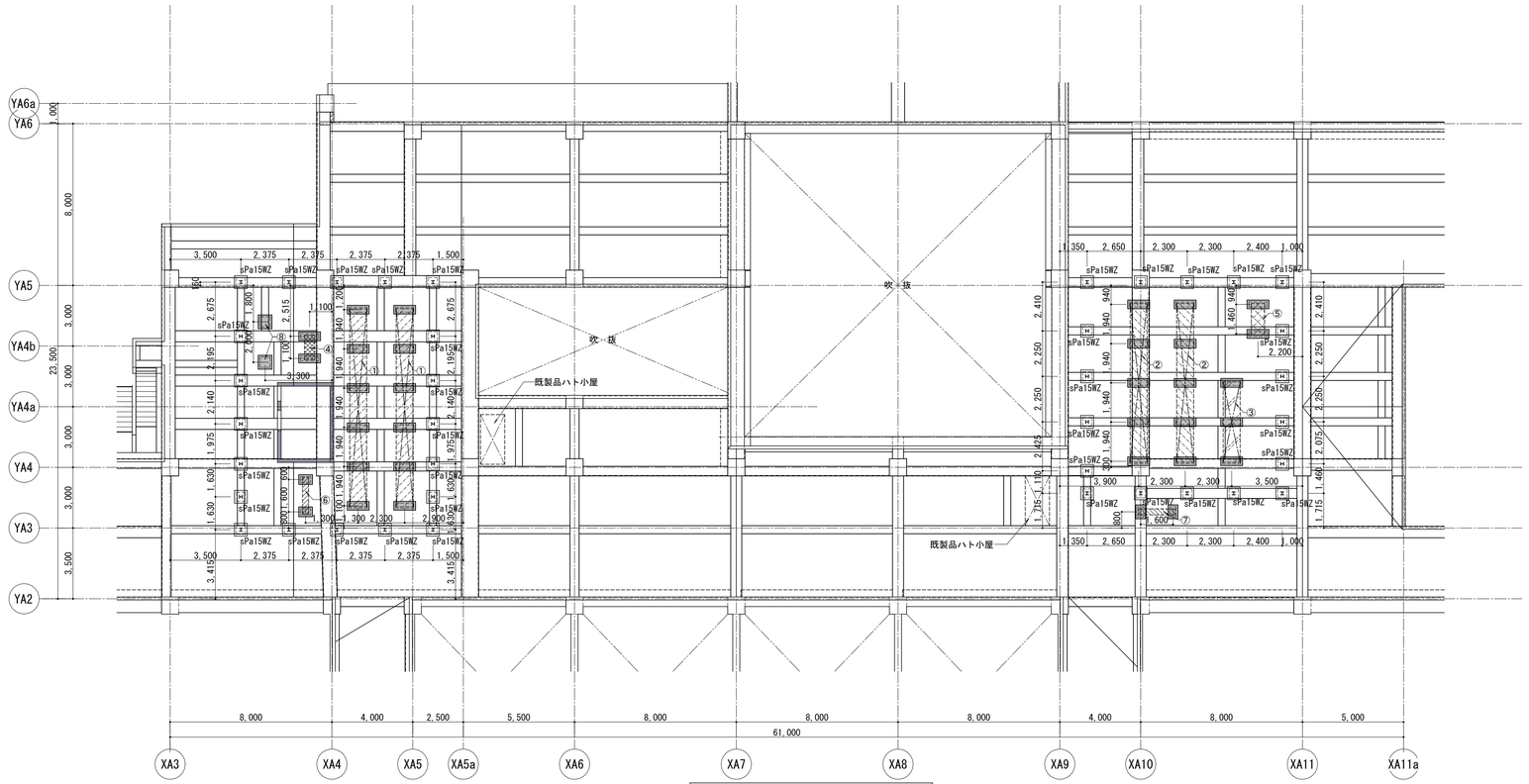


【1】R階床梁伏図

特記事項
- 図面は 見下げ図 とする。
- RFL＝設計GL+8,100とする。
- ～ はスラブ主筋方向を示す。
- 保持金物等がかぶり厚内にある場合には、かぶり厚範囲は防錆処理を施すこと。
- 特記なき限り、梁上端は RFL±0 とする。
  - スラブ上端は、上図による。
  - < >は、RFLからの梁上端レベルを示す。
  - [ ]は、RFLからのスラブ上端レベルを示す。
  - 梁上端は、スラブ上端までフカシとする。
- スリーブの適用範囲は躯体径（ボイド管などの外径）で確認すること。

工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称/縮尺	(校舎棟) R階床梁伏図　A1 (S=1/150) A3 (S=1/300)
図面番号	S-105
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

2025/02/19



R階設備基礎配置図

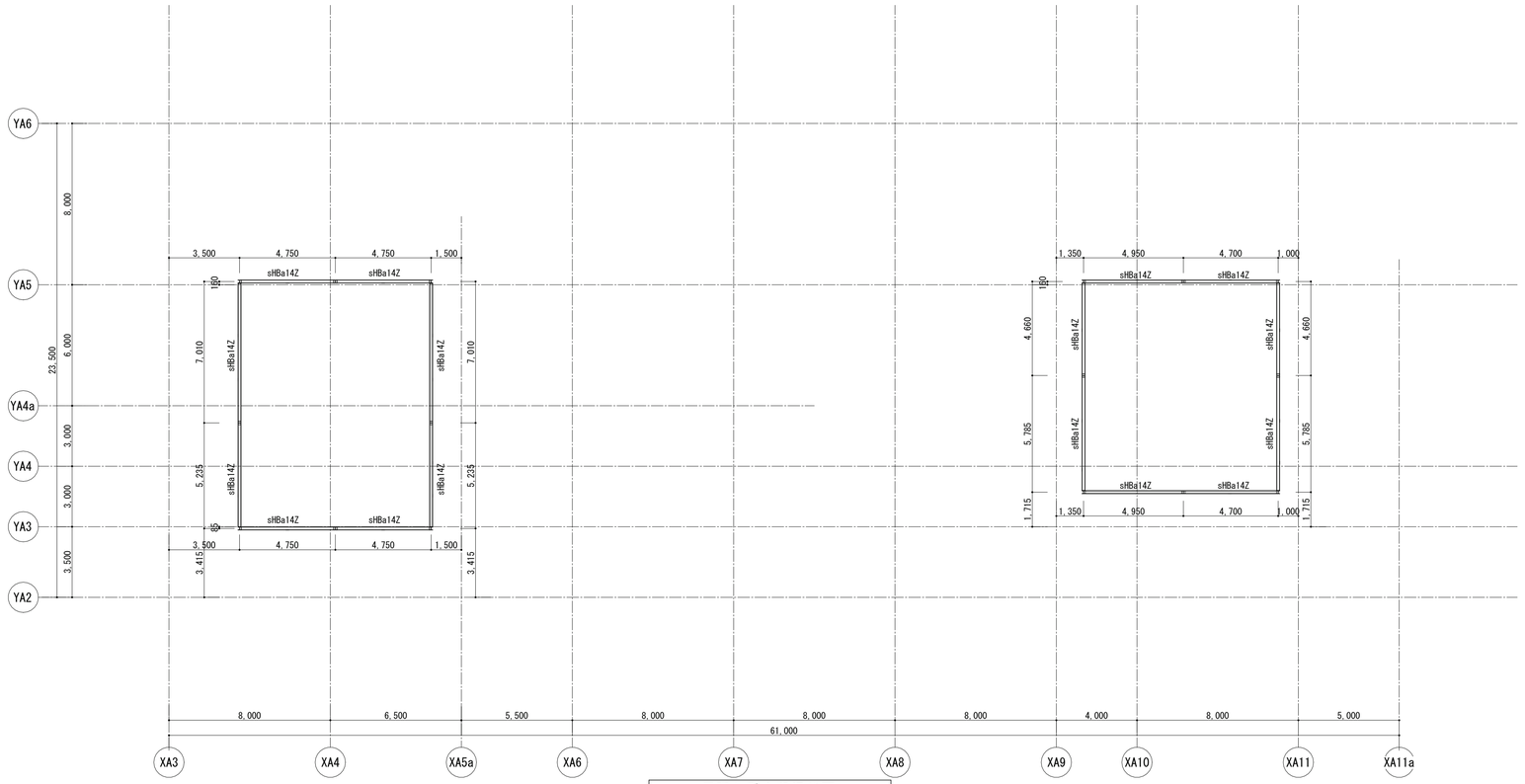
※目隠しフェンスおよびフェンス基礎は、将来設置する場合の位置を示す。

設備荷重一覧表

記号	基礎形状 L(長さ)×B(幅)×H(高さ)	基礎数	設備荷重(N)	箇所	備考
①	900×250×(RFL+700)（アゴ形状除く）	6	45,000	2	設備+防振架台+鉄骨架台含む 図示範囲に均等に配置したときの合計荷重
②	900×250×(RFL+700)（アゴ形状除く）	5	40,000	2	設備+防振架台+鉄骨架台含む 図示範囲に均等に配置したときの合計荷重
③	900×250×(RFL+700)（アゴ形状除く）	3	20,000	1	設備+防振架台+鉄骨架台含む 図示範囲に均等に配置したときの合計荷重
④	900×250×(RFL+700)（アゴ形状除く）	2	4,000	1	設備(体育館用送風機) +防振架台+鉄骨架台含む
⑤	900×250×(RFL+700)（アゴ形状除く）	2	8,000	1	設備(家庭科室用給湯器) +鉄骨架台含む
⑥	500×350×(RFL+700)（アゴ形状除く）	2	14,000	1	設備+鉄骨架台含む
⑦	500×350×(RFL+700)（アゴ形状除く）	2	14,000	1	設備+鉄骨架台含む
⑧	500×500×(RFL+700)（アゴ形状除く）	1	1,500	2	アンテナ+支柱含む

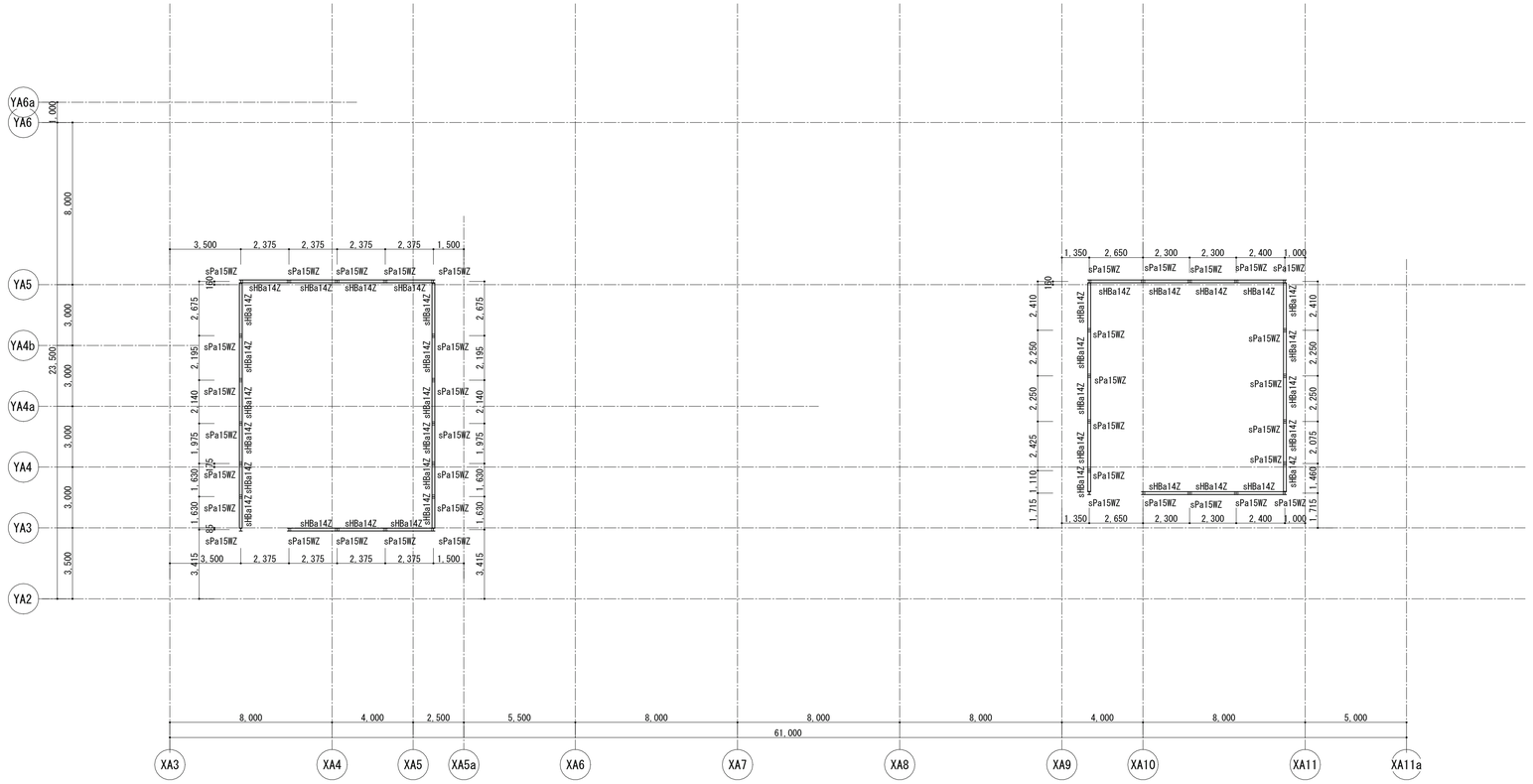
工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称/縮尺	(校舎棟) R階設備基礎配置図 A1(S=1/150) A3(S=1/300)
図面番号	S-106
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

2025/07/11



目隠し壁上段梁伏図

※目隠しフェンスは、将来設置する場合の位置を示す。

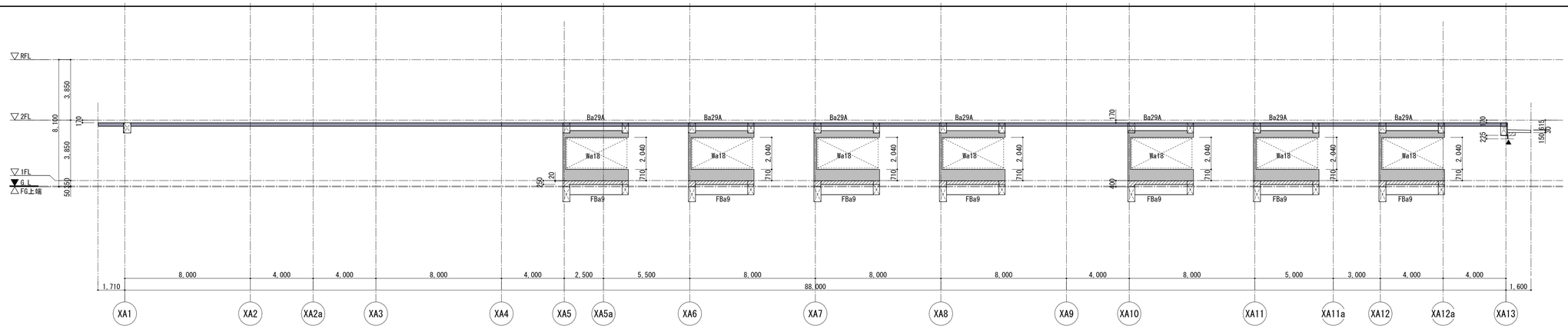


目隠し壁下段梁伏図

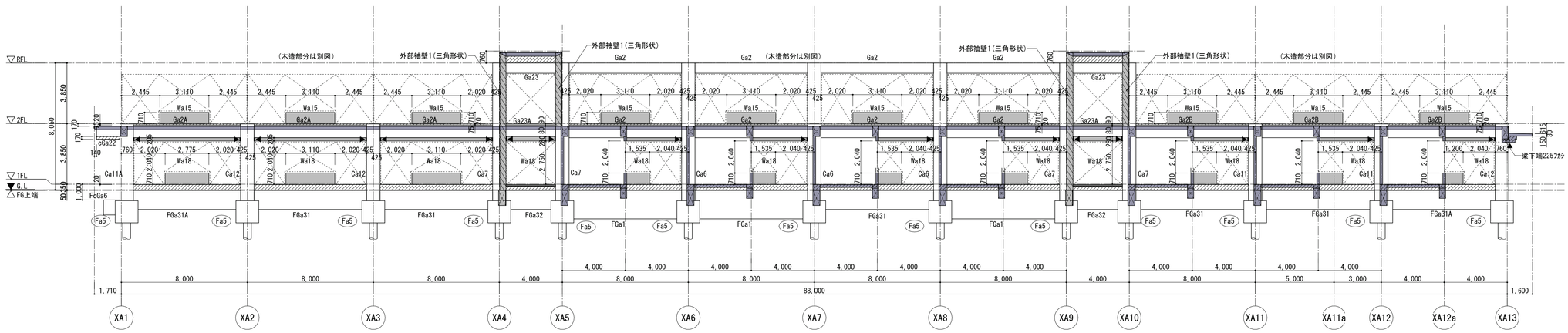
※目隠しフェンスは、将来設置する場合の位置を示す。

工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称/縮尺	(校舎棟) R階目隠壁梁伏図　A1(S=1/150) A3(S=1/300)
図面番号	S-107
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

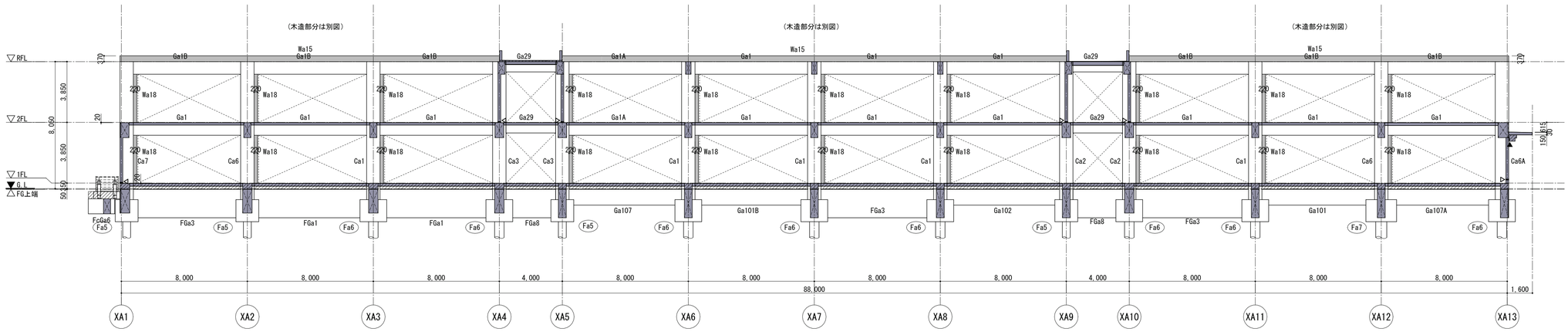
2025/07/11



YA1通り-1500



YA1通り

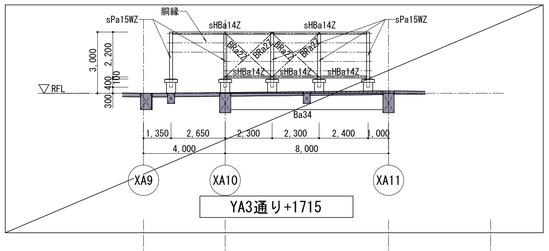


YA2通り

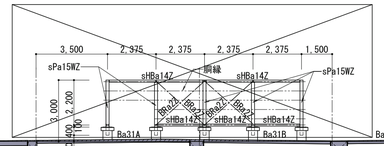
特記事項
- ▲ 印は、鉛直耐震スリットを示す。
- △ 印は、水平耐震スリットを示す。
- 保持金物等がかぶり厚内にある場合には、かぶり厚範囲は防錆処理を施すこと。
- 特記なき限り、梁上端は、スラブ上端までフカシとする。
  - は、梁上端、下端のフカシを示す。
  - は、柱側面のフカシを示す。

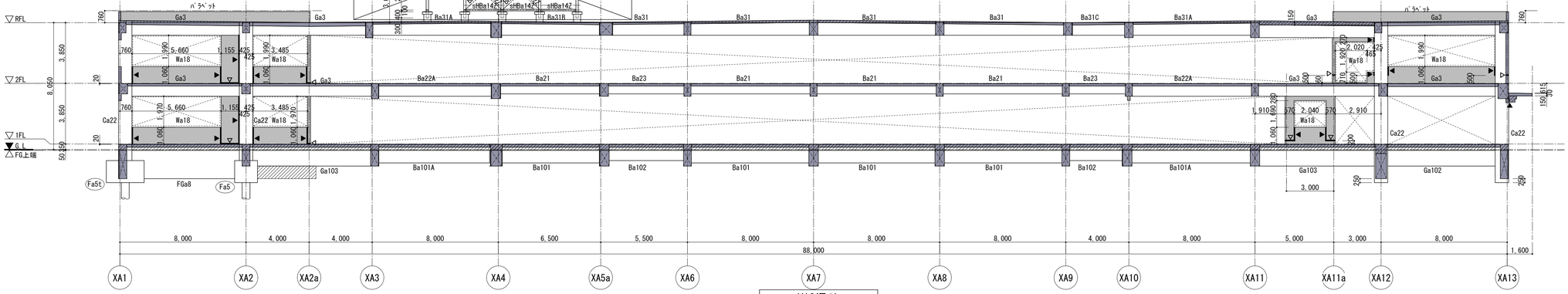
工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称/縮尺	(校舎棟) 軸組図 (1) A1(S=1/150) A3(S=1/300)
図面番号	S-111
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

2025/07/11

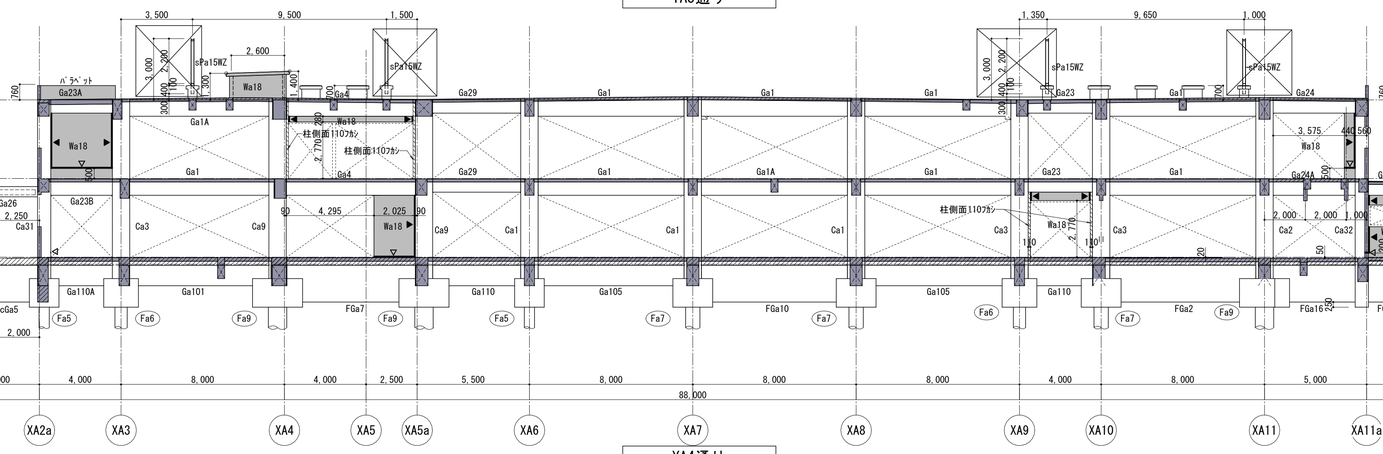


YA3通り+1715

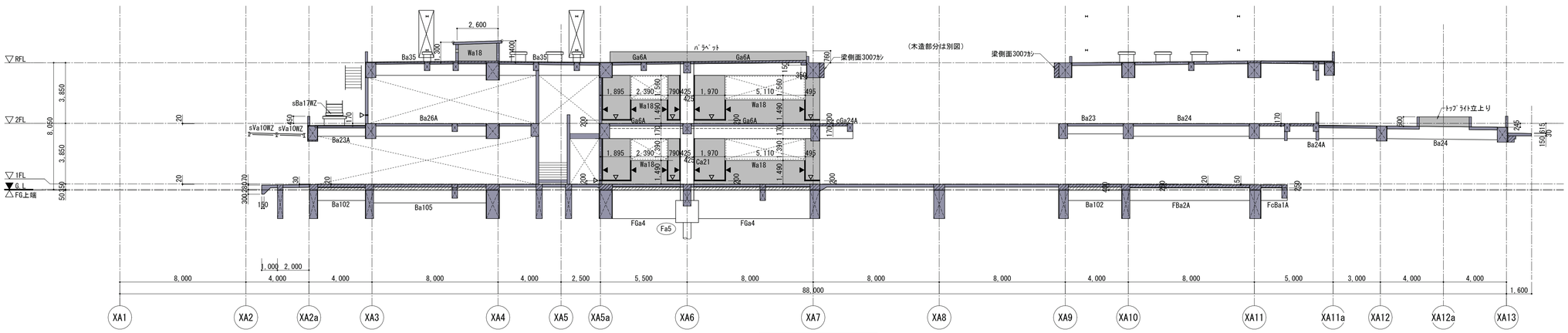




YA3通り



YA4通り



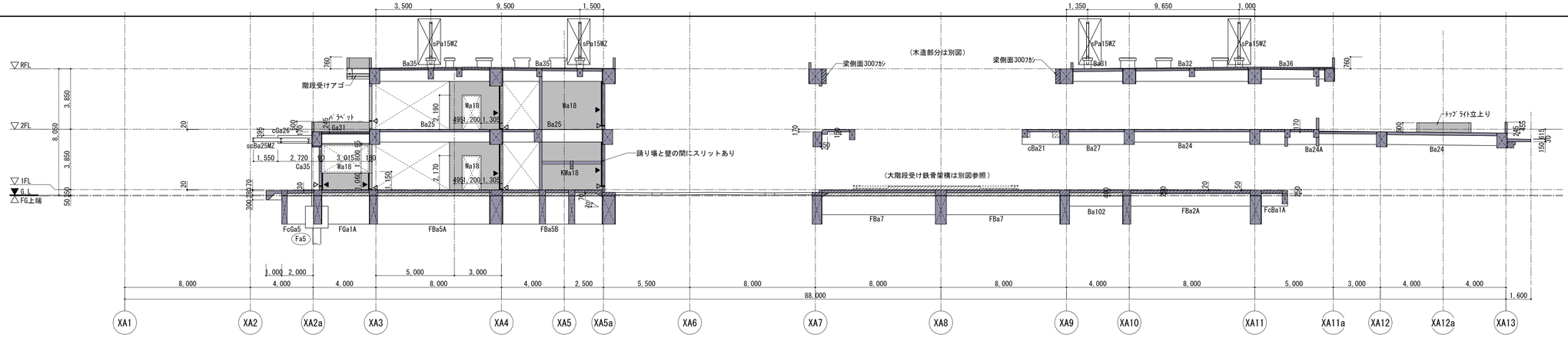
YA4a通り

特記事項
- ▲ 印は、鉛直耐震スリットを示す。
- △ 印は、水平耐震スリットを示す。
- 保持金物等がかぶり厚内にある場合には、かぶり厚範囲は防錆処理を施すこと。
- 特記なき限り、梁上端は、スラブ上端までフカシとする。
  - ▨ は、梁上端、下端のフカシを示す。
  - ▨ は、柱側面のフカシを示す。

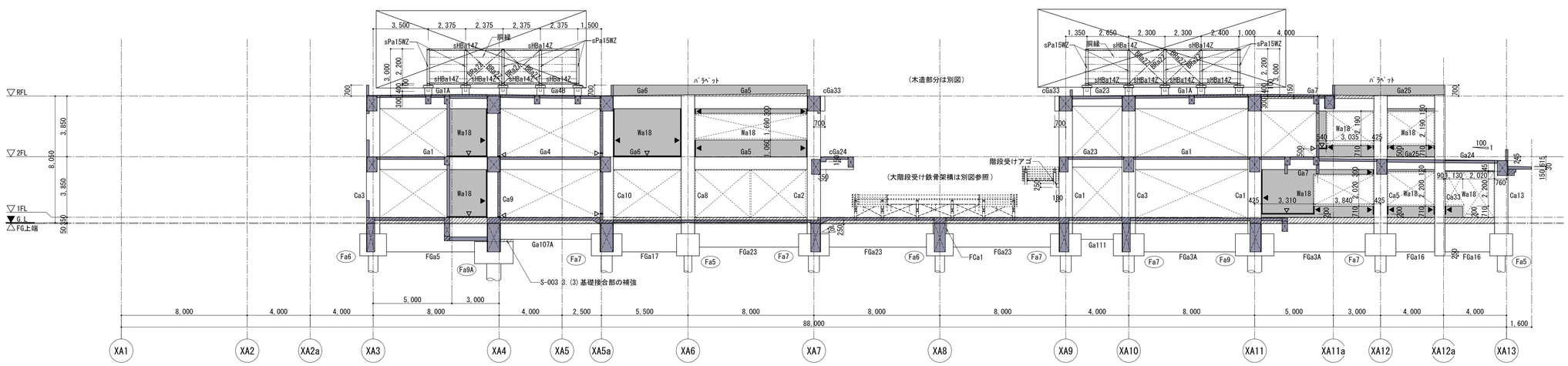
※目隠しフェンスおよびフェンス基礎は、将来設置する場合の位置を示す。

工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称/縮尺	(校舎棟) 軸組図 (2) A1 (S=1/150) A3 (S=1/300)
図面番号	S-112
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

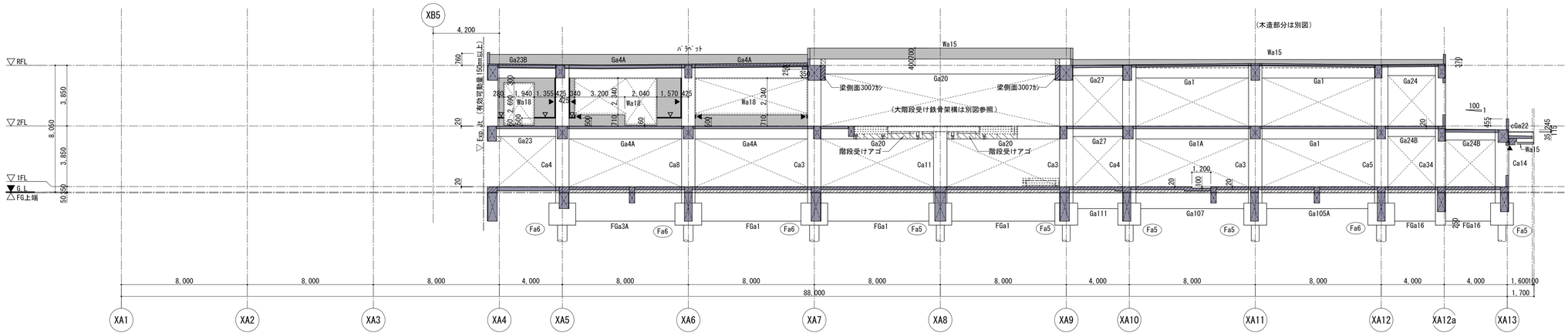
2025/07/11



YA4b通り



YA5通り



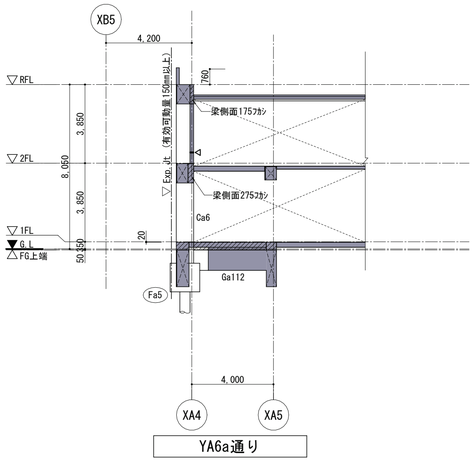
YA6通り

特記事項
- ▲ 印は、鉛直耐震スリットを示す。
- △ 印は、水平耐震スリットを示す。
- 保持金物等がかぶり厚内にある場合には、かぶり厚範囲は防錆処理を施すこと。
- 特記なき限り、梁上端は、スラブ上端までフカシとする。
  - ▨ は、梁上端、下端のフカシを示す。
  - ▧ は、柱側面のフカシを示す。

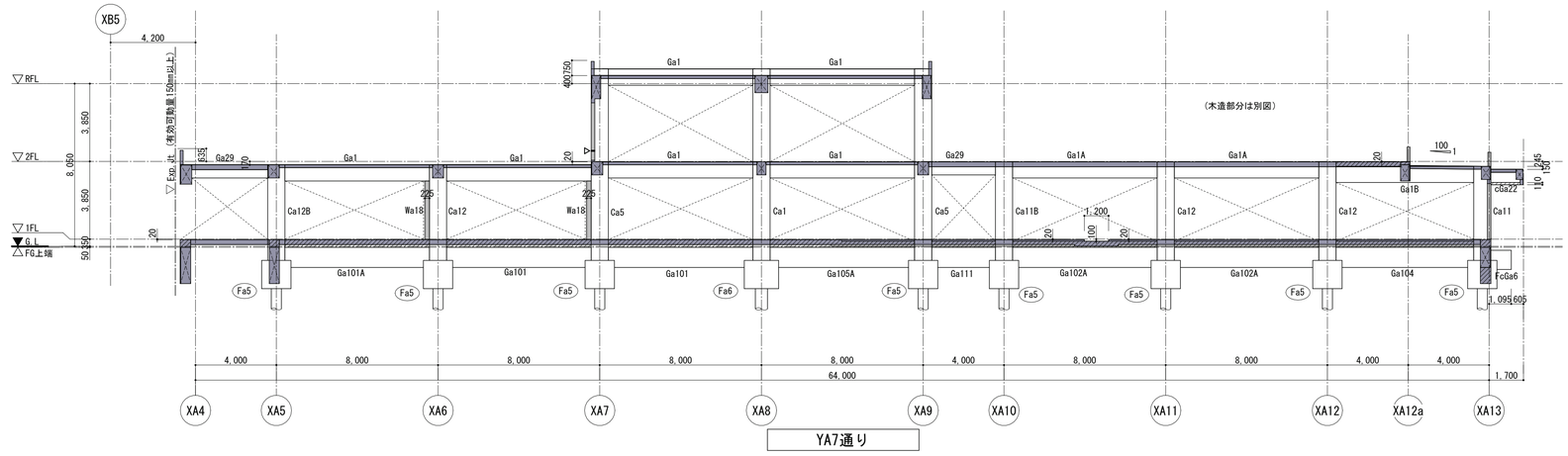
※目隠しフェンスおよびフェンス基礎は、将来設置する場合の位置を示す。

工事名称	矢板市立東小学校改築工事	
図面名称/縮尺	(校舎棟) 軸組図 (3) A1(S=1/150) A3(S=1/300)	図面番号
設計年月日	令和7年2月28日	S-113
設計者		
発注者	矢板市役所	

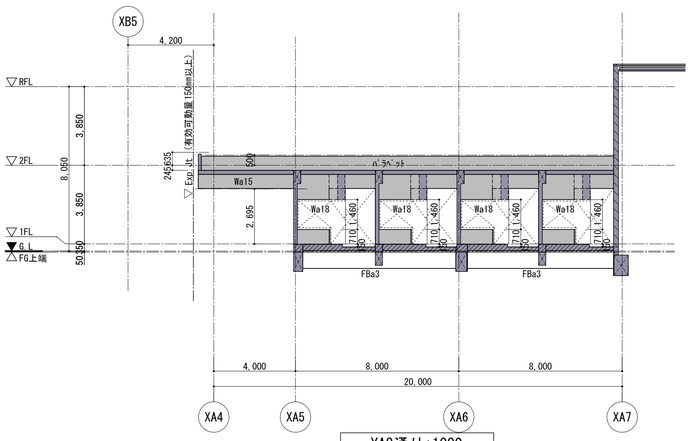
2025/07/11



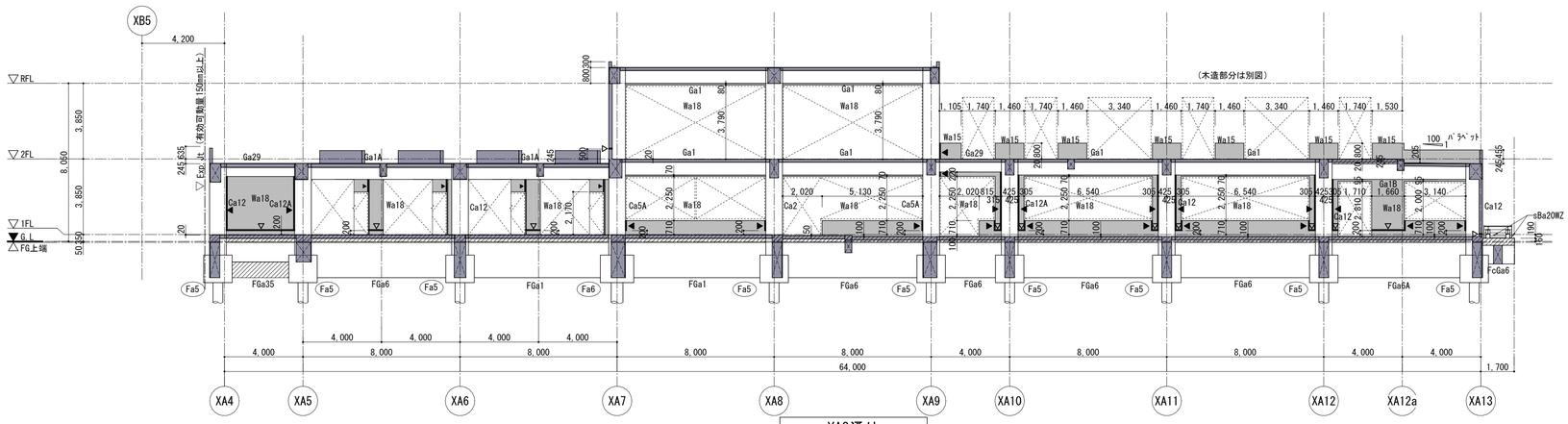
YA6a通り



YA7通り



YA8通り+1000

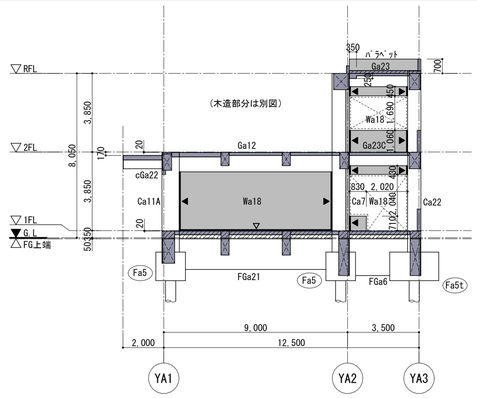


YA8通り

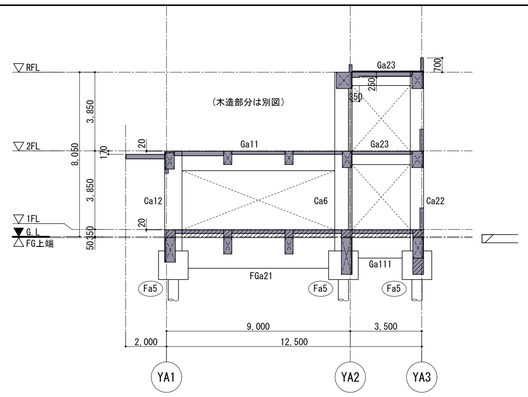
特記事項
- ▲ 印は、鉛直耐震スリットを示す。
- △ 印は、水平耐震スリットを示す。
- 保持金物等がかぶり厚内にある場合には、かぶり厚範囲は防錆処理を施すこと。
- 特記なき限り、梁上端は、スラブ上端までフカシとする。
  - ▨ は、梁上端、下端のフカシを示す。
  - ▧ は、柱側面のフカシを示す。

工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称/縮尺	(校舎棟) 軸組図 (4) A1 (S=1/150) A3 (S=1/300)
図面番号	S-114
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

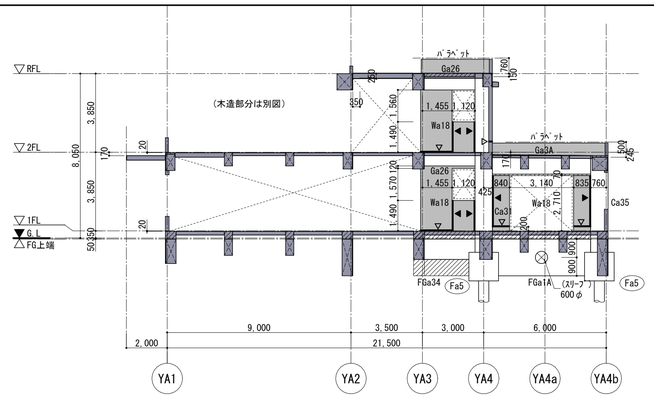
2025/07/11



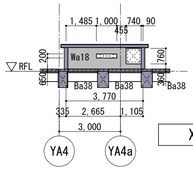
XA1通り



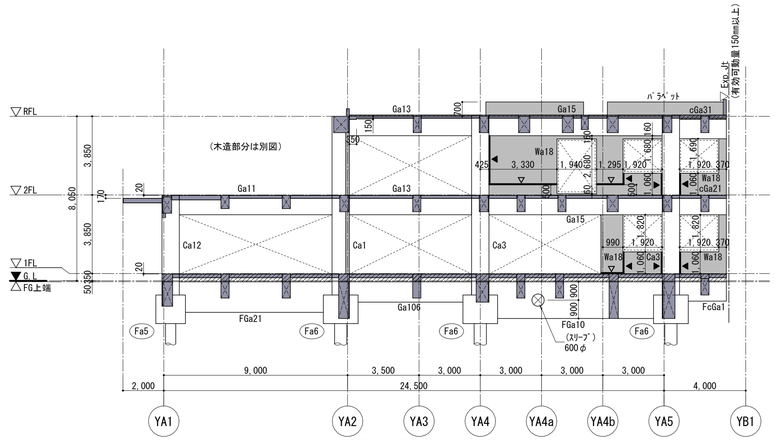
XA2通り



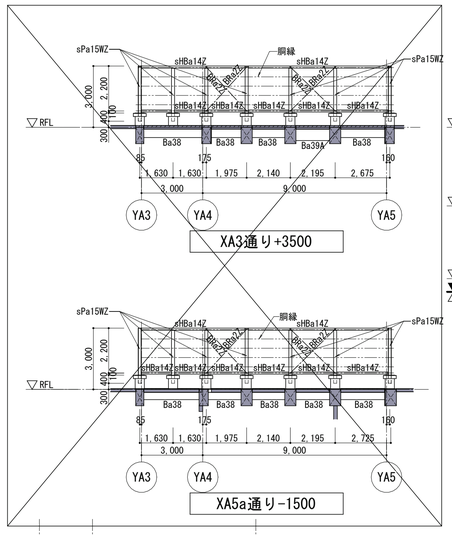
XA2a通り



XA4通り-2600

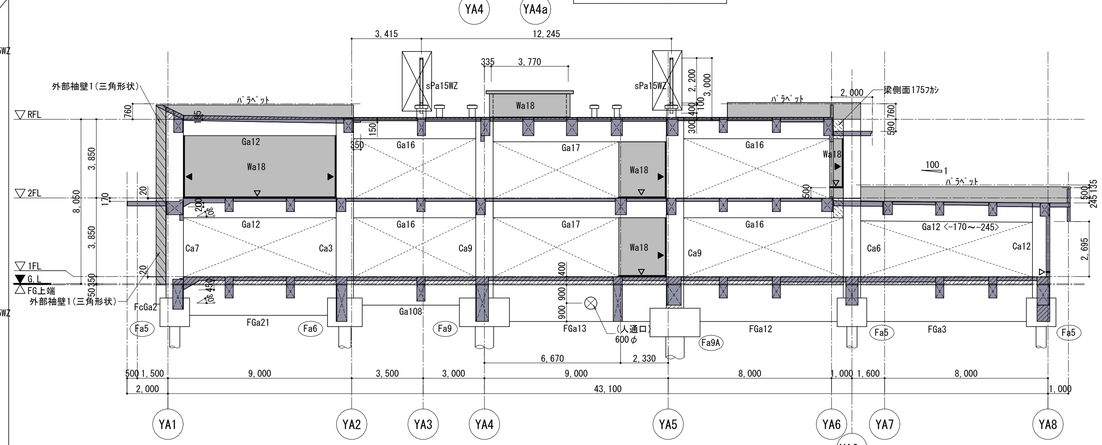


XA3通り

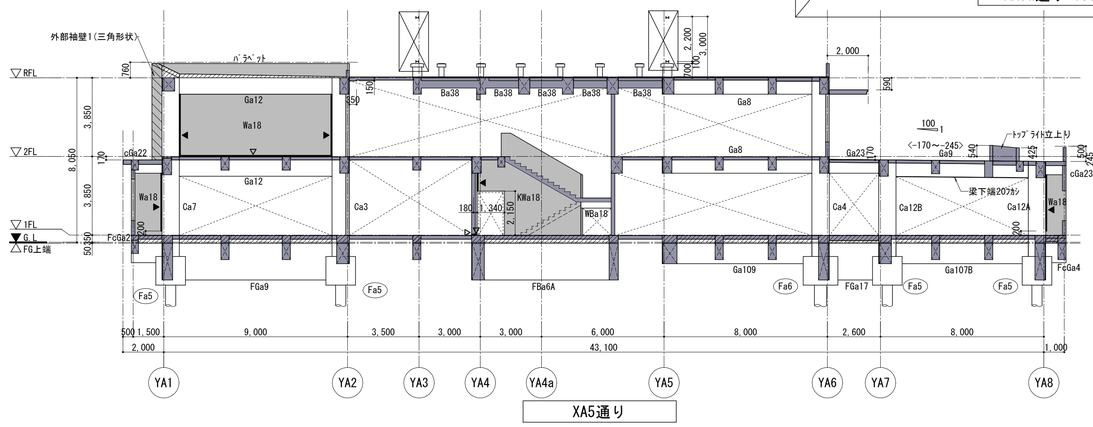


XA3通り+3500

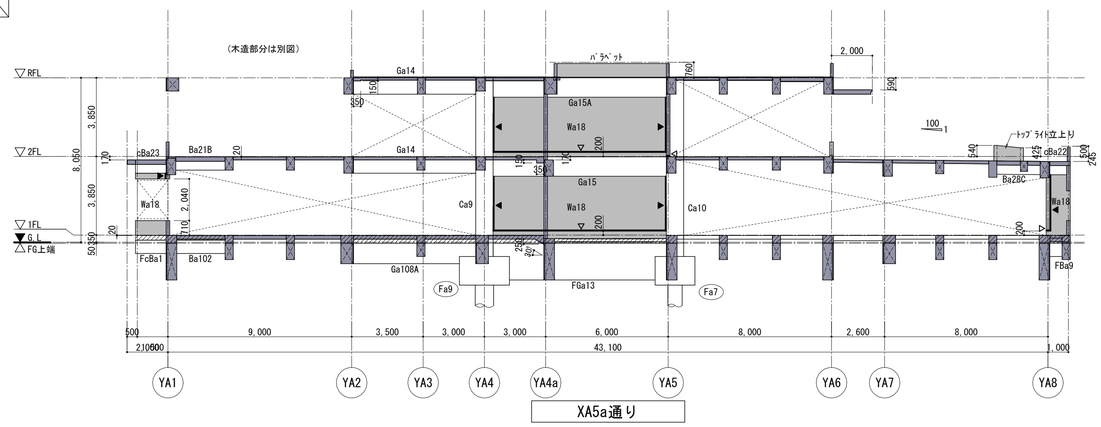
XA5a通り-1500



XA4通り



XA5通り



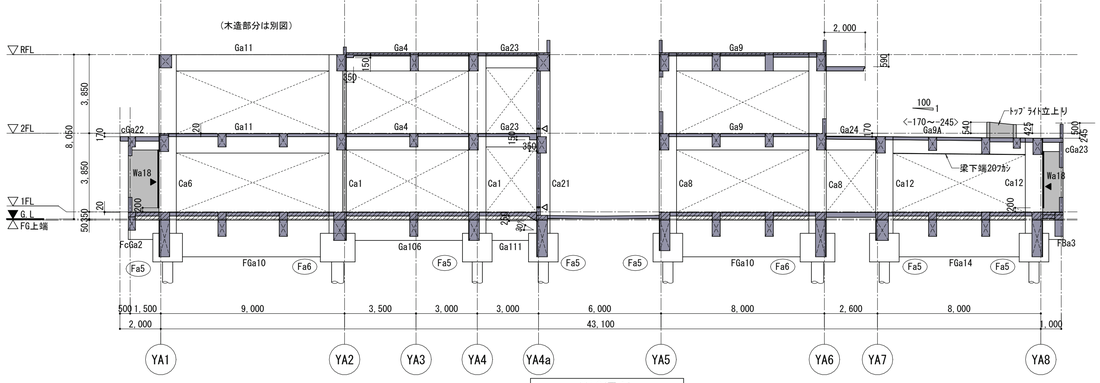
XA5a通り

特記事項
- ▲ 印は、鉛直耐震スリットを示す。
- △ 印は、水平耐震スリットを示す。
- 保持金物等がかぶり厚内にある場合には、かぶり厚範囲は防錆処理を施すこと。
- 特記なき限り、梁上端は、スラブ上端までフカシとする。
- ▨ は、梁上端、下端のフカシを示す。
- ▧ は、柱側面のフカシを示す。

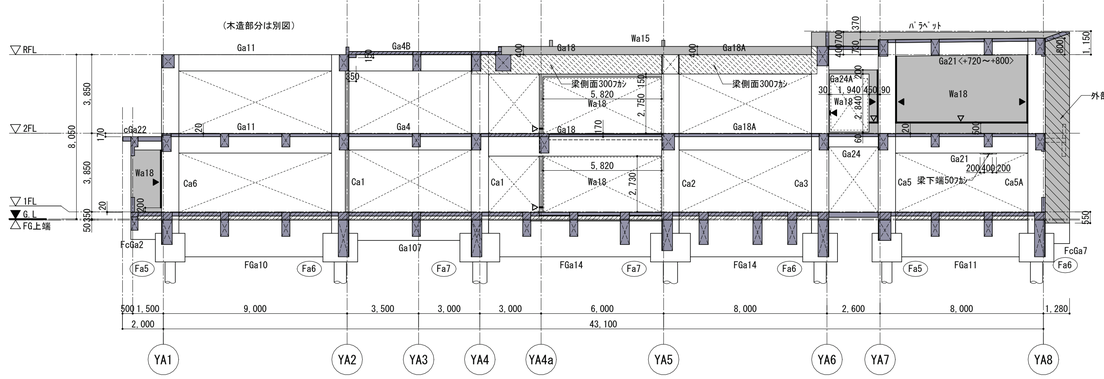
※目隠しフェンスおよびフェンス基礎は、将来設置する場合の位置を示す。

工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称/縮尺	(校舎棟) 軸組図 (5) A1 (S=1/150) A3 (S=1/300)
図面番号	S-115
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

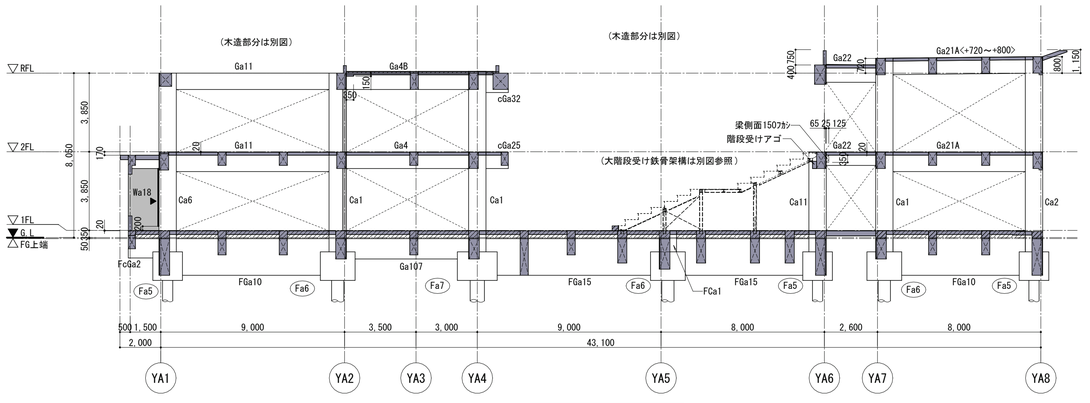
2025/07/11



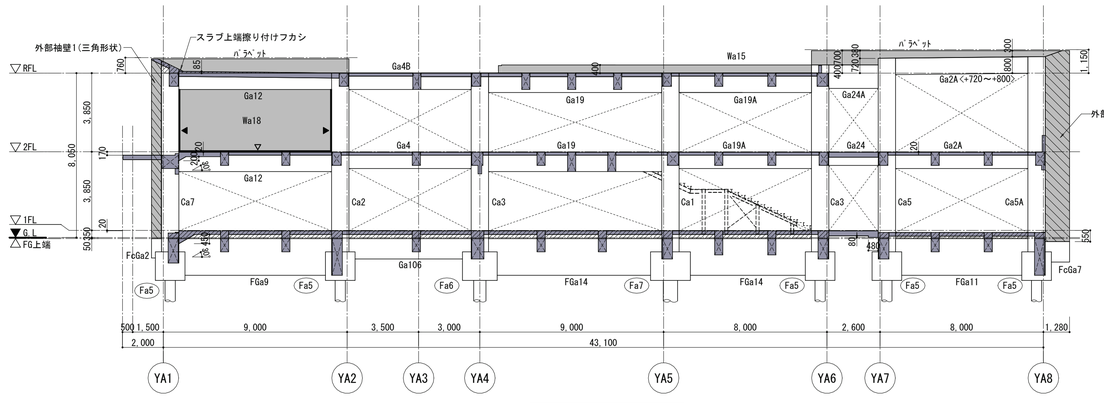
XA6通り



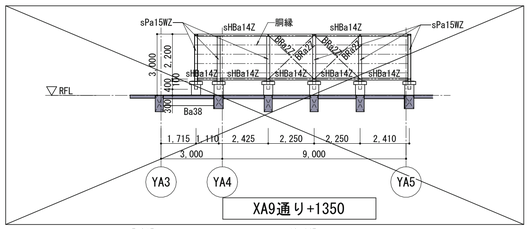
XA7通り



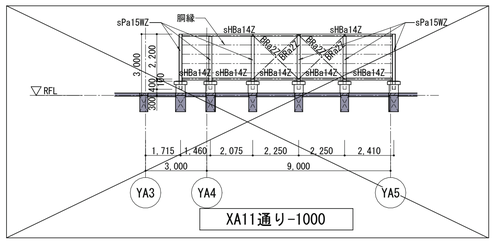
XA8通り



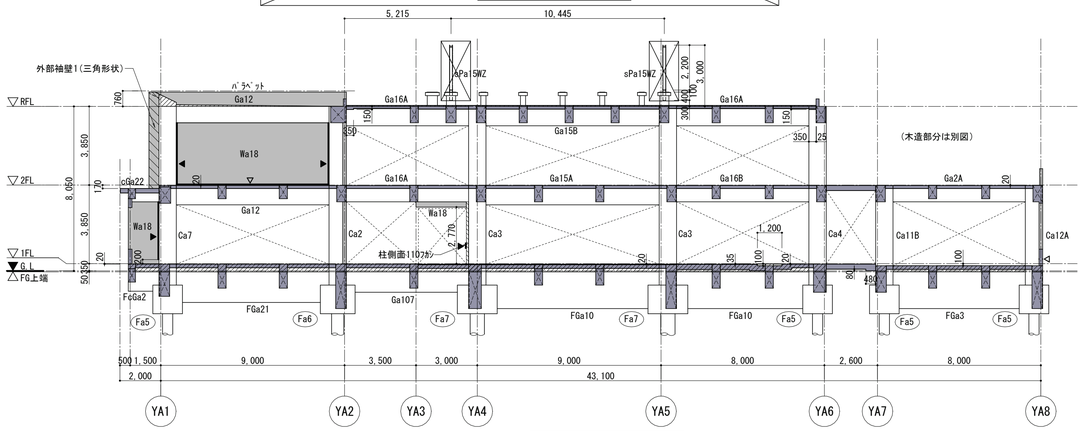
XA9通り



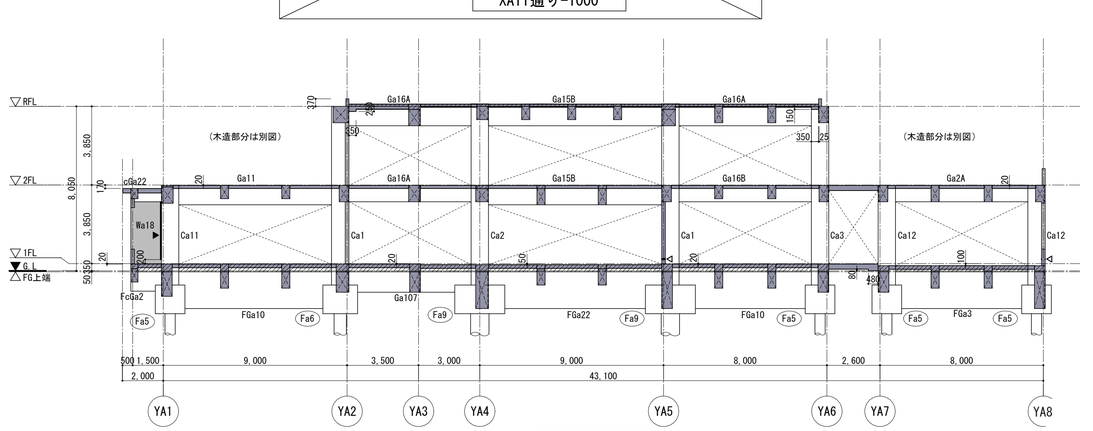
XA9通り+1350



XA11通り-1000



XA10通り



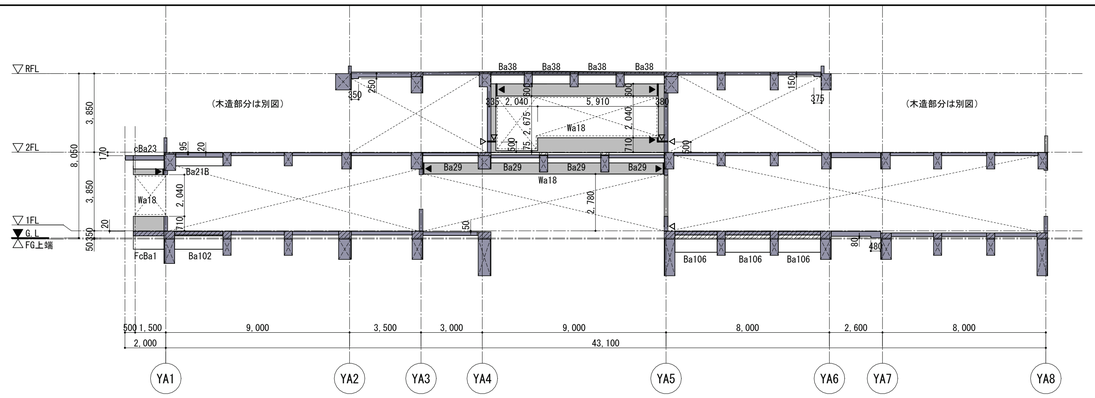
XA11通り

特記事項
- ▲ 印は、鉛直耐震スリットを示す。
- △ 印は、水平耐震スリットを示す。
- 保持金物等がかぶり厚内にある場合には、かぶり厚範囲は防錆処理を施すこと。
- 特記なき限り、梁上端は、スラブ上端までフカシとする。
- は、梁上端、下端のフカシを示す。
- は、柱側面のフカシを示す。

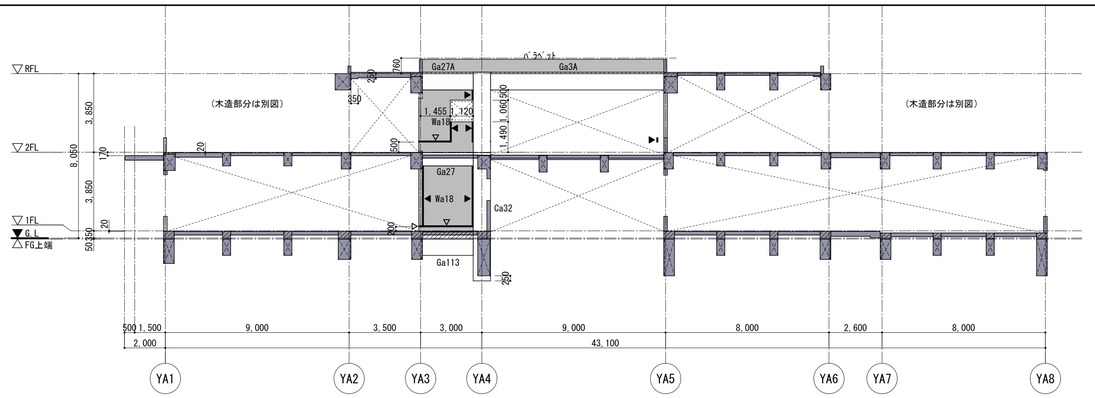
※目隠しフェンスおよびフェンス基礎は、将来設置する場合の位置を示す。

工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称/縮尺	(校舎棟) 軸組図 (6) A1 (S=1/150) A3 (S=1/300)
図面番号	S-116
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

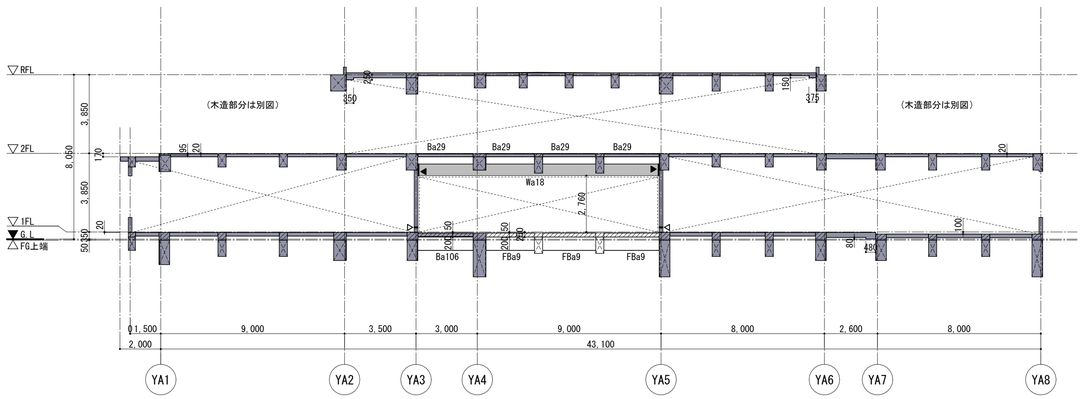
2025/07/11



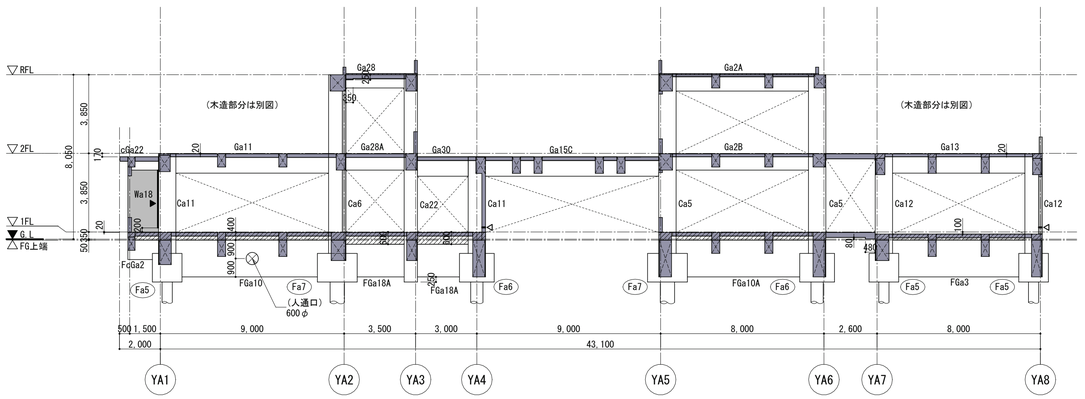
XA11通り+4000



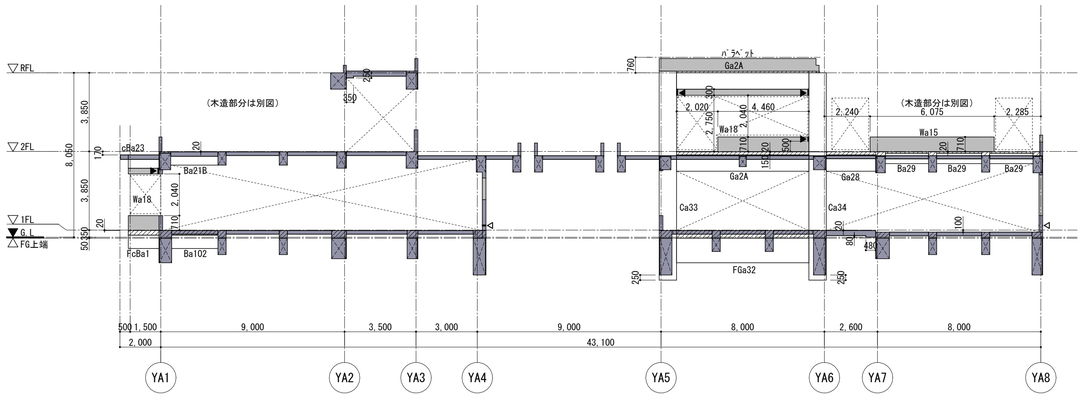
XA11a通り



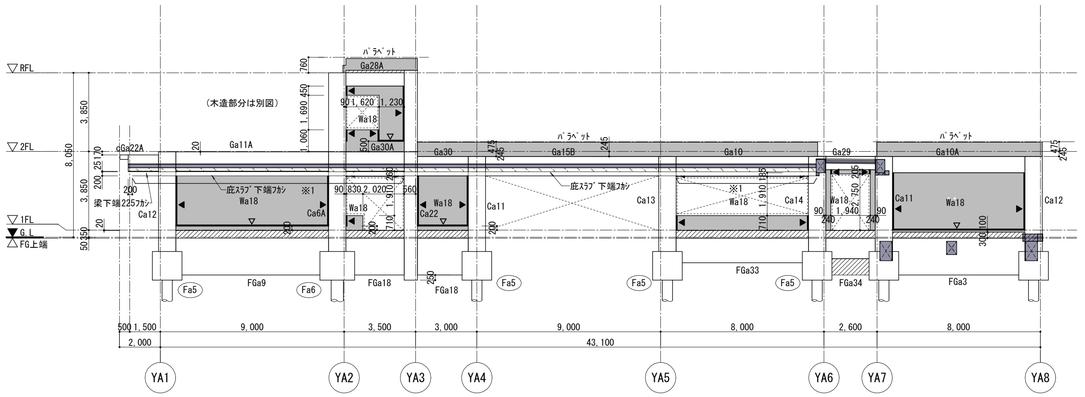
XA11通り+2000



XA12通り



XA12a通り



XA13通り

※1 スラブ下端フカシと壁の耐震スリットが干渉する部分は、
スラブ下端フカシと柱、大梁、壁の間に耐震スリット設け、
スラブ下端フカシと縁を切ること。

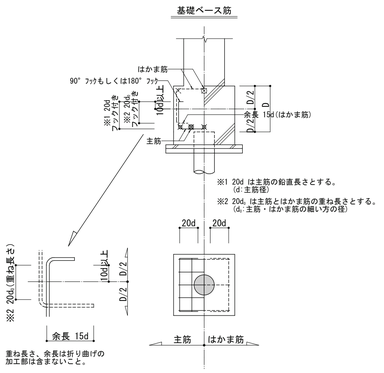
特記事項
- ▲ 印は、鉛直耐震スリットを示す。
- △ 印は、水平耐震スリットを示す。
- 保持金物等がかぶり厚内にある場合には、かぶり厚範囲は防錆処理を施すこと。
- 特記なき限り、梁上端は、スラブ上端までフカシとする。
- ▨ は、梁上端、下端のフカシを示す。
- ▨ は、柱側面のフカシを示す。

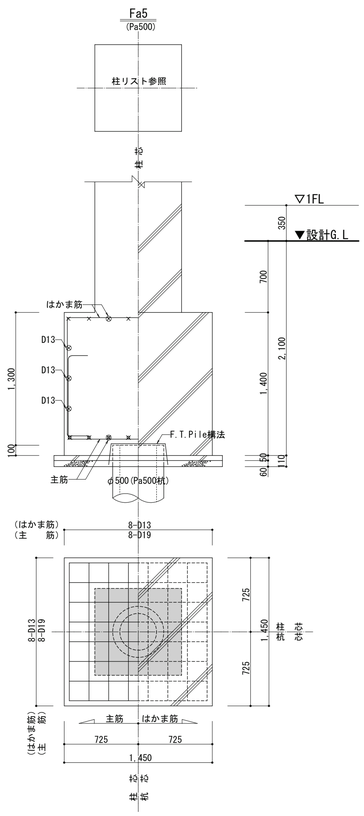
工事名称	矢板市立東小学校改築工事	
図面名称/縮尺	(校舎棟) 軸組図 (7) A1 (S=1/150) A3 (S=1/300)	図面番号
設計年月日	令和7年2月28日	S-117
設計者		
発注者	矢板市役所	

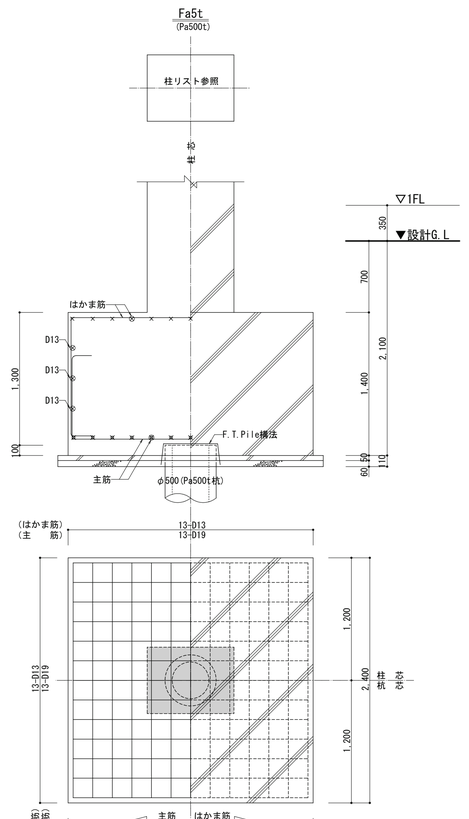
2025/07/11

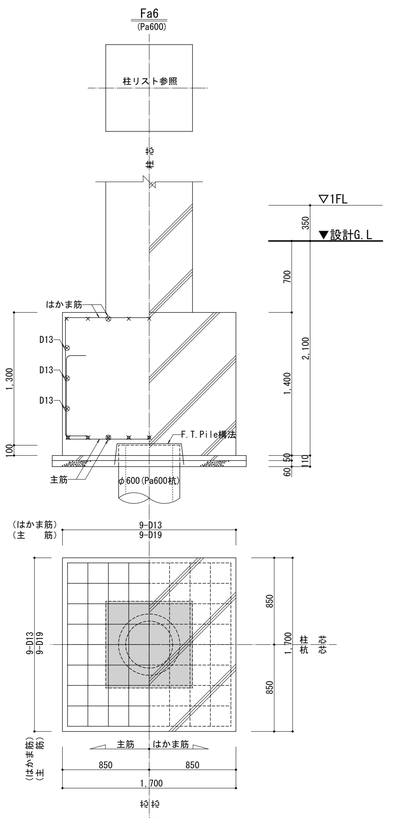
基礎リスト　　縮尺 1/30

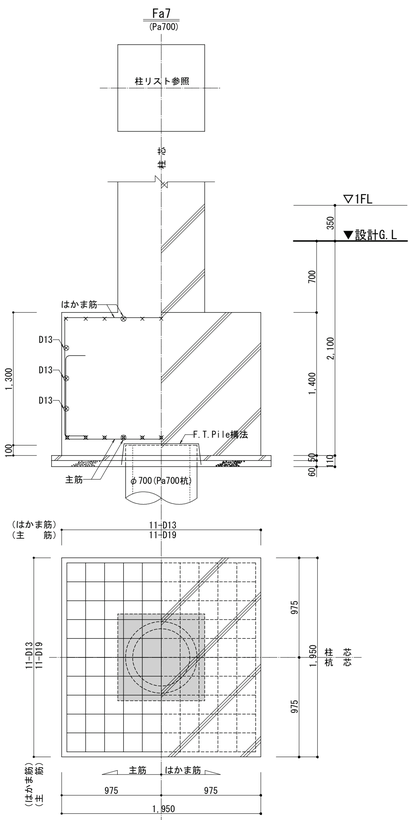
基礎鉄筋定着長さ要領図



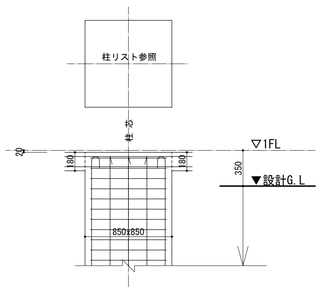




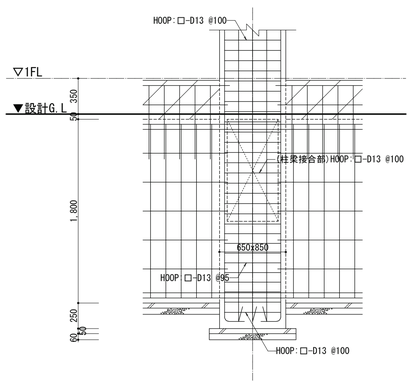




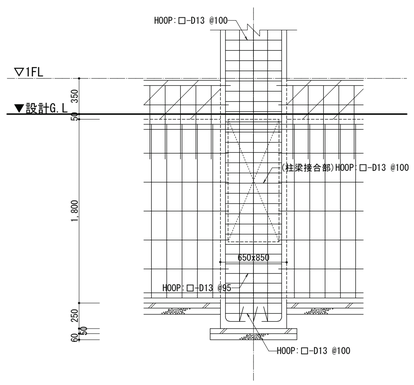
凡例
(FCa1基礎柱)



凡例(柱脚納まり)
(Ca22,Ca32)



凡例(柱脚納まり)
(Ca33,Ca34)

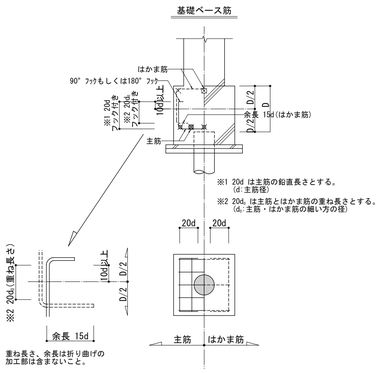


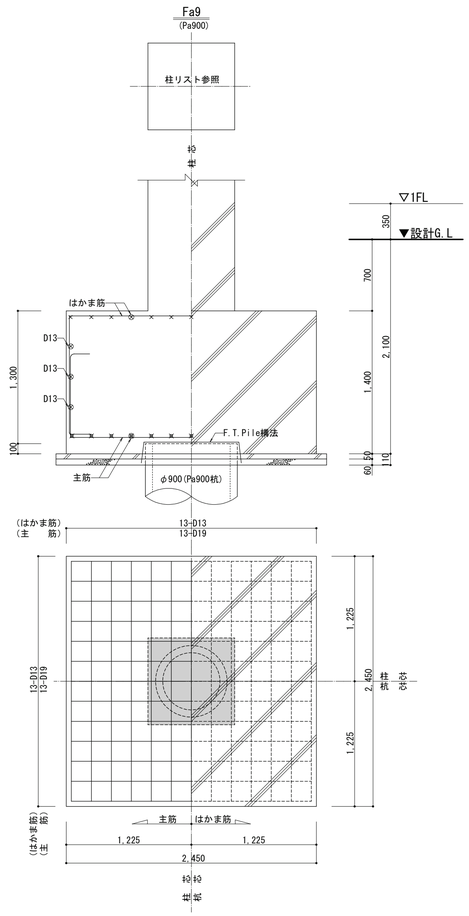
工事名称	矢板市立東小学校改築工事		
図面名称／縮尺	(校舎棟) 基礎リスト（１）	A1(S=1/30) A3(S=1/60)	図面番号
設計年月日	令和7年2月28日		S-121
設計者			
発注者	矢板市役所		

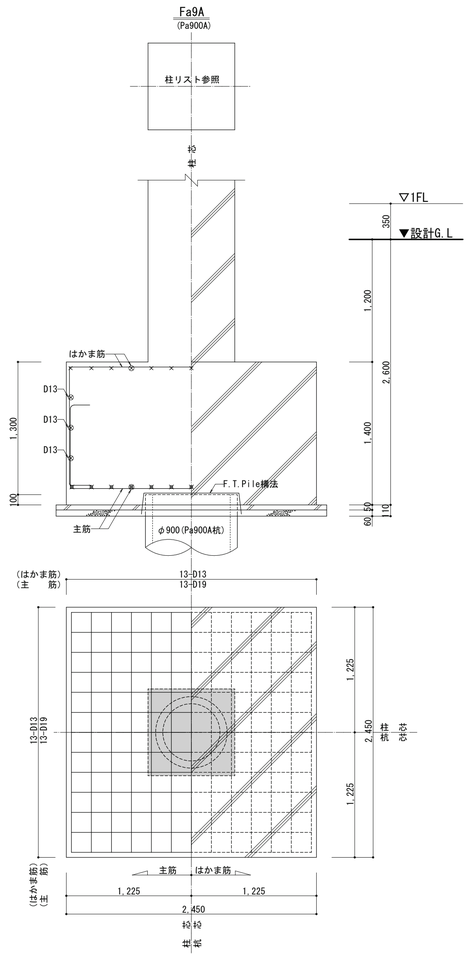
2025/01/29

基礎リスト　　縮尺 1/30

基礎鉄筋定着長さ要領図







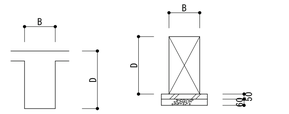
工事名称	矢板市立東小学校改築工事		
図面名称／縮尺	(校舎棟) 基礎リスト（２）	A1(S=1/30) A3(S=1/60)	図面番号
設計年月日	令和7年2月28日		S-122
設計者			
発注者	矢板市役所		

2025/01/20

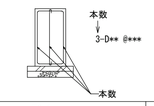
特記事項

巾止め筋は、D10 @1,000以内とする。
太下線は、他断面と異なる箇所であるため、注意のこと。
梁レベルは、伏図および軸組図による。
カットオフ筋長さは、「S-004」および1階カットオフ筋伏図による。

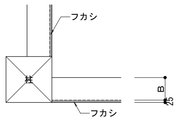
B×Dは、下図による



strの本数は、下図による



柱と梁の側面が同一の場合は、梁の主筋を柱の主筋の内側に配筋すること。
この場合、梁の幅を図面より２５㎜大きく加工すること。

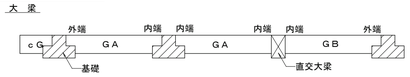


フラットデッキを使用する場合は、
架かり代（10mm）の側面フカシを設けること。

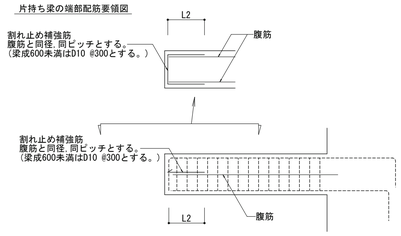


外端、内端は下記による

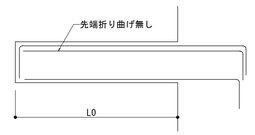
大　梁



片持ち梁の端部配筋要領図

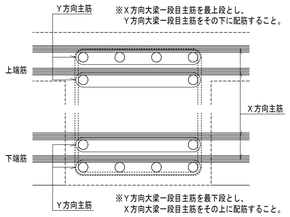


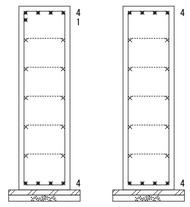
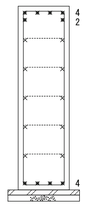
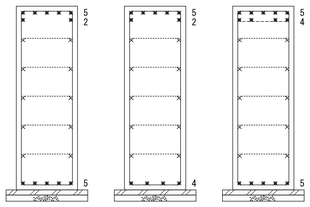
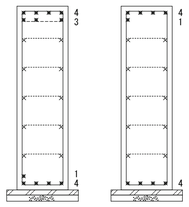
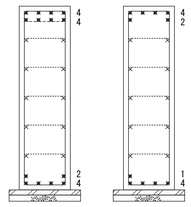
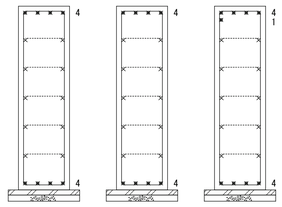
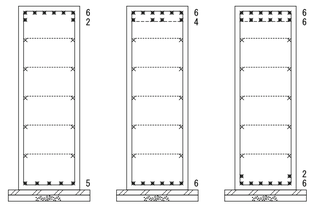
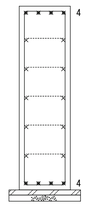
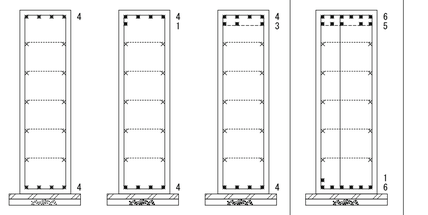
片持ち梁の元端の2段筋は先端まで延ばすこと。

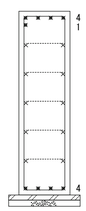
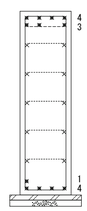
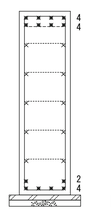
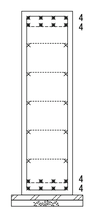
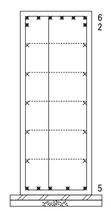
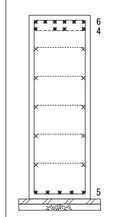
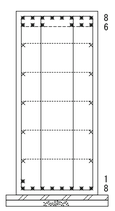
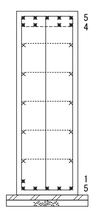


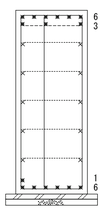
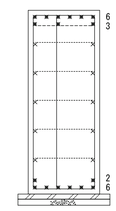
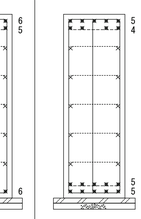
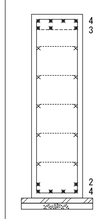
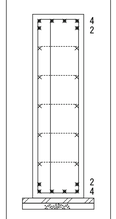
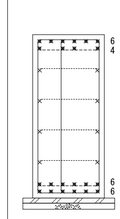
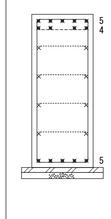
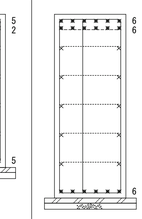
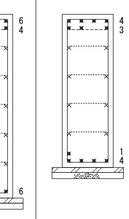
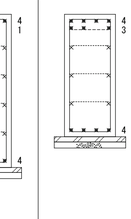
梁主筋位置関係要領図

※ＸＹ方向の主筋が同レベルとなり、主筋が干渉する場合



階	符　号	FGa1		FGa1A	FGa2			FGa3		FGa3A		FGa4			FGa5			FGa6	FGa6A			FGa7
	位　置	端　部	中　央	端　部	XA10,XA13端	中　央	XA11,XA12端	端　部	中　央	端　部	中　央	XA5a端	中　央	XA6,XA7端	XA3端	中　央	XA4端	全断面	XA12端	中　央	XA13端	全断面
1階	断　面																					
	Ｂｘ Ｄ	500x1,800		500x1,800	600x1,800			500x1,800		500x1,800		500x1,800			600x1,800			500x1,800	500x1,800			600x1,800
	上端筋	5-D25	4-D25	6-D25	7-D25	7-D25	9-D25	7-D25	5-D25	8-D25	6-D25	4-D25	4-D25	5-D25	8-D25	10-D25	12-D25	4-D25	4-D25	5-D25	7-D25	11-D25
	下端筋	4-D25	4-D25	4-D25	5-D25	4-D25	5-D25	5-D25	4-D25	6-D25	5-D25	4-D25	4-D25	4-D25	5-D25	6-D25	8-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	7-D25
	str	2-D13 @200		2-D13 @200	2-D13 @200			2-D13 @200		2-D13 @200		2-D13 @200			2-D13 @200			2-D13 @200	2-D13 @200			3-D13 @150
	腹　筋	10-D13(L2定着)		10-D13(L2定着)	10-D13(L2定着)			10-D13(L2定着)		10-D13(L2定着)		10-D13(L2定着)			10-D13(L2定着)			10-D13(L2定着)	10-D13(L2定着)			10-D13(L2定着)
	備考																					

階	符　号	FGa8	FGa9		FGa10		FGa10A		FGa11			FGa12			FGa13		FGa14	
	位　置	全断面	端　部	中　央	端　部	中　央	端　部	中　央	YA7端	中　央	YA8端	YA5端	中　央	YA6a端	端　部	中　央	端　部	中　央
1階	断　面																		
	Ｂｘ Ｄ	500x1,800	500x1,800		500x1,800		500x1,800		700x1,800			600x1,800			800x1,800		600x1,800	
	上端筋	5-D25	7-D25	5-D25	8-D25	6-D25	8-D25	8-D25	8-D25	10-D25	12-D25	10-D25	8-D25	6-D25	14-D25	12-D25	9-D25	7-D25
	下端筋	4-D25	5-D25	5-D25	6-D25	5-D25	8-D25	6-D25	5-D25	6-D25	7-D25	5-D25	5-D25	5-D25	9-D25	9-D25	6-D25	5-D25
	str	2-D13 @200	2-D13 @200		2-D13 @200		2-D13 @200		3-D13 @200			2-D13 @200			4-D13 @200		3-D13 @200	
	腹　筋	10-D13(L2定着)	10-D13(L2定着)		10-D13(L2定着)		10-D13(L2定着)		10-D13(L2定着)			10-D13(L2定着)			10-D13(L2定着)		10-D13(L2定着)	
	備考																	

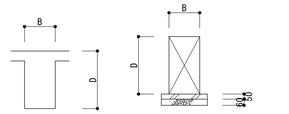
階	符　号	FGa15			FGa16	FGa17	FGa18	FGa18A	FGa21		FGa22			FGa23		FGa31	
	位　置	YA4,YA6端	中　央	YA5端	全断面	全断面	全断面	全断面	端　部	中　央	YA4端	中　央	YA5端	端　部	中　央	端　部	中　央
1階	断　面																
	Ｂｘ Ｄ	700x1,800			600x1,800	500x1,800	500x1,800	700x1,600	600x1,500		700x1,800			500x1,500		500x1,200	
	上端筋	9-D25	9-D25	11-D25	9-D25	7-D25	6-D25	10-D25	9-D25	7-D25	12-D25	10-D25	10-D25	7-D25	5-D25	7-D25	5-D25
	下端筋	7-D25	8-D25	6-D25	10-D25	6-D25	6-D25	12-D25	5-D25	5-D25	6-D25	6-D25	6-D25	5-D25	4-D25	4-D25	4-D25
	str	3-D13 @200			3-D13 @150	2-D13 @150	3-D13 @150	3-D13 @150	2-D13 @150		3-D13 @150			2-D13 @200		2-D13 @200	
	腹　筋	10-D13(L2定着)			10-D13(L2定着)	10-D13(L2定着)	10-D13(L2定着)	8-D13	8-D13		10-D13			8-D13		6-D13	
	備考																

工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称／縮尺	(校舎棟) 基礎大梁リスト(1)　A1(S=1/30) A3(S=1/60)
図面番号	S-123
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

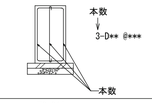
2025/02/10

特記事項　巾止め筋は、D10　@1,000以内とする。
太下線は、他断面と異なる箇所であるため、注意のこと。
梁レベルは、伏図および軸組図による。
カットオフ筋長さは、「S-004」および1階カットオフ筋伏図による。

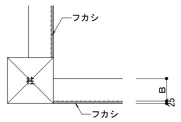
B×Dは、下図による



strの本数は、下図による



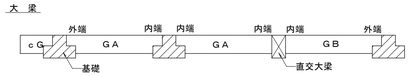
柱と梁の側面が同一の場合は、梁の主筋を柱の主筋の内側に配筋すること。
この場合、梁の幅を図面より２５mm大きく加工すること。



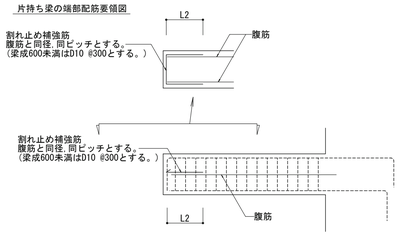
フラットデッキを使用する場合は、
架かり代（10mm）の側面フカシを設けること。



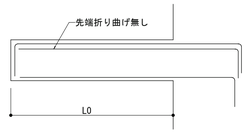
外端、内端は下記による
大　梁



片持ち梁の端部配筋要領図

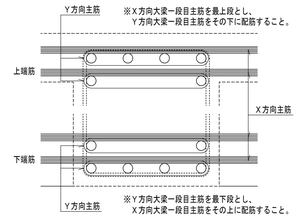


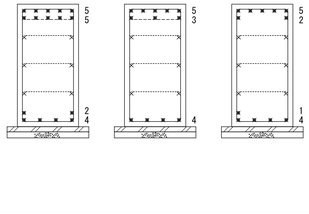
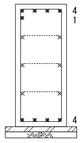
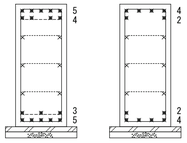
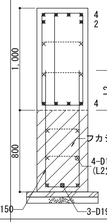
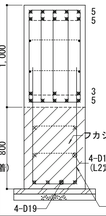
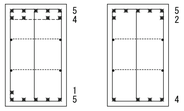
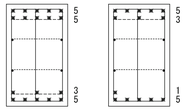
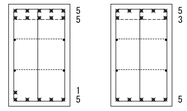
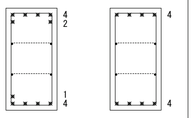
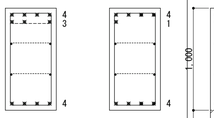
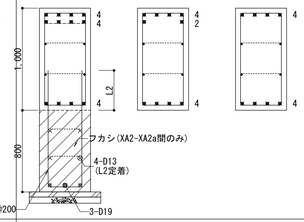
片持ち梁の元端の2段筋は先端まで延ばすこと。

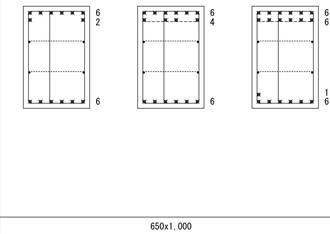
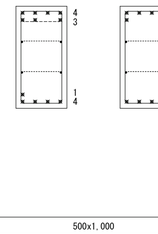
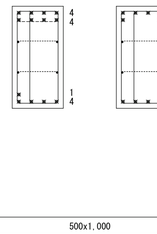
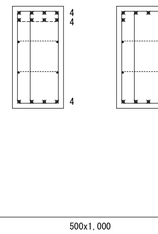
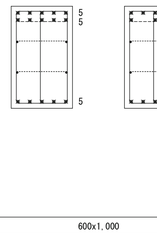
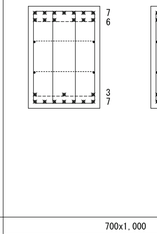
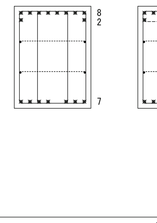
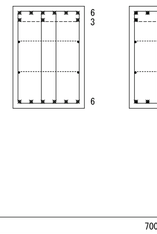
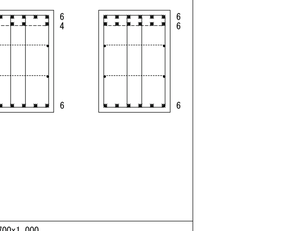


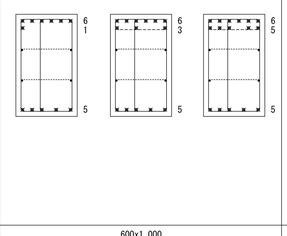
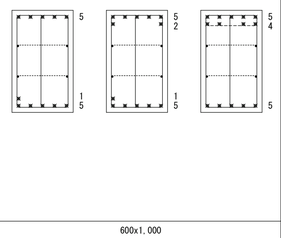
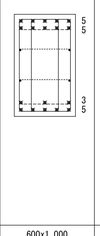
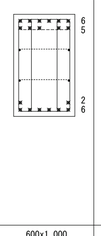
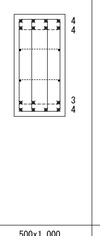
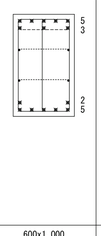
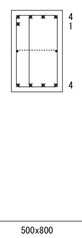
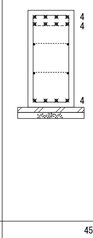
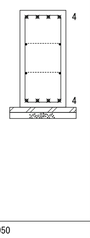
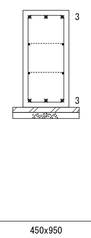
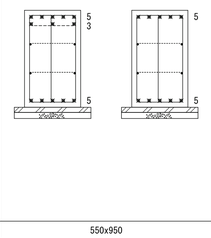
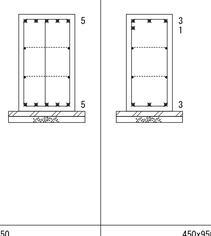
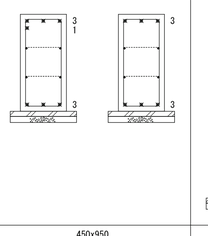
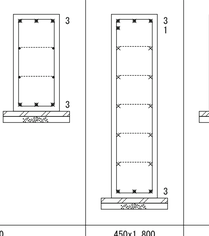
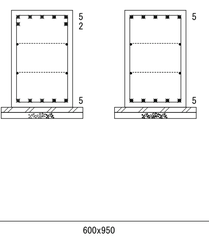
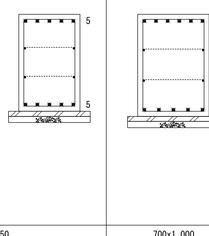
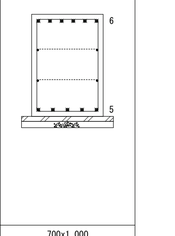
梁主筋位置関係要領図

※ＸＹ方向の主筋が同レベルとなり、主筋が干渉する場合



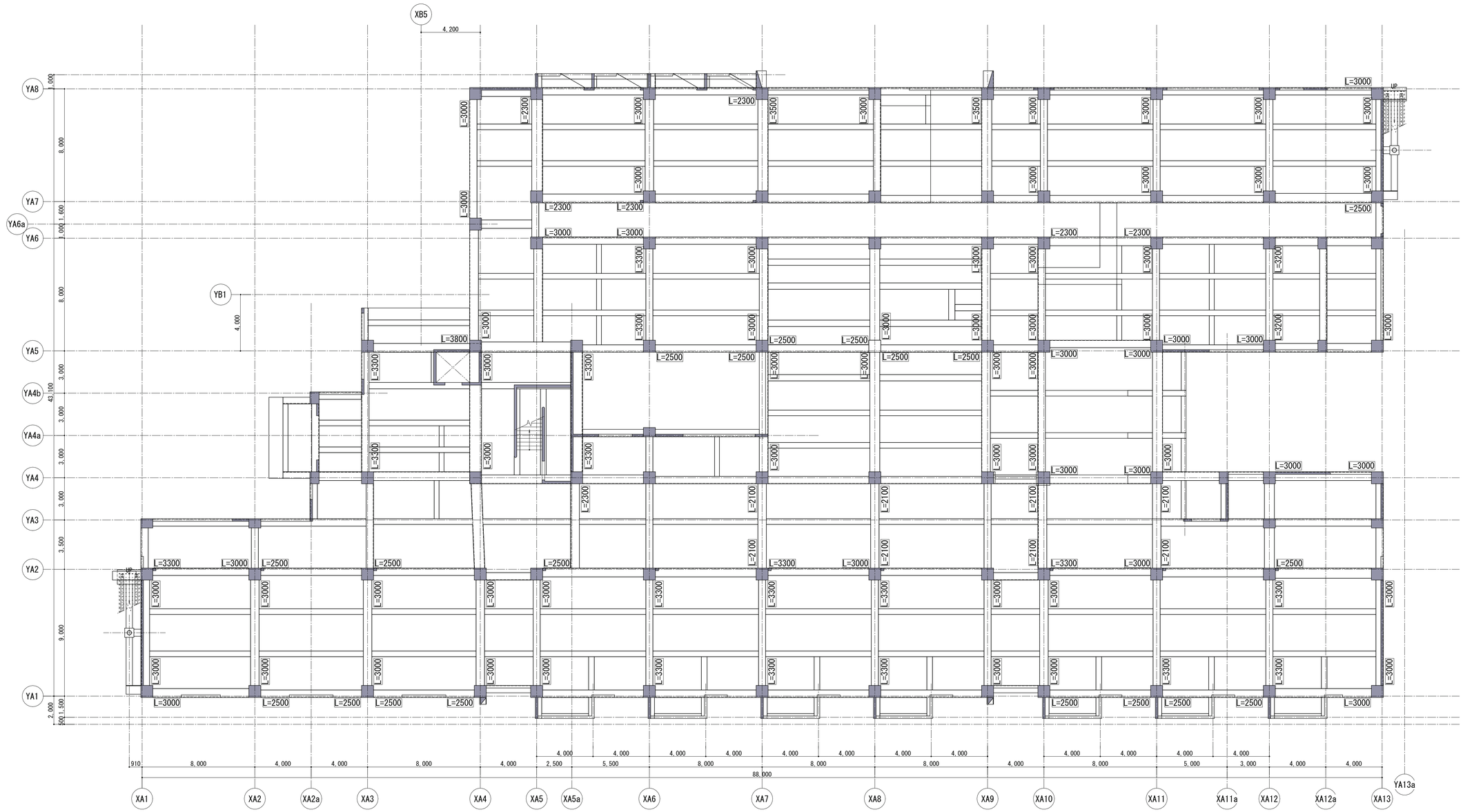
階	符　号	FGa31A			FGa32	FGa33		FGa34	FGa35	Ga101		Ga101A			Ga101B		Ga102		Ga102A		Ga103		
	位　置	XA1, XA13端	中　央	XA2, XA12端	全断面	YA5端	中央・YA6端	全断面	全断面	端　部	中　央	XA5端	中　央	XA6端	端　部	中　央	端　部	中　央	端　部	中　央	XA2, XA12端	中　央	XA3, XA11端
1階	断　面																						
	Ｂｘ Ｄ	600x1,200			500x1,200	500x1,200		500x1,000	600x1,000	600x1,000		600x1,000			600x1,000		500x1,000		500x1,000		500x1,000		
	上端筋	10-D25	8-D25	7-D25	5-D25	9-D25	6-D25	6-D25	10-D25	9-D25	7-D25	10-D25	8-D25	9-D25	10-D25	8-D25	6-D25	4-D25	7-D25	5-D25	8-D25	6-D25	4-D25
	下端筋	6-D25	4-D25	5-D25	4-D25	8-D25	6-D25	4-D25	8-D25	6-D25	4-D25	8-D25	6-D25	6-D25	6-D25	5-D25	5-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25
	str	2-D13 @150			2-D13 @200	2-D13 @200		3-D13 @150	5-D13 @150	3-D13 @150		3-D13 @150			3-D13 @150		2-D13 @200		2-D13 @150		2-D13 @200		
	腹　筋	6-D13			6-D13	6-D13		4-D13(L2定着)	4-D13(L2定着)	4-D10		4-D10			4-D10		4-D10		4-D10		4-D10(XA2-XA3間は4-D13とし、L2定着とする)		
	備考																						

階	符　号	Ga104			Ga105		Ga105A		Ga106		Ga107		Ga107A		Ga107B			Ga108		
	位　置	XA12端	中　央	XA13端	端　部	中　央	端　部	中　央	端　部	中　央	端　部	中　央	端　部	中　央	YA7端	中　央	YA8端	YA2端	中　央	YA4端
1階	断　面																			
	Ｂｘ Ｄ	650x1,000			500x1,000		500x1,000		500x1,000		600x1,000		700x1,000		750x1,000			700x1,000		
	上端筋	8-D25	10-D25	12-D25	7-D25	5-D25	8-D25	6-D25	8-D25	6-D25	10-D25	8-D25	13-D25	11-D25	10-D25	13-D25	15-D25	9-D25	10-D25	12-D25
	下端筋	6-D25	6-D25	7-D25	5-D25	4-D25	5-D25	4-D25	4-D25	4-D25	5-D25	5-D25	10-D25	8-D25	7-D25	7-D25	7-D25	6-D25	6-D25	6-D25
	str	3-D13 @150			2-D13 @150		3-D13 @150		3-D13 @150		3-D13 @150		4-D13 @150		4-D13 @150			4-D13 @150		
	腹　筋	4-D10			4-D10		4-D10		4-D10		4-D10		4-D10		4-D10			4-D10		
	備考																			

階	符　号	Ga108A			Ga109			Ga110	Ga110A	Ga111	Ga112	Ga113	FcGa1		FcGa2	FcGa3		FcGa4		FcGa5	FcGa6		FcGa7
	位　置	YA2端	中　央	YA4端	YA5端	中　央	YA6端	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	元　端	先　端	全断面	元　端	先　端	元　端	先　端	全断面	元　端	先　端	全断面
1階	断　面																						
	Ｂｘ Ｄ	600x1,000			600x1,000			600x1,000	600x1,000	500x1,000	600x1,000	500x800	450x950		450x950	550x950		450x950		450x1,800	600x950		700x1,000
	上端筋	7-D25	9-D25	11-D25	5-D25	7-D25	9-D25	10-D25	11-D25	8-D25	8-D25	5-D25	8-D25	4-D25	3-D25	8-D25	5-D25	4-D25	3-D25	4-D25	7-D25	5-D25	6-D25
	下端筋	5-D25	5-D25	5-D25	6-D25	6-D25	5-D25	8-D25	8-D25	7-D25	7-D25	4-D25	4-D25	4-D25	3-D25	5-D25	5-D25	3-D25	3-D25	3-D25	5-D25	5-D25	5-D25
	str	3-D13 @200			3-D13 @200			4-D13 @150	4-D13 @150	4-D13 @150	3-D13 @150	3-D13 @150	2-D13 @100		2-D13 @100	3-D13 @100		2-D13 @100		2-D13 @100	2-D13 @100		2-D13 @100
	腹　筋	4-D10			4-D10			4-D10	4-D10	4-D10	4-D10	2-D10	4-D10		4-D10	4-D10		4-D10		10-D13(L2定着)	4-D10		4-D10
	備考																						

工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称／縮尺	（校舎棟）基礎大梁リスト(2)　A1(S=1/30) A3(S=1/60)
図面番号	S-124
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

2025/03/19

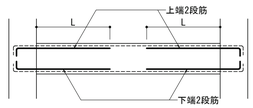


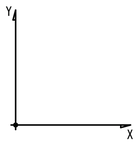
カットオフ長さ

特記なき限り、カットオフ長さは「S-004」による。

柱端からのカットオフ長さLは、図示寸法と「S-004」の大きい値とする。

1段筋目がカットオフされている場合においても同様とする。



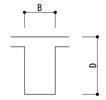


工事名称	矢板市立東小学校改築工事		
図面名称/縮尺	(校舎棟) 1階カットオフ筋伏図	A1 (S=1/150) A3 (S=1/300)	図面番号
設計年月日	令和7年2月28日		S-125
設計者			
発注者	矢板市役所		

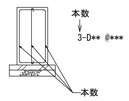
2025/03/19

特記事項　巾止め筋は、D10 @1,000以内とする。
太下線は、他断面と異なる箇所であるため、注意のこと。
梁レベルは、伏図および軸組図による。

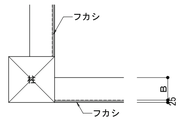
B×Dは、下図による



strの本数は、下図による



柱と梁の側面が同一の場合は、梁の主筋を柱の主筋の内側に配筋すること。
この場合、梁の幅を図面より２５mm大きく加工すること。



フラットデッキを使用する場合は、
架かり代（10mm）の側面フカシを設けること。

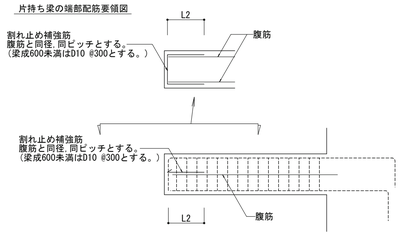


外端，内端は下記による

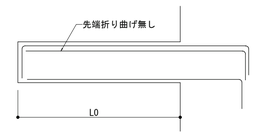
小　梁



片持ち梁の端部配筋要領図

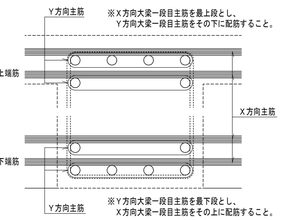


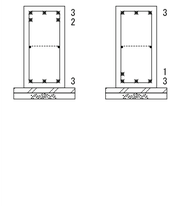
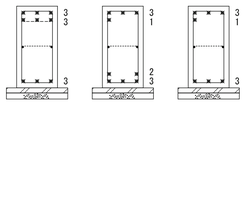
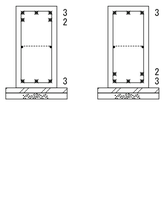
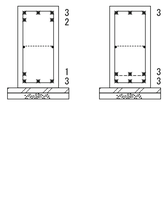
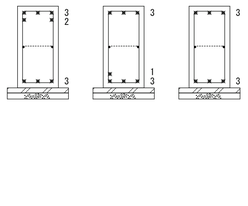
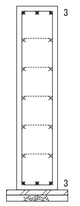
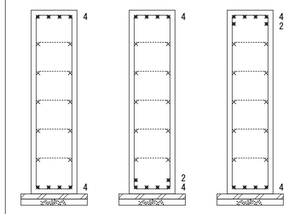
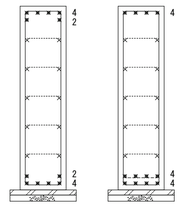
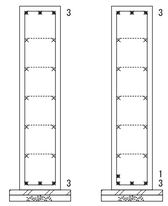
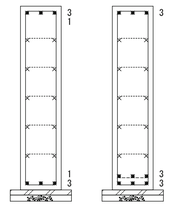
片持ち梁の元端の2段筋は先端まで延ばすこと。

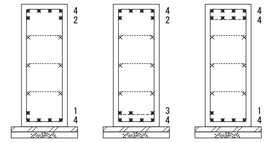
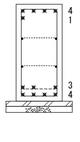
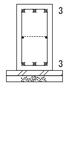
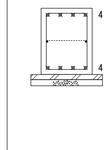
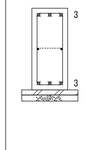
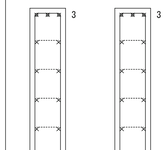
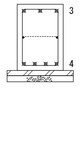
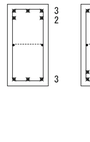
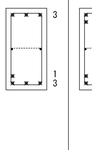
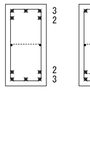
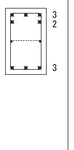
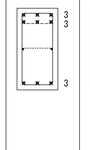
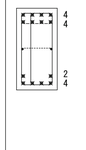
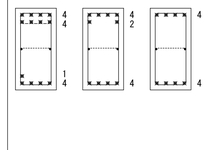
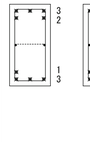
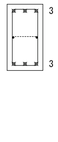
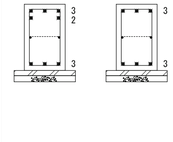
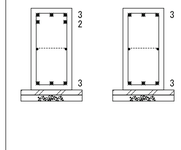


梁主筋位置関係要領図

※ＸＹ方向の主筋が同レベルとなり、主筋が干渉する場合

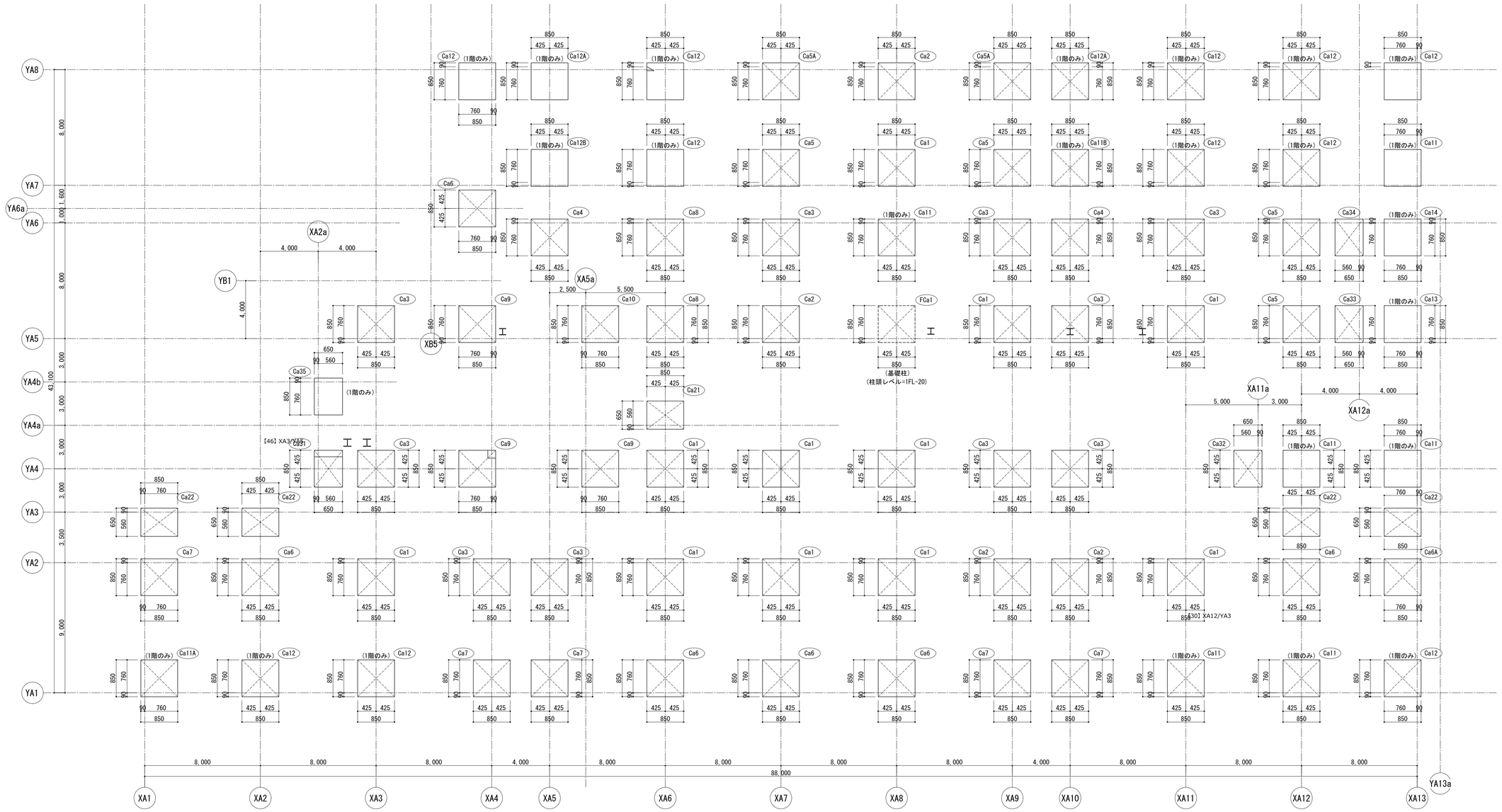


階	符　号	FBa1		FBa1A			FBa2		FBa2A		FBa3			FBa4	FBa5	FBa5A			FBa5B		FBa6		FBa6A	
	位　置	端　部	中　央	XA6,XA8端	中　央	XA7,XA9端	端　部	中　央	端　部	中　央	XA6端	中　央	XA5,XA7端	全断面	全断面	XA3端	中　央	XA4端	端　部	中　央	端　部	中　央	端　部	中　央
1階	断　面																							
	Ｂｘ Ｄ	400x800		400x800			400x800		400x800		400x800			400x650	400x1,800	450x1,800			450x1,800		400x1,800		400x1,800	
	上端筋	5-D25	3-D25	6-D25	4-D25	4-D25	5-D25	3-D25	5-D25	3-D25	5-D25	3-D25	3-D25	5-D25	3-D25	4-D25	4-D25	6-D25	6-D25	4-D25	3-D25	3-D25	4-D25	3-D25
	下端筋	3-D25	4-D25	3-D25	5-D25	3-D25	3-D25	5-D25	4-D25	6-D25	3-D25	4-D25	3-D25	3-D25	3-D25	4-D25	6-D25	4-D25	6-D25	8-D25	3-D25	4-D25	4-D25	6-D25
	str	2-D13 @200		2-D13 @200			2-D13 @200		2-D13 @200		2-D13 @200			2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @150			2-D13 @150		2-D13 @200		2-D13 @200	
	腹　筋	2-D10		2-D10			2-D10		2-D10		2-D10			2-D10	10-D13(L2定着)	10-D13(L2定着)			10-D13(L2定着)		10-D13(L2定着)			
	備考																							

階	符　号	FBa7			FBa8	FBa9	FBa9A	FBa10	FBa11		FBa12	Ba101		Ba101A		Ba102	Ba103	Ba104		Ba104A			Ba105		Ba106	FcBa1		FcBa1A	
	位　置	XA8端	中　央	XA7,XA9端	全断面	全断面	全断面	全断面	端　部	中　央	全断面	端　部	中　央	端　部	中　央	全断面	全断面	端　部	中　央	XA11端	中　央	XA12端	端　部	中　央	全断面	元　端	先　端	元　端	先　端
1階	断　面																													
	Ｂｘ Ｄ	450x1,200			450x950	350x650	500x650	350x800	350x1,800		450x650	400x800		400x800		400x650	400x800	400x800		400x800			400x800		350x650	400x650		400x800	
	上端筋	6-D25	6-D25	8-D25	5-D25	3-D19	4-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	5-D25	3-D25	5-D25	3-D25	5-D25	6-D25	8-D25	6-D25	8-D25	6-D25	4-D25	5-D25	3-D25	3-D19	5-D25	3-D25	5-D25	3-D25
	下端筋	5-D25	7-D25	5-D25	7-D25	3-D19	4-D19	3-D19	3-D19	4-D19	4-D19	3-D25	4-D25	5-D25	7-D25	3-D25	3-D25	6-D25	8-D25	5-D25	4-D25	4-D25	4-D25	5-D25	3-D19	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25
	str	2-D13 @200			2-D13 @200	2-D10 @200	2-D13 @100	2-D13 @200	2-D13 @200		2-D13 @200	2-D13 @200		2-D13 @200		2-D13 @200	2-D13 @200	3-D13 @150		2-D13 @150			2-D13 @200		2-D10 @200	2-D13 @100		2-D13 @100	
	腹　筋	6-D13			4-D10	2-D10	2-D10	2-D10	10-D13(L2定着)		2-D10	2-D10		2-D10		2-D10	2-D10	2-D10		2-D10			2-D10		2-D10	2-D10		2-D10	
	備考																												

工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称／縮尺	(校舎棟) 基礎小梁リスト　A1(S=1/30) A3(S=1/60)
図面番号	S-126
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

2025/02/10



工事名称	矢板市立東小学校改築工事		
図面名称/縮尺	(校舎棟) 柱芯寄り図	A1 (S=1/ 50, 1/150) A3 (S=1/100, 1/300)	図面番号
設計年月日	令和7年2月28日		S-127
設計者			
発注者	矢板市役所		

2025/03/10

特記事項　HOOPは、閉鎖筋とする。
「K13」はスーパーフープ「KH785」とする。
太下線は、他断面と異なる箇所であるため、注意のこと。

柱梁接合部のHOOP加工

一般階柱梁接合部　基礎梁接合部

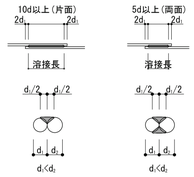


（機械式又は溶接も可。
ただし、KH785は不可）

機械式継手は
「TOSフープクリップ工法(okabe) 評定番号BCJ評定-RC0077-04」
とするが同等品による変更は可能とする。

溶接要領図

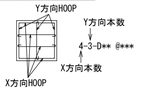
下記の何れかとする。



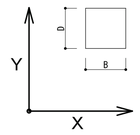
下図の括弧部分の数値は　一辺の配筋本数を示す



HOOPの本数は、下記による

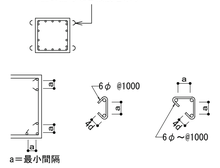


B×Dは　下図による



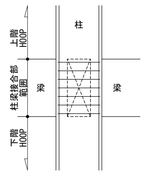
２段筋の保持は下図による。

下記の記号は２段筋を示す

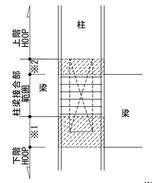


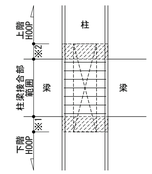
柱、梁接合部の範囲と配筋方法は、下図による
※特記がある場合は、特記を優先する。
※梁増し打ち範囲は、柱梁接合部とみなさない。

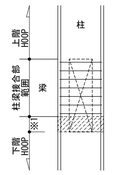
一般部



梁成、梁レベルに差がある場合

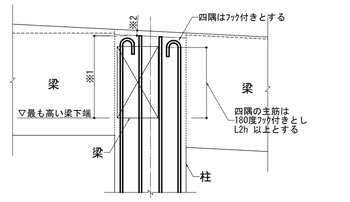




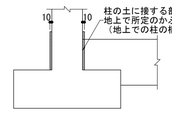


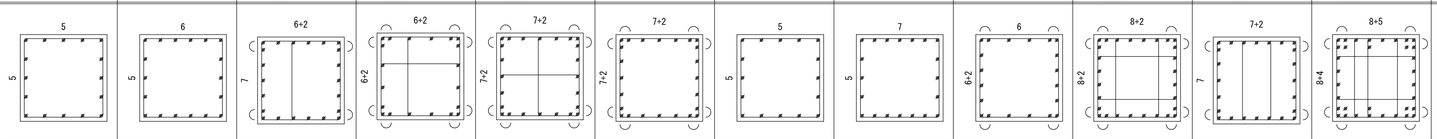
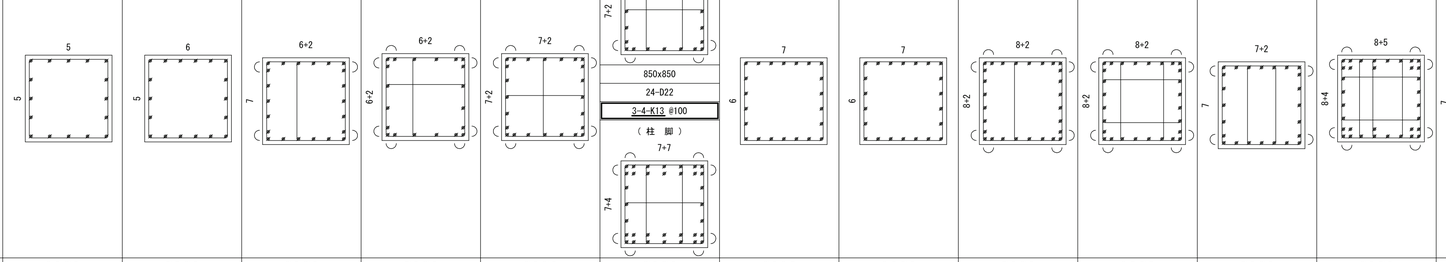
※1, ※2のHOOPはリストによる。

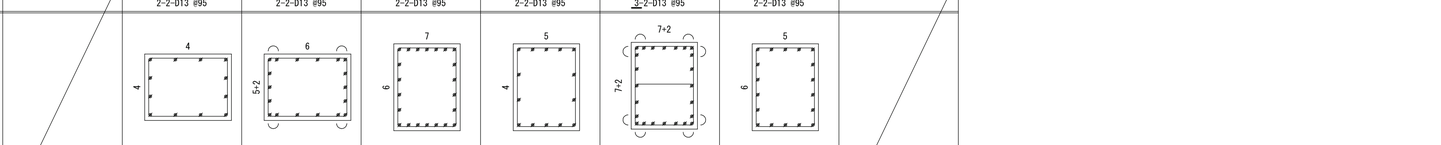
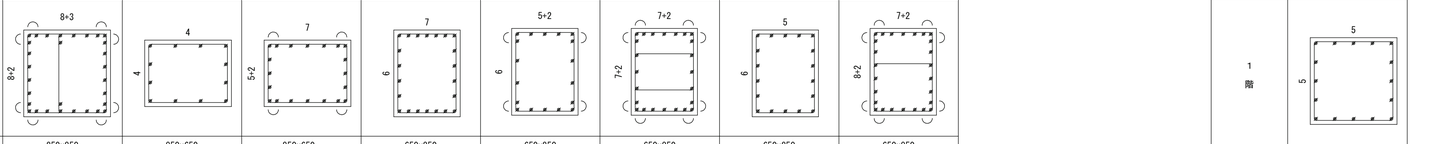
柱頭部 柱主筋の定着要領図
・定着長さは 柱に取付く梁の中で最も高い梁下端からの長さとする。
・四隅以外の主筋の定着長さは 下図の通りとし 定着長が不足する場合は
180度ﾌｯｸ付 L2h もしくは かご鉄筋とする。 『S-003 5 (2) 参照』
・※1の長さは 590mm 以上かつ ※2のかぶり厚さが 40～60mm となる長さとする。



柱の土に接する部分は下図による。



符　号	Ca1	Ca2	Ca3	Ca4	Ca5	Ca5A	Ca6	Ca6A	Ca7	Ca8	Ca9	Ca10	Ca11	Ca11A	Ca11B	Ca12	Ca12A	Ca12B	Ca13
仕口部HOOP	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @90							
※1	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-3-D13 @95	3-3-D13 @100	3-3-D13 @100	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	4-4-D13 @100	2-4-D13 @95	4-5-D13 @100							
2階																			
B x D	850x850	850x850	850x850	850x850	850x850	850x850	850x850	850x850	850x850	850x850	850x850	850x850							
主　筋	16-D22	18-D22	22-D22	20-D22	24-D22	24-D22	16-D22	20-D22	20-D22	28-D22	24-D22	34-D22							
HOOP	2-2-D13 @100	2-2-D13 @100	2-3-D13 @100	3-3-D13 @100	3-3-D13 @100	2-2-D13 @100	2-2-D13 @100	2-2-D13 @100	2-2-D13 @100	4-4-D13 @100	2-4-D13 @100	4-5-D13 @100							
※2	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-3-D13 @95	3-3-D13 @100	3-3-D13 @100	2-2-K13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-3-D13 @95	4-4-D13 @100	2-4-D13 @95	4-5-D13 @100							
仕口部HOOP	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-K13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-3-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95
※1	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-3-D13 @95	3-3-D13 @100	3-3-D13 @100	3-3-K13 @100	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-3-D13 @95	4-4-D13 @100	2-4-D13 @95	4-5-D13 @100	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-3-D13 @95	3-2-D13 @95	3-2-D13 @95	3-3-D13 @100	2-2-D13 @95
1階						（柱頭） 850x850 24-D22 3-4-K13 @100 （柱脚）													
B x D	850x850	850x850	850x850	850x850	850x850	850x850	850x850	850x850	850x850	850x850	850x850	850x850	850x850	850x850	850x850	850x850	850x850	850x850	850x850
主　筋	16-D22	18-D22	22-D22	20-D22	24-D22	34-D22	22-D22	22-D22	28-D22	28-D22	24-D22	34-D22	24-D22	22-D22	24-D22	24-D22	28-D22	28-D22	20-D22
HOOP	2-2-D13 @100	2-2-D13 @100	2-3-D13 @100	3-3-D13 @100	3-3-D13 @100	3-4-K13 @100	2-2-D13 @100	2-2-D13 @100	2-3-D13 @100	4-4-D13 @100	2-4-D13 @100	4-5-D13 @100	2-2-D13 @100	2-2-D13 @100	2-3-D13 @100	3-2-D13 @100	3-2-D13 @100	3-3-D13 @100	2-2-D13 @100
※2	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-3-D13 @95	3-3-D13 @100	3-3-D13 @100	3-4-K13 @100	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-3-D13 @95	4-4-D13 @100	2-4-D13 @95	4-5-D13 @100	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-3-D13 @95	3-2-D13 @95	3-2-D13 @95	3-3-D13 @100	2-2-D13 @95
仕口部HOOP	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-K13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95

符　号	Ca14	Ca21	Ca22	Ca31	Ca32	Ca33	Ca34	Ca35
仕口部HOOP		2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	
※1		2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	3-2-D13 @95	2-2-D13 @95	
2階								
B x D		850x650	850x650	650x850	650x850	650x850	650x850	
主　筋		12-D22	18-D22	22-D22	14-D22	24-D22	18-D22	
HOOP		2-2-D13 @100	2-2-D13 @100	2-2-D13 @100	2-2-D13 @100	3-2-D13 @100	2-2-D13 @100	
※2		2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	4-2-D13 @95	2-2-D13 @95	
仕口部HOOP	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95
※1	2-3-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	4-2-D13 @95	2-2-D13 @95	3-2-D13 @95
1階								
B x D	850x850	850x650	850x650	650x850	650x850	650x850	650x850	650x850
主　筋	30-D22	12-D22	20-D22	22-D22	18-D22	24-D22	18-D22	26-D22
HOOP	2-3-D13 @100	2-2-D13 @100	2-2-D13 @100	2-2-D13 @100	2-2-D13 @100	4-2-D13 @100	2-2-D13 @100	3-2-D13 @100
※2	2-3-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	4-2-D13 @95	2-2-D13 @95	3-2-D13 @95
仕口部HOOP	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95	2-2-D13 @95

符　号	FCa1
	（基礎柱のみ）
1階	
B x D	850x850
主　筋	16-D22
仕口部HOOP	2-2-D13 @100
備　考	全数柱頭フック付き 柱頭レベル=1FL-20

符　号	sPa318RZ
1階屋外階段根巻柱脚部	（柱頭全数180° フック） （最上段HOOPは二重）  （根巻柱Hは鉄骨詳細図による）
B x D	650x650
主　筋	16-D19
HOOP	2-2-D13 @100
鉄　骨	○-318.5φx10.3(STK400)

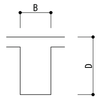
工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称／縮尺	（校舎棟）柱リスト　A1(S=1/30) A3(S=1/60)
図面番号	S-128
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

2025/03/19

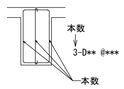
特記事項

巾止め筋は、D10 @1,000以内とする。
太下線は、他断面と異なる箇所であるため、注意のこと。
梁レベルは、伏図および軸組図による。
カットオフ筋長さは、2階は「S-004」のよる。
R階は「S-004」およびR階カットオフ筋伏図による。

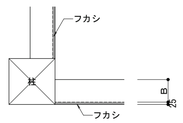
B×Dは、下図による



strの本数は、下図による



柱と梁の側面が同一の場合は、梁の主筋を柱の主筋の内側に配筋すること。
この場合、梁の幅を図面より２５mm大きく加工すること。

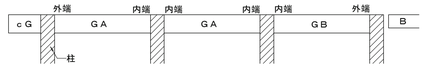


フラットデッキを使用する場合は、
架かり代（10mm）の側面フカシを設けること。

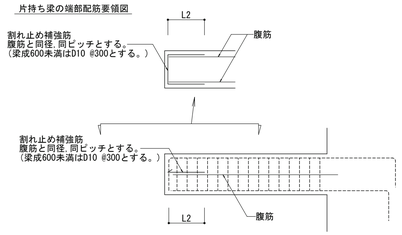


外端、内端は下記による

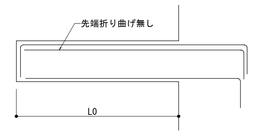
大　梁



片持ち梁の端部配筋要領図

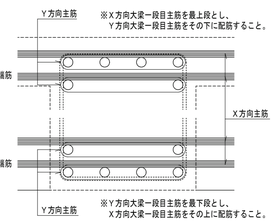


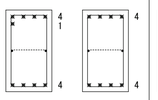
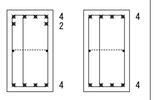
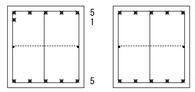
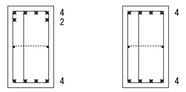
片持ち梁の元端の2段筋は先端まで延ばすこと。

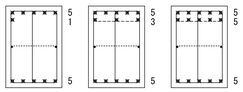
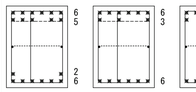
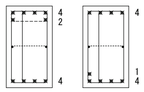
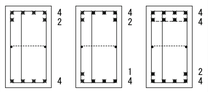
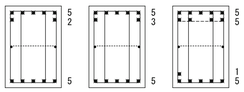
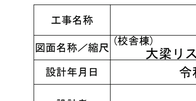


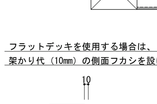
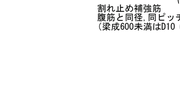
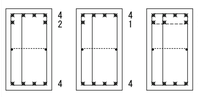
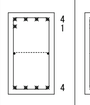
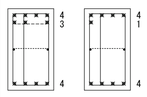
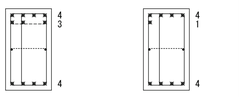
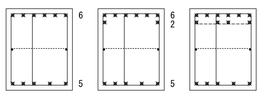
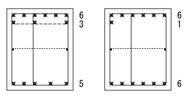
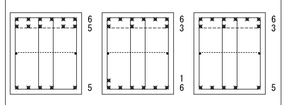
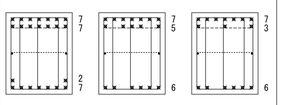
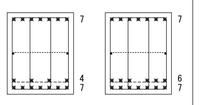
梁主筋位置関係要領図

※ＸＹ方向の主筋が同レベルとなり、主筋が干渉する場合



階	符号	Ga1		Ga1A		Ga1B		Ga2	Ga2A		Ga2B		
R階	位置	端部	中央	端部	中央	端部	中央	全断面	端部	中央			
	断面												
	B x D	450x800		450x800		750x800		600x650	450x800				
	上端筋	5-D25	4-D25	6-D25	4-D25	6-D25	5-D25	3-D25	6-D25	4-D25			
	下端筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	5-D25	5-D25	3-D25	4-D25	4-D25			
	str	2-D13 @150		3-D13 @200		3-D13 @150		2-D13 @150	3-D13 @150				
	腹筋	2-D10		2-D10		2-D10		6-D25(L2定着) 腹筋はアンカーボルトを避けた位置に適切な間隔で配筋する	2-D10				
	備考												
2階	位置	端部	中央	端部	中央	XA12端	中央	XA13端	端部	中央			
	断面												
	B x D	450x800		450x800		450x800		450x800	450x800		550x800		
	上端筋	5-D25	4-D25	6-D25	4-D25	7-D25	5-D25	5-D25	6-D25	4-D25	6-D25	5-D25	7-D25
	下端筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	5-D25	4-D25
	str	2-D13 @150		3-D13 @200		3-D13 @150			3-D13 @150		3-D13 @125		
	腹筋	2-D10		2-D10		2-D10			2-D10		2-D10		
	備考												

階	符号	Ga3			Ga3A			Ga4		Ga4A			Ga4B		
R階	位置	XA1, XA3端 XA11, XA13端	中央	XA2, XA12端	YA4端	中央	YA5端	端部	中央	XA5, XA6端	中央	XA7端	XA4, YA2端	中央	XA5a, YA4端
	断面														
	B x D	550x800			600x800			450x800		450x800			550x800		
	上端筋	6-D25	8-D25	10-D25	11-D25	9-D25	7-D25	6-D25	4-D25	6-D25	6-D25	8-D25	7-D25	8-D25	10-D25
	下端筋	5-D25	5-D25	5-D25	8-D25	6-D25	6-D25	4-D25	5-D25	4-D25	5-D25	6-D25	5-D25	5-D25	6-D25
	str	3-D13 @200			3-D13 @200			3-D13 @150		3-D13 @150			4-D13 @150		
	腹筋	2-D10			2-D10			2-D10		2-D10			2-D10		
	備考														
2階	位置	XA1, XA3端 XA11, XA13端	中央	XA2, XA12端	全断面			端部	中央	端部	中央				
	断面														
	B x D	550x800			600x900			450x800		450x800					
	上端筋	7-D25	6-D25	8-D25	6-D25			7-D25	5-D25	8-D25	6-D25				
	下端筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25			4-D25	4-D25	4-D25	4-D25				
	str	3-D13 @150			3-D13 @200			3-D13 @150		3-D13 @150					
	腹筋	2-D10			4-D10			2-D10		2-D10					
	備考														

階	符号	Ga5		Ga6	Ga6A	Ga7			Ga8			Ga9		Ga9A			Ga10		Ga10A	
R階	位置	端部	中央	全断面	全断面	XA11端	中央	XA12端	YA5端	中央	YA6端	端部	中央							
	断面																			
	B x D	450x800		450x800	600x800	650x800			550x800			450x800								
	上端筋	5-D25	4-D25	7-D25	6-D25	8-D25	9-D25	11-D25	6-D25	8-D25	10-D25	8-D25	6-D25							
	下端筋	4-D25	4-D25	4-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	6-D25	5-D25	4-D25	6-D25							
	str	2-D13 @200		2-D13 @150	2-D13 @200	3-D13 @150			4-D13 @150			4-D13 @150								
	腹筋	2-D10		2-D10	2-D10	2-D10			2-D10			2-D10								
	備考																			
2階	位置	XA6端	中央	XA7端	全断面	XA9端	中央・他端		端部	中央		YA5端	中央	YA6端	端部	中央	YA7端	中央	YA8端	YA5端	中央	YA6端	端部	中央
	断面																								
	B x D	450x800			450x800	450x800			450x800			650x800			650x800			700x800			650x800			650x800	
	上端筋	6-D25	5-D25	7-D25	5-D25	7-D25	5-D25		7-D25	5-D25		6-D25	8-D25	10-D25	9-D25	7-D25	11-D25	9-D25	9-D25	14-D25	12-D25	10-D25	7-D25	7-D25
	下端筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25		4-D25	4-D25		5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	6-D25	5-D25	7-D25	5-D25	9-D25	6-D25	6-D25	11-D25	13-D25
	str	3-D13 @200			2-D13 @200	3-D13 @150			3-D13 @200			3-D13 @150			3-D13 @150			4-D13 @150			5-D13 @150			4-D13 @150	
	腹筋	2-D10			2-D10	2-D10			2-D10			2-D10			2-D10			2-D10			2-D10			2-D10	
	備考																								

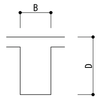
工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称／縮尺	(校舎棟) 大梁リスト(1)　A1(S=1/30) A3(S=1/60)
図面番号	S-129
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

2025/03/19

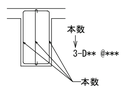
特記事項

巾止め筋は、D10 @1,000以内とする。
太下線は、他断面と異なる箇所であるため、注意のこと。
梁レベルは、伏図および軸組図による。
カットオフ筋長さは、2階は「S-004」のよる。
R階は「S-004」およびR階カットオフ筋伏図による。

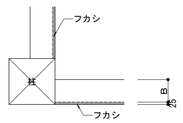
B×Dは、下図による



strの本数は、下図による



柱と梁の側面が同一の場合は、梁の主筋を柱の主筋の内側に配筋すること。
この場合、梁の幅を図面より２５mm大きく加工すること。

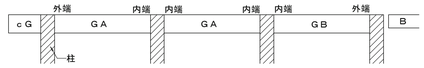


フラットデッキを使用する場合は、
架かり代（10mm）の側面フカシを設けること。

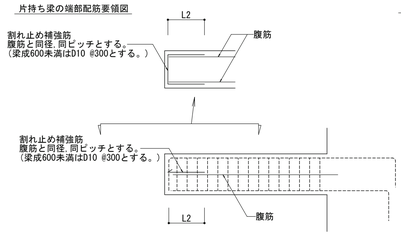


外端、内端は下記による

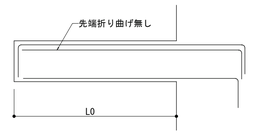
大　梁



片持ち梁の端部配筋要領図



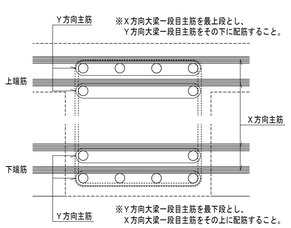
片持ち梁の元端の2段筋は先端まで延ばすこと。

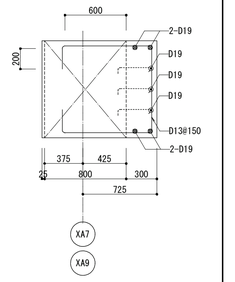


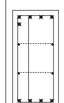
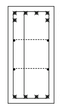
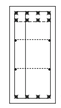
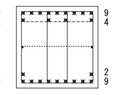
梁主筋位置関係要領図

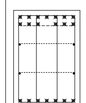
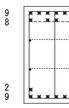
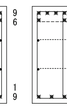
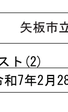
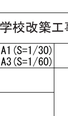
R階 Ga18,Ga18A,Ga19,Ga19A側面フカシ要領

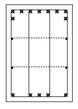
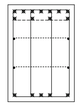
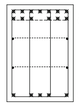
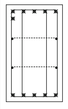
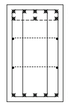
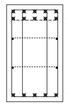
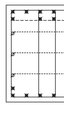
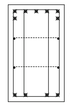
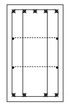
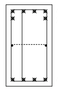
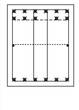
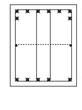
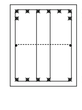
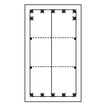
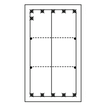
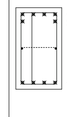
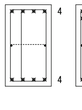
※ＸＹ方向の主筋が同レベルとなり、主筋が干渉する場合





階	符号	Ga11		Ga11A	Ga12			Ga13			Ga14		
R階	位置	端部	中央		YA1端	中央	YA2端	YA2端	中央	YA4端	YA2端	中央	YA4端
	断面												
	Ｂｘ Ｄ	350x800			450x800			450x950			800x800		
	上端筋	3-D25	3-D25		7-D25	5-D25	7-D25	5-D25	6-D25	8-D25	9-D25	11-D25	13-D25
	下端筋	3-D25	3-D25		4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	7-D25	9-D25	11-D25
	str	2-D13 @200			3-D13 @150			3-D13 @200			4-D13 @150		
	腹筋	8-D22(L2定着)			2-D10			4-D10			2-D10		
	備考												
2階	位置	端部	中央	YA1端・中央	YA2端	YA1,YA6a端	中央	YA2,YA8端	端部	中央	YA2端	中央	YA4端
	断面												
	Ｂｘ Ｄ	450x950		650x950		550x950			450x950		550x800		
	上端筋	8-D25	6-D25	9-D25	11-D25	9-D25	7-D25	8-D25	6-D25	4-D25	5-D25	6-D25	8-D25
	下端筋	4-D25	5-D25	6-D25	6-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25
	str	3-D13 @150		4-D13 @150		3-D13 @150			3-D13 @150		3-D13 @200		
	腹筋	4-D10		4-D10		4-D10			4-D10		2-D10		
	備考												

階	符号	Ga15			Ga15A			Ga15B		Ga15C		
R階	位置	YA4端	中央	YA5端	YA4端	中央	YA5端	端部	中央			
	断面											
	Ｂｘ Ｄ	650x950			800x950			800x950				
	上端筋	13-D25	11-D25	9-D25	17-D25	15-D25	13-D25	14-D25	12-D25			
	下端筋	7-D25	8-D25	7-D25	11-D25	10-D25	7-D25	7-D25	9-D25			
	str	4-D13 @150			4-D13 @125			3-D13 @150				
	腹筋	4-D10			4-D10			4-D10				
	備考											
2階	位置	端部	中央		端部	中央		端部	中央	YA4端	中央	YA5端
	断面											
	Ｂｘ Ｄ	650x950			650x950			650x950		650x950		
	上端筋	12-D25	10-D25		9-D25	7-D25		11-D25	9-D25	14-D25	12-D25	12-D25
	下端筋	8-D25	6-D25		5-D25	5-D25		6-D25	6-D25	11-D25	9-D25	7-D25
	str	4-D13 @125			3-D13 @150			4-D13 @125		4-D13 @125		
	腹筋	4-D10			4-D10			4-D10		4-D10		
	備考											

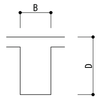
階	符号	Ga16			Ga16A			Ga16B	Ga17		Ga18		Ga18A		Ga19		Ga19A		
R階	位置	YA2,Y6A端	中央	YA4,YA5端	YA2,YA6端	中央	YA4,YA5端		端部	中央	YA4端	中央・YA5端	YA5端	中央・YA6端	端部	中央	YA5端	中央	YA6端
	断面																		
	Ｂｘ Ｄ	650x950			550x950				800x1,100		800x950		800x950		800x950		800x950		
	上端筋	9-D25	11-D25	13-D25	6-D25	8-D25	10-D25		17-D25	15-D25	11-D25	9-D25	9-D25	7-D25	12-D25	10-D25	10-D25	8-D25	6-D25
	下端筋	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25		14-D25	13-D25	6-D25	6-D25	6-D25	6-D25	6-D25	7-D25	6-D25	6-D25	6-D25
	str	4-D13 @150			4-D13 @150				5-D13 @125		4-D13 @150		4-D13 @150		4-D13 @150		4-D13 @150		
	腹筋	4-D10			4-D10				4-D10		6-D25(L2定着)		6-D25(L2定着)		6-D16(L2定着)		6-D16(L2定着)		
	備考																		
2階	位置	端部	中央		端部	中央		YA5端	中央	YA6端	YA4端	中央	YA5端	YA4端	中央	YA5端	YA5端	中央	YA6端	端部	中央
	断面																				
	Ｂｘ Ｄ	550x950			450x800			650x800	800x950		550x950		450x800		550x950		450x800		
	上端筋	7-D25	5-D25		6-D25	4-D25		11-D25	8-D25	8-D25	11-D25	11-D25	13-D25	10-D25	8-D25	6-D25	6-D25	4-D25	5-D25	8-D25	6-D25	4-D25
	下端筋	4-D25	4-D25		4-D25	4-D25		6-D25	5-D25	5-D25	6-D25	6-D25	6-D25	5-D25	5-D25	5-D25	4-D25	4-D25	4-D25	5-D25	4-D25	4-D25
	str	4-D13 @200			3-D13 @150			4-D13 @150	4-D13 @125		3-D13 @150		3-D13 @150		3-D13 @150		3-D13 @150			2-D13 @150		
	腹筋	4-D10			2-D10			2-D10	4-D10		4-D10		2-D10		4-D10		2-D10					
	備考																					

工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称／縮尺	(校舎棟) 大梁リスト(2)　A1(S=1/30) A3(S=1/60)
図面番号	S-130
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

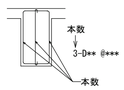
2025/07/11

特記事項
巾止め筋は、D10 @1,000以内とする。
太下線は、他断面と異なる箇所であるため、注意のこと。
梁レベルは、伏図および軸組図による。
カットオフ筋長さは、2階は「S-004」のよる。
R階は「S-004」およびR階カットオフ筋伏図による。

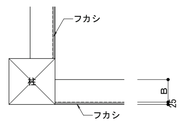
B×Dは、下図による



strの本数は、下図による



柱と梁の側面が同一の場合は、梁の主筋を柱の主筋の内側に配筋すること。
この場合、梁の幅を図面より２５㎜大きく加工すること。

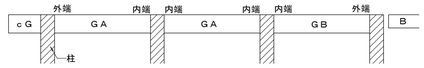


フラットデッキを使用する場合は、
架かり代（10㎜）の側面フカシを設けること。

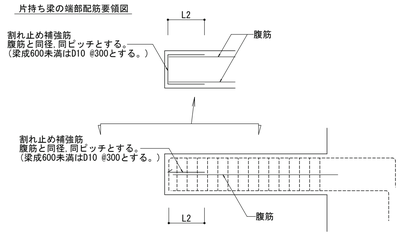


外端、内端は下記による

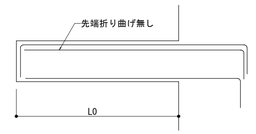
大　梁



片持ち梁の端部配筋要領図

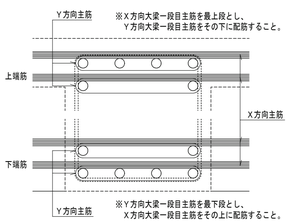


片持ち梁の元端の2段筋は先端まで延ばすこと。



梁主筋位置関係要領図

※ＸＹ方向の主筋が同レベルとなり、主筋が干渉する場合



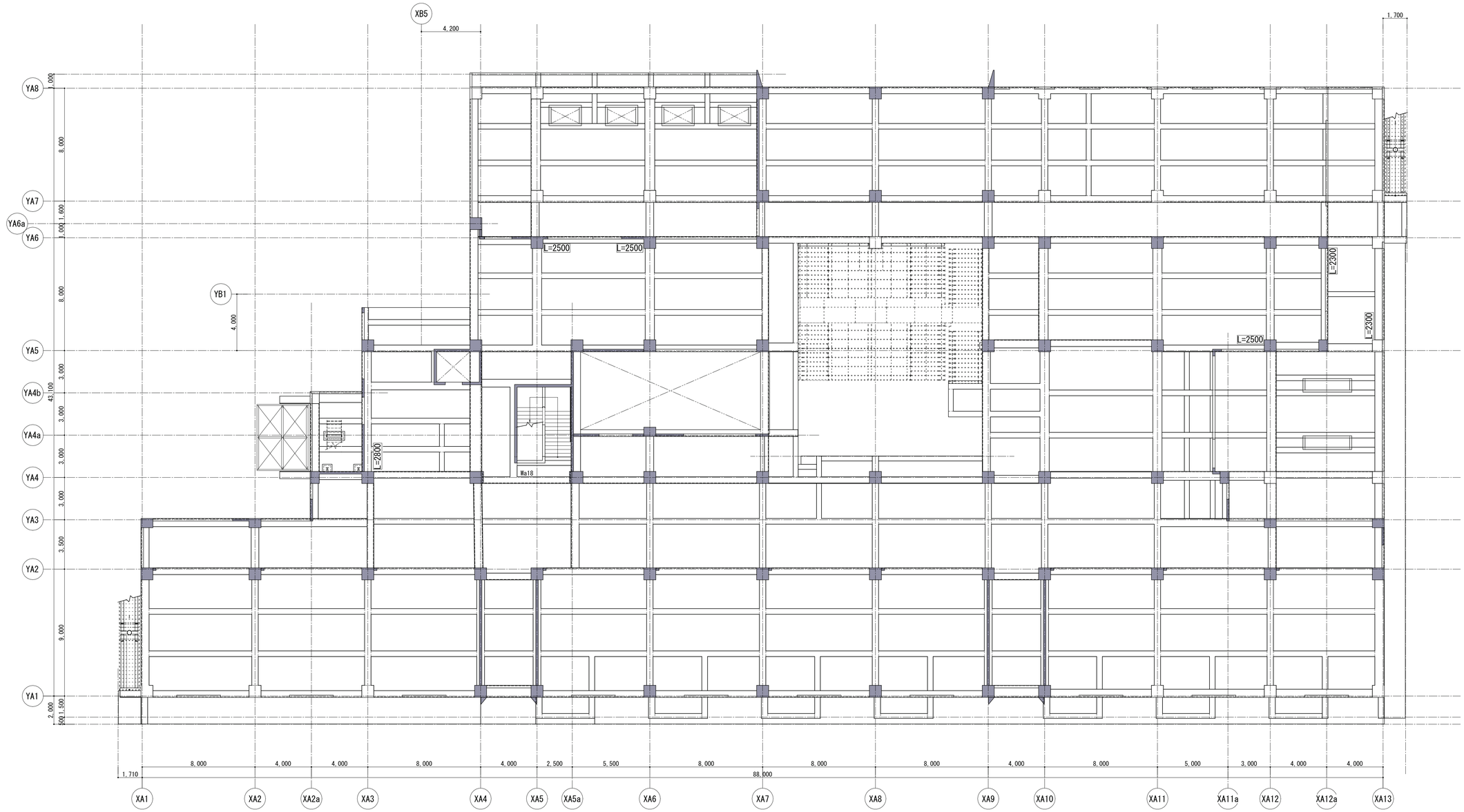
階	符　号	Ga20		Ga21		Ga21A			Ga22	Ga23	Ga23A	Ga23B	Ga23C	Ga24	Ga24A	Ga24B	Ga25	Ga26	Ga27	Ga27A	Ga28	Ga28A	Ga29,Ga29A	Ga30	Ga30A	Ga31
	位　置	端　部	中　央	端　部	中　央	YA7端	中　央	YA8端	全断面	全断面	全断面	全断面		全断面	全断面		全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面			
R階	断　面	5 4 / 5	5 2 / 2 5	4 3 / 4	4 1 / 4	7 6 / 7	7 4 / 7	7 2 / 7	7 7 / 2 7	4 / 4	4 1 / 4	4 1 / 4		5 1 / 4	4 / 4		5 2 / 4	5 1 / 1 5	5 2 / 5	6 5 / 5	4 / 3	5 / 4	4 / 4			
	Ｂｘ Ｄ	550x950		550x800		650x800			650x850	450x650	450x650	450x800		550x650	450x1150		650x800	550x650	550x650	600x800	450x650	550x600	450x650			
	上端筋	9-D25	7-D25	7-D25	5-D25	13-D25	11-D25	9-D25	14-D25	4-D25	5-D25	5-D25		6-D25	4-D25		7-D25	6-D25	7-D25	11-D25	4-D25	5-D25	4-D25			
	下端筋	5-D25	7-D25	4-D25	4-D25	7-D25	7-D25	7-D25	9-D25	4-D25	4-D25	4-D25		4-D25	4-D25		4-D25	6-D25	5-D25	5-D25	3-D25	4-D25	4-D25			
	str	3-D13 @200		3-D13 @150		4-D13 @150			3-D13 @100	3-D13 @100	3-D13 @100	2-D13 @100		3-D13 @100	2-D13 @150		4-D13 @150	3-D13 @100	3-D13 @100	3-D13 @150	2-D13 @100	2-D13 @100	2-D13 @100			
	腹　筋	4-D10		2-D10		2-D10			2-D10	2-D10	2-D10	2-D10		2-D10	6-D10		2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10			
	備考																									
2階	位　置	端　部	中　央	YA7端・中央	YA8端	端　部	中　央		全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面		全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
	断　面	4 1 / 4	4 / 4	6 4 / 6	6 6 / 6	4 4 / 4	4 2 / 1 4		4 1 / 4	5 / 5	5 2 / 5	5 2 / 5	5 1 / 5	5 1 / 5	6 3 / 1 6	6 1 / 6	6 3 / 6	5 / 5	4 1 / 4		4 1 / 4	5 3 / 5	4 / 1 (2) 4	7 4 / 6	6 2 / 5	6 / 5
	Ｂｘ Ｄ	450x800		650x950		450x950			450x650	550x650	800x650	550x800	550x650	550x650	600x650	600x650	650x800	550x650	450x650		450x800	550x800	450x650	650x950	650x950	750x650
	上端筋	5-D25	4-D25	10-D25	12-D25	8-D25	6-D25		5-D25	5-D25	7-D25	7-D25	6-D25	6-D25	9-D25	7-D25	9-D25	5-D25	5-D25		5-D25	8-D25	5-D25 (6-D25)	11-D25	8-D25	6-D25
	下端筋	4-D25	4-D25	6-D25	6-D25	4-D25	5-D25		4-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	7-D25	6-D25	6-D25	5-D25	4-D25		4-D25	5-D25	4-D25	6-D25	5-D25	5-D25
	str	2-D13 @150		5-D13 @150		3-D13 @100			3-D13 @100	3-D13 @100	3-D13 @100	5-D13 @100	3-D13 @100	5-D13 @100	5-D13 @100	5-D13 @100	5-D13 @100	3-D13 @100	3-D13 @100		3-D13 @100	4-D13 @100	3-D13 @100	4-D13 @100	4-D13 @100	4-D13 @100
	腹　筋	2-D10		4-D10		4-D10			2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10		2-D10	2-D10	2-D10	4-D10	4-D10	2-D10
	備考																									

階	符　号	cGa31		cGa32		cGa33
	位　置	元　端	先　端	元　端	先　端	全断面
R階	断　面	4 4 / 4	4 / 4	5 4 / 4	5 / 4	5 / 5
	Ｂｘ Ｄ	450x950		550x950		800x950
	上端筋	8-D25	4-D25	9-D25	5-D25	5-D25
	下端筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	5-D25
	str	2-D13 @100		2-D13 @100		3-D13 @100
	腹　筋	4-D10		4-D10		4-D10
	備考					

階	符　号	cGa21		cGa22		cGa22A		cGa23		cGa24		cGa24A		cGa25		cGa26
	位　置	元　端	先　端	元　端	先　端	元　端	先　端	元　端	先　端	元　端	先　端	元　端	先　端	元　端	先　端	全断面
2階	断　面	4 4 / 4	4 / 4	4 2 / 3	4 / 3	3 1 / 3	3 / 3	3 1 / 3	3 / 3	6 5 / 2 6	6 / 5	4 3 / 4	4 / 4	3 3 / 3	3 / 3	4 / 3
	Ｂｘ Ｄ	450x950		450x650		400x800		350x650		600x800		450x800		450x800		500x500
	上端筋	8-D25	4-D25	6-D25	4-D25	4-D25	3-D25	4-D25	3-D25	11-D25	6-D25	7-D25	4-D25	6-D25	3-D25	4-D25
	下端筋	4-D25	4-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	8-D25	5-D25	4-D25	4-D25	3-D25	3-D25	3-D25
	str	2-D13 @100		2-D13 @100		2-D13 @100		2-D13 @100		2-D13 @100		2-D13 @100		2-D13 @100		2-D13 @150
	腹　筋	4-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		
	備考															

工事名称	矢板市立東小学校改築工事	
図面名称／縮尺	(校舎棟) 大梁リスト(3)	A1(S=1/30) A3(S=1/60)
設計年月日	令和7年2月28日	図面番号 S-131
設計者		
発注者	矢板市役所	

2025/07/11

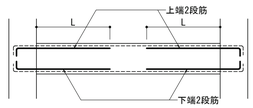


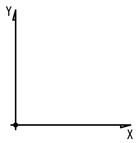
カットオフ長さ

特記なき限り、カットオフ長さは「S-004」による。

柱端からのカットオフ長さLは、図示寸法と「S-004」の大きい値とする。

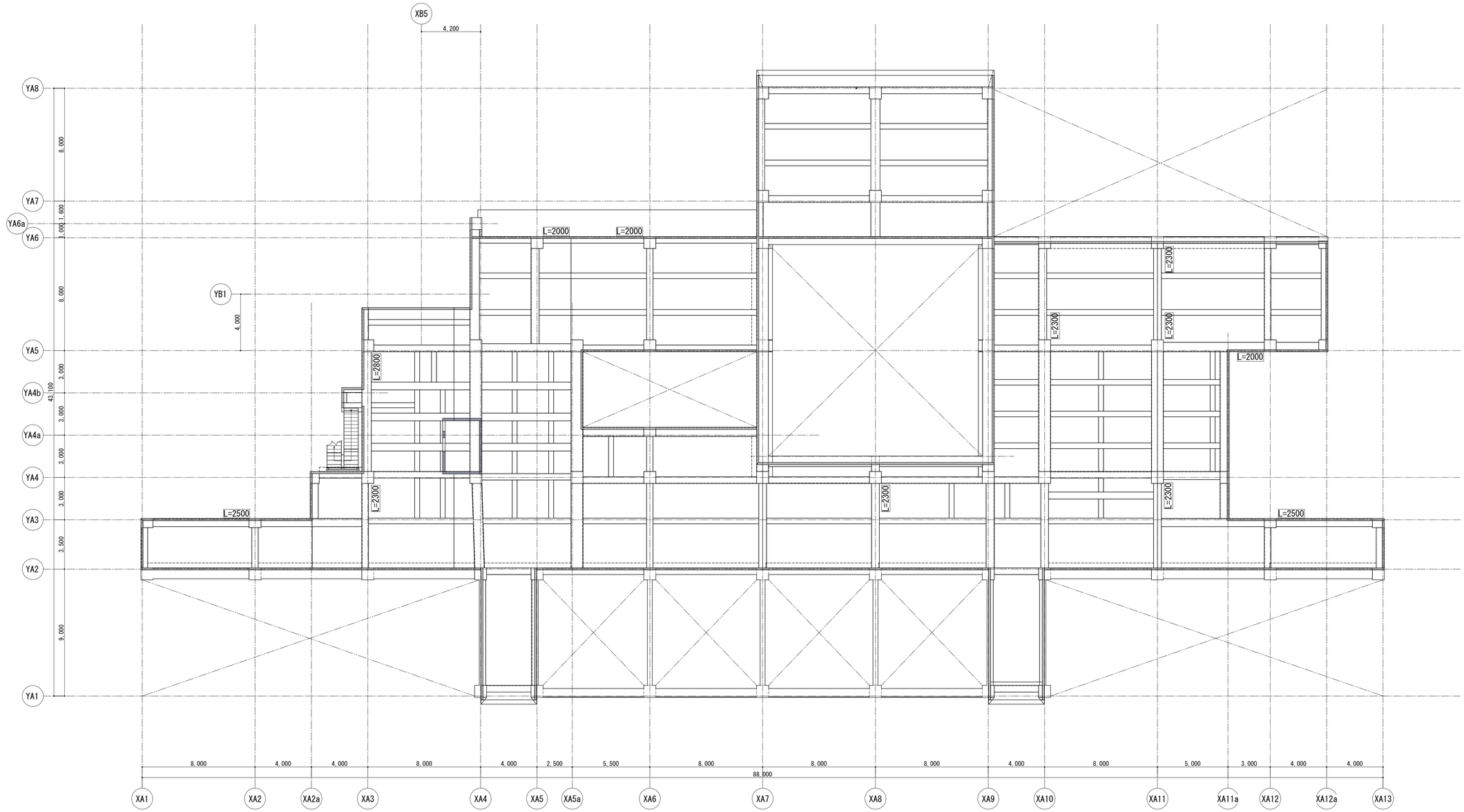
1段筋目がカットオフされている場合においても同様とする。





工事名称	矢板市立東小学校改築工事		
図面名称/縮尺	(校舎棟) 2階カットオフ筋伏図	A1(S=1/150) A3(S=1/300)	図面番号
設計年月日	令和7年2月28日		S-132
設計者			
発注者	矢板市役所		

2025/07/11

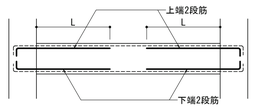


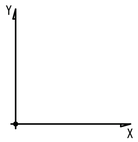
カットオフ長さ

特記なき限り、カットオフ長さは「S-004」による。

柱端からのカットオフ長さLは、図示寸法と「S-004」の大きい値とする。

1段筋目がカットオフされている場合においても同様とする。



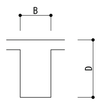


工事名称	矢板市立東小学校改築工事		
図面名称/縮尺	(校舎棟) R階カットオフ筋伏図	A1(S=1/150) A3(S=1/300)	図面番号
設計年月日	令和7年2月28日		S-133
設計者			
発注者	矢板市役所		

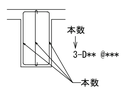
2025/01/20

特記事項　巾止め筋は、D10 @1,000以内とする。
太下線は、他断面と異なる箇所であるため、注意のこと。
梁レベルは、伏図および軸組図による。

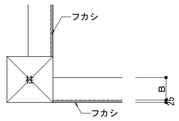
B×Dは、下図による



strの本数は、下図による



柱と梁の側面が同一の場合は、梁の主筋を柱の主筋の内側に配筋すること。
この場合、梁の幅を図面より２５㎜大きく加工すること。



フラットデッキを使用する場合は、
架かり代（10mm）の側面フカシを設けること。

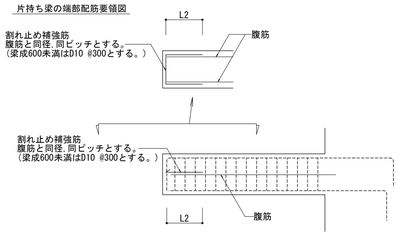


外端、内端は下記による

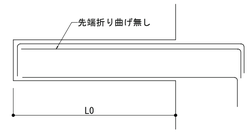
小　梁



片持ち梁の端部配筋要領図

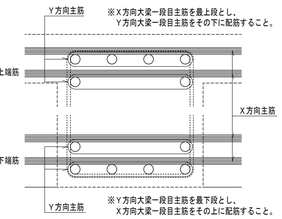


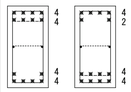
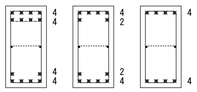
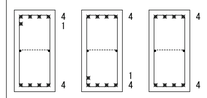
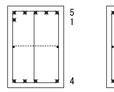
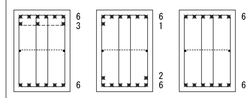
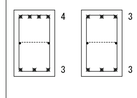
片持ち梁の元端の2段筋は先端まで延ばすこと。

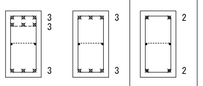


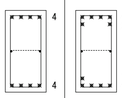
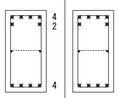
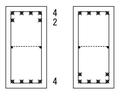
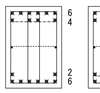
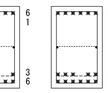
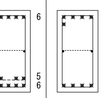
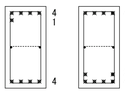
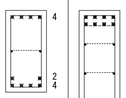
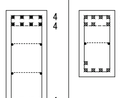
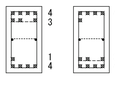
梁主筋位置関係要領図

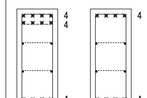
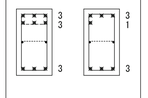
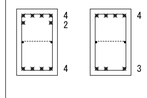
※ＸＹ方向の主筋が同レベルとなり、主筋が干渉する場合



階	符　号	Ba31	Ba31A			Ba31B			Ba31C	Ba32			Ba32A		Ba33		Ba34		Ba35			Ba36			Ba37	Ba38	Ba39	Ba39A
	位　置	全断面	XA4端	中　央	他　端	XA4端	中　央	XA5a端	全断面	XA6,XA8端	中　央	他　端	XA8端	中央・XA7,XA9端	端　部	中　央	端　部	中　央	XA4端	中　央	他　端	X11端	中　央	他　端	全断面	全断面	全断面	全断面
R階	断　面																											
	Ｂｘ Ｄ	400x800	400x800			400x800			400x800	400x800			750x800		400x800		500x800		550x800			400x650			400x650	350x500	350x650	350x650
	上端筋	4-D25	8-D25	6-D25	6-D25	8-D25	6-D25	4-D25	6-D25	5-D25	4-D25	4-D25	6-D25	5-D25	4-D25	4-D25	6-D25	5-D25	9-D25	7-D25	6-D25	4-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D19	6-D19	3-D19
	下端筋	4-D25	8-D25	8-D25	6-D25	8-D25	6-D25	4-D25	6-D25	4-D25	5-D25	4-D25	4-D25	4-D25	5-D25	7-D25	8-D25	10-D25	6-D25	8-D25	6-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D19	3-D19	3-D19
	str	2-D13 @200	2-D13 @150			2-D13 @150			2-D13 @200	2-D13 @200			3-D13 @200		2-D13 @200		2-D13 @200		4-D13 @150			2-D13 @200			2-D13 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200
	腹　筋	2-D10	2-D10			2-D10			2-D10	2-D10			2-D10		2-D10		2-D10		2-D10			2-D10			2-D10		2-D10	2-D10
	備考																											

階	符　号	cBa31		cBa31A
	位　置	元　端	先　端	全断面
R階	断　面			
	Ｂｘ Ｄ	350x650		350x650
	上端筋	6-D19	3-D19	2-D25
	下端筋	3-D19	3-D19	2-D25
	str	2-D10 @100		2-D10 @100
	腹　筋	2-D10		
	備考			

階	符　号	Ba21		Ba21A		Ba21B	Ba22		Ba22A			Ba22B		Ba23	Ba23A	Ba24			Ba24A		Ba25			Ba26		Ba26A		Ba27	Ba28	
	位　置	端　部	中　央	端　部	中　央	全断面	端　部	中　央	XA6,XA12端	中　央	他　端	端　部	中　央	全断面	全断面	XA10,XA13端	中　央	XA11,XA12端	端　部	中　央	XA4端	中　央	他　端	端　部	中　央	端　部	中　央	全断面	端　部	中　央
2階	断　面																														
	Ｂｘ Ｄ	400x650		400x650		400x650	400x650		400x800			400x800		400x650	400x650	400x800			400x800		550x800			500x800		400x800		400x950	350x650	
	上端筋	6-D25	4-D25	6-D25	4-D25	6-D25	6-D25	4-D25	7-D25	4-D25	4-D25	6-D25	4-D25	5-D25	4-D25	4-D25	4-D25	6-D25	6-D25	4-D25	10-D25	8-D25	7-D25	7-D25	6-D25	5-D25	4-D25	8-D25	7-D19	5-D19
	下端筋	4-D25	4-D25	4-D25	5-D25	4-D25	4-D25	6-D25	4-D25	6-D25	4-D25	5-D25	7-D25	3-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	6-D25	8-D25	9-D25	7-D25	9-D25	11-D25	4-D25	6-D25	4-D25	5-D19	7-D19
	str	2-D13 @200		2-D13 @200		2-D13 @200	2-D13 @200		2-D13 @200			2-D13 @200		2-D13 @200	2-D13 @200	2-D13 @200			2-D13 @200		4-D13 @150			2-D13 @200		2-D13 @200		2-D13 @200	2-D10 @200	
	腹　筋	2-D10		2-D10		2-D10	2-D10		2-D10			2-D10		2-D10	2-D10	2-D10			2-D10		2-D10			2-D10		2-D10		4-D10	2-D10	
	備考																													

階	符　号	Ba28A			Ba28B	Ba28C	Ba29	Ba29A	WBa18	cBa21		cBa22		cBa23	
	位　置	YA4a端	中　央	YA5端	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	元　端	先　端	元　端	先　端	元　端	先　端
2階	断　面															
	Ｂｘ Ｄ	350x650			350x650	350x650	350x500	350x500	180x500	400x950		350x650		400x650	
	上端筋	3-D19	5-D19	7-D19	6-D19	6-D25	3-D19	3-D19	2-D13	8-D25	4-D25	6-D25	4-D25	6-D25	4-D25
	下端筋	3-D19	3-D19	5-D19	3-D19	3-D25	3-D19	6-D19	2-D13	4-D25	4-D25	3-D25	3-D25	4-D25	3-D25
	str	2-D10 @200			2-D10 @200	2-D13 @100	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D10 @200	2-D13 @100		2-D13 @100		2-D13 @100	
	腹　筋	2-D10			2-D10	2-D10			2-D10	4-D10		2-D10		2-D10	
	備考														

工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称／縮尺	(校舎棟) 小梁リスト　A1 (S=1/30) A3 (S=1/60)
図面番号	S-134
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

2025/07/11

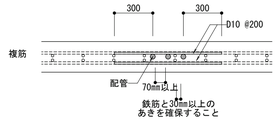
スラブリスト

特記事項　主筋方向・配力筋方向は伏図を参照　すること。
　　フラットデッキの使用箇所については監理者と協議の上決定すること。

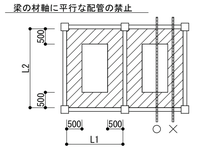
記号	版厚	位置	主筋方向	配力筋方向	スラブ種別				備考
					一般スラブ	片持スラブ	耐圧スラブ	片持耐圧スラブ	
Sa1	150	上端筋	D10,D13交互 @200	D10,D13交互 @200	○				
		下端筋	D10,D13交互 @200	D10,D13交互 @200					
Sa2	150	上端筋	D13 @200	D13 @200	○				
		下端筋	D10,D13交互 @200	D10,D13交互 @200					
Sa3	180	上端筋	D13 @200	D13 @200	○				
		下端筋	D13 @200	D13 @200					
Sa3A	180	上端筋	D13 @200	D13 @200	○				
		下端筋	D10,D13交互 @200	D10,D13交互 @200					
Sa4	250	上端筋	D13 @200	D13 @200	○				
		下端筋	D13 @200	D13 @200					
Sa5	250	上端筋	D13 @200	D13 @200	○				
		下端筋	D13 @200	D13 @200					
Sa6	210	上端筋	D13 @100	D10,D13交互 @200	○				
		下端筋	D13 @200	D10,D13交互 @200					
Sa7	220	上端筋	D13 @100	D10,D13交互 @200	○				
		下端筋	D10,D13交互 @200	D10,D13交互 @200					
Sa7A	220	上端筋	D10,D13交互 @200	D13 @100	○				
		下端筋	D10,D13交互 @200	D10,D13交互 @200					
Sa7B	220	上端筋	D13 @100	D13 @100	○				
		下端筋	D10,D13交互 @200	D10,D13交互 @200					
Sa8	200	上端筋	D13 @100	D10,D13交互 @200	○				
		下端筋	D10,D13交互 @200	D10,D13交互 @200					
Sa8A	200	上端筋	D13,D16交互 @100	D10,D13交互 @200	○				
		下端筋	D13 @200	D10,D13交互 @200					
Sa9	200	上端筋	D13 @100	D13 @200	○	○			
		下端筋	D13 @200	D13 @200					
Sa11	180	上端筋	D10,D13交互 @200	D10,D13交互 @200	○				
		下端筋	D10,D13交互 @200	D10,D13交互 @200					
Sa12	180	上端筋	D13 @200	D13 @200	○				
		下端筋	D10,D13交互 @200	D10,D13交互 @200					
Sa13	180	上端筋	D13 @200	D13 @200	○				
		下端筋	D13 @200	D13 @200					
Sa14	250	上端筋	D13 @200	D13 @200	○				
		下端筋	D13 @200	D13 @200					
Sa15	180	上端筋	D13 @100	D10,D13交互 @200	○				
		下端筋	D10,D13交互 @200	D10,D13交互 @200					
FSa1	250	上端筋	D13 @150	D13 @150	○				幅止め筋を適宜配筋のこと
		下端筋	D13 @150	D13 @150					
cSa11	180	上端筋	D13 @200	D10,D13交互 @200		○			
		下端筋	D13 @200	D10,D13交互 @200					
cSa12	180	上端筋	D13 @100	D10,D13交互 @200		○			
		下端筋	D13 @200	D10,D13交互 @200					
cSa21	220	上端筋	D13 @100	D13 @200		○			
		下端筋	D13 @200	D13 @200					
cSa21A	220	上端筋	D13 @100	D13 @100		○			
		下端筋	D13 @200	D13 @200					
cSa21B	220	上端筋	D10,D13交互 @200	D13 @100		○			
		下端筋	D10,D13交互 @200	D13 @200					
cSa22	200	上端筋	D13 @100	D13 @100		○			
		下端筋	D13 @200	D13 @200					
cSa22A	200	上端筋	D13,D16交互 @100	D13 @100		○			
		下端筋	D13 @200	D13 @200					
cSa23	150	上端筋	D13 @200	D10,D13交互 @200		○			
		下端筋	D13 @200	D10,D13交互 @200					
cSa24	180～150	上端筋	D13 @100	D10,D13交互 @200		○			
		下端筋	D13 @200	D10,D13交互 @200					
cSa31	150	上端筋	D13 @100	D10,D13交互 @200		○			
		下端筋	D13 @200	D10,D13交互 @200					
cSa32		上端筋							
		下端筋							
cSa33	210	上端筋	D13 @100	D13 @200		○			
		下端筋	D13 @200	D10,D13交互 @200					
cSa34	180	上端筋	D13 @100	D10,D13交互 @200		○			
		下端筋	D13 @200	D10,D13交互 @200					
		上端筋							
		下端筋							
		上端筋							
		下端筋							
		上端筋							
		下端筋							
		上端筋							
		下端筋							
		上端筋							
		下端筋							

共通事項

・屋根スラブ及び防水を行うスラブには、原則として配管は行わない。
・配管は原則として交差は行わない。
・配管は、CD28(31φ)までとする。
・床版内の配管のアキは70mm以上とし、配管が２本以上は、下記の補強を行う事。
・配管は、上端筋の下に配筋すること。

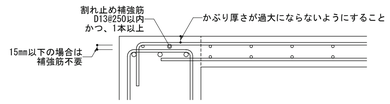


梁の材軸に平行な配管の禁止



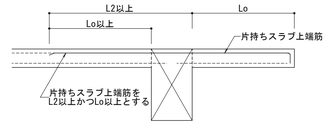
L1≦L2
梁に平行に配管する部分の禁止区域
ただし、L1≦2.0m以下の場合には適用しない。

梁内におけるスラブ筋に追加する割れ止め補強筋は下記による。

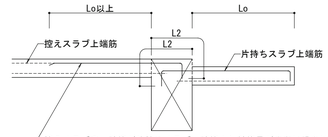


片持ちスラブ上端筋は下記による。

・スラブに段差がない場合

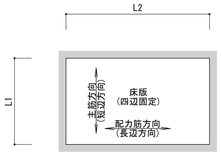


・スラブに段差がある場合



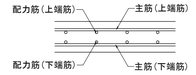
控えスラブの上端筋が片持ちスラブ上端筋より鉄筋量が少ない場合は
片持ちスラブ上端筋と同等以上の鉄筋量となるように補強筋を
Lo以上となる範囲に追加する事。
（例）片持ちスラブ上端筋D13@100、控えスラブ上端筋D13@200
の場合は、補強筋D13@200を追加する。

床版の鉄筋方向



L1≦L2とする。
但し、伏図に方向指示がある場合は、伏図を優先すること。

床版の鉄筋方向

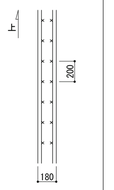
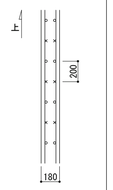
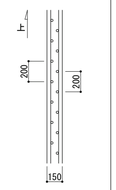


工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称／縮尺	(校舎棟) スラブリスト　A1(S=1/30) A3(S=1/60)
図面番号	S-135
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

2025/07/11

壁リスト

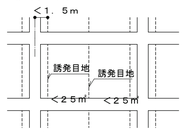
特記事項　巾止め筋は、縦横共D10　@1,000以内とする。

符号		KWa18	Wa18	Wa15	
断面					
壁厚		180	180	150	
縦筋		D13 @100ダブル	D10,D13交互 @200ダブル	D10 @200チドリダブル	
横筋		D13 @200ダブル	D10,D13交互 @200ダブル	D10 @200チドリダブル	
開口補強筋	縦	2-D13	2-D13	2-D13	
	横	2-D13	2-D13	2-D13	
	斜	2-D13	2-D13	2-D13	

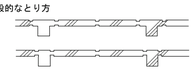
誘発目地は下記による。

但し架構面より突出した壁やバルコニーは
３ｍ以内に誘発目地を設けること。

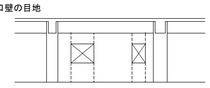
・一般的なとり方



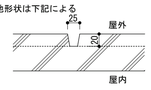
・一般的なとり方



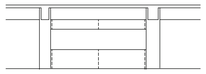
・開口壁の目地



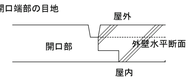
・誘発目地形状は下記による



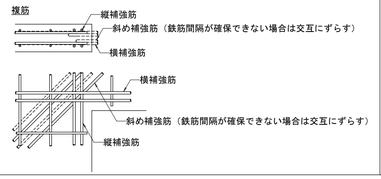
・垂れ壁、腰壁の目地（３m以内毎）



・開口端部の目地

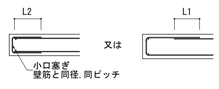


開口補強筋は下記のように納める。

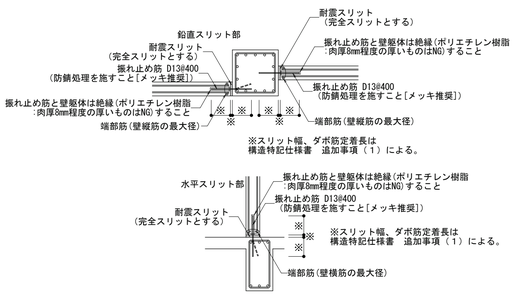


端部小口塞ぎの定着

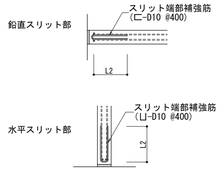
E甲*,KE甲*の端部(開口含む)小口塞ぎの定着は、下記による。



耐震スリットは下図による。

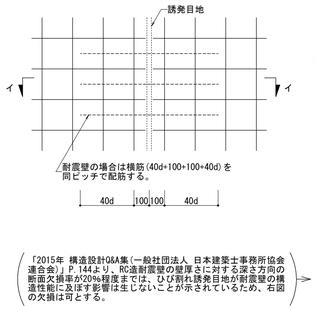


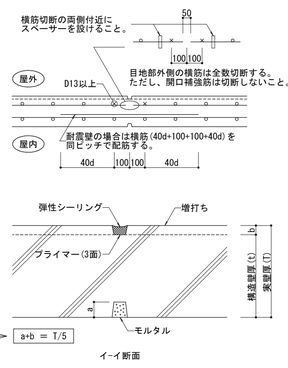
耐震スリットの端部補強筋要領



誘発目地の形状と配筋要領

・RC壁には原則として誘発目地を設けることとするが、ひび割れによる影響がない壁等については、監理者と協議により、誘発目地の有無を決定すること。

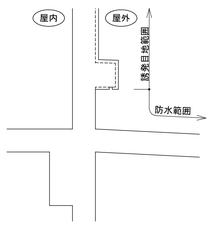




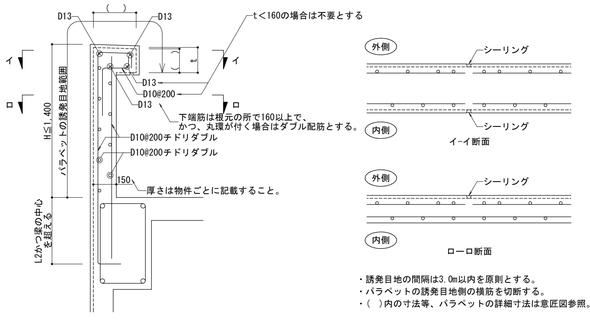
「2015年 構造設計Q&A集（一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会）」P.144より、RC造耐震壁の壁厚さに対する深さ方向の断面欠損率が20%程度までは、ひび割れ誘発目地が耐震壁の構造性能に及ぼす影響は生じないことが示されているため、右図の欠損は可とする。

イ-イ断面

・防水範囲は誘発目地（横筋切断）を設けないことを原則とするがその範囲は監理者と協議により決定すること。

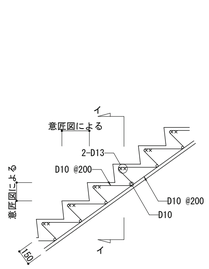


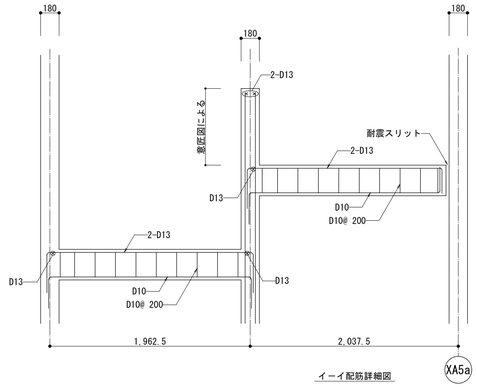
パラペット(H≦1400)の誘発目地と配筋要領



・誘発目地の間隔は3.0m以内を原則とする。
・パラペットの誘発目地側の横筋を切断する。
・（ ）内の寸法等、パラペットの詳細寸法は意匠図参照。

階段リスト　　縮尺 1:30

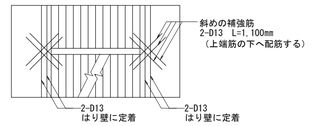




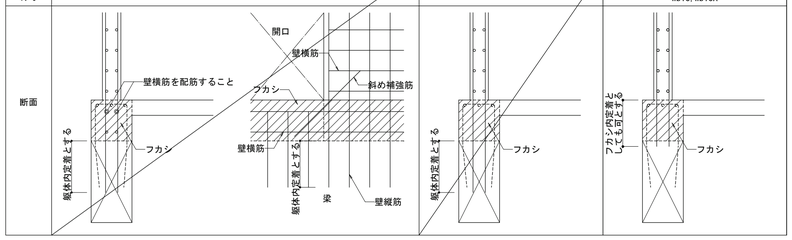
イ-イ配筋詳細図

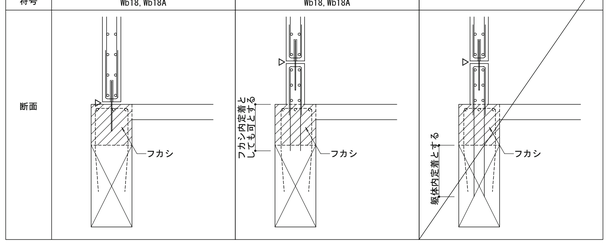
共通事項

階段踊場は下記の補強を行う事

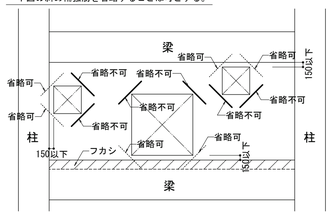


※フカシ筋は、鉄筋コンクリート構造配筋標準図による。

符号	一般部1	一般部2	一般部3
			Wb18,Wb18A
断面			

符号	水平スリット部1	水平スリット部2	水平スリット部3
	Wb18,Wb18A	Wb18,Wb18A	
断面			

柱・梁フカシに接する開口の
下図の斜め補強筋を省略することは可とする。

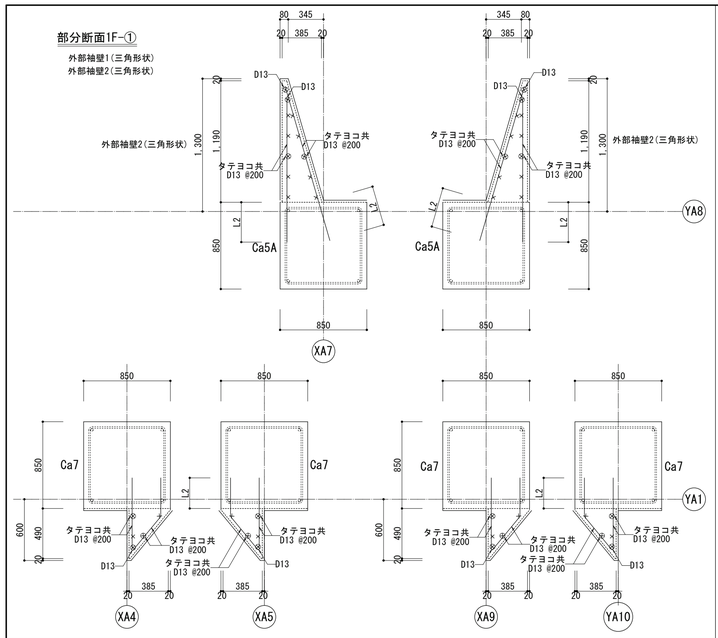


工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称／縮尺	（校舎棟）壁リスト・階段リスト　A1(S=1/30) A3(S=1/60)
図面番号	S-136
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

2025/03/19

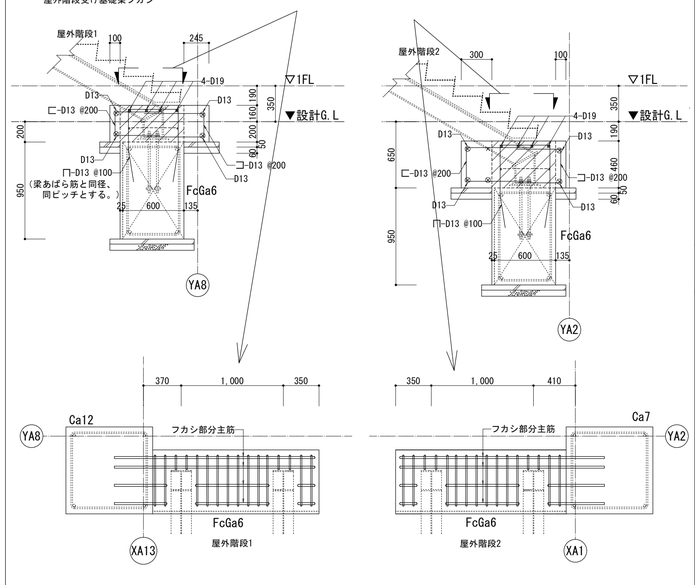
部分断面1F-①

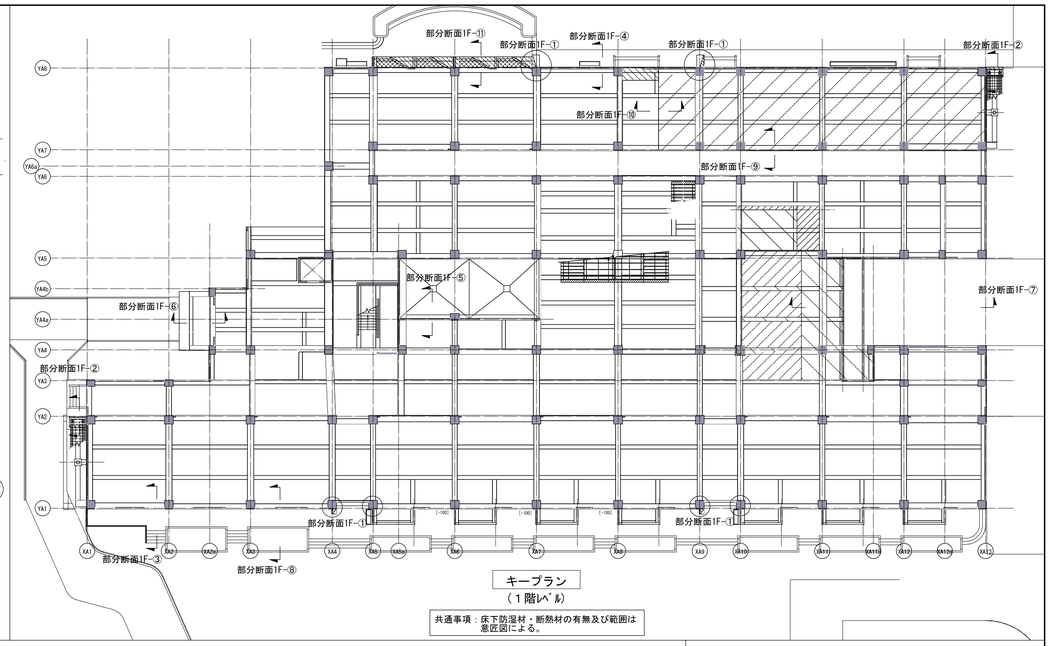
外部袖壁1(三角形状)
外部袖壁2(三角形状)



部分断面1F-②

屋外階段受け基礎梁フカシ



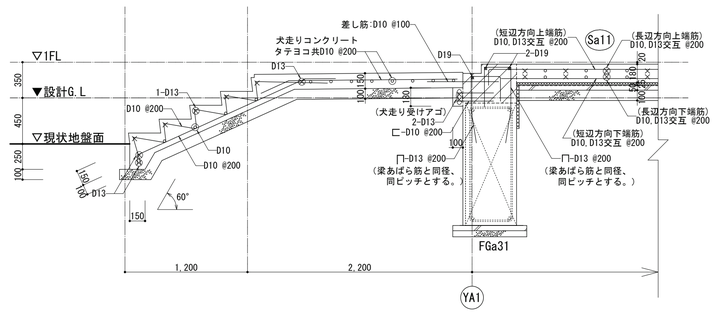


キープラン
（１階レベル）

共通事項：床下防湿材・断熱材の有無及び範囲は意匠図による。

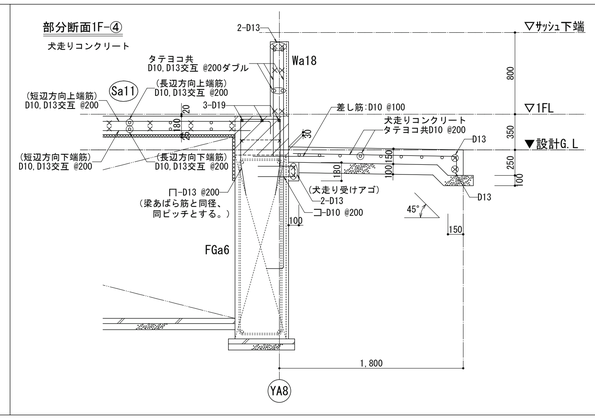
部分断面1F-③

犬走りコンクリート段々



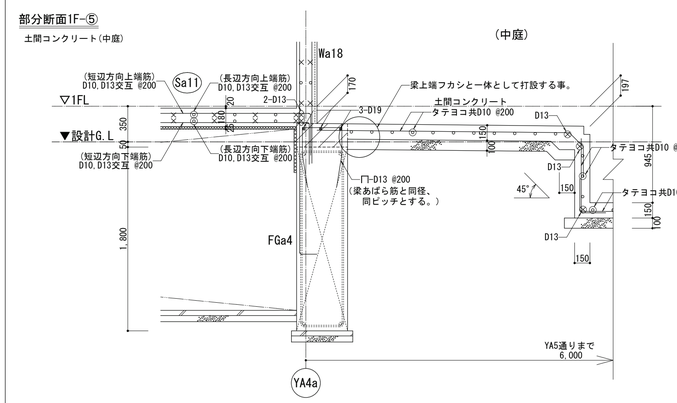
部分断面1F-④

犬走りコンクリート



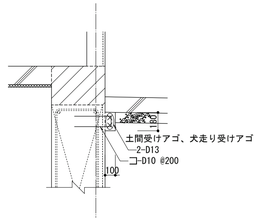
部分断面1F-⑤

土間コンクリート(中庭)



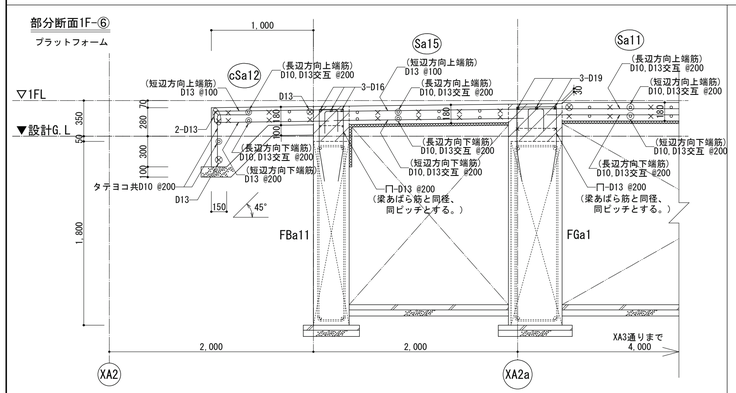
犬走り受けアゴ

犬走り受けアゴを設ける範囲は意匠図による。



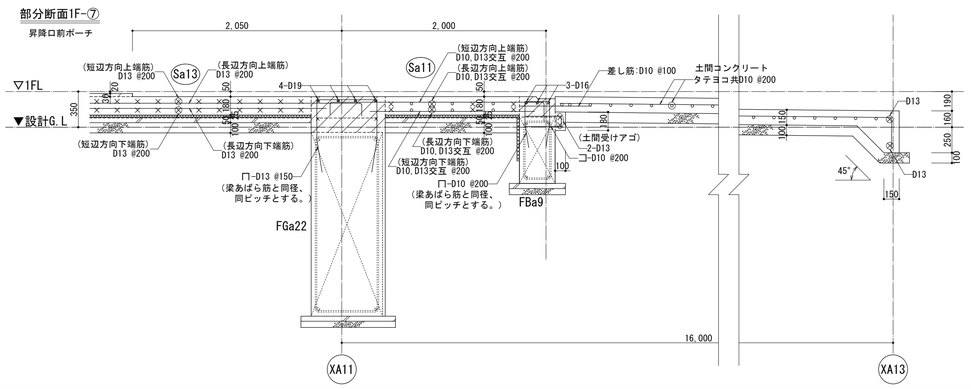
部分断面1F-⑥

プラットフォーム



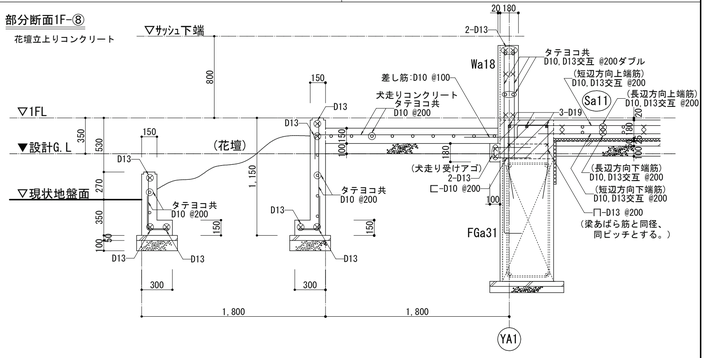
部分断面1F-⑦

昇降口前ポーチ



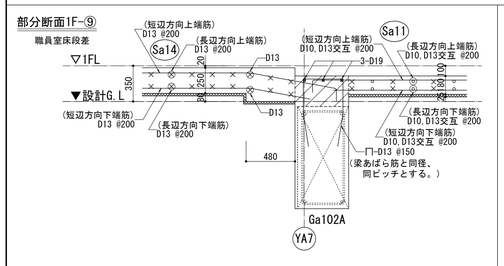
部分断面1F-⑧

花壇立上りコンクリート



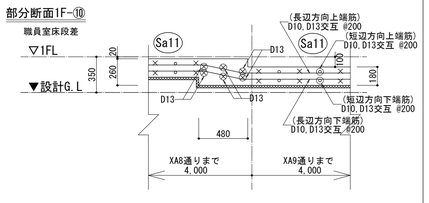
部分断面1F-⑨

職員室床段差



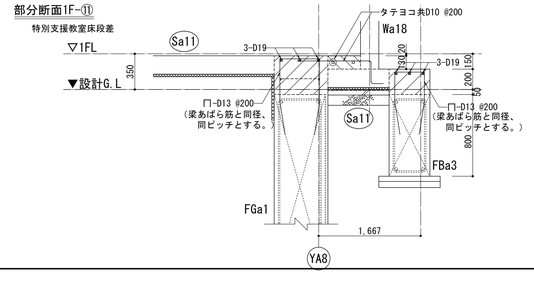
部分断面1F-⑩

職員室床段差



部分断面1F-⑪

特別支援教室床段差

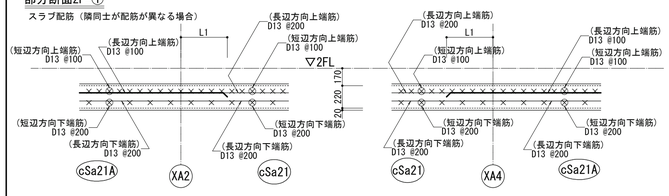


工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称／縮尺	(校舎棟) 部分配筋詳細図（１） A1(S=1/30) A3(S=1/60)
図面番号	S-137
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

2025/03/19

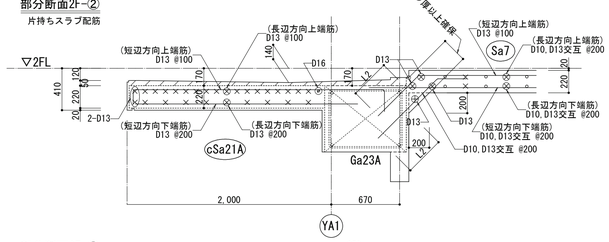
部分断面2F-①

スラブ配筋（隔同士が配筋が異なる場合）



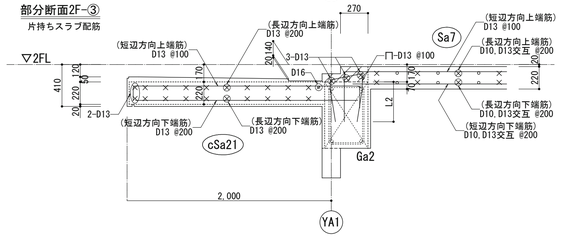
部分断面2F-②

片持ちスラブ配筋



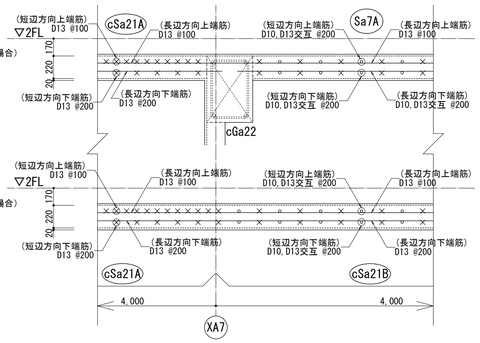
部分断面2F-③

片持ちスラブ配筋



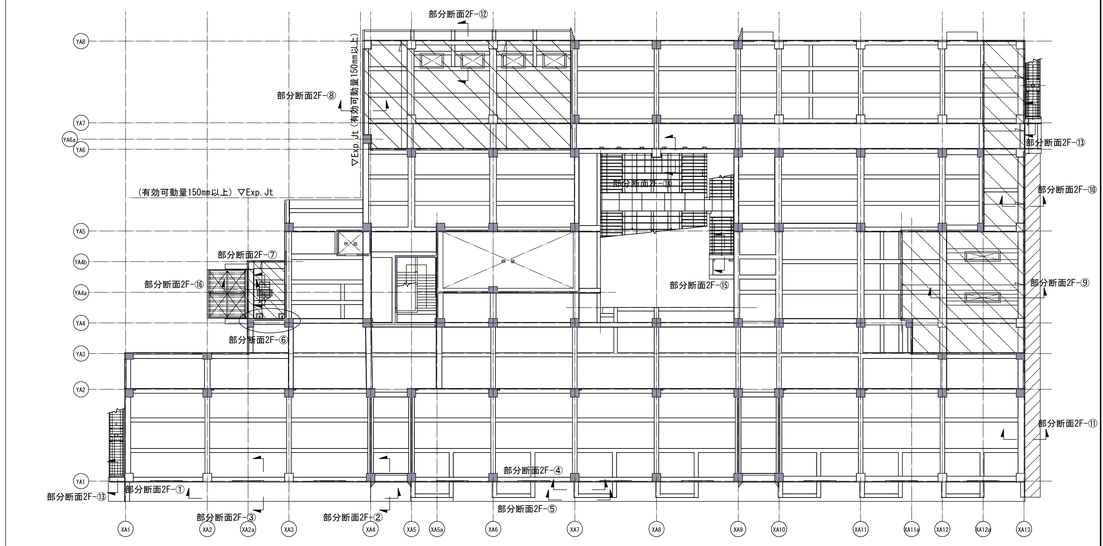
部分断面2F-④

スラブ配筋
（隔同士が配筋が異なる場合）



部分断面2F-⑤

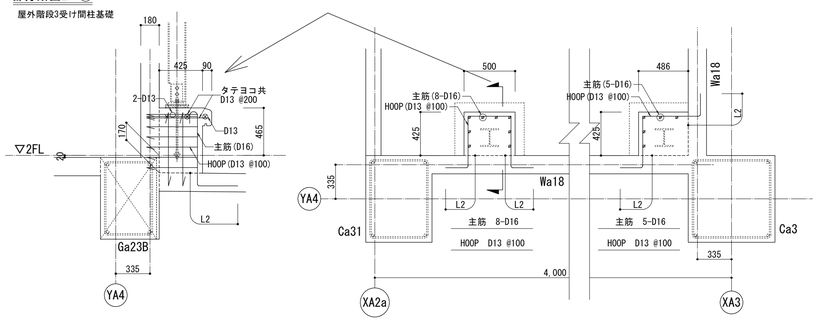
スラブ配筋
（隔同士が配筋が異なる場合）



キープラン
（２階レベル）

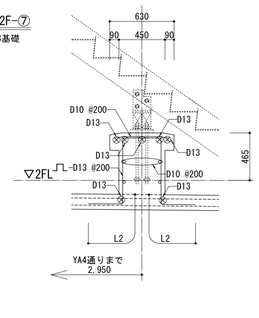
部分断面2F-⑥

屋外階段3受け間柱基礎



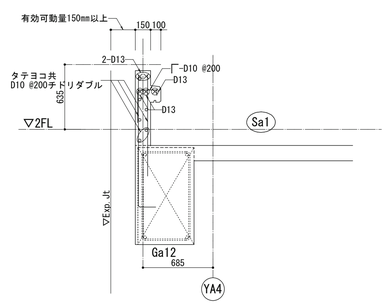
部分断面2F-⑦

屋外階段3基礎



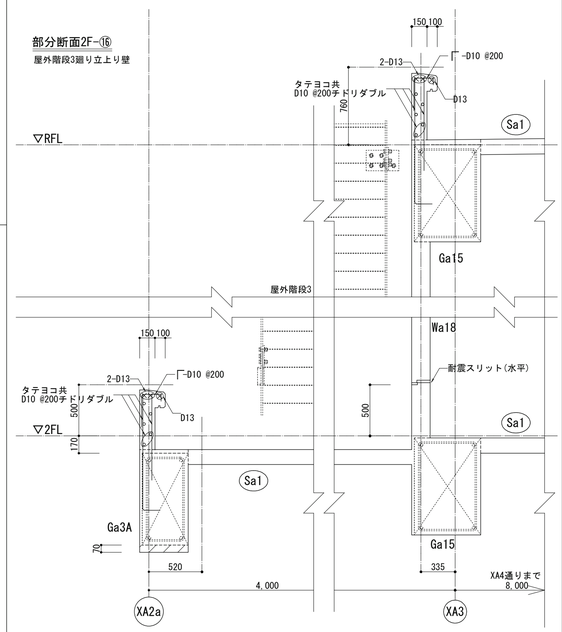
部分断面2F-⑧

屋内運動場とのExp. joint部分のパラペット



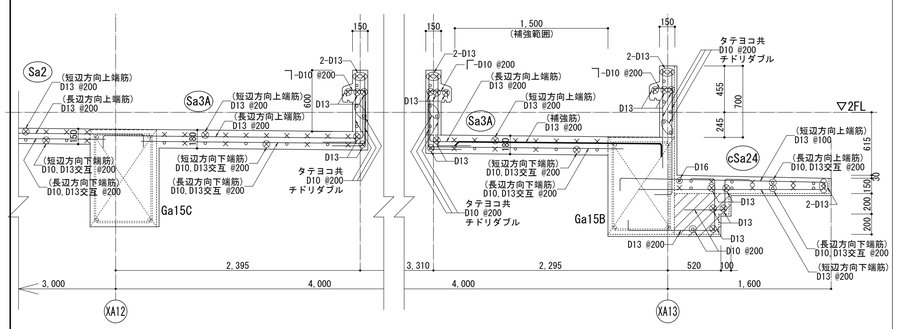
部分断面2F-⑯

屋外階段3廻り立上り壁



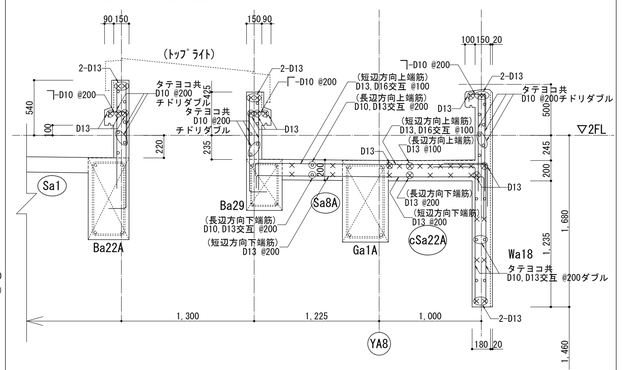
部分断面2F-⑨

トップライト受け立上り壁（昇降口ホール）



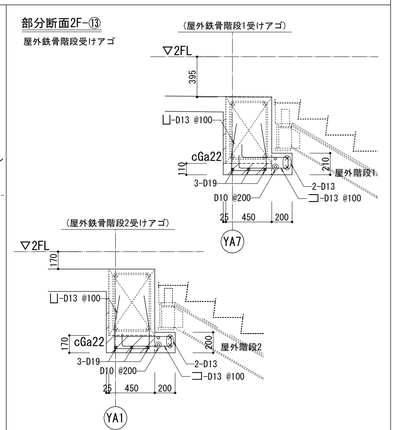
部分断面2F-⑫

トップライト受け立上り壁（特別支援教室）



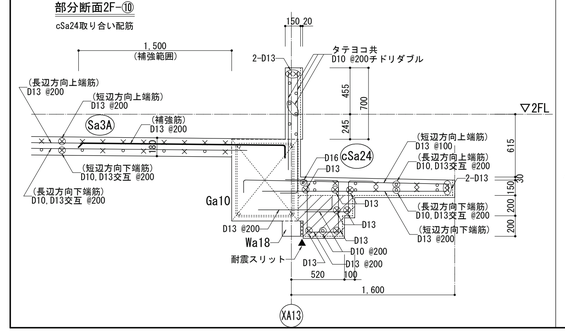
部分断面2F-⑬

屋外鉄骨階段受けアゴ



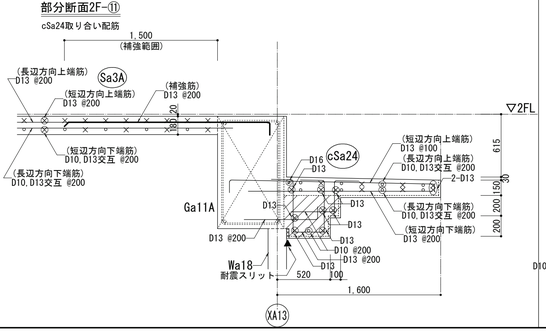
部分断面2F-⑩

cSa24取り合い配筋



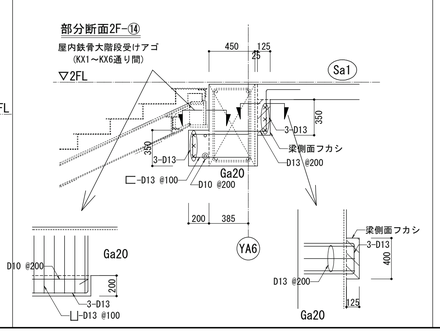
部分断面2F-⑪

cSa24取り合い配筋



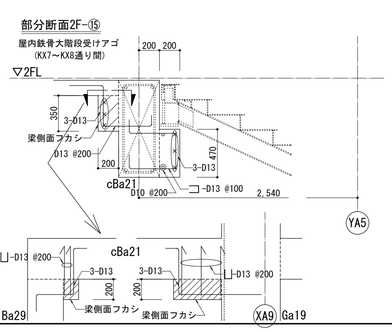
部分断面2F-⑭

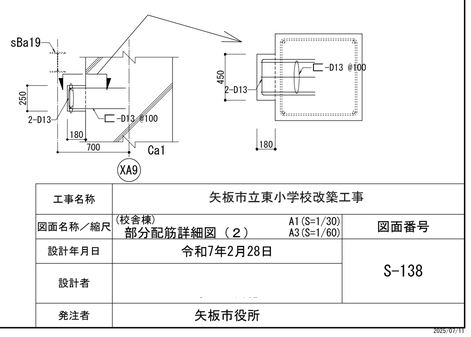
屋内鉄骨大階段受けアゴ
（KX1～KX6通り間）



部分断面2F-⑮

屋内鉄骨大階段受けアゴ
（KX7～KX8通り間）



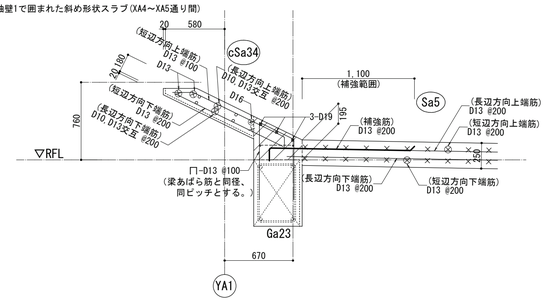


工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称／縮尺	（校舎棟）部分配筋詳細図（２）　A1 (S=1/30)　A3 (S=1/60)
図面番号	S-138
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

2025.07.17

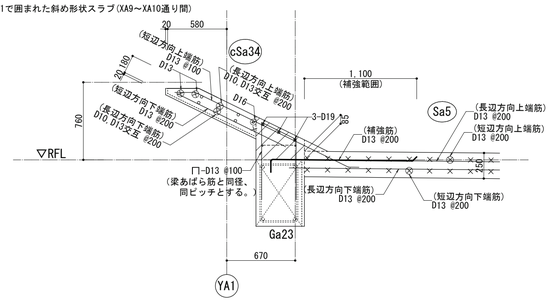
部分断面RF-①

外部袖壁1で囲まれた斜め形状スラブ(XA4～XA5通り間)



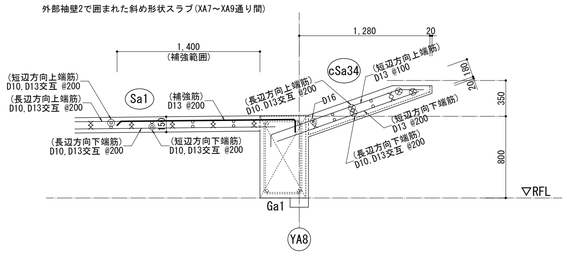
部分断面RF-②

外部袖壁1で囲まれた斜め形状スラブ(XA9～XA10通り間)



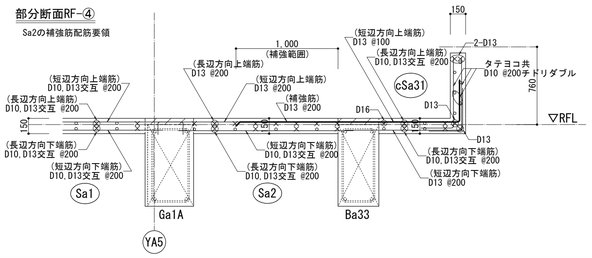
部分断面RF-③

外部袖壁2で囲まれた斜め形状スラブ(XA7～XA9通り間)



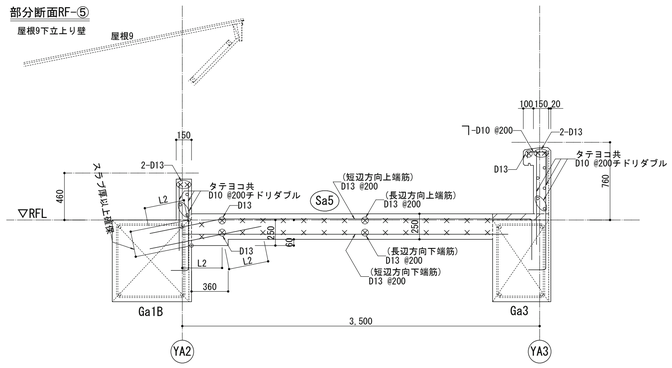
部分断面RF-④

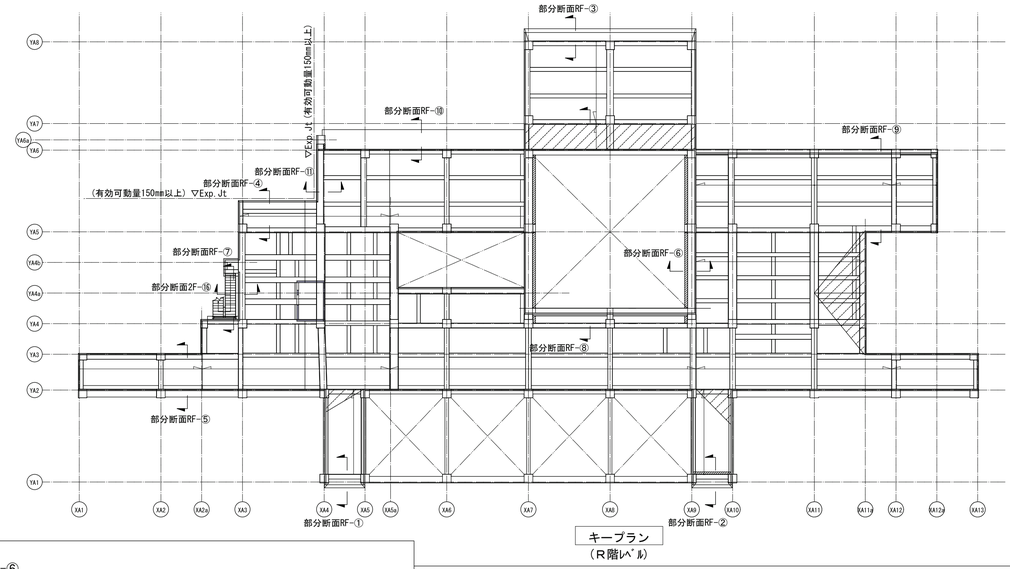
Sa2の補強筋配筋要領



部分断面RF-⑤

屋根9下立上り壁

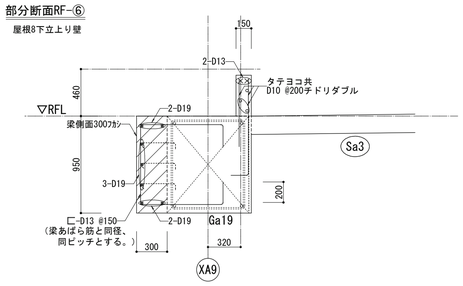




キープラン
(R階レベル)

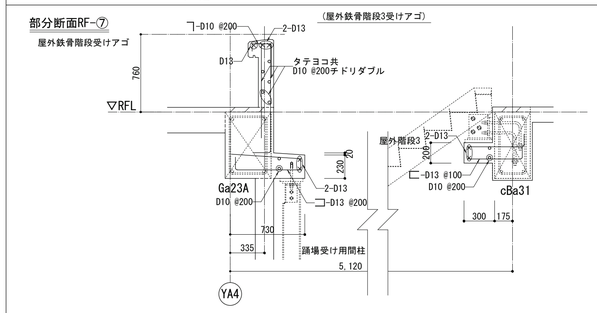
部分断面RF-⑥

屋根8下立上り壁



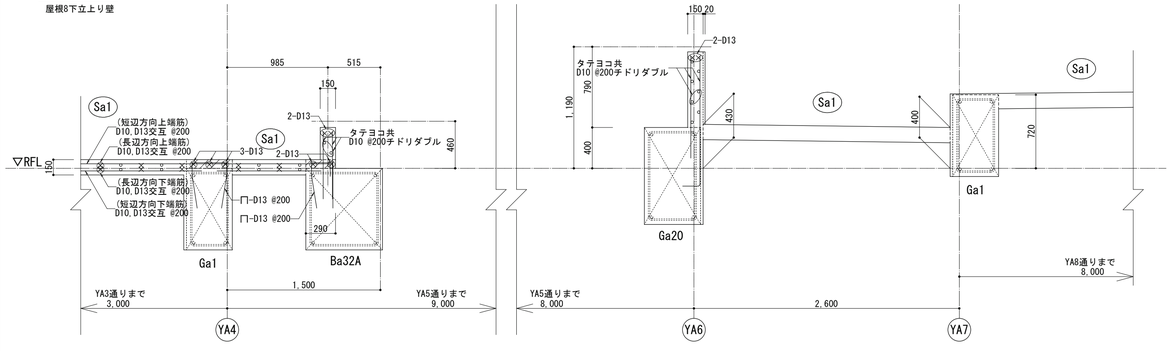
部分断面RF-⑦

屋外鉄骨階段受けアゴ



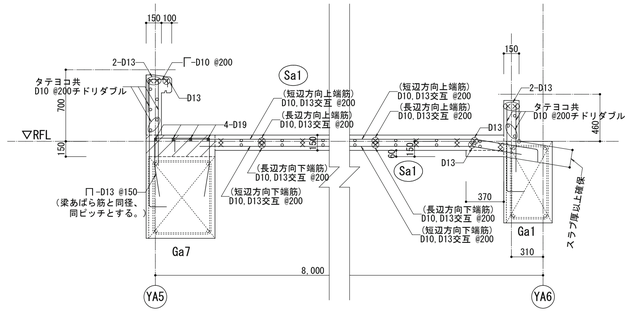
部分断面RF-⑧

屋根8下立上り壁



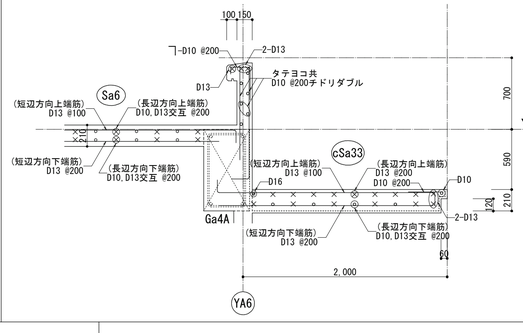
部分断面RF-⑨

屋根5パラペット



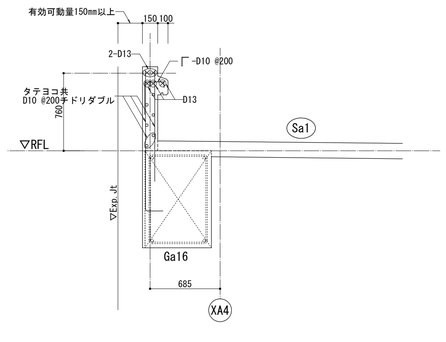
部分断面RF-⑩

cSa33と立上り壁



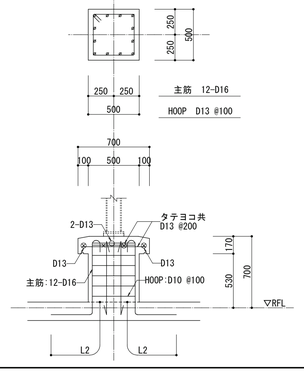
部分断面RF-⑪

屋内運動場とのExp. joint部分のパラペット

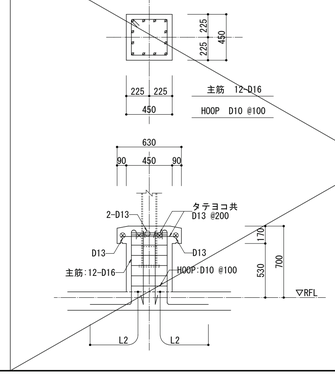


屋上アンテナ基礎

(根巻きコン)

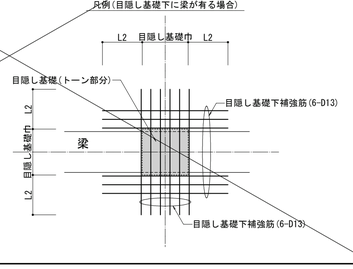


屋上目隠し基礎

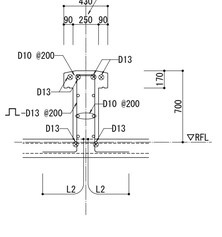


屋上目隠し基礎下スラブ補強図

特記事項、屋上目隠し基礎下のスラブ内に下記の要領で補強筋を配筋する事。



屋上設備基礎



工事名称	矢板市立東小学校改築工事		
図面名称／縮尺	(校舎棟) 部分配筋詳細図 (３)	A1 (S=1/30) A3 (S=1/60)	図面番号
設計年月日	令和7年2月28日		S-139
設計者			
発注者	矢板市役所		

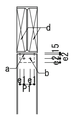
2025/02/10

柱リスト　縮尺 1/30

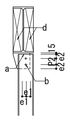
特記なき限り，鋼材はSS400、HTBはF10TまたはS10Tを使用する。
，溶融亜鉛ﾒｯｷの範囲は ﾒｯｷﾎﾞﾙﾄ(F8T) とする。

符号	階	部　材	TYPE	型式	a	b	c	d	e1	e2	P1	P2	備考
sPa318RZ	1階	○-318.5×10.3(STK400)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	屋外階段1,2
sPa17WZ	共通	H-175×175×7.5×11 (溶融亜鉛ﾒｯｷ及びF8Tﾒｯｷﾎﾞﾙﾄ使用)	3	—	GPL-12	HTB 2-M16	—	ﾘﾌﾞPL-9	55	BPL側 70 柱側 40	—	60	屋外階段3
sPa15WZ	共通	H-150×150×7×10 (溶融亜鉛ﾒｯｷ及びF8Tﾒｯｷﾎﾞﾙﾄ使用)	3	—	GPL-9	HTB 2-M16	—	ﾘﾌﾞPL-9	50	40	—	60	屋上目隠し
sPa15W	共通	H-150×150×7×10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	大階段
sPa15WA	共通	H-150×150×7×10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	大階段 (上部剛接合は詳細図参照)

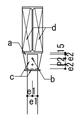
TYPE 1



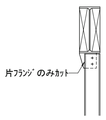
TYPE 3



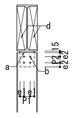
TYPE 5



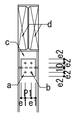
型式Ⅰ



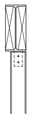
TYPE 2



TYPE 4

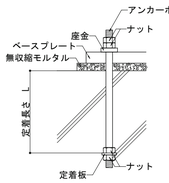


型式Ⅱ

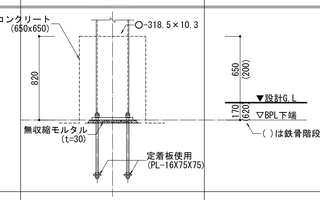
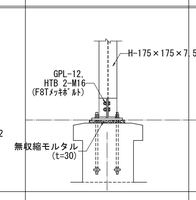
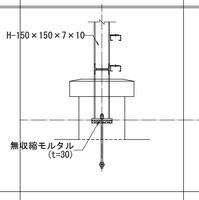
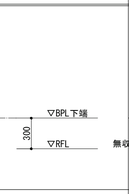
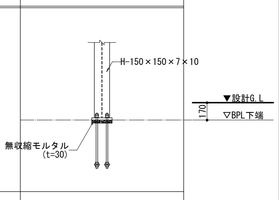
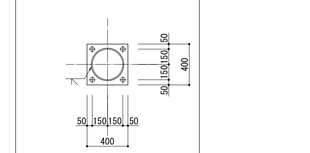
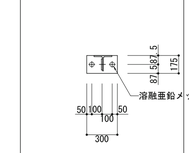
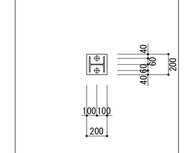
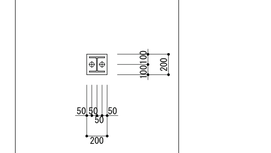


間柱

アンカーボルトの L は下図による。



柱脚リスト　縮尺 1/30

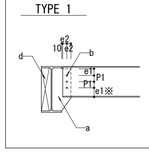
符号	sPa318RZ		sPa17WZ		sPa15WZ		sPa15W
側面						
断面							
BPL	BPL-25x400x400(SN490C)		BPL-19x300x175(SS400)		BPL-16x200x200(SN400B)		BPL-22x200x200(SN490C)
A.B	A.B 4-M24(ABR400)　定着長L=500		A.B 2-M20(SS400)　定着長L=450		A.B 2-M16(ABR490)　定着長L=400		A.B 2-M22(ABR490)　定着長L=450
製品名	定着板 (PL-16×75×75)		定着板 (PL-12×60×60)		定着板 (PL-9×50×50)		定着板 (PL-12×70×70)
備考	ﾀﾞﾌﾞﾙﾅｯﾄ・ｱﾝｶｰﾌﾚｰﾑ使用		ﾀﾞﾌﾞﾙﾅｯﾄ使用		ﾀﾞﾌﾞﾙﾅｯﾄ使用		ﾀﾞﾌﾞﾙﾅｯﾄ使用

小梁リスト　縮尺 1/30

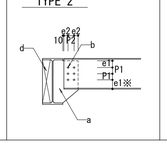
特記なき限り，鋼材はSS400、HTBはF10T又はS10Tを使用する。
，溶融亜鉛ﾒｯｷの範囲は ﾒｯｷﾎﾞﾙﾄ(F8T) とする。

階	符号	部　材	A	TYPE	型式	a	b	C	d	e1	e2	P1	P2	備考
各階共通	sBa24Z	H-244×175×7×11		3	1	GPL-9	HTB 4-M20	—	ﾘﾌﾞPL-9	40	40	90	60	屋外階段3
	sBa248Z	H-248×124×5×8												庇2
	sBa20WZ	H-200×200×8×12												屋外階段2
	sBa19	H-194×150×6×9		2	2	GPL-12	HTB 4-M20	—	ﾘﾌﾞPL-9	40	40	60	60	大階段
			(KX7,KX8通りのKY2通り端のみ)	2	1	GPL-12	HTB 4-M20	—	ﾘﾌﾞPL-9	40	40	60	60	
	sBa17WZ	H-175×175×7.5×11		詳細図による										屋外階段3
	sBa15W	H-150×150×7×10		3	2	GPL-12	HTB 2-M20	—	ﾘﾌﾞPL-9	60	40	—	60	大階段
			(鉛直ﾌﾞﾚｰｽの頭繋ぎsBa19端のみ)	3	1	GPL-12	HTB 2-M20	—	ﾘﾌﾞPL-9	50	40	—	60	
	sBa12W	H-125×125×6.5×9		3	2	GPL-12	HTB 2-M20	—	ﾘﾌﾞPL-9	50	40	—	60	大階段
			(KY3通り,KX6通り端の鉛直ﾌﾞﾚｰｽの頭繋ぎsBa19端のみ)	3	1	GPL-12	HTB 2-M20	—	ﾘﾌﾞPL-9	40	40	—	60	
	scBa20WZ	H-200×200×8×12		—	—	—								屋外階段2
	scBa25MZ	[-250×90×9×13		詳細図による										庇2
	sHBa14Z	(H)H-148×100×6×9[横使い]		3	2	GPL-9	HTB 2-M16	—	ﾘﾌﾞPL-9	50	40	—	60	屋上目隠し
	sHBa12M	(ﾚ)[-125×65×6×8[横使い]		3	2	GPL-9	HTB 2-M16	—	ﾘﾌﾞPL-9	50	40	—	60	大階段
	sVa10WZ	H-100×100×6×8		3	1	GPL-9	HTB 2-M16	—	ﾘﾌﾞPL-9	30	40	—	60	庇2

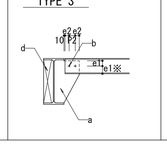
TYPE 1



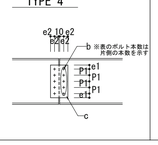
TYPE 2



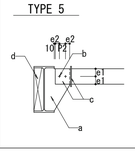
TYPE 3



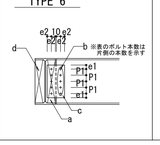
TYPE 4



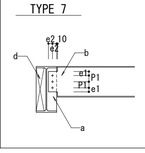
TYPE 5



TYPE 6

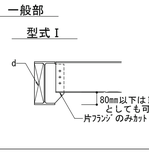


TYPE 7

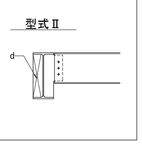


一般部

型式Ⅰ



型式Ⅱ



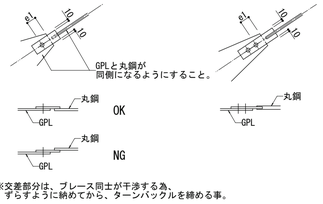
ブレースリスト　縮尺 1/30

特記なき限り，鋼材はSS400、HTBはF10T又はS10Tを使用する。
，溶融亜鉛ﾒｯｷの範囲は ﾒｯｷﾎﾞﾙﾄ(F8T) とする。

(mm)

符号	部材	TYPE	GPL	取付ボルト	e1	e2	P1	P2	必要溶接長L 仕口タイプ1	仕口タイプ2	仕口タイプ3	備考
sBRa1Z	T.B M12 (JIS規格品)	1	9	HTB 1-M16	40	—	—	—	60	50	60	庇2
sBRa2Z	T.B M16 (JIS規格品)	1	9	HTB 1-M16	45	—	—	—	80	60	80	屋上目隠し
sBRa3	T.B M27 (JIS規格品)	2	12	HTB 2-M20	50	—	—	—				大階段
sBRa4	T.B M22 (JIS規格品)	1	9(水平ブレース) 12(鉛直ブレース)	HTB 1-M22	55	—	—	—				大階段
sBRa5	T.B M16 (JIS規格品)	1	9	HTB 1-M16	45	—	—	—				大階段

HTB 1本の場合(TYPE 1)

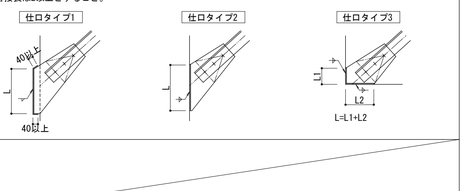


HTB 2本以上の場合(TYPE 2)

※交差部分は，ブレース同士が干渉する為，
すらすように納めてから，ターンバックルを締める事。

必要溶接長L

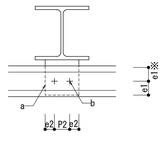
溶接長はL以上とすること。



胴縁リスト　縮尺 1/30

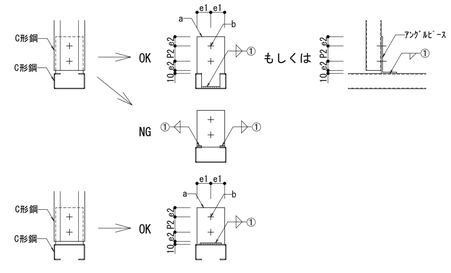
特記なき限り，SSC400を使用する。
，溶融亜鉛ﾒｯｷの範囲は ﾒｯｷﾎﾞﾙﾄ(F8T) とする。

符号	部材	a	b	e1	e2	P1	P2	備考
横胴縁	C-100x50x20x3.2 @455	GPL-4.5	2-M12(中ﾎﾞﾙﾄ)	40	40	—	60	
開口補強材								
~~a1~~	~~C-100x50x20x2.3~~	~~GPL-4.5~~	~~2-M12(中ﾎﾞﾙﾄ)~~	~~40~~	~~30~~	~~—~~	~~50~~	
~~a2~~	~~2C-100x50x20x2.3~~	~~GPL-4.5~~	~~2-M12(中ﾎﾞﾙﾄ)~~	~~40~~	~~30~~	~~—~~	~~50~~	
~~b1~~	~~C-100x50x20x3.2~~	~~GPL-4.5~~	~~2-M12(中ﾎﾞﾙﾄ)~~	~~40~~	~~30~~	~~—~~	~~50~~	
~~b2~~	~~2C-100x50x20x3.2~~	~~GPL-4.5~~	~~2-M12(中ﾎﾞﾙﾄ)~~	~~40~~	~~30~~	~~—~~	~~50~~	
~~c~~	~~□-100x100x2.3~~	~~2GPL-4.5~~	~~2-M12(中ﾎﾞﾙﾄ)~~	~~40~~	~~30~~	~~—~~	~~50~~	
~~d~~	~~□-100x100x3.2~~	~~2GPL-4.5~~	~~2-M16(中ﾎﾞﾙﾄ)~~	~~40~~	~~40~~	~~—~~	~~60~~	
~~e~~	~~□-100x50x3.2~~	~~—~~	~~—~~	~~—~~	~~—~~	~~—~~	~~—~~	

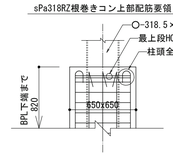


e1※：e1以上かつ、胴縁外面以上とする。

C形鋼に取付くC形鋼のGPL要領　(縮尺 1/10)

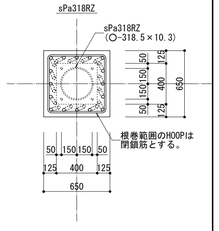


sPa318RZ根巻きコン上部配筋要領



根巻きコンクリート 主筋頂部フック納まり要領

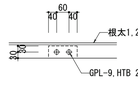
主筋頂部の180°フックは
ベースプレートに干渉しない角度で配置し、
鉄骨建て方時に主筋を曲げないようにする事。



根太リスト　縮尺 1/30

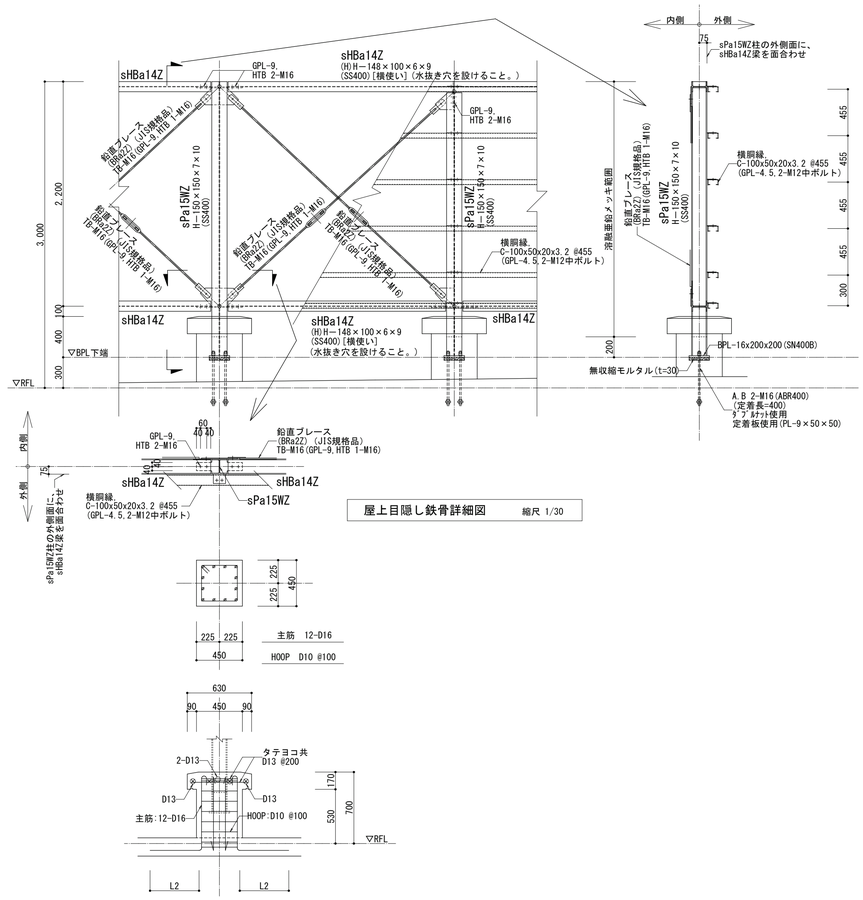
特記なき限り，鋼材はSS400、HTBはF10T又はS10Tを使用する。
，溶融亜鉛ﾒｯｷの範囲は ﾒｯｷﾎﾞﾙﾄ(F8T) とする。

符号	部材	GPL(SS400)	取付ボルト	備考
根太1	L-65x65x6 @303	GPL-9	HTB 2-M16	屋外階段1,2,3
根太2	L-75x75x9 @450以内(書架下部のみ@250以内)	GPL-9	HTB 2-M16	大階段



工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称／縮尺	(校舎棟) 鉄骨部材リスト　A1(S=1/30) A3(S=1/60)
図面番号	S-140
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

2025/07/11

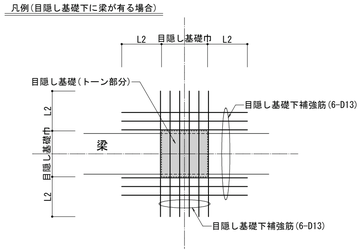


屋上目隠し鉄骨詳細図　　縮尺 1/30

屋上目隠し基礎下スラブ補強図　　縮尺1/30

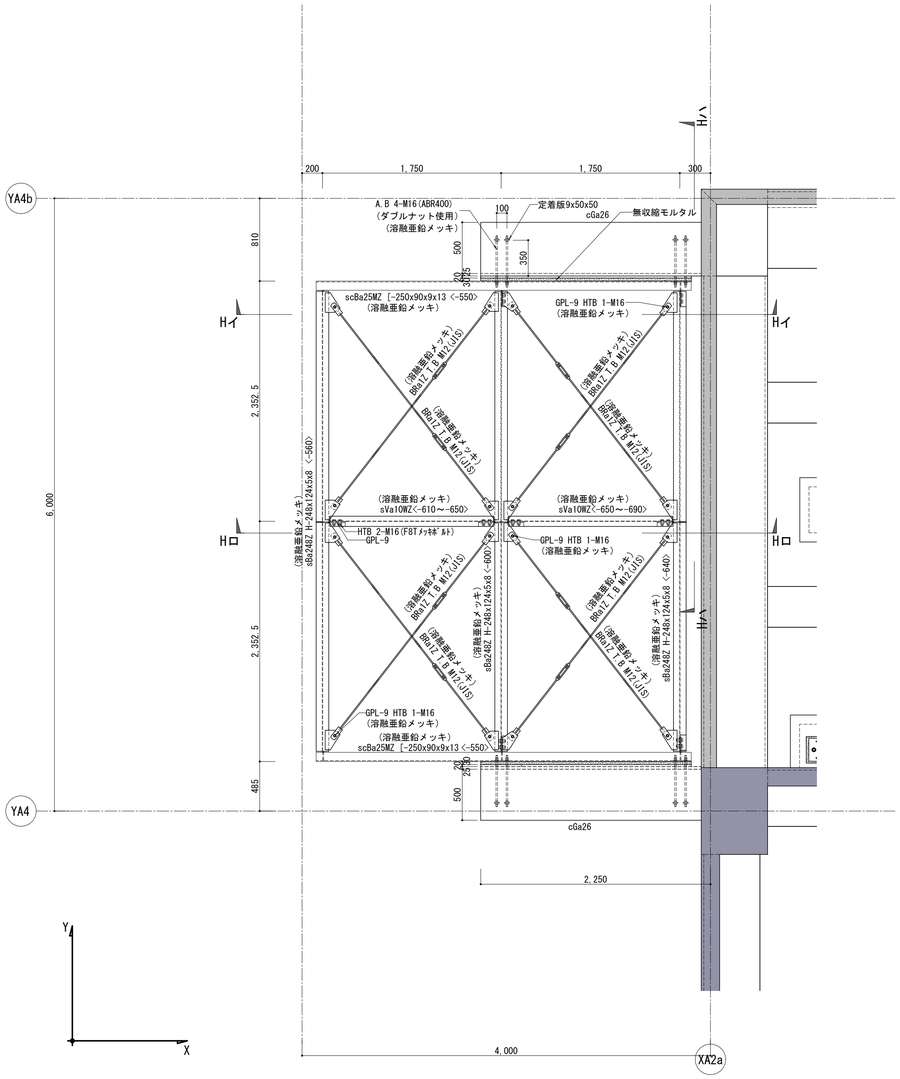
特記事項、屋上目隠し基礎下のスラブ内に下記の要領で補強筋を配筋する事。

凡例(目隠し基礎下に梁が有る場合)

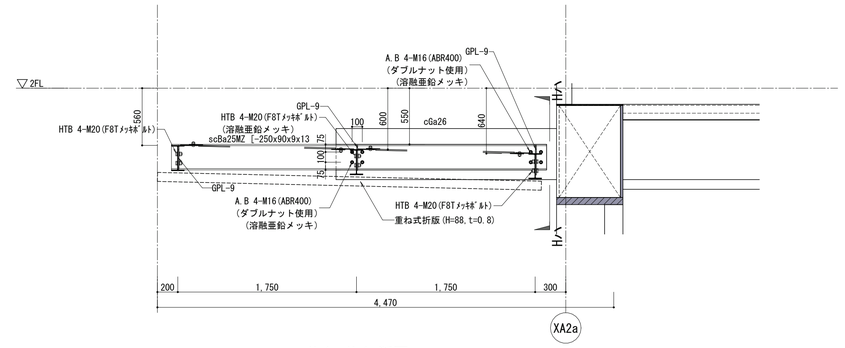


工事名称	矢板市立東小学校改築工事		
図面名称／縮尺	(校舎棟) 鉄骨部分詳細図	A1(S=1/30) A3(S=1/60)	図面番号
設計年月日	令和7年2月28日		S-141
設計者			
発注者	矢板市役所		

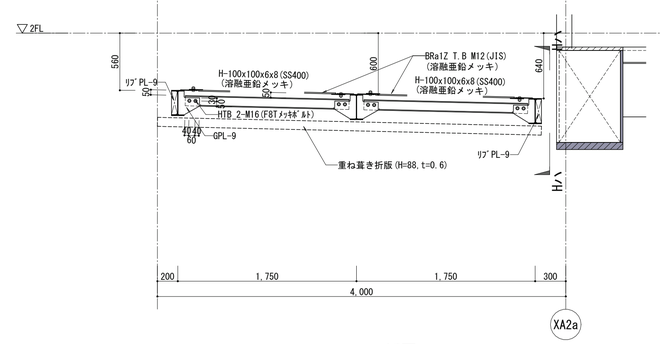
2025/07/11



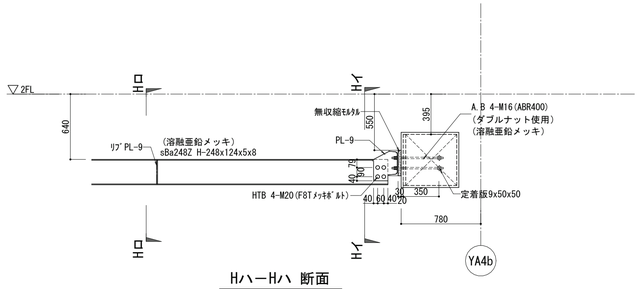
庇２鉄骨詳細伏図



HイーHイ 断面



HローHロ 断面

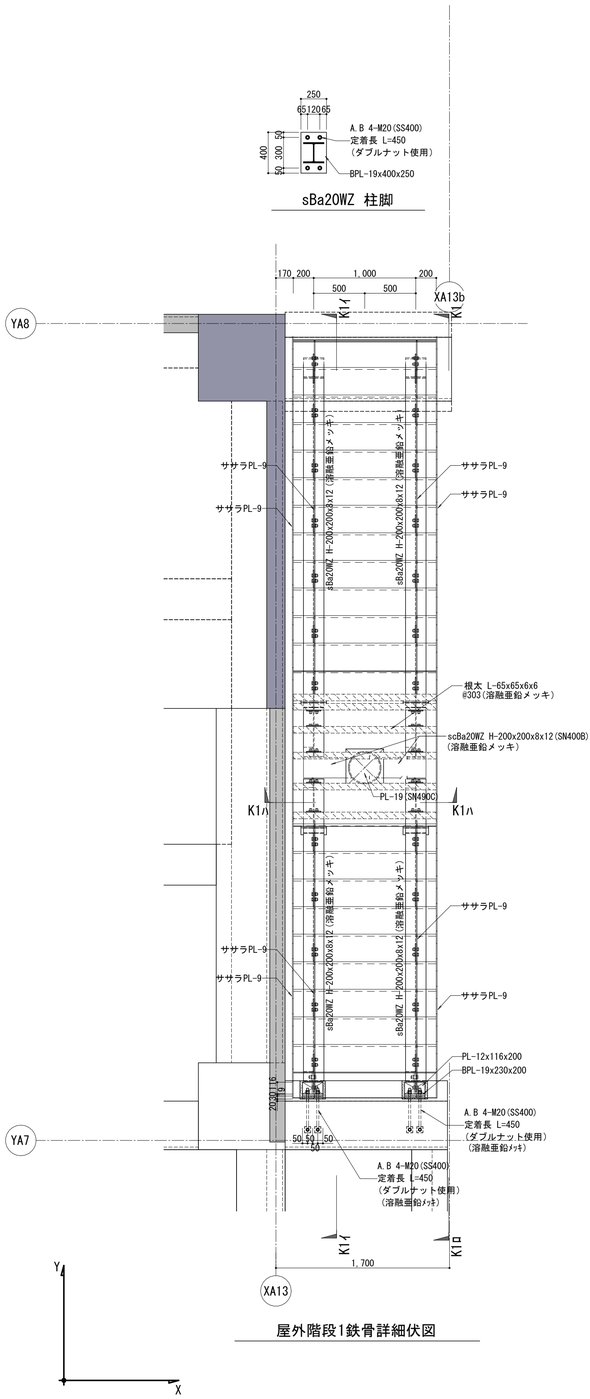


HハーHハ 断面

特記事項
- 特記なき限り　鋼材はSS400とし、溶融亜鉛メッキとする。
- HTBはF8Tメッキボルトとする。
- アンカーボルトは溶融亜鉛メッキとする。
- 見え掛かり部分のGPLの取り付け面やボルトの向きは、意匠担当者と協議のうえ決定すること。

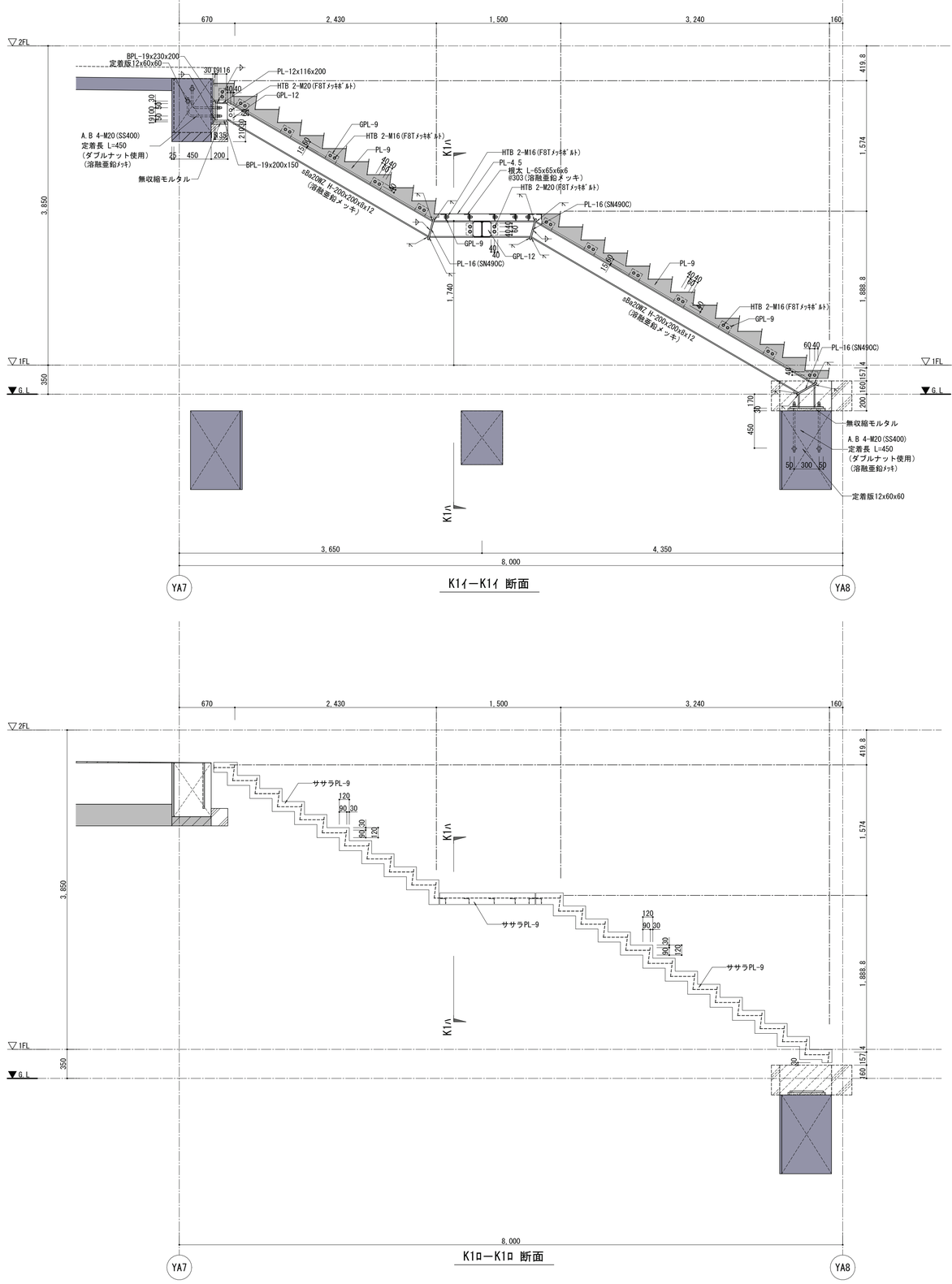
工事名称	矢板市立東小学校改築工事	
図面名称/縮尺	(校舎棟) 庇２鉄骨詳細図 A1(S=1/30) A3(S=1/60)	図面番号
設計年月日	令和7年2月28日	S-151
設計者		
発注者	矢板市役所	

2025/02/18

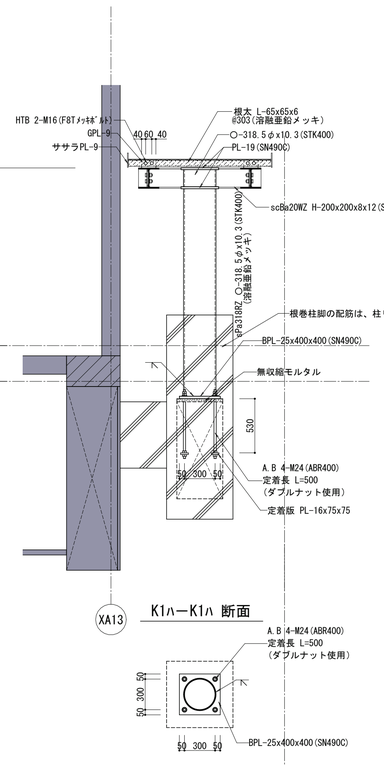


屋外階段1鉄骨詳細伏図

sBa20WZ 柱脚



K1イ－K1イ 断面



K1ハ－K1ハ 断面

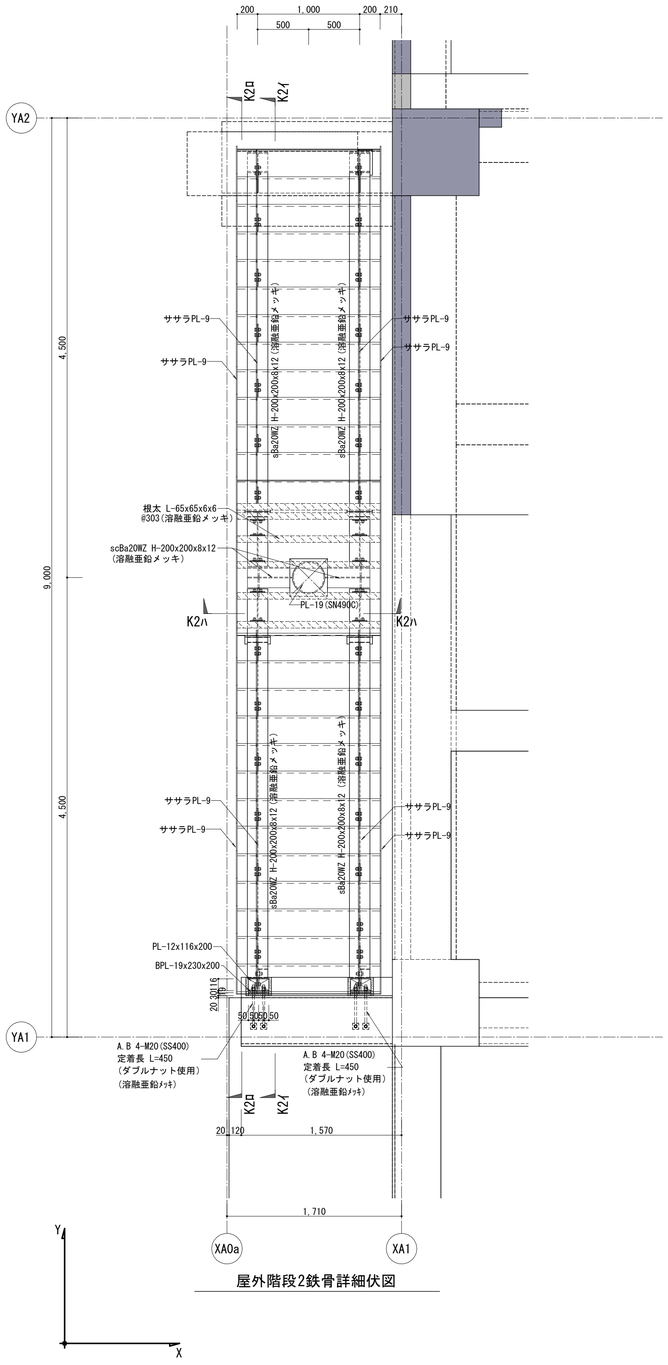
sPa318RZ 柱脚

K1ロ－K1ロ 断面

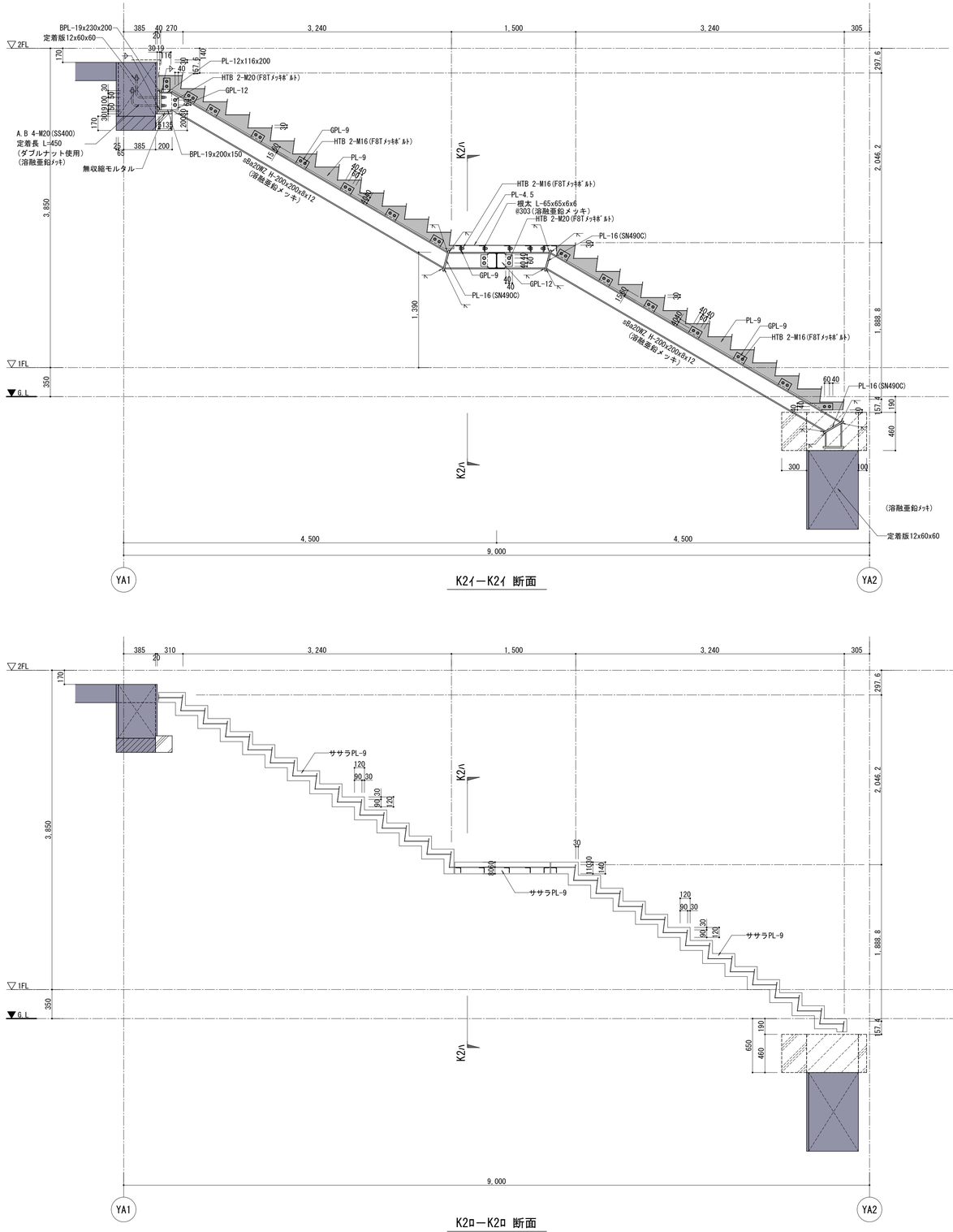
特記事項
- 特記なき限り　鋼材はSS400とし、溶融亜鉛メッキとする。
- HTBはF8Tメッキボルトとする。
- アンカーボルトは溶融亜鉛メッキとする。
- 見え掛かり部分のGPLの取り付け面やボルトの向きは、意匠担当者と協議のうえ決定すること。

工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称/縮尺	(校舎棟) 屋外階段1鉄骨詳細図　A1 (S=1/30) A3 (S=1/60)
図面番号	S-152
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

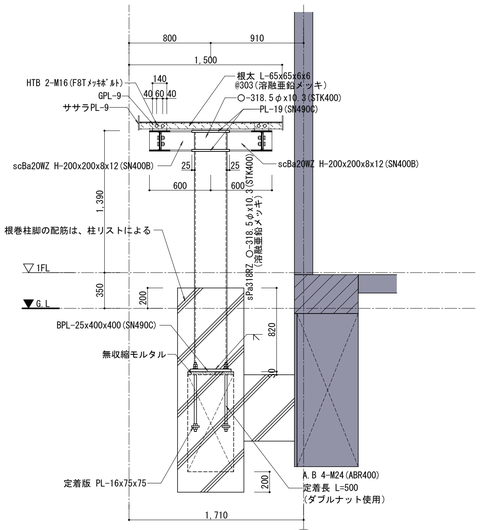
2025/02/18



屋外階段2鉄骨詳細伏図



K2イ－K2イ 断面



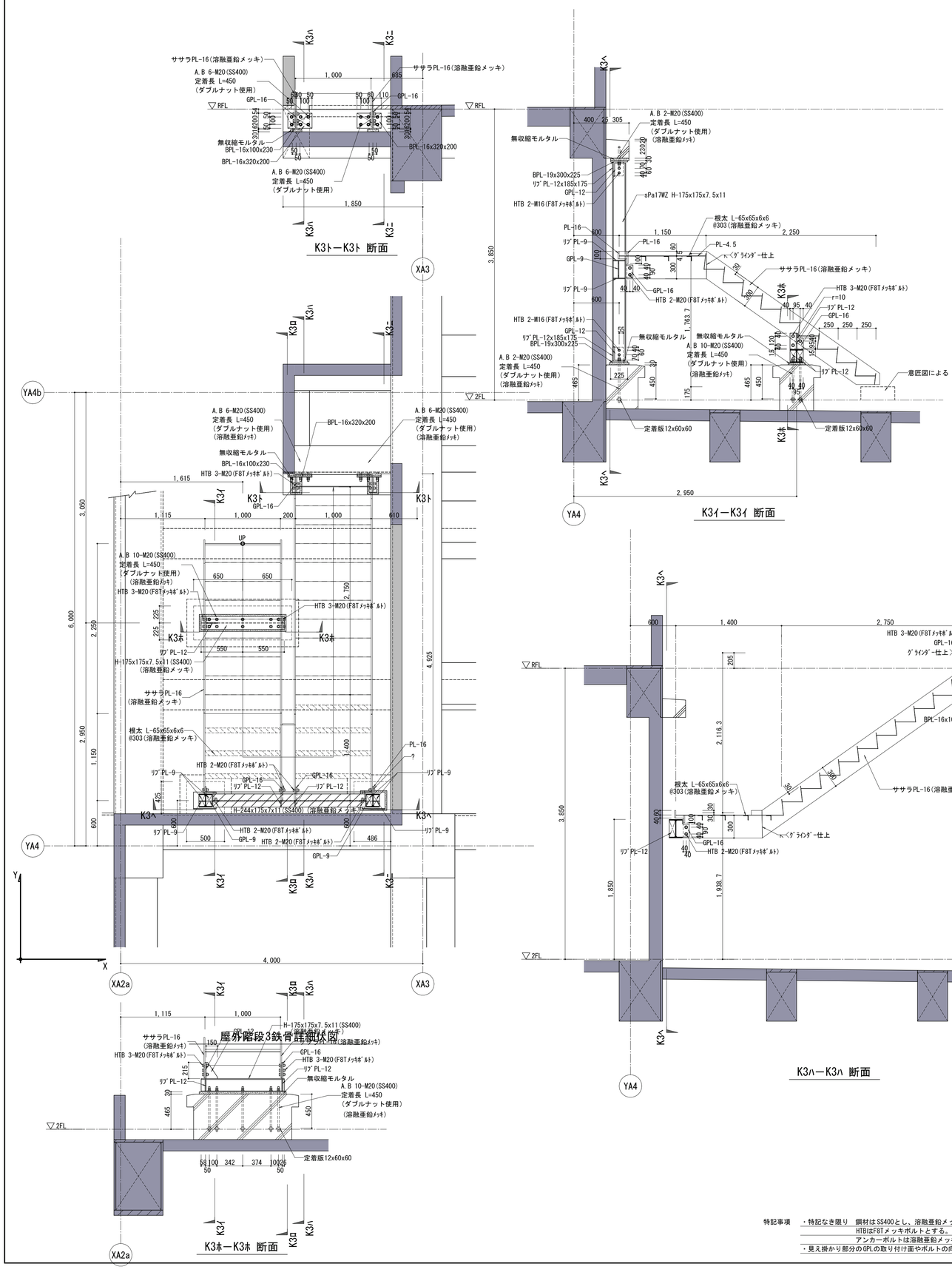
K2ハ－K2ハ 断面

K2ロ－K2ロ 断面

特記事項　・特記なき限り　鋼材はSS400とし、溶融亜鉛メッキとする。
HTBはF8Tメッキボルトとする。
アンカーボルトは溶融亜鉛メッキとする。
・見え掛かり部分のGPLの取り付け面やボルトの向きは、意匠担当者と協議のうえ決定すること。

工事名称	矢板市立東小学校改築工事	
図面名称/縮尺	(校舎棟) 屋外階段2鉄骨詳細図 A1(S=1/30) A3(S=1/60)	図面番号
設計年月日	令和7年2月28日	S-153
設計者		
発注者	矢板市役所	

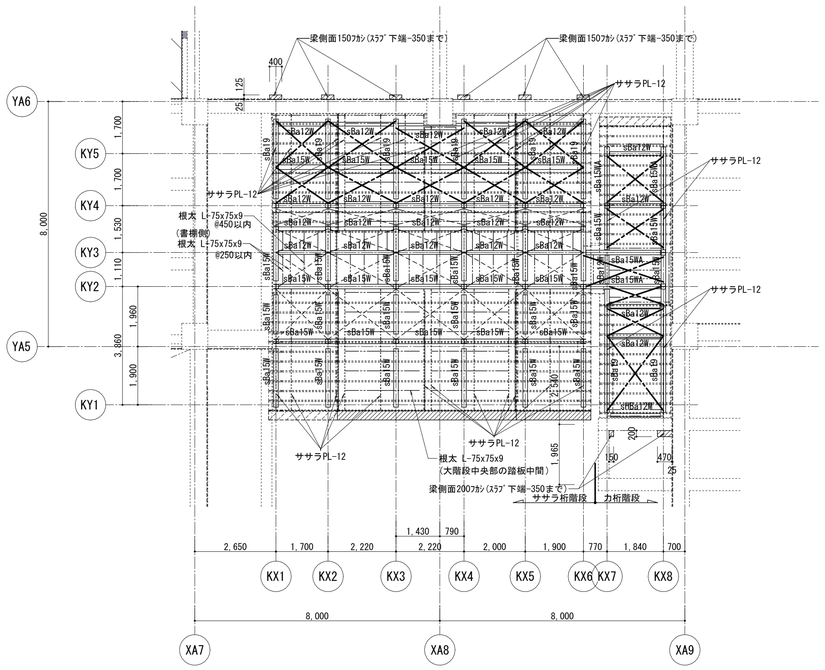
2025/02/18



特記事項
- 特記なき限り　鋼材はSS400とし、溶融亜鉛メッキとする。
- HTBはF8Tメッキボルトとする。
- アンカーボルトは溶融亜鉛メッキとする。
- 見え掛かり部分のGPLの取り付け面やボルトの向きは、意匠担当者と協議のうえ決定すること。

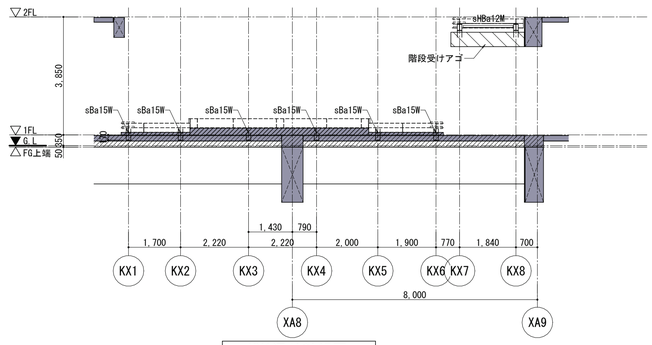
工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称/縮尺	(校舎棟) 屋外階段3鉄骨詳細図　A1 (S=1/30) A3 (S=1/60)
図面番号	S-154
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

2025/02/18

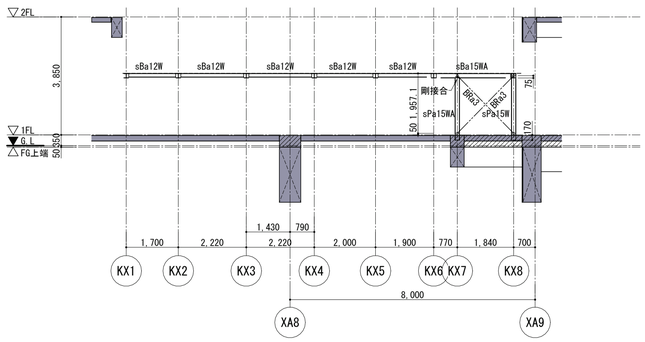


鉄骨梁伏図

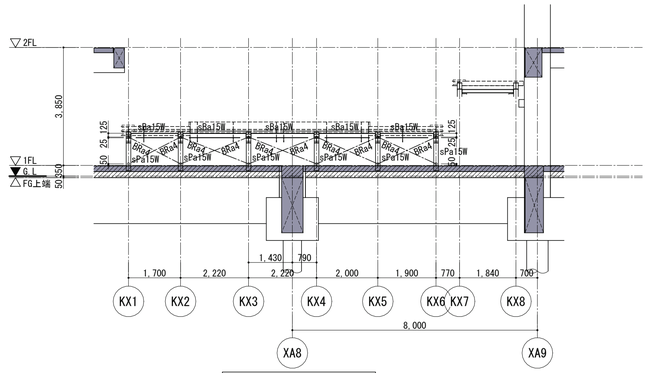
特記事項
- 図面は 見下げ図 とする。
- 梁上端は 軸組図および鉄骨詳細図による。
- 水平ブレースは、 ――・―― は sBRa4
  -------- は sBRb5 を示す。
- 梁端部はピン接合とする。
  ただし、sPa15WAとsBa15WAは剛接合とする(梁勝ち)。



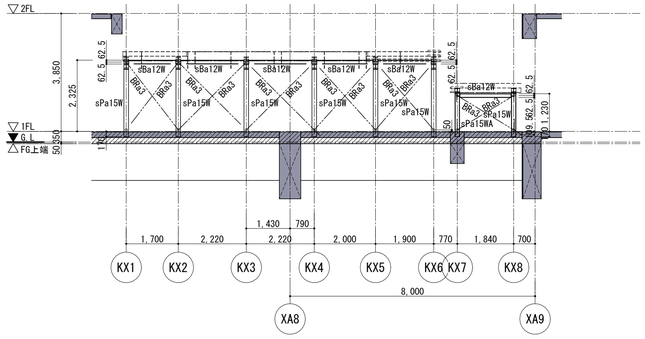
KY1通り軸組図



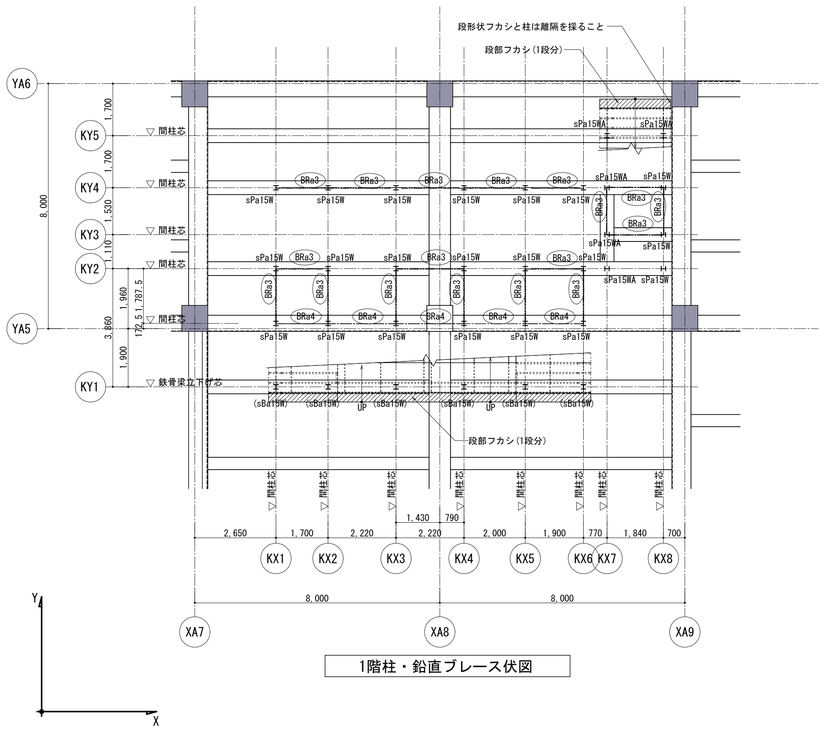
KY3通り軸組図



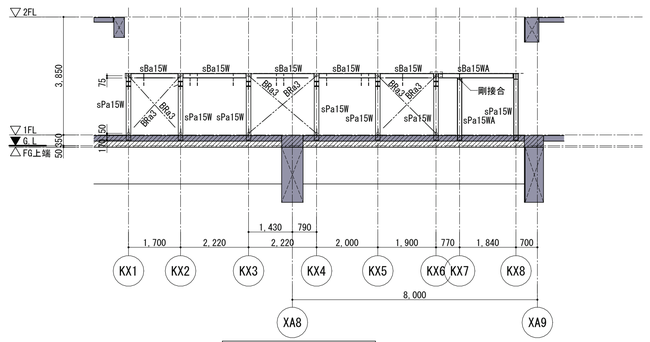
K_YA5通り軸組図



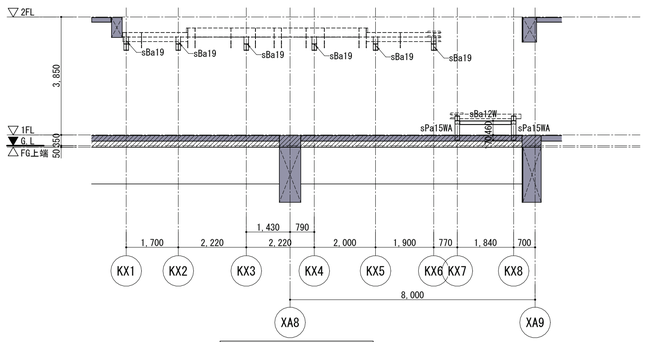
KY4通り軸組図



1階柱・鉛直ブレース伏図



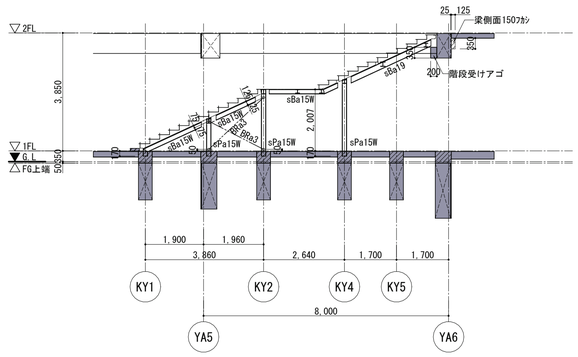
KY2通り軸組図



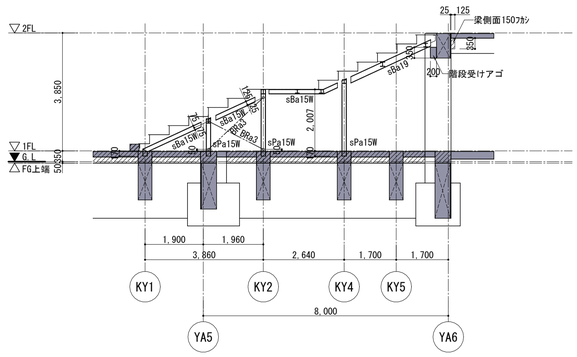
KY5通り軸組図

工事名称	矢板市立東小学校改築工事	
図面名称/縮尺	(校舎棟) 大階段 伏図・軸組図 (1) A1 (S=1/100) A3 (S=1/200)	図面番号
設計年月日	令和7年2月28日	S-155
設計者		
発注者	矢板市役所	

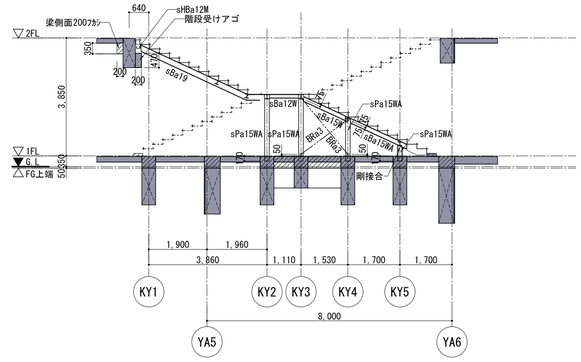
2025/02/18



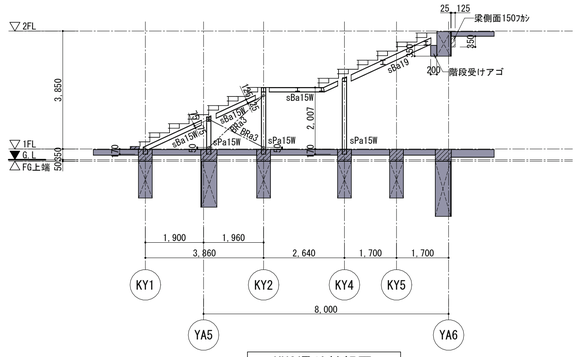
KX1通り軸組図



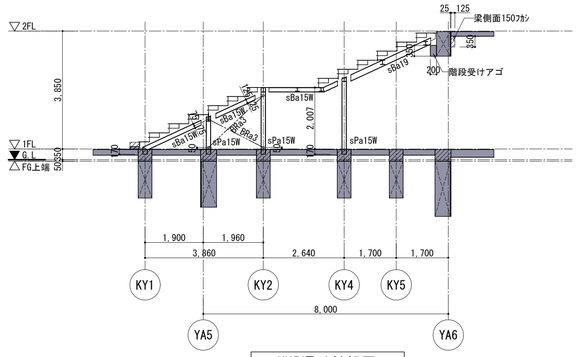
KX4通り軸組図



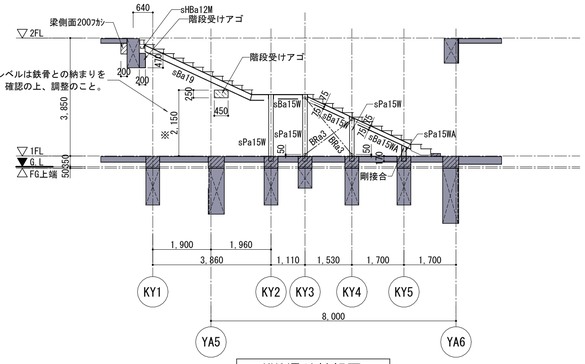
KX7通り軸組図



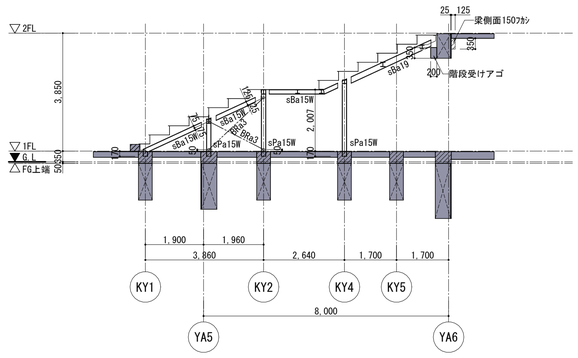
KX2通り軸組図



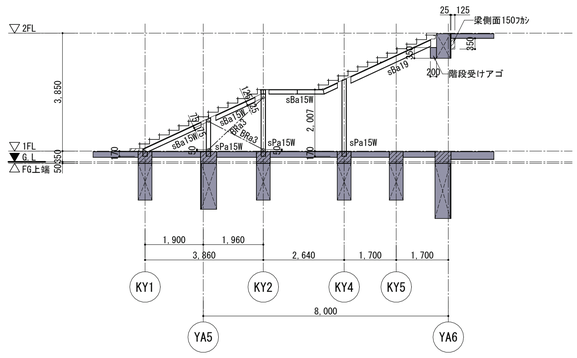
KX5通り軸組図



KX8通り軸組図



KX3通り軸組図



KX6通り軸組図

工事名称	矢板市立東小学校改築工事		
図面名称/縮尺	(校舎棟) 大階段 軸組図 (2)	A1 (S=1/100) A3 (S=1/200)	図面番号
設計年月日	令和7年2月28日		S-156
設計者			
発注者	矢板市役所		

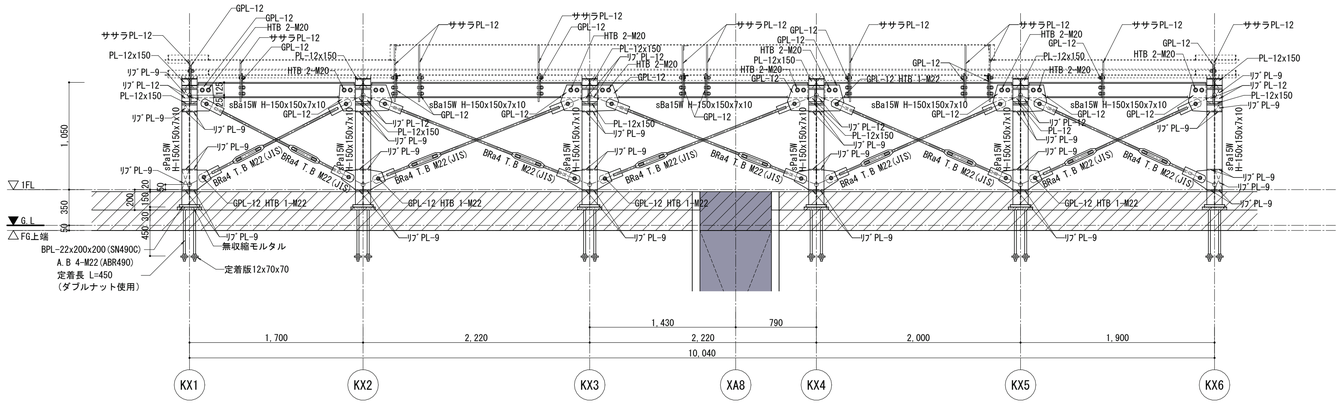
2025/02/18

大階段鉄骨詳細伏図

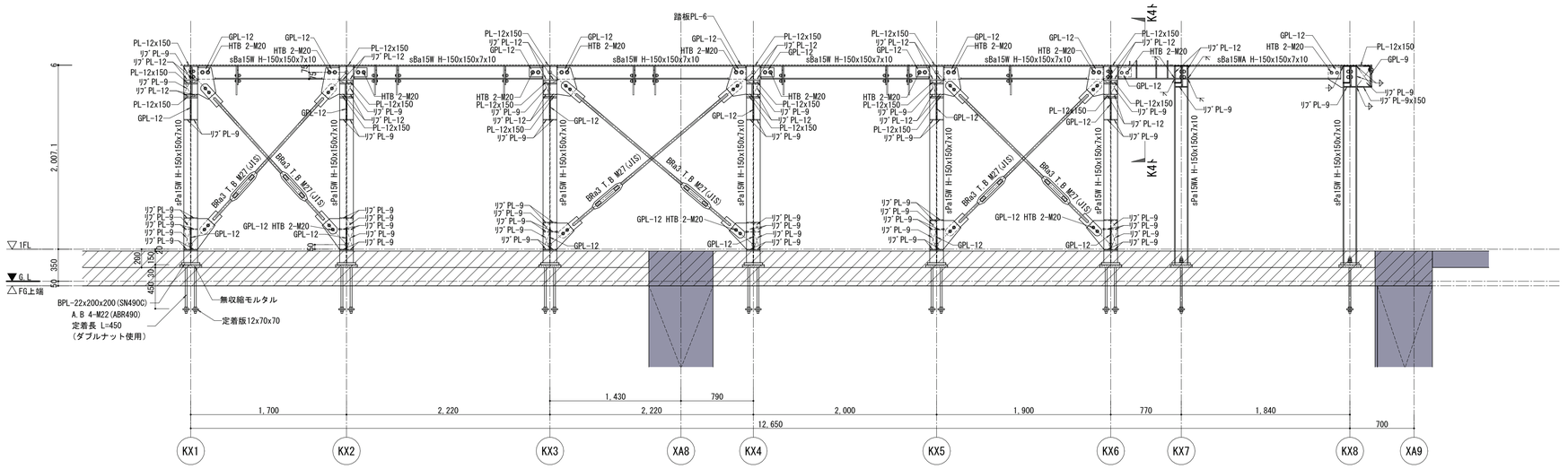
特記事項　・特記なき限り　鋼材はSS400，HTBはS10TまたはF10Tとする。
・見え掛かり部分のGPLの取り付け面やボルトの向きは、意匠担当者と協議のうえ決定すること。

工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称/縮尺	(校舎棟) 大階段 鉄骨詳細図 (1)　A1 (S=1/30) A3 (S=1/60)
図面番号	S-157
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

2025/02/18



YA5通り鉄骨詳細図

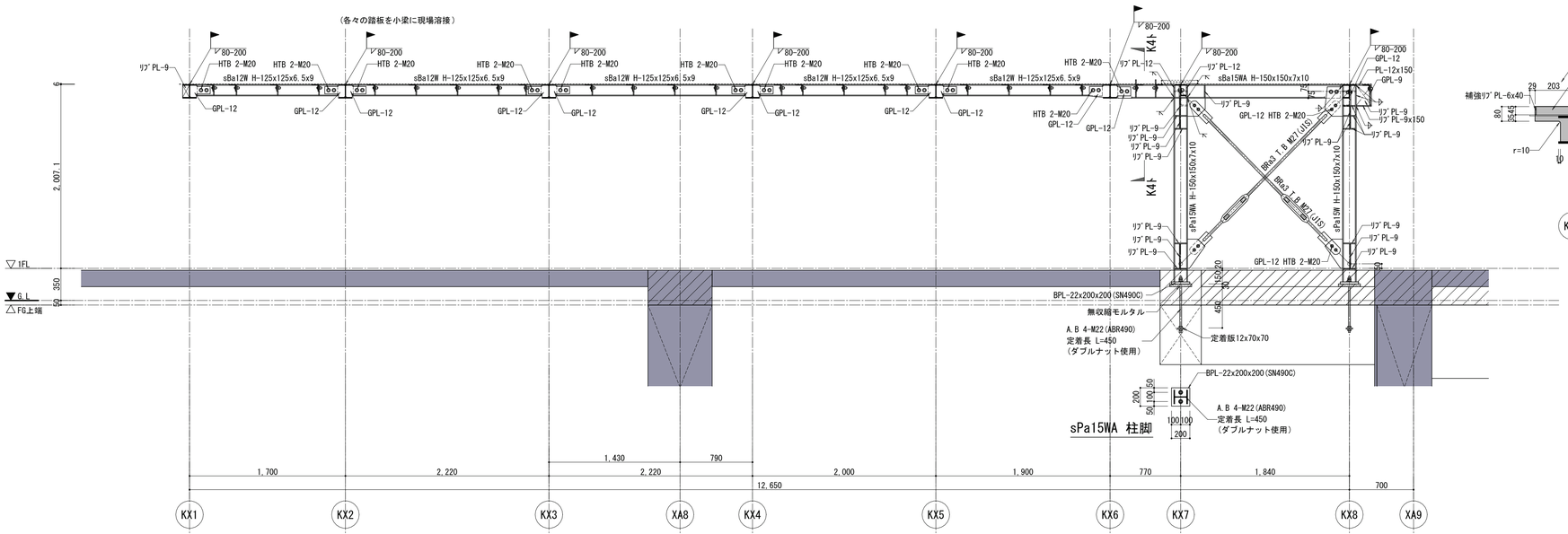


KY2通り鉄骨詳細図

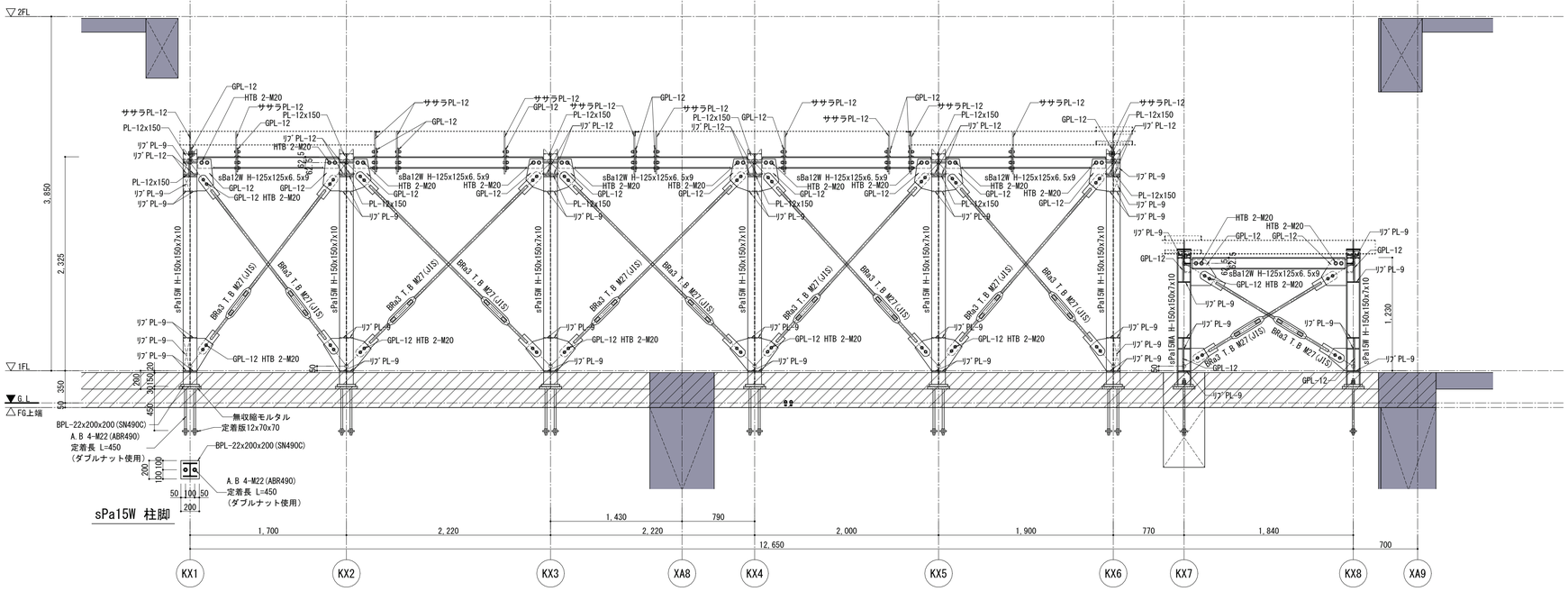
特記事項　・特記なき限り　鋼材はSS400，HTBはS10TまたはF10Tとする。
・見え掛かり部分のGPLの取り付け面やボルトの向きは、意匠担当者と協議のうえ決定すること。

工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称/縮尺	(校舎棟) 大階段 鉄骨詳細図 (2)　A1 (S=1/30) A3 (S=1/60)
図面番号	S-158
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

2025/02/18



KY3通り鉄骨詳細図

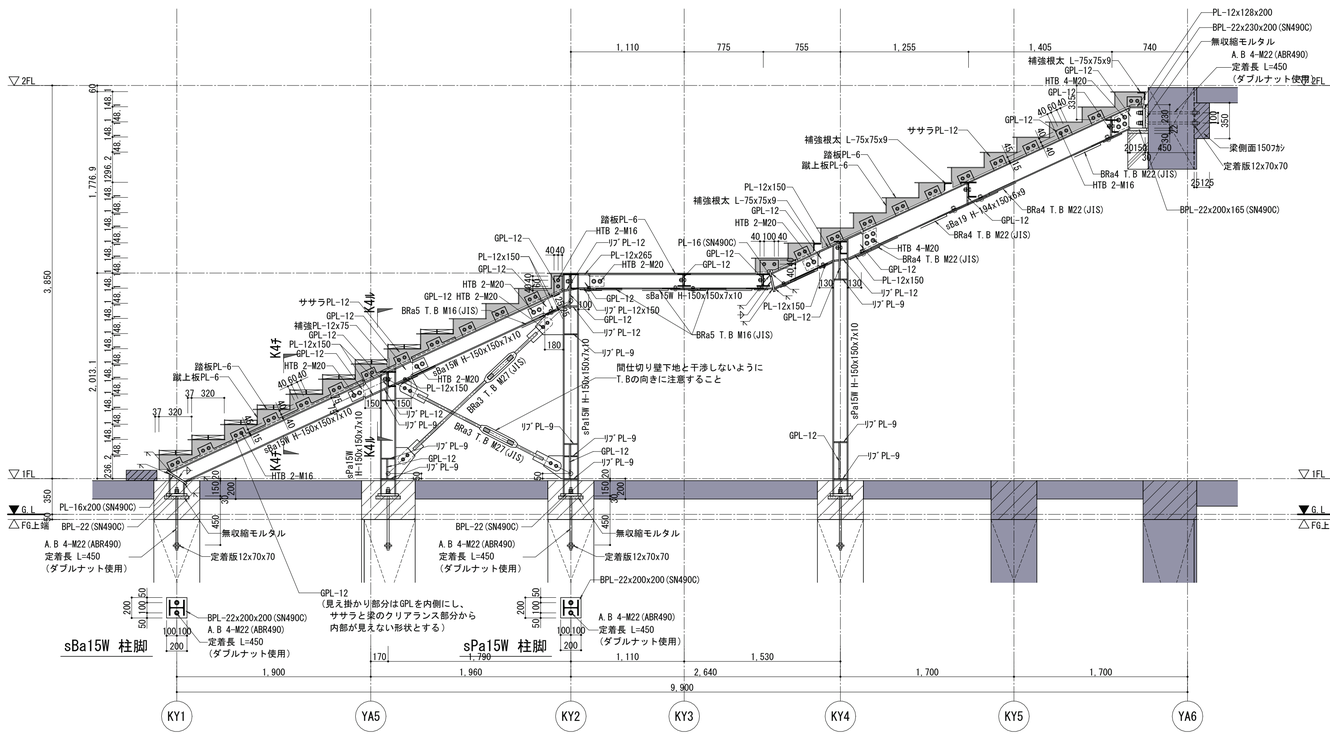


KY4通り鉄骨詳細図

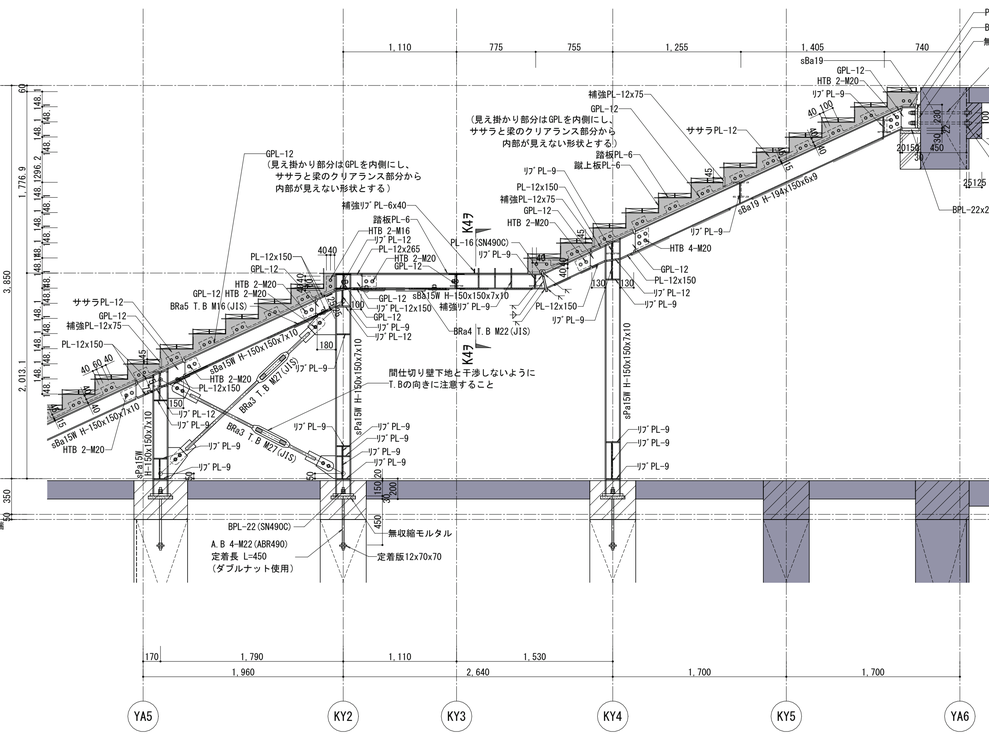
特記事項　・特記なき限り　鋼材はSS400，HTBはS10TまたはF10Tとする。
・見え掛かり部分のGPLの取り付け面やボルトの向きは、意匠担当者と協議のうえ決定すること。

工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称/縮尺	(校舎棟) 大階段 鉄骨詳細図 (3)　A1 (S=1/30) A3 (S=1/60)
図面番号	S-159
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

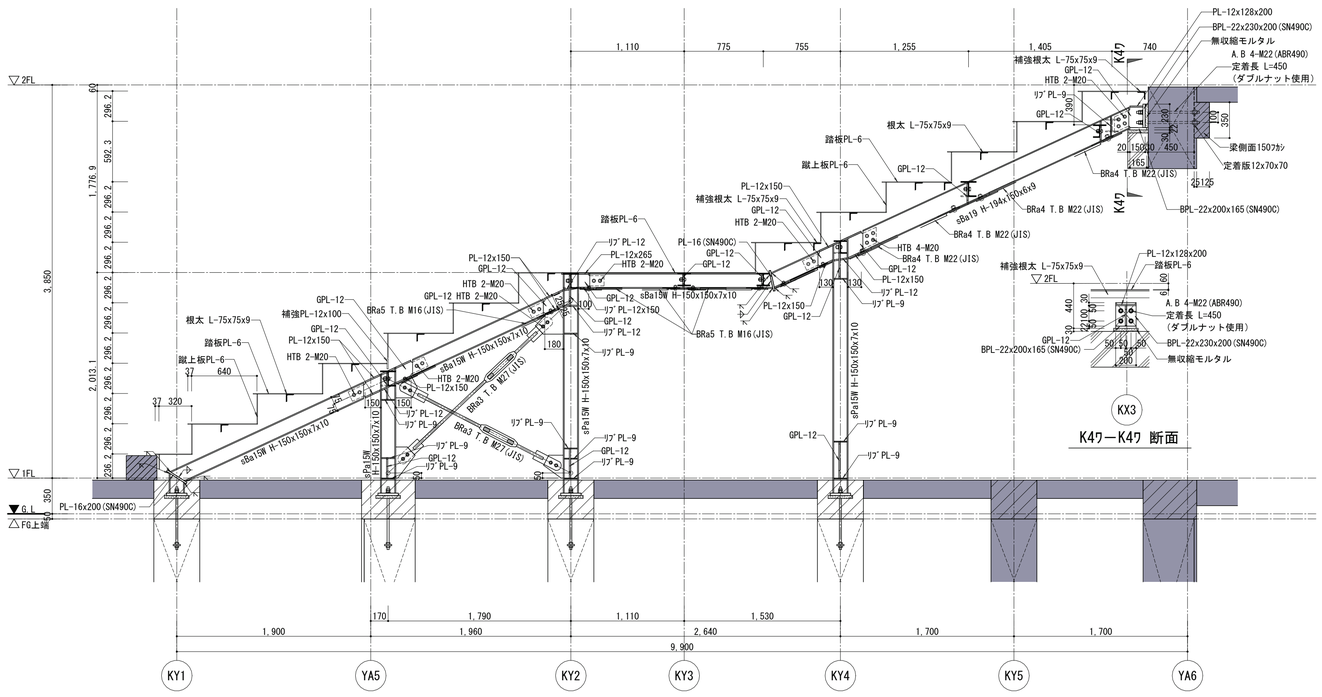
2025/02/18



KX1通り鉄骨詳細図

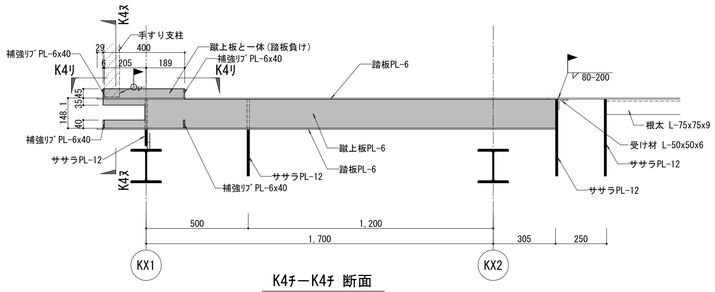


KX6通り鉄骨詳細図



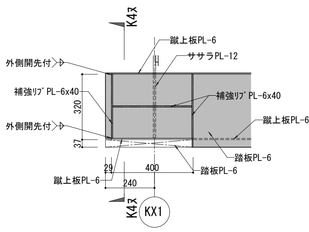
K4ｱ－K4ｱ 断面

KX3通り鉄骨詳細図



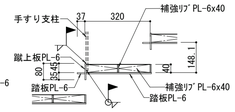
K4ｱ－K4ｱ 断面

A1:(S=1/15)
A3:(S=1/30)



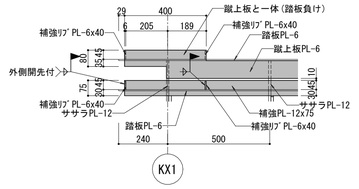
K4ﾘ－K4ﾘ 断面

A1:(S=1/15)
A3:(S=1/30)



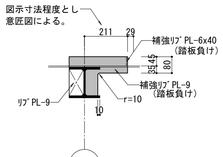
K4ﾇ－K4ｽ 断面

A1:(S=1/15)
A3:(S=1/30)



K4ﾙ－K4ﾙ 断面

A1:(S=1/15)
A3:(S=1/30)



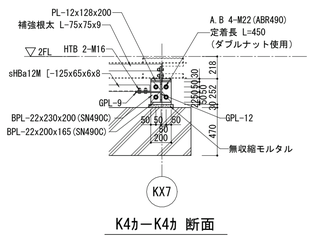
K4ﾜ－K4ﾜ 断面

A1:(S=1/15)
A3:(S=1/30)

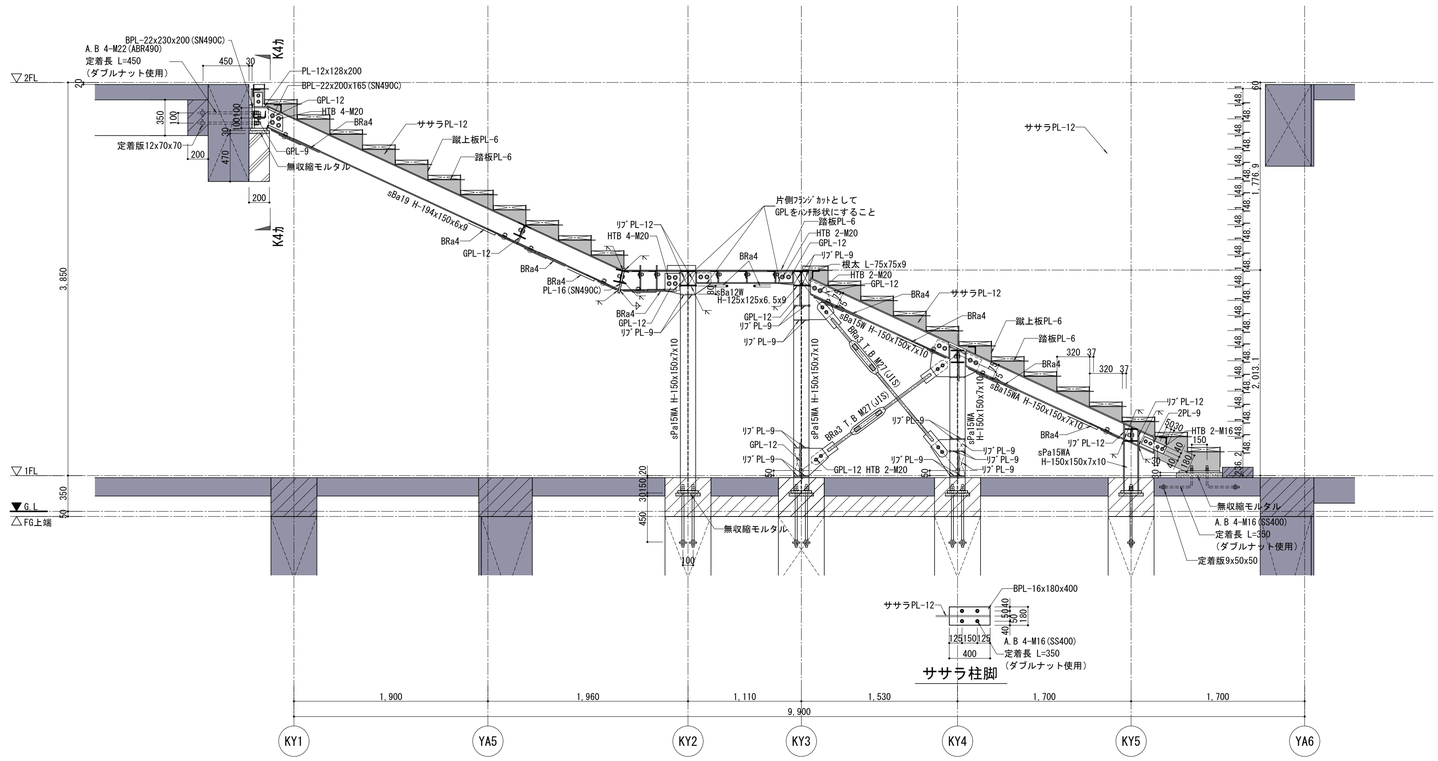
特記事項
- 特記なき限り　鋼材はSS400、HTBはS10TまたはF10Tとする。
- 見え掛かり部分のGPLの取り付け面やボルトの向きは、意匠担当者と協議のうえ決定すること。

工事名称	矢板市立東小学校改築工事		
図面名称/縮尺	(校舎棟) 大階段 鉄骨詳細図 (4)	A1 (S=1/30) A3 (S=1/60)	図面番号
設計年月日	令和7年2月28日		S-160
設計者			
発注者	矢板市役所		

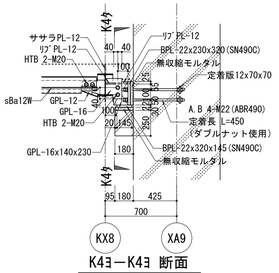
2025/02/18



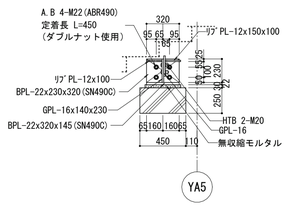
K4カ－K4カ 断面



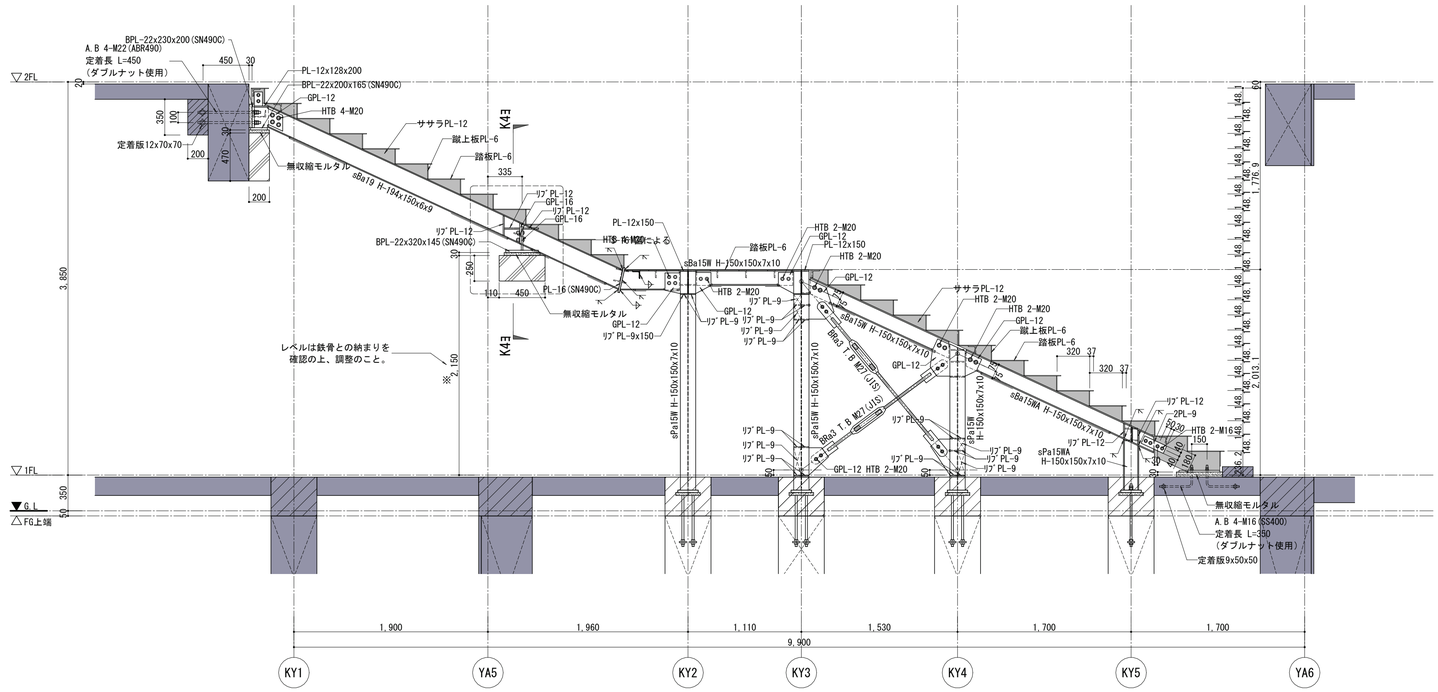
KX7通り鉄骨詳細図



K4キ－K4キ 断面



K4カ－K4カ 断面

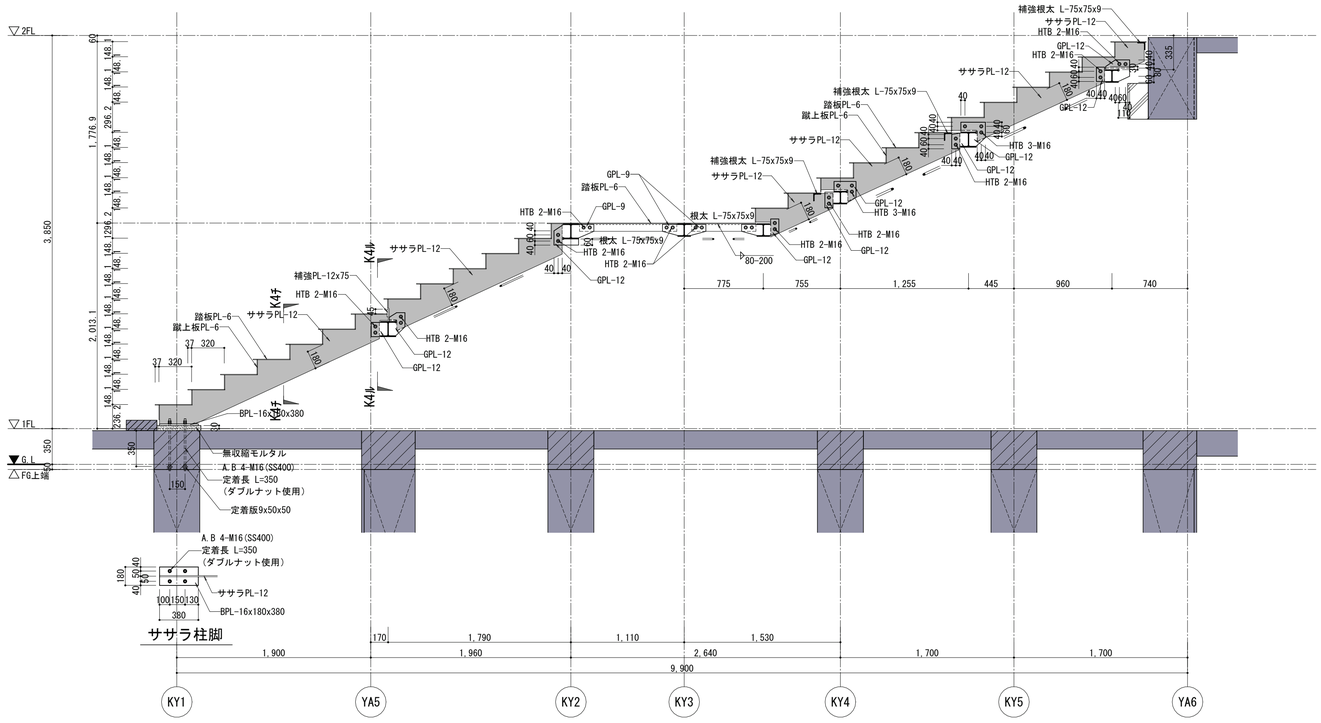


KX8通り鉄骨詳細図

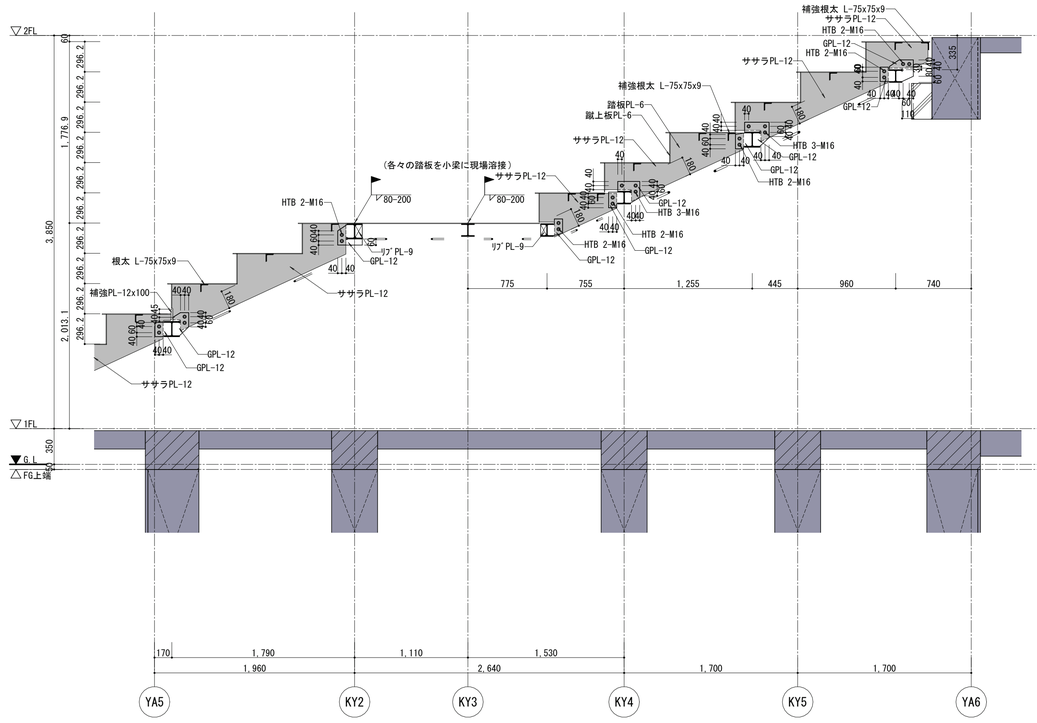
特記事項　・特記なき限り　鋼材はSS400，HTBはS10TまたはF10Tとする。
・見え掛かり部分のGPLの取り付け面やボルトの向きは、意匠担当者と協議のうえ決定すること。

工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称/縮尺	(校舎棟) 大階段 鉄骨詳細図 (5)　A1 (S=1/30) A3 (S=1/60)
図面番号	S-161
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

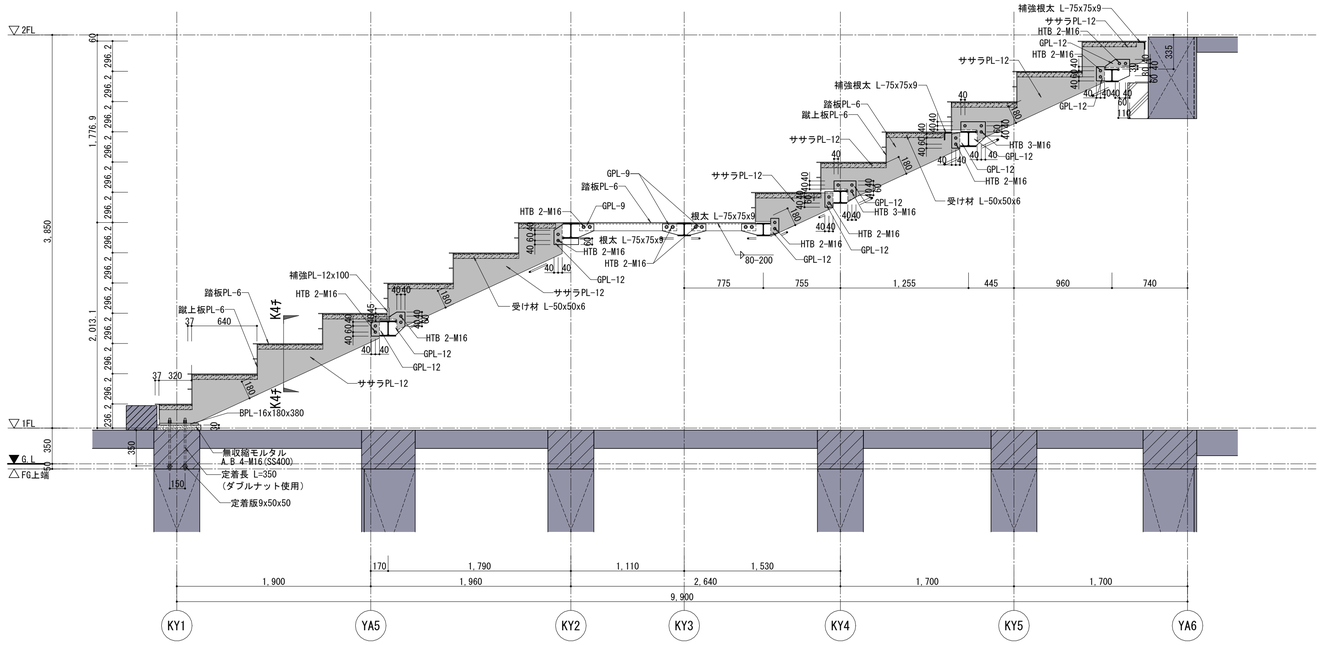
2025/02/18



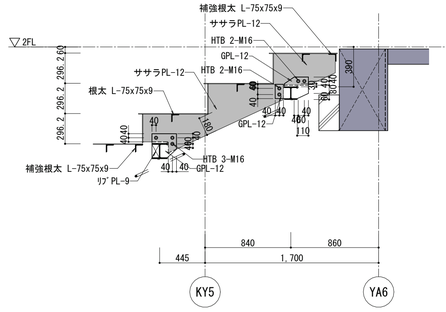
K4イ－K4イ 断面



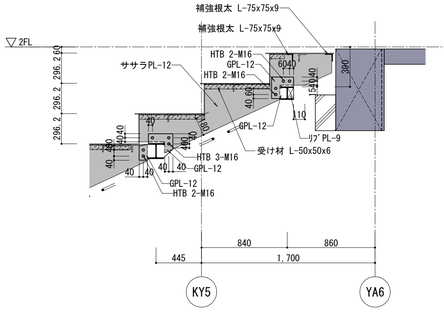
K4ハ－K4ハ 断面



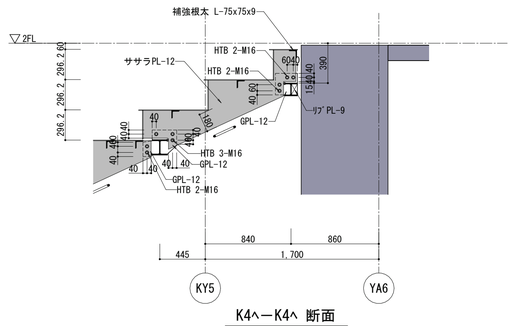
K4ロ－K4ロ 断面



K4ニ－K4ニ 断面



K4ホ－K4ホ 断面

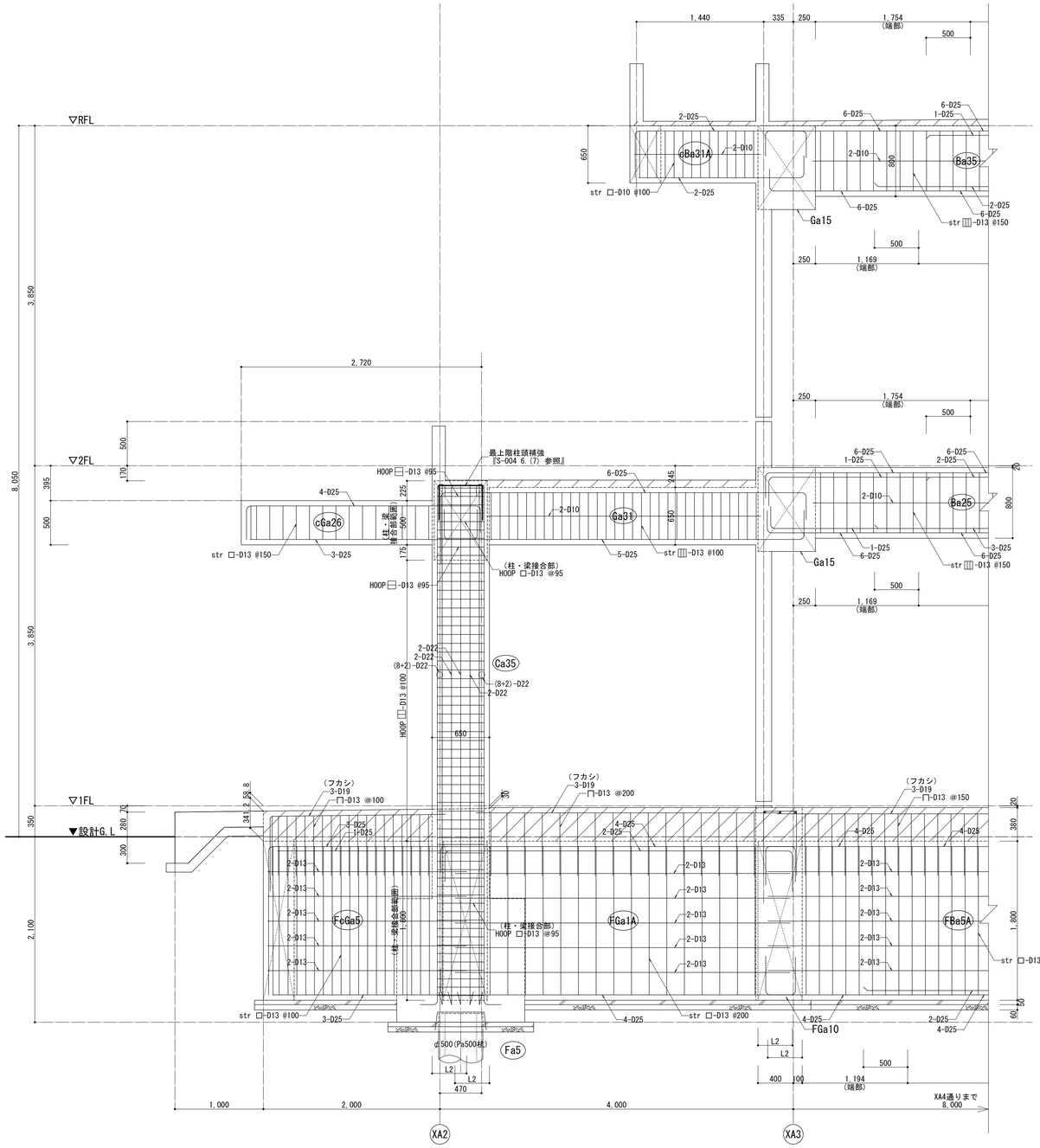


K4ヘ－K4ヘ 断面

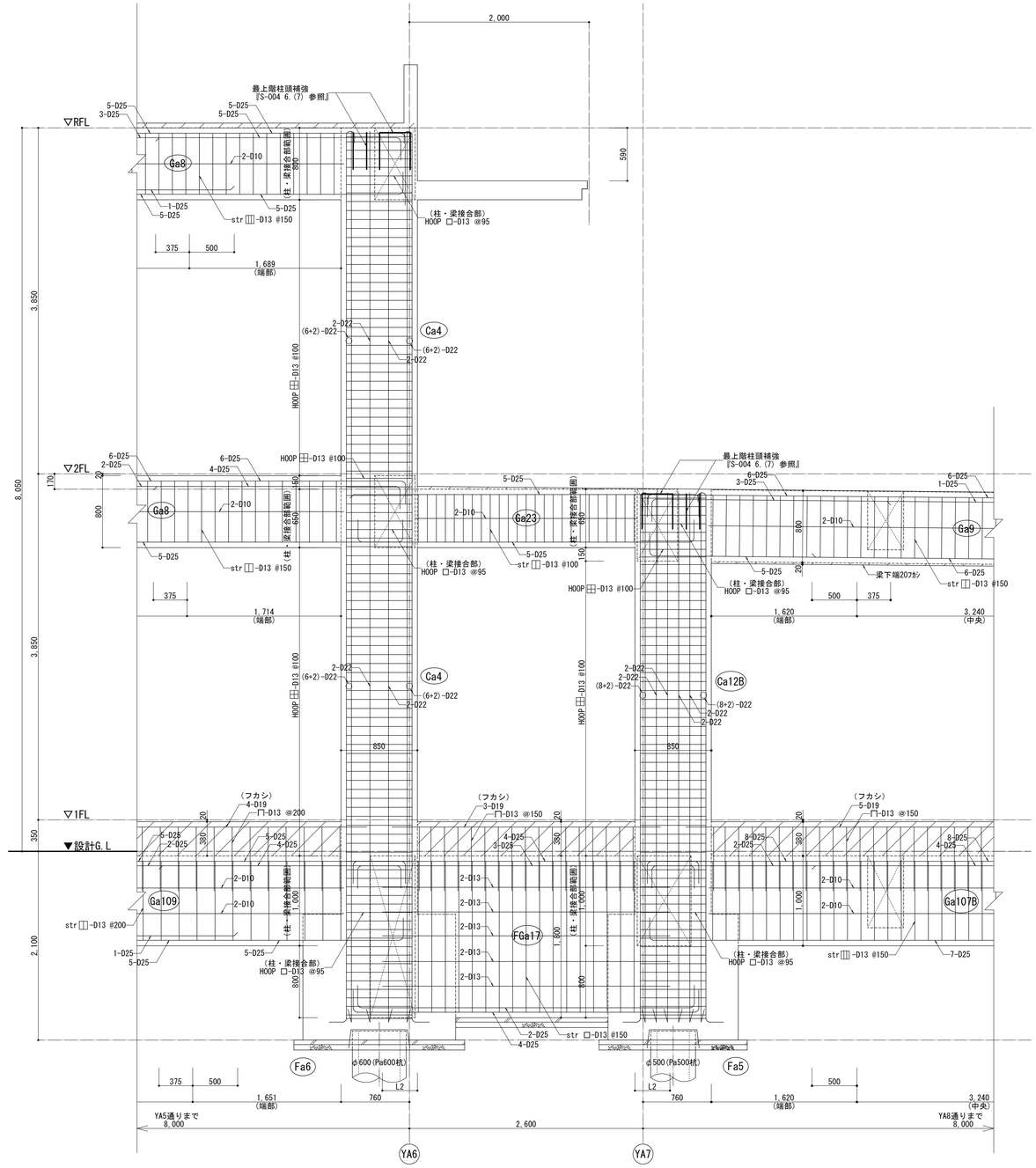
特記事項　・特記なき限り　鋼材はSS400，HTBはS10TまたはF10Tとする。
・見え掛かり部分のGPLの取り付け面やボルトの向きは、意匠担当者と協議のうえ決定すること。

工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称/縮尺	(校舎棟) 大階段 鉄骨詳細図 (6)　A1 (S=1/30) A3 (S=1/60)
図面番号	S-162
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

2025/02/19



YA4b通り配筋詳細図　　縮尺 1/30
(XA2通り～XA4通り間)

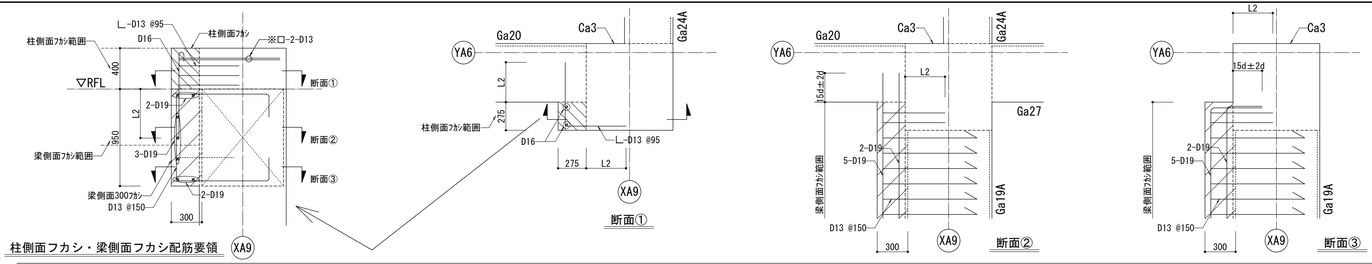


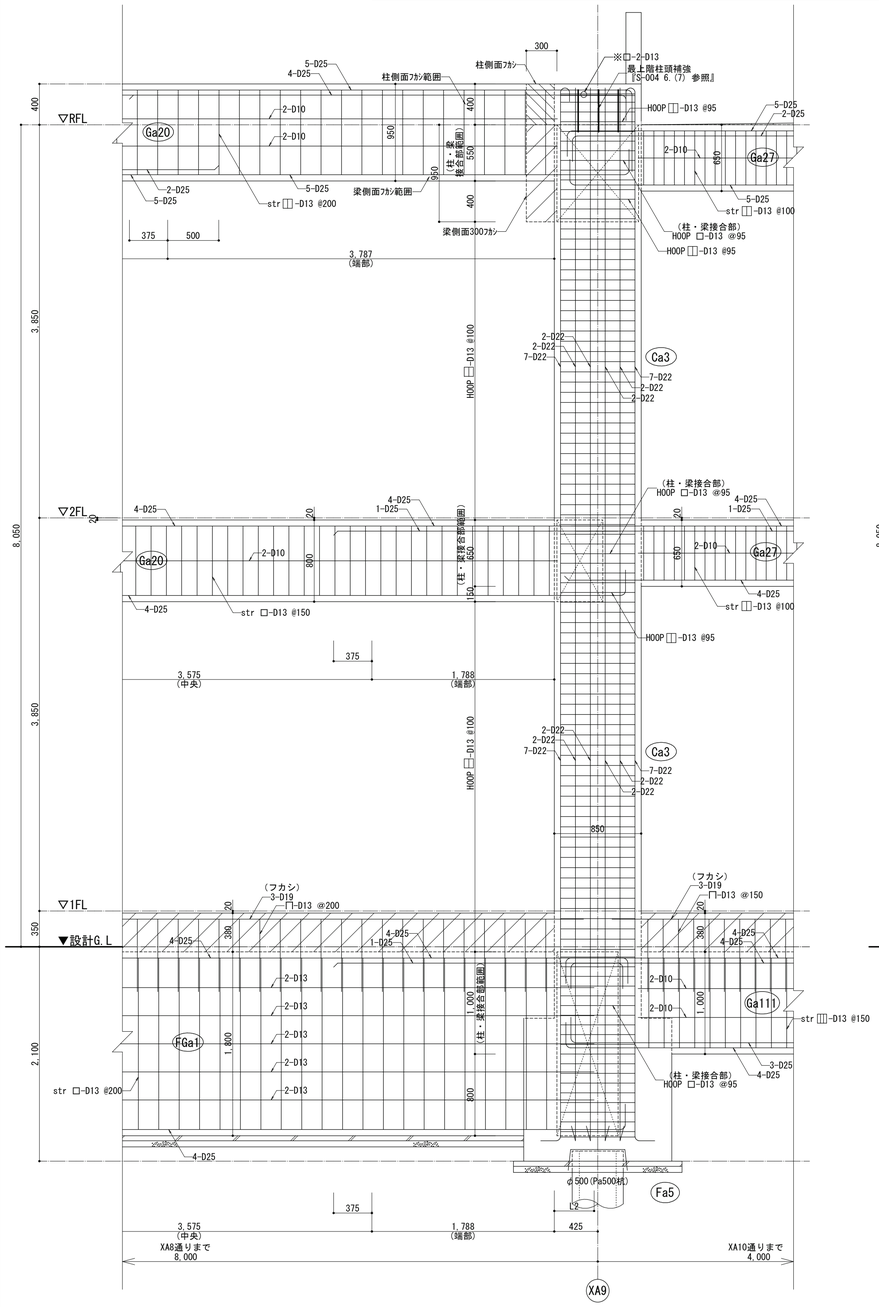
XA5通り配筋詳細図　　縮尺 1/30
(YA5通り～YA8通り間)

工事名称	矢板市立東小学校改築工事		
図面名称／縮尺	(校舎棟) 配筋詳細図 （１）	A1 (S=1/30) A3 (S=1/60)	図面番号
設計年月日	令和7年2月28日		S-171
設計者			
発注者	矢板市役所		

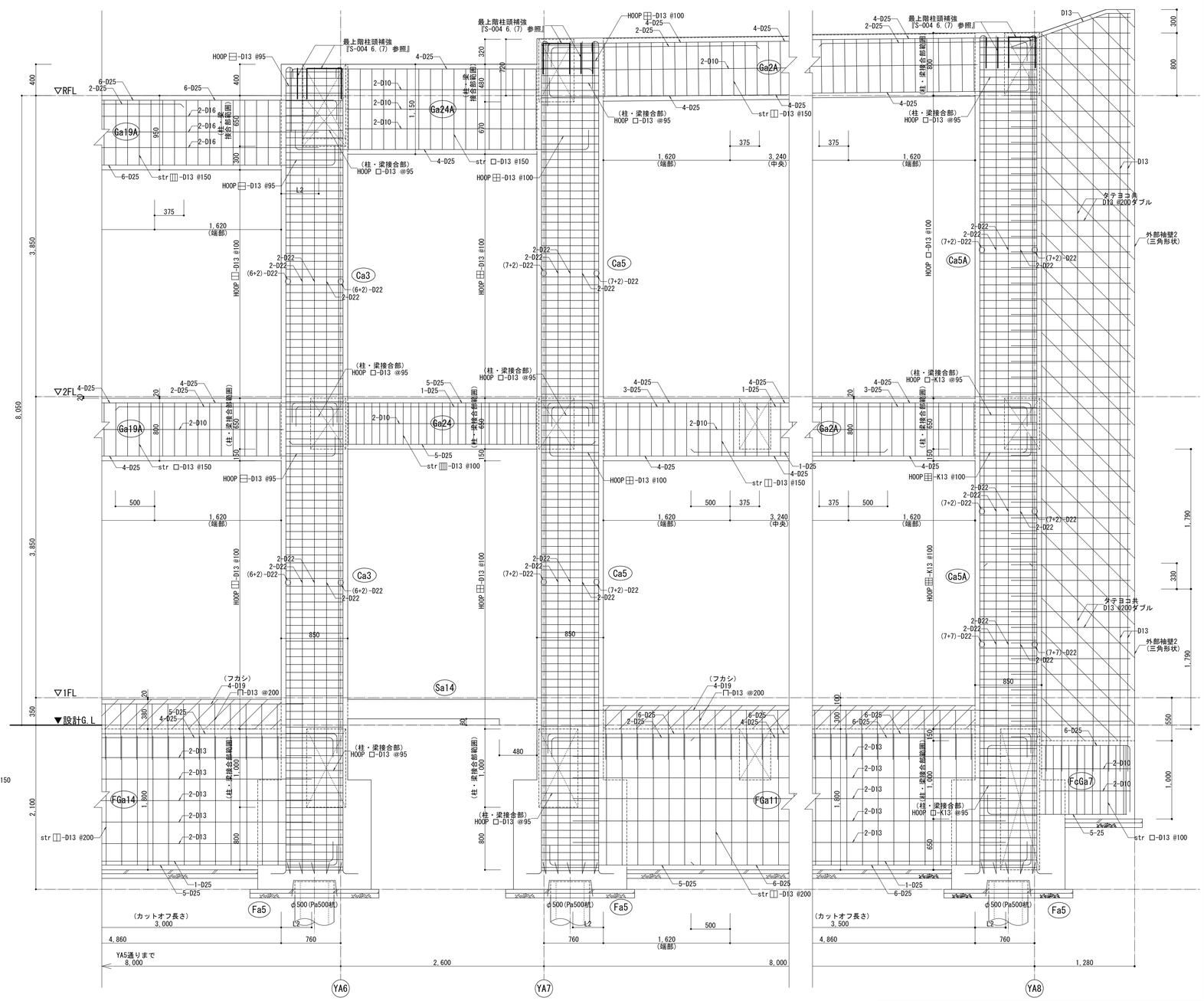
2025/07/11

柱側面フカシ・梁側面フカシ配筋要領





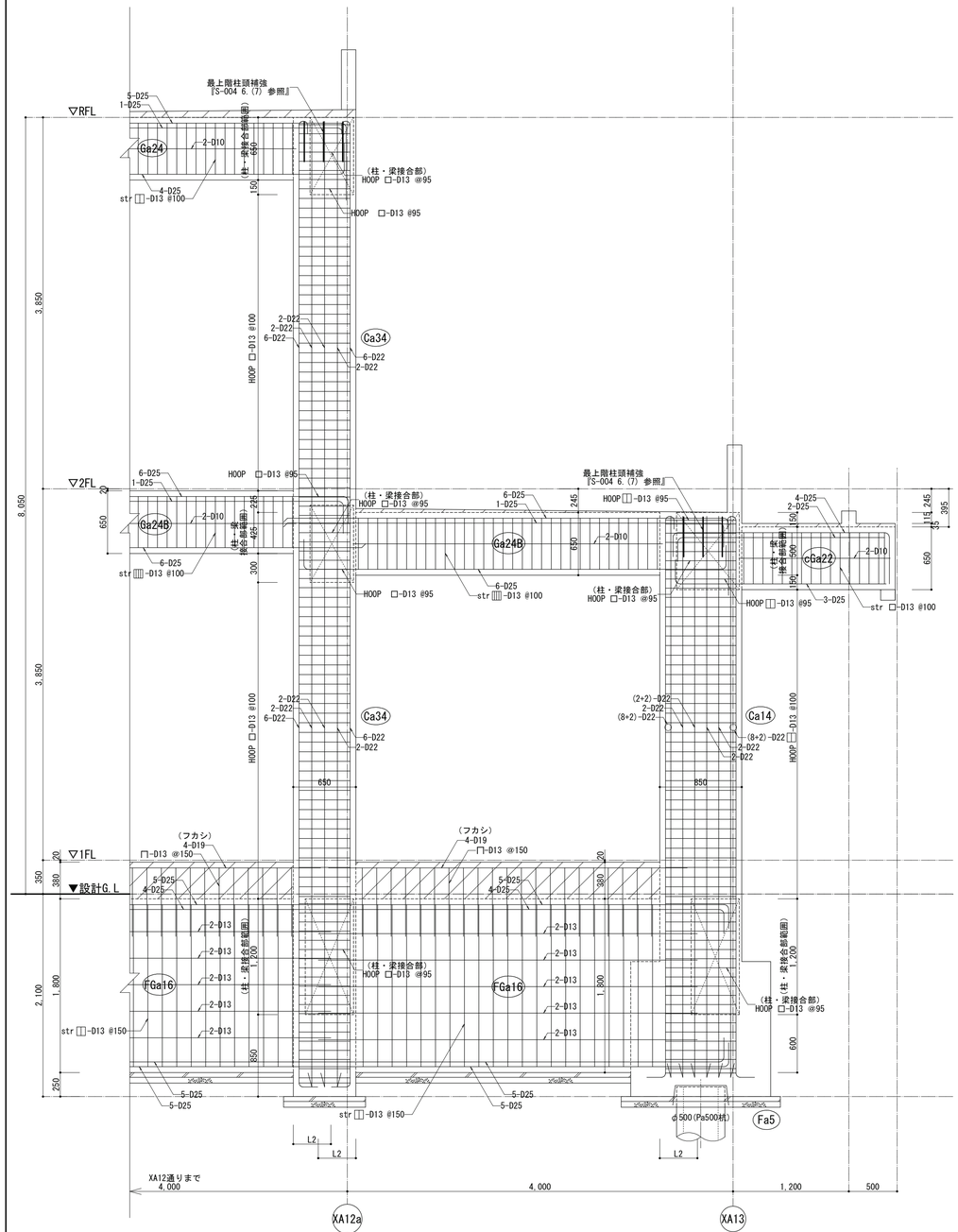
YA6通り配筋詳細図　縮尺 1/30
(XA8通り～XA10通り間)



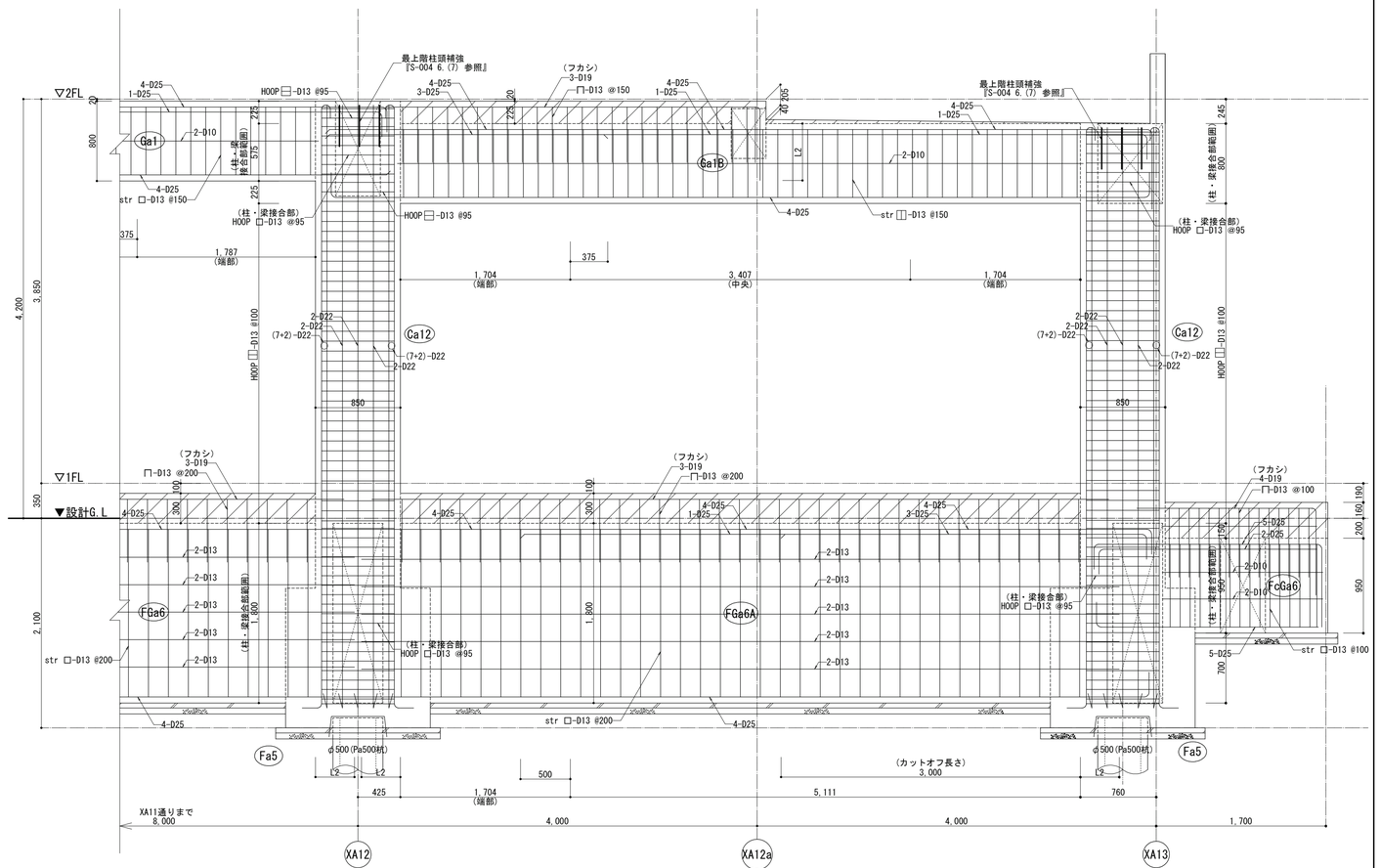
XA9通り配筋詳細図　縮尺 1/30
(YA5通り～YA8通り間)

工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称／縮尺	(校舎棟) 配筋詳細図（２）　A1(S=1/30) A3(S=1/60)
図面番号	S-172
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

2025/07/11



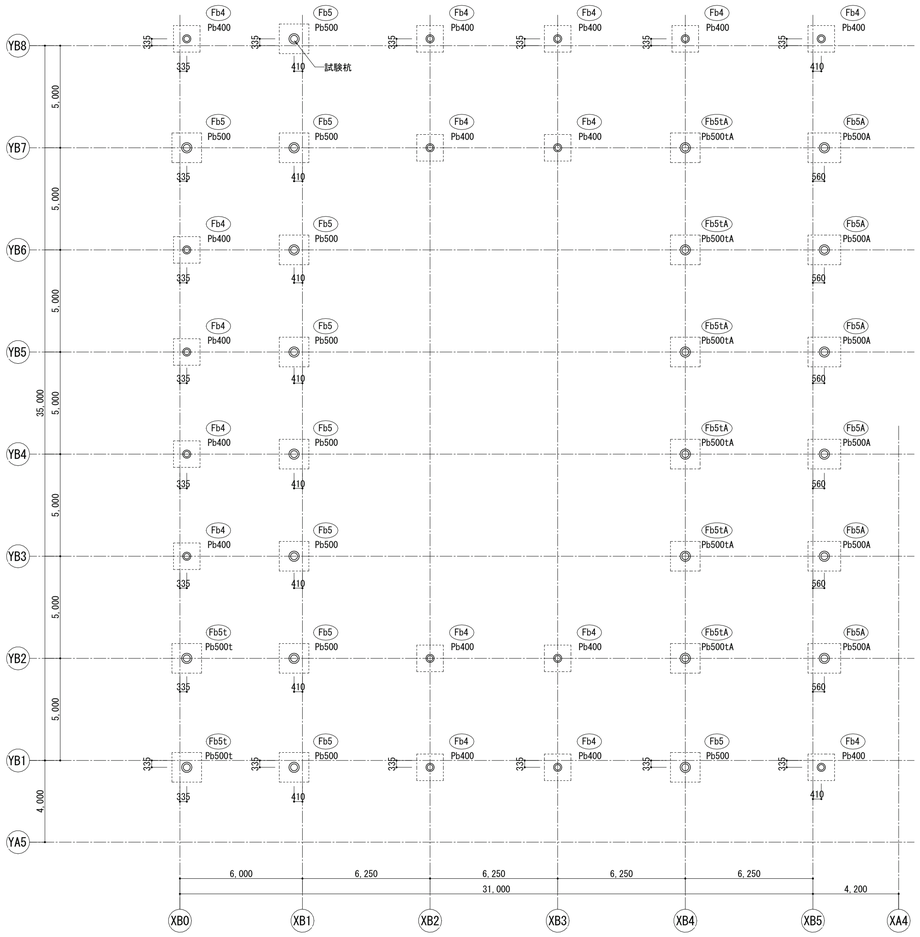
YA6通り配筋詳細図　縮尺 1/30
(XA12通り～XA13通り間)



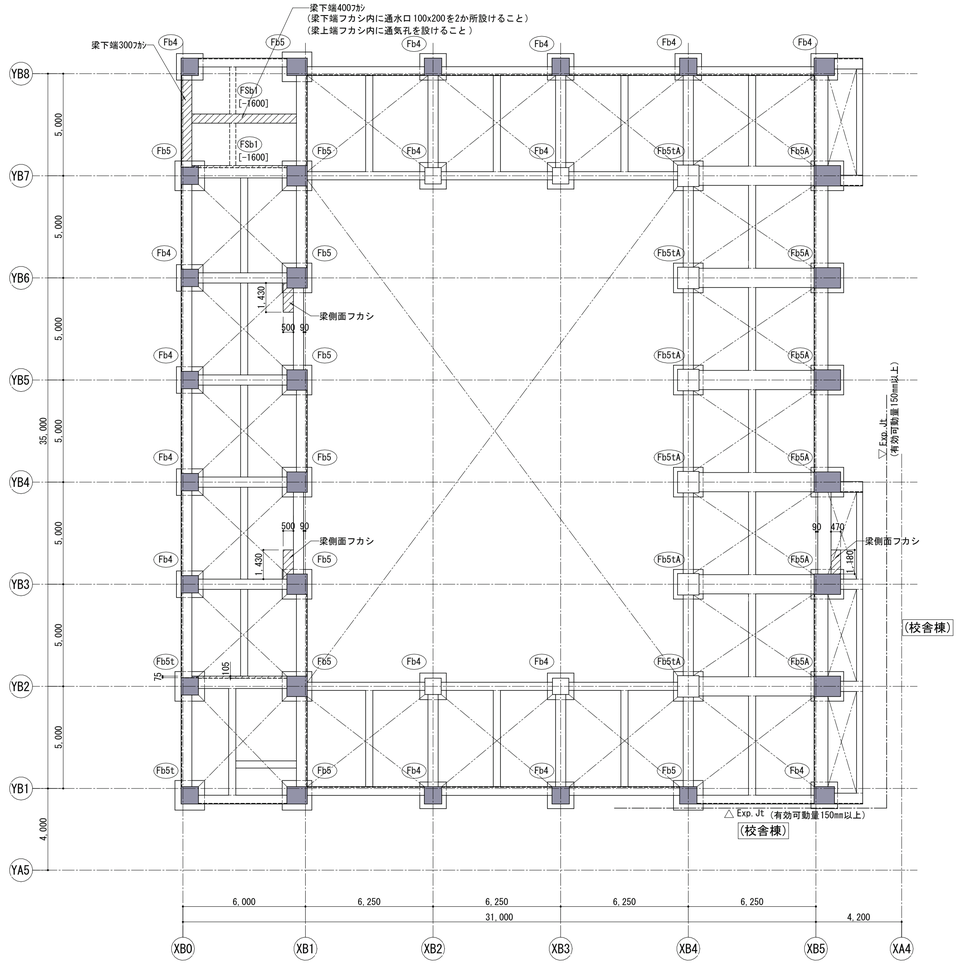
YA8通り配筋詳細図　縮尺 1/30
(XA11通り～XA13通り間)

工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称／縮尺	(校舎棟) 配筋詳細図（３）　A1(S=1/30) A3(S=1/60)
図面番号	S-173
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

2025/07/11



杭伏図



基礎伏図

特記事項
- 杭は MAGNUM-BASIC工法(プレボーリング拡大根固め工法)とし、杭種、杭長は下表による。
- 杭頭接合は、F.T.Pile構法(標準タイプ)とする。ただし、Pb500tおよびPb500tAは引抜きタイプ用とし、杭1本あたりφ11-G種－700mm-8本を配置する。
  なお、杭頭端板の厚さおよび材質は、引抜きタイプ用端板を用いる。
- 杭継手は、無溶接継手を用いること。なお、Pb500tおよびPb500tAは引張対応型の杭継手とする。
- 杭芯ずれの許容値＝100mm以内とし、許容値を超えた場合は監理者と協議すること。
- 杭頭レベルの許容値は-50mm～+20mmとし、許容値を超えた場合は監理者と協議すること。
- 杭の施工不良が生じないよう十分検討し、施工計画を監理者へ提出し了承を得ること。
- 試験杭等及び適切な施工管理方法により、設計杭支持力を確保すること。
- 試験杭の位置は、上記の位置を参考に監理者と協議の上、決定すること。

特記事項
- 図面は 見下げ図 とする。
- 設計GL=KBM+1,950 とする。
- 1FL=設計GL+350 とする。
- ⌒ はスラブ主筋方向を示す。
- 保持金物等がかぶり厚内にある場合には、かぶり厚範囲は防錆処理を施すこと。
- 特記なき限り、梁上端は 1FL-700 とする。
- [ ]は、1FLからのスラブ上端レベルを示す。
- 釜場は、意匠図による。
- ▭ は、埋戻し の範囲を示す。
- スリーブの適用範囲は躯体径(ボイド管などの外径)で確認すること。

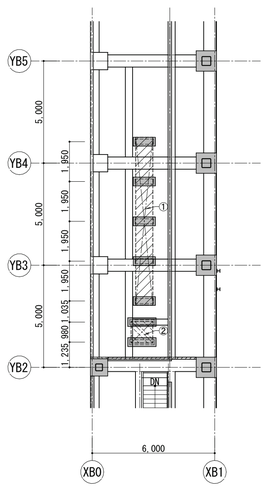
基礎記号	杭記号	部位	杭の種類（杭径）	設計杭長	杭下根固長 杭径比 η	長期支持力	引抜抵抗力 短期，終局	本数	備考
Fb4	Pb400	上杭	400φ【105CPRC-MAS-Ⅲ種】	6.0 m	1.2	1510kN/本	－	16 本	
		下杭	400φ【105MAS-A種】	14.0 m					
Fb5	Pb500	上杭	500φ【105MAS-B種】	6.0 m	1.2	2140kN/本	－	10 本	
		下杭	500φ【105MAS-A種】	14.0 m					
Fb5A	Pb500A	上杭	500φ【105MAS-B種】	6.0 m	1.2	2140kN/本	－	6 本	杭頭レベル注意
		下杭	500φ【105MAS-A種】	14.0 m					
Fb5t	Pb500t	上杭	500φ【105CPRC-MAS-Ⅱ種】	6.0 m	1.2	2140kN/本	640kN/本 720kN/本	2 本	FTキャップ 引抜抵抗タイプ
		下杭	500φ【105MAS-A種】	14.0 m					
Fb5tA	Pb500tA	上杭	500φ【105CPRC-MAS-Ⅱ種】	6.0 m	1.2	2140kN/本	640kN/本 720kN/本	6 本	FTキャップ 引抜抵抗タイプ 杭頭レベル注意
		下杭	500φ【105MAS-A種】	14.0 m					
		上杭							
		下杭							
合計								40 本	

工事名称	矢板市立東小学校改築工事	
図面名称/縮尺	(屋内運動場) 杭伏図・基礎伏図 A1(S=1/150) A3(S=1/300)	図面番号
設計年月日	令和7年2月28日	S-201
設計者		
発注者	矢板市役所	

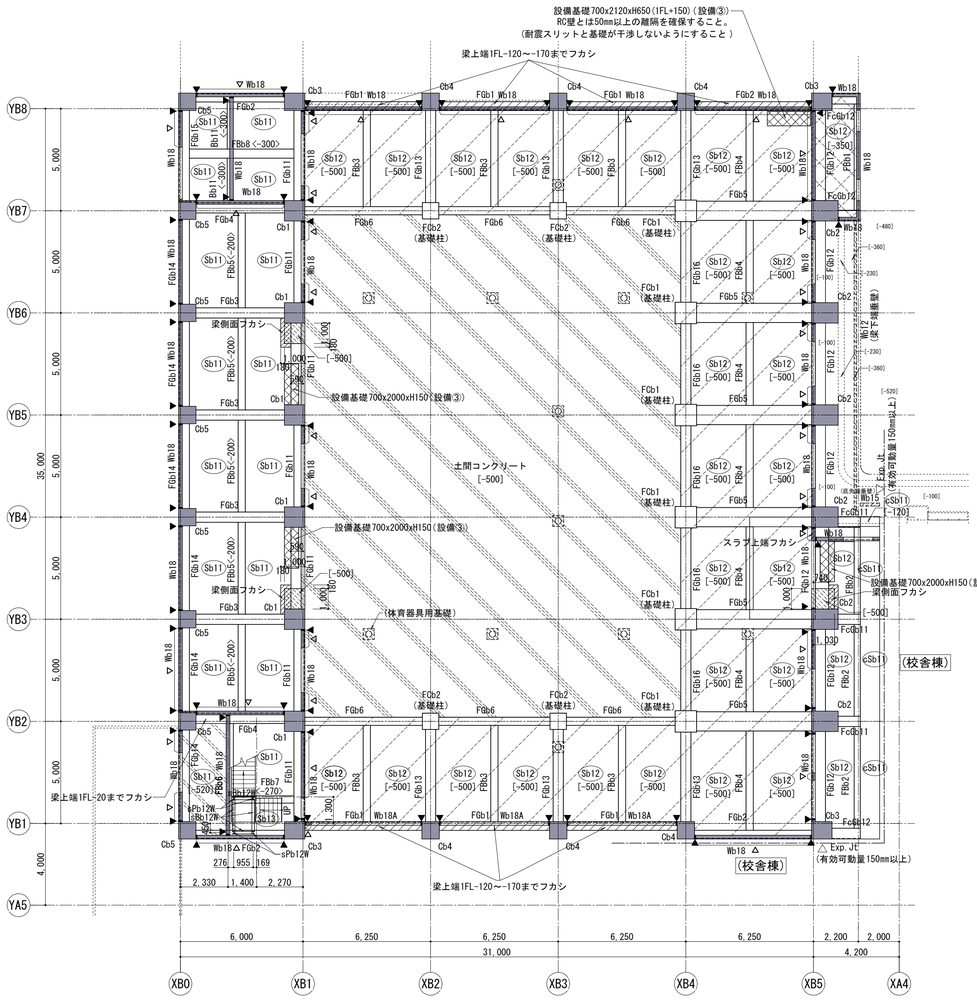
2025/02/27

設備荷重一覧表

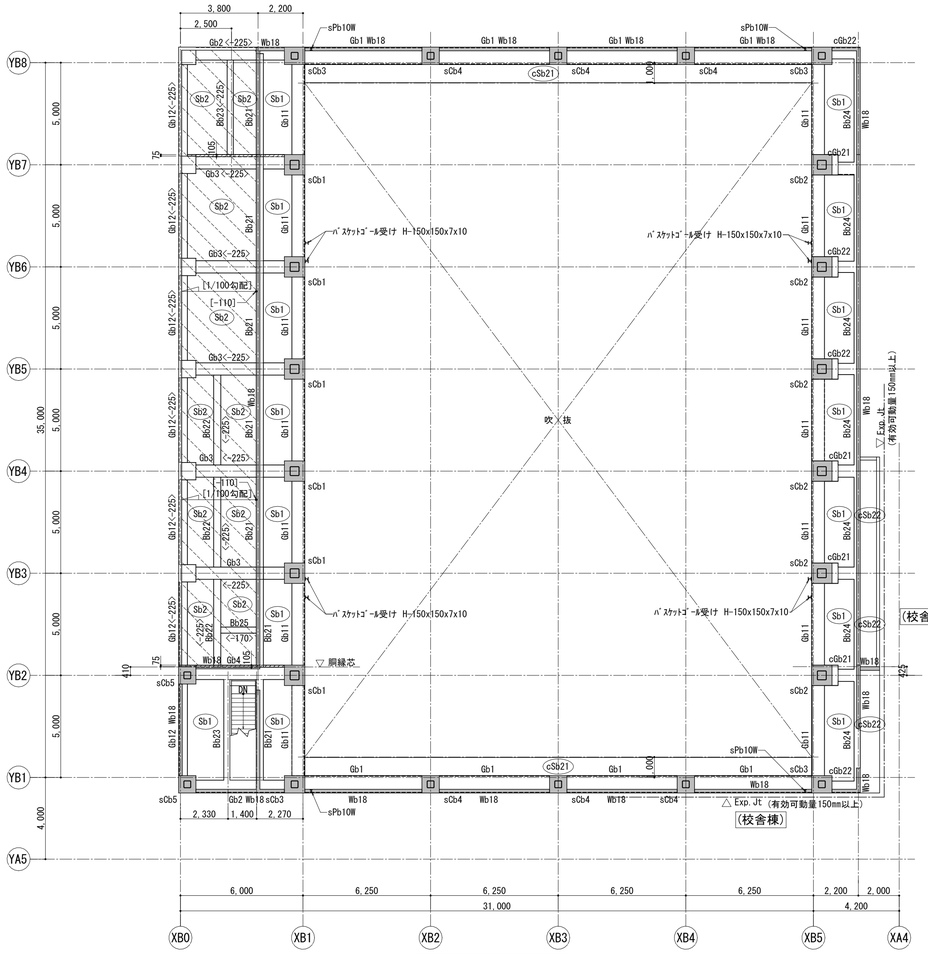
記　号	基礎形状 L(長さ)×B(幅)×H(高さ)	基礎数	設備荷重(N)	箇所	備　考
①	900×250×(2FL+500) (アゴ形状除く)	5	18,000	1	設備+防振架台+架台含む 図示範囲に均等に 配置したときの合計荷重
②	1,200×250×(2FL+500) (アゴ形状除く)	2	11,000	1	消火用充水槽(水槽+水) +架台含む
③	1階床梁伏図参照	4	2,000	4	設備1台当たりの荷重



2階設備基礎配置図



1階床梁伏図



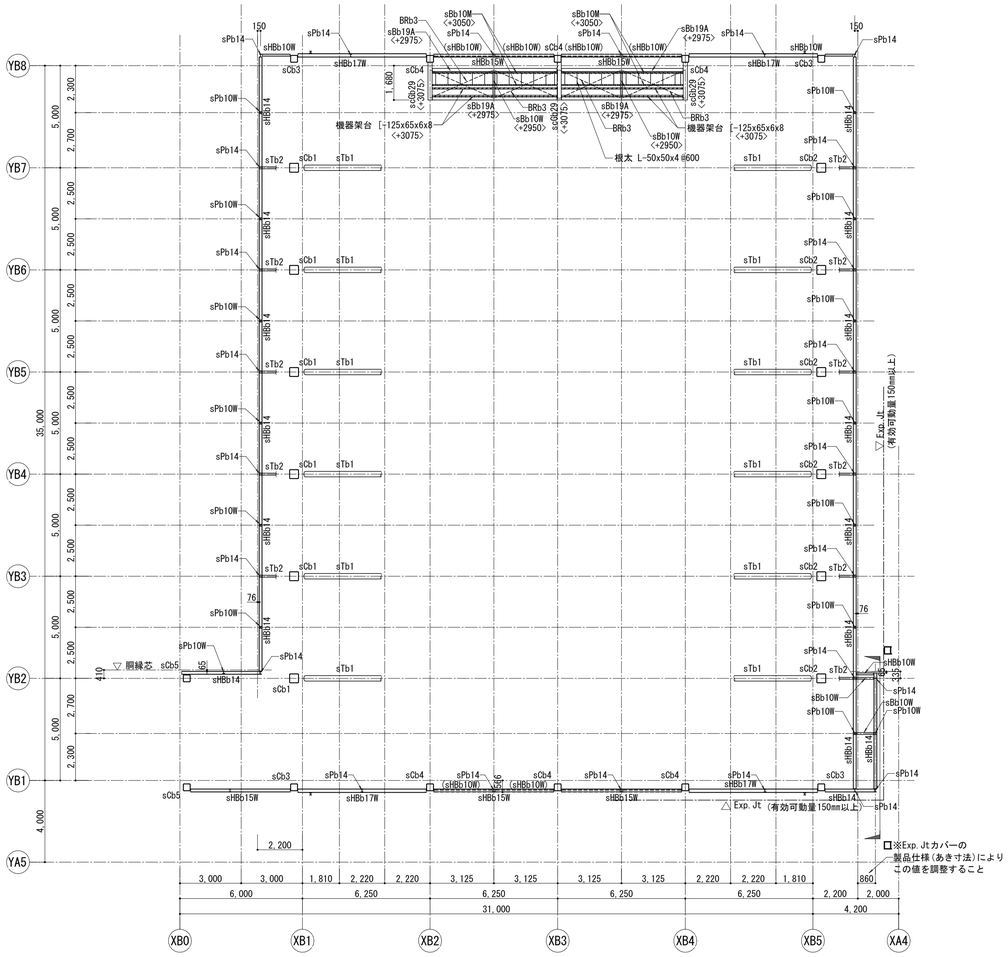
2階床梁伏図

特記事項
- 図面は 見下げ図 とする。
- 設計GL=KBM+1,950 とする。
- 1FL=設計GL+350 とする。
- ⌐⌐ はスラブ主筋方向を示す。
- ▲ 印は、鉛直耐震スリットを示す。
- △ 印は、水平耐震スリットを示す。
- 保持金物等がかぶり厚内にある場合には、かぶり厚範囲は防錆処理を施すこと。
- 特記なき限り、梁上端は　1FL-700　とする。
  スラブ上端は　1FL-20とする。
  〈　〉は、1FLからの梁上端レベルを示す。
  [　]は、1FLからのスラブ上端レベルを示す。
  梁上端は、スラブ上端までフカシとする。
- スリーブの適用範囲は躯体径(ボイド管などの外径)で確認すること。

特記事項
- 図面は 見下げ図 とする。
- 2FL＝設計GL+4,200とする。
- ⌐⌐ はスラブ主筋方向を示す。
- ▲ 印は、鉛直耐震スリットを示す。
- △ 印は、水平耐震スリットを示す。
- 保持金物等がかぶり厚内にある場合には、かぶり厚範囲は防錆処理を施すこと。
- 特記なき限り、梁およびスラブ上端は　2FL-20　とする。
  〈　〉は、2FLからの梁上端レベルを示す。
  [　]は、2FLからのスラブ上端レベルを示す。
  梁上端は、スラブ上端までフカシとする。
- スリーブの適用範囲は躯体径(ボイド管などの外径)で確認すること。

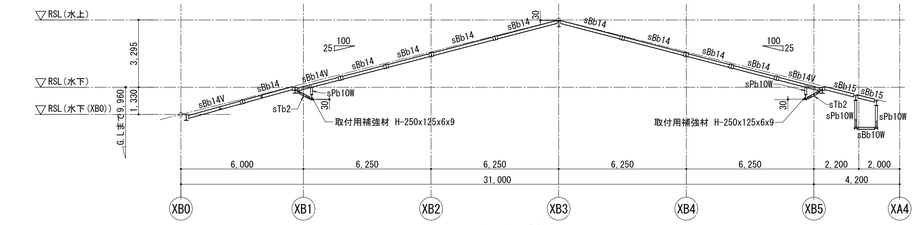
工事名称	矢板市立東小学校改築工事		
図面名称/縮尺	(屋内運動場) 1階床梁伏図・2階床梁伏図	A1(S=1/150) A3(S=1/300)	図面番号
設計年月日	令和7年2月28日		S-202
設計者			
発注者	矢板市役所		

2025/07/11

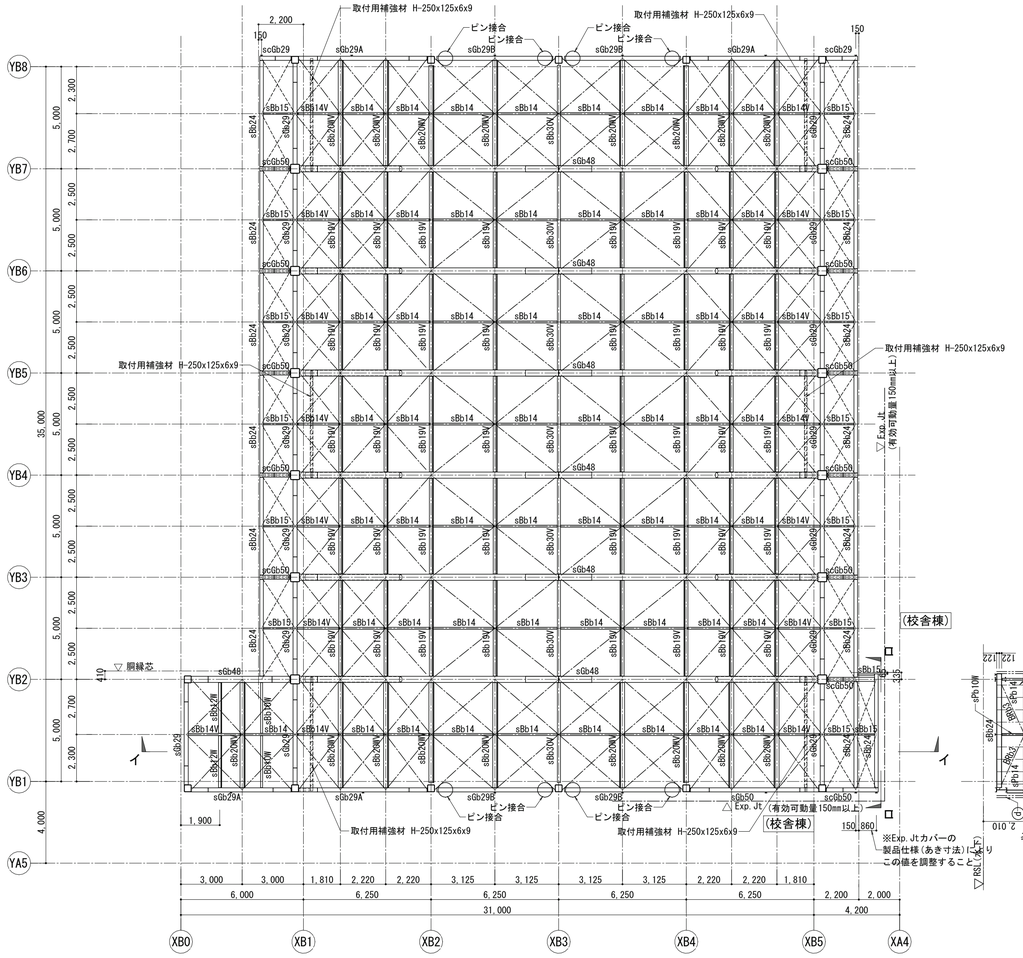


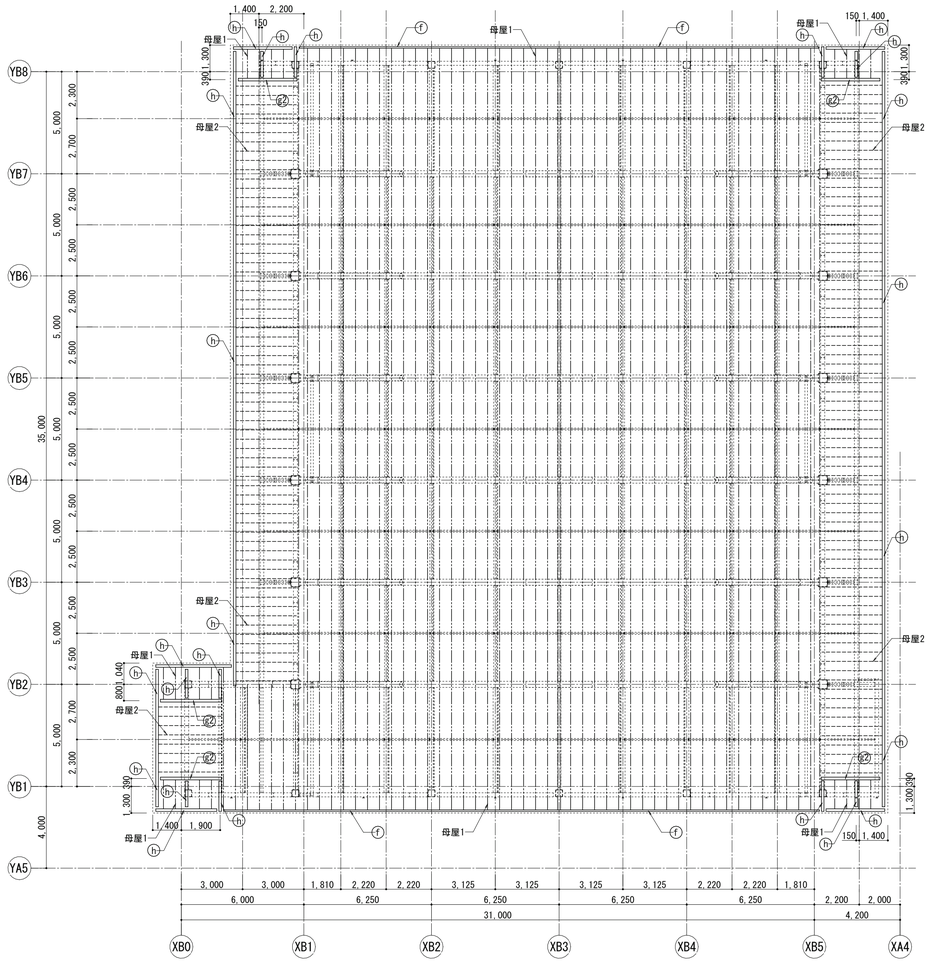
2階中間伏図

特記事項
- 図面は 見下げ図 とする。
- 梁上端は 軸組図および鉄骨詳細図による。
- <　>は、2FLからの梁上端レベルを示す。
- 梁端部に記号の無い大梁は剛接合、小梁はピン接合とする。
- ○ 記号は大梁端部ピン接合を示す。

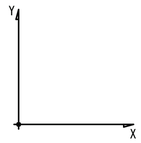


イーイ 断面


YB8
YB7
YB6
YB5
YB4
YB3
YB2
YB1
YA5
XB0
XB1
XB2
XB3
XB4
XB5
XA4
取付用補強材 H-250x125x6x9
ピン接合
scGb29
sGb29A
sGb29B
sGb48
scGb50
sBb15
sBb14V
sBb14
sBb20W
sBb19W
sBb19V
sBb30W
sBb30V
sBb24
sGb29C
sGb29D
sBb14W
sBb14V
sBb20W
sBb19W
sBb19V
sBb30W
sBb30V
sGb29E
sGb29F
sBb24W
sBb20V
sBb19V
sBb30V
sGb29G
sGb29H
sBb24V
sBb20V
sBb19V
sBb30V
sGb29J
sGb29K
sBb24V
sBb20V
sBb19V
sBb30V
sGb29L
sGb29M
sBb24V
sBb20V
sBb19V
sBb30V
sGb29N
sGb29P
sBb24V
sBb20V
sBb19V
sBb30V
sGb29Q
sGb29R
sBb24V
sBb20V
sBb19V
sBb30V
sGb29S
sGb29T
sBb24V
sBb20V
sBb19V
sBb30V
sGb29U
sGb29V
sBb24V
sBb20V
sBb19V
sBb30V
sGb29W
sGb29X
sBb24V
sBb20V
sBb19V
sBb30V
sGb29Y
sGb29Z
sBb24V
sBb20V
sBb19V
sBb30V
sGb29A
sGb29B
sBb24W
sBb20V
sBb19V
sBb30V
sGb29C
sGb29D
sBb14W
sBb14V
sBb20W
sBb19W
sBb19V
sBb30W
sBb30V
sGb29E
sGb29F
sBb14V
sBb20W
sBb19W
sBb19V
sBb30W
sBb30V
sGb29G
sGb29H
sBb14V
sBb20W
sBb19W
sBb19V
sBb30W
sBb30V
sGb29J
sGb29K
sBb14V
sBb20W
sBb19W
sBb19V
sBb30W
sBb30V
sGb29L
sGb29M
sBb14V
sBb20W
sBb19W
sBb19V
sBb30W
sBb30V
sGb29N
sGb29P
sBb14V
sBb20W
sBb19W
sBb19V
sBb30W
sBb30V
sGb29Q
sGb29R
sBb14V
sBb20W
sBb19W
sBb19V
sBb30W
sBb30V
sGb29S
sGb29T
sBb14V
sBb20W
sBb19W
sBb19V
sBb30W
sBb30V
sGb29U
sGb29V
sBb14V
sBb20W
sBb19W
sBb19V
sBb30W
sBb30V
sGb29W
sGb29X
sBb14V
sBb20W
sBb19W
sBb19V
sBb30W
sBb30V
sGb29Y
sGb29Z
sBb14V
sBb20W
sBb19W
sBb19V
sBb30W
sBb30V
sGb29A
sGb29B
sBb15
sBb14V
sBb14
sBb20W
sBb19W
sBb19V
sBb30W
sBb30V
sBb24
sGb29C
sGb29D
sBb15
sBb14V
sBb14
sBb20W
sBb19W
sBb19V
sBb30W
sBb30V
sBb24
sGb29E
sGb29F
sBb15
sBb14V
sBb14
sBb20W
sBb19W
sBb19V
sBb30W
sBb30V
sBb24
sGb29G
sGb29H
sBb15
sBb14V
sBb14
sBb20W
sBb19W
sBb19V
sBb30W
sBb30V
sBb24
sGb29J
sGb29K
sBb15
sBb14V
sBb14
sBb20W
sBb19W
sBb19V
sBb30W
sBb30V
sBb24
sGb29L
sGb29M
sBb15
sBb14V
sBb14
sBb20W
sBb19W
sBb19V
sBb30W
sBb30V
sBb24
sGb29N
sGb29P
sBb15
sBb14V
sBb14
sBb20W
sBb19W
sBb19V
sBb30W
sBb30V
sBb24
sGb29Q
sGb29R
sBb15
sBb14V
sBb14
sBb20W
sBb19W
sBb19V
sBb30W
sBb30V
sBb24
sGb29S
sGb29T
sBb15
sBb14V
sBb14
sBb20W
sBb19W
sBb19V
sBb30W
sBb30V
sBb24
sGb29U
sGb29V
sBb15
sBb14V
sBb14
sBb20W
sBb19W
sBb19V
sBb30W
sBb30V
sBb24
sGb29W
sGb29X
sBb15
sBb14V
sBb14
sBb20W
sBb19W
sBb19V
sBb30W
sBb30V
sBb24
sGb29Y
sGb29Z
sBb15
sBb14V
sBb14
sBb20W
sBb19W
sBb19V
sBb30W
sBb30V
sBb24

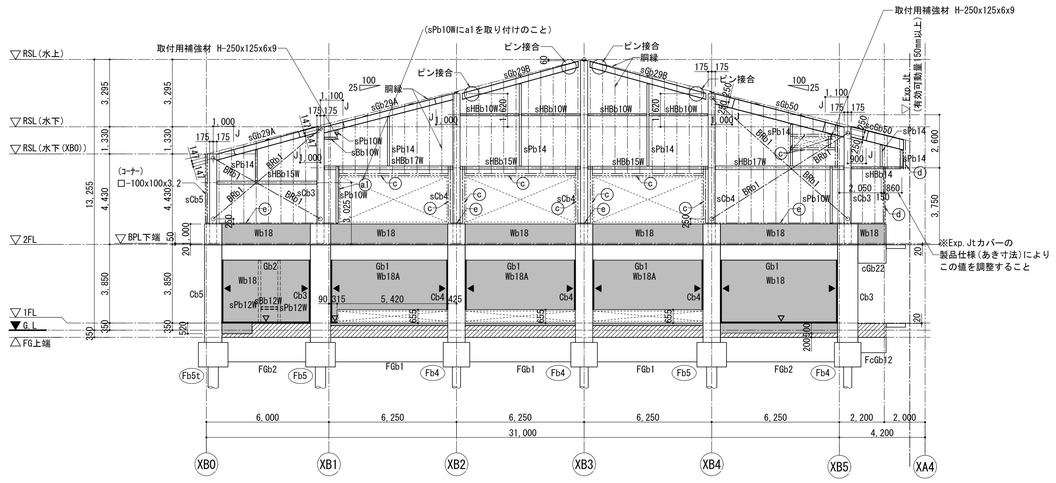


特記事項　・図面は 見下げ図 とする。

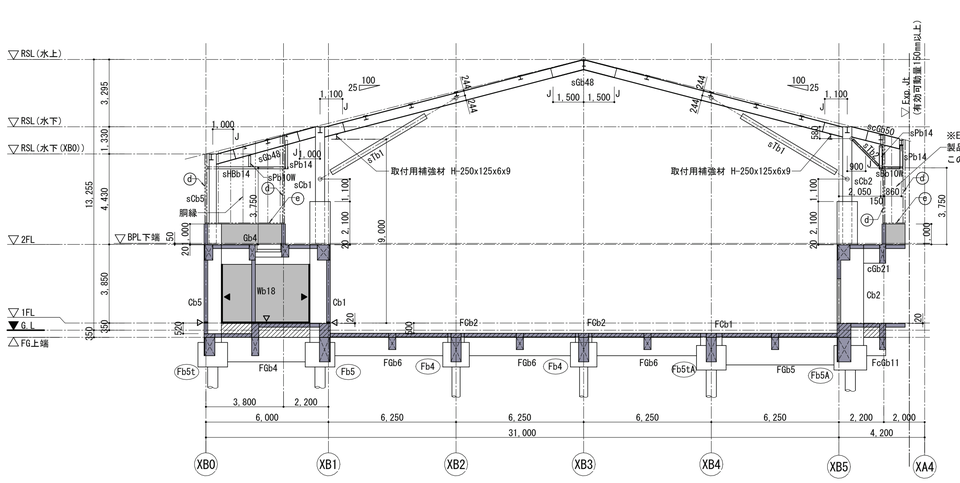


工事名称	矢板市立東小学校改築工事		
図面名称/縮尺	(屋内運動場) R階母屋伏図	A1 (S=1/150) A3 (S=1/300)	図面番号
設計年月日	令和7年2月28日		S-204
設計者			
発注者	矢板市役所		

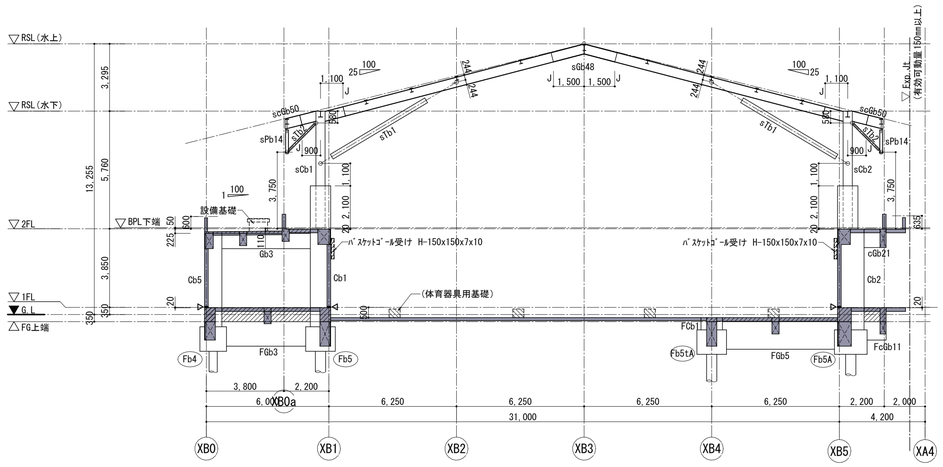
2024/12/23



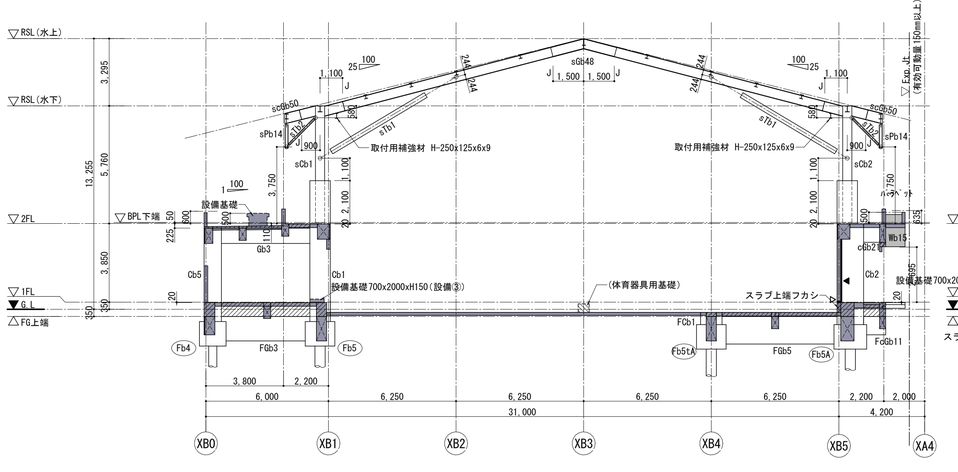
YB1通り



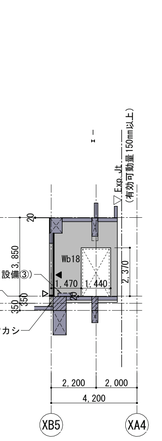
YB2通り



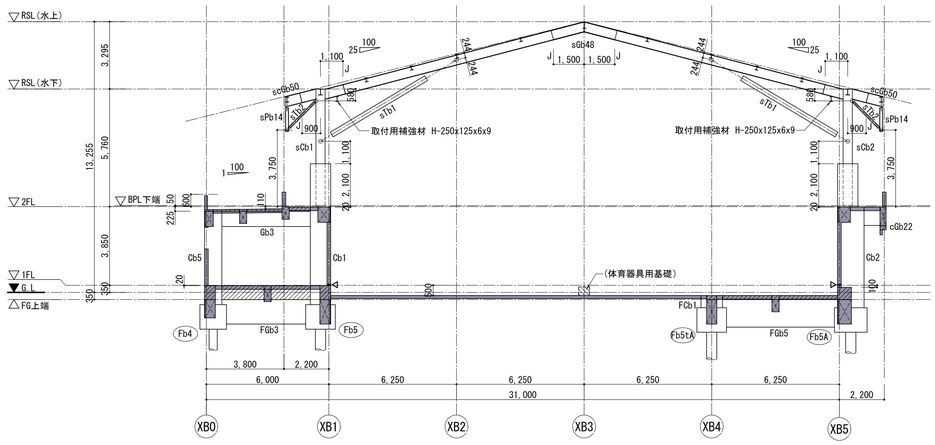
YB3通り



YB4通り



YB4通り-1070

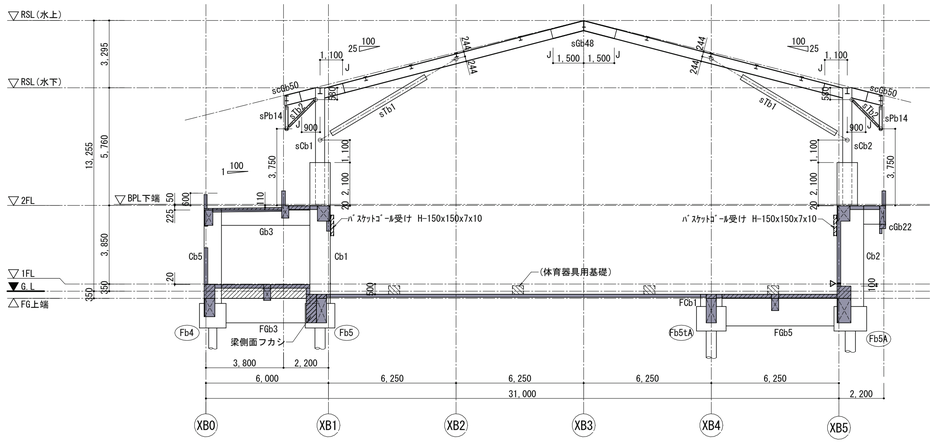


YB5通り

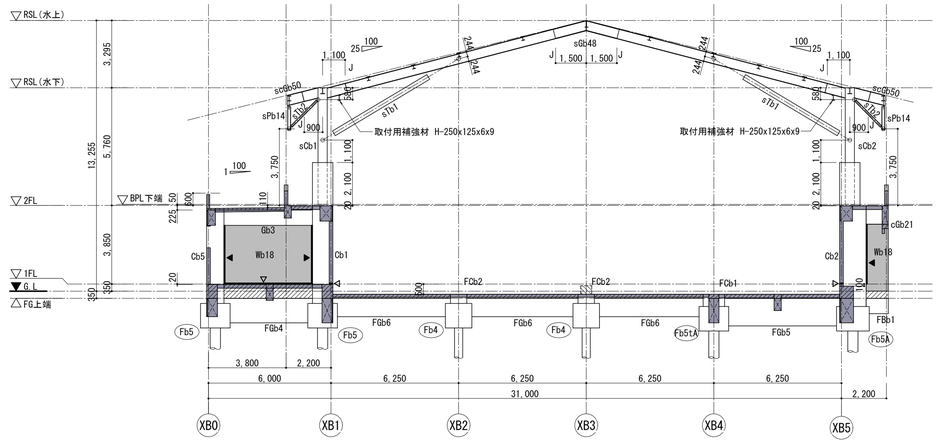
特記事項
- 梁端部に記号の無い大梁は剛接合、小梁はピン接合とする。
- 間柱はピン接合とする。
- 開口補強材の ⓒ は ⓐ2 、ⓓ は ⓑ2 への変更は可とする。
- ▨ はフカシの範囲を示す。

工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称/縮尺	(屋内運動場) 軸組図 (1) A1 (S=1/150) A3 (S=1/300)
図面番号	S-211
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

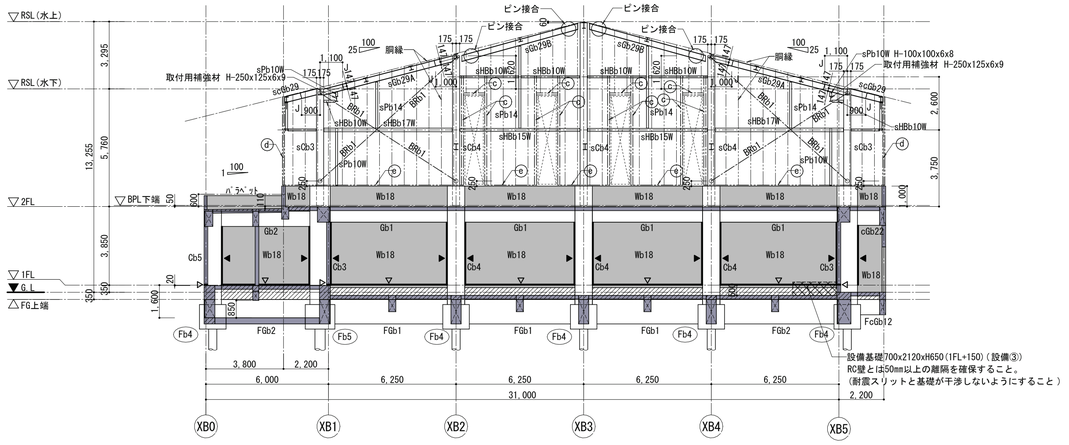
2025/07/11



YB6通り



YB7通り

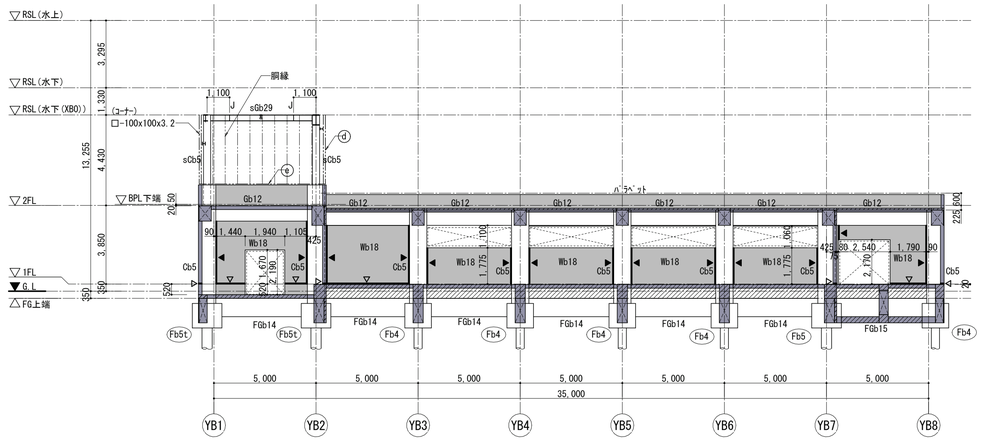


YB8通り

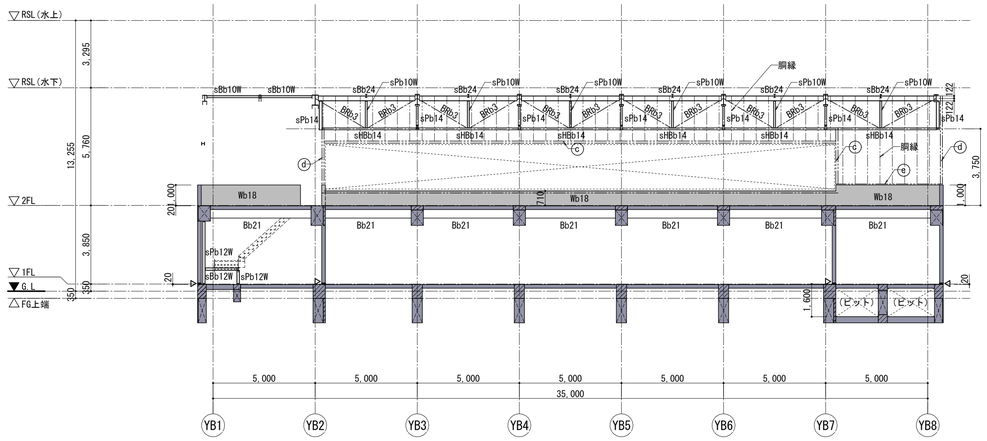
特記事項
- 梁端部に記号の無い大梁は剛接合、小梁はピン接合とする。
- 間柱はピン接合とする。
- 開口補強材の ⓒ は (a2) 、ⓓ は (b2) への変更は可とする。
- ▨ はフカシの範囲を示す。

工事名称	矢板市立東小学校改築工事		
図面名称/縮尺	(屋内運動場) 軸組図 (2)	A1(S=1/150) A3(S=1/300)	図面番号
設計年月日	令和7年2月28日		S-212
設計者			
発注者	矢板市役所		

2025/07/11



XB0通り



XB1通り-2200

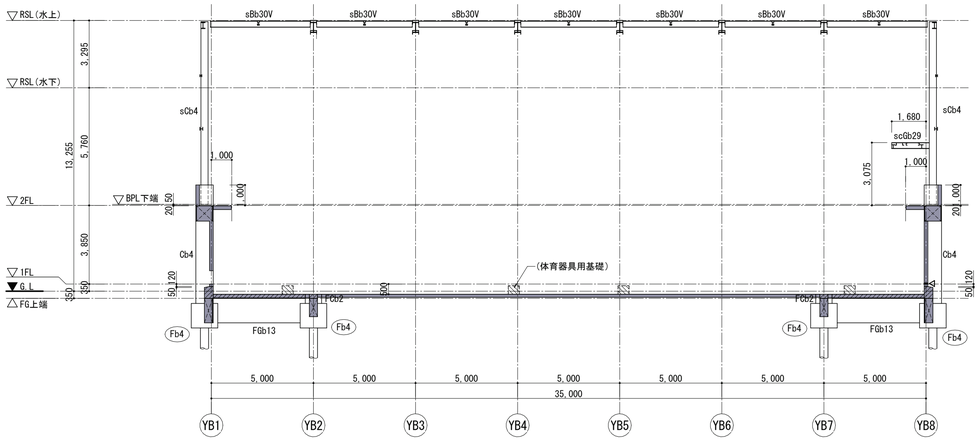
XB1通り

XB2通り

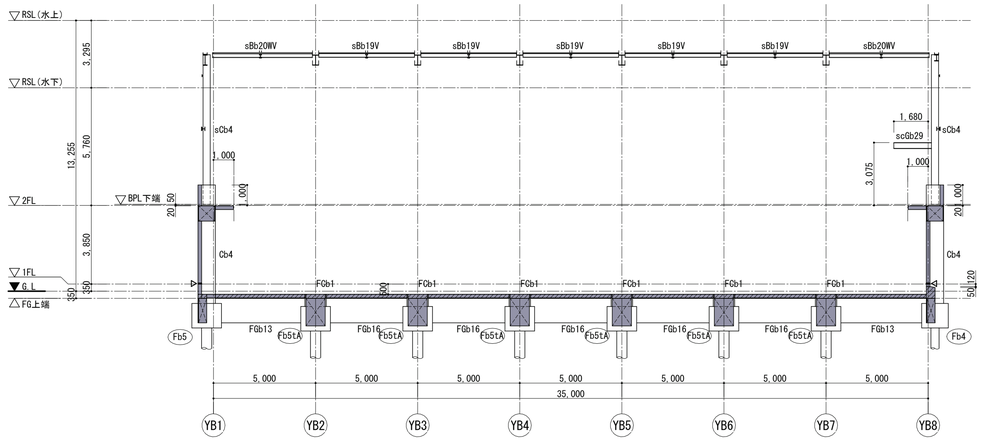
特記事項
- 梁端部に記号の無い大梁は剛接合、小梁はピン接合とする。
- 間柱はピン接合とする。
- 開口補強材の ⓒ は ⓐ2 、ⓓ は ⓑ2 への変更は可とする。
- ▨ はフカシの範囲を示す。

工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称/縮尺	(屋内運動場) 軸組図 (3) A1 (S=1/150) A3 (S=1/300)
図面番号	S-213
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

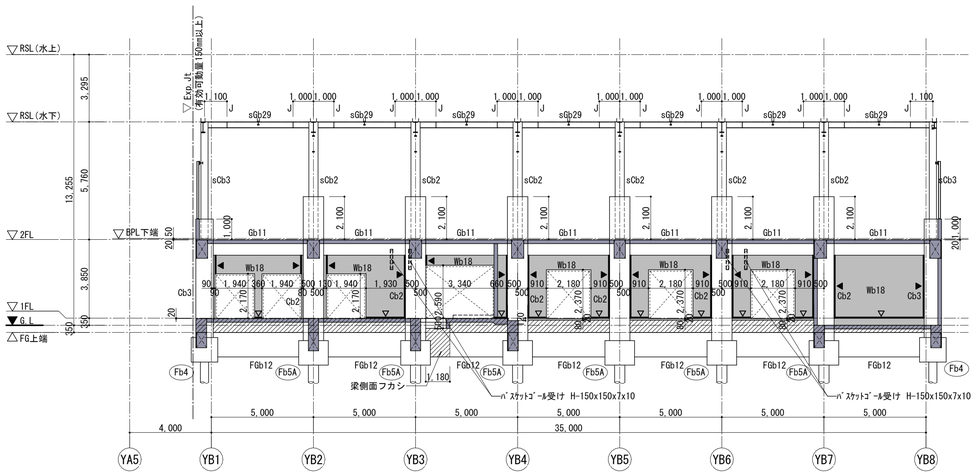
2025/03/19



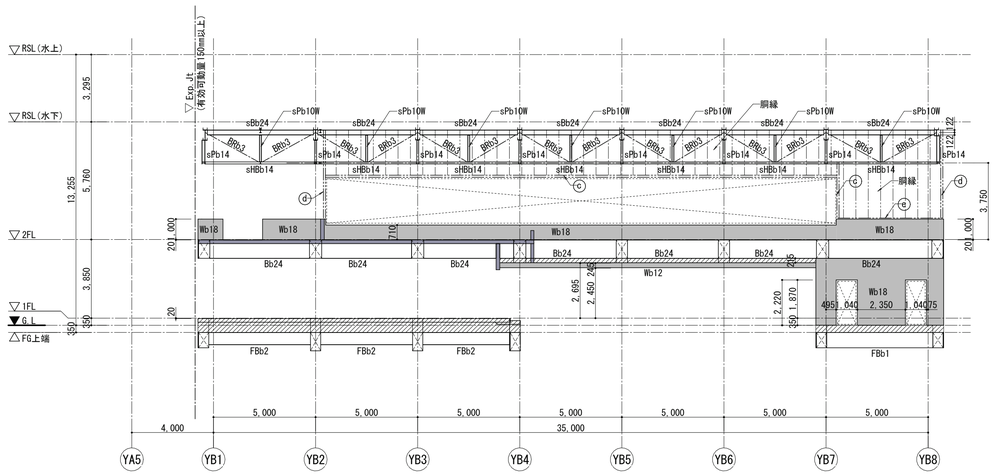
XB3通り



XB4通り



XB5通り



XB5通り+2200

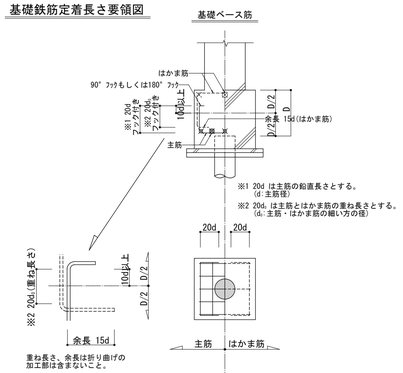
特記事項
- 梁端部に記号の無い大梁は剛接合、小梁はピン接合とする。
- 間柱はピン接合とする。
- 開口補強材の ⓒ は ⓐ2 、ⓓ は ⓑ2 への変更は可とする。
- ▨ はフカシの範囲を示す。

工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称/縮尺	(屋内運動場) 軸組図 (4) A1(S=1/150) A3(S=1/300)
図面番号	S-214
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

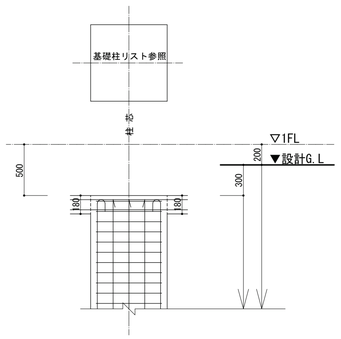
2025/07/11

基礎リスト　　縮尺 1/30

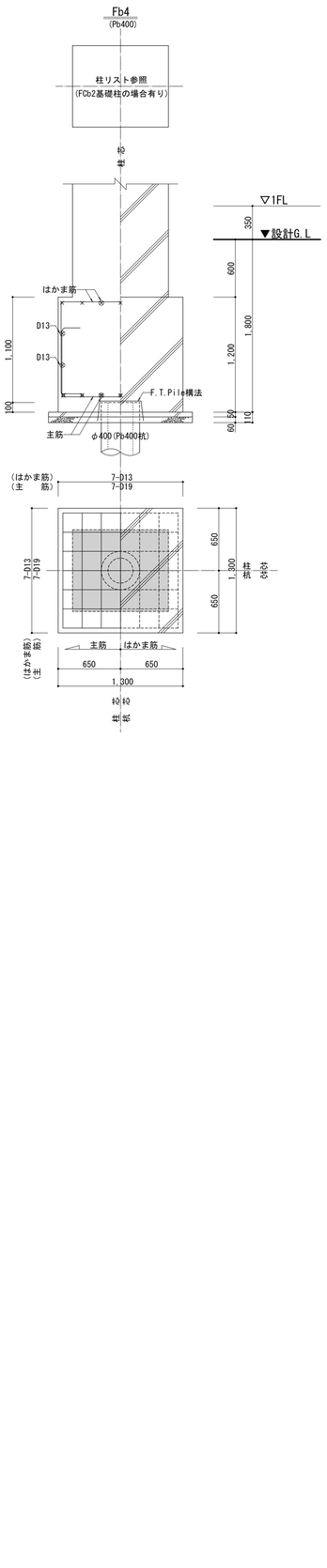
基礎鉄筋定着長さ要領図



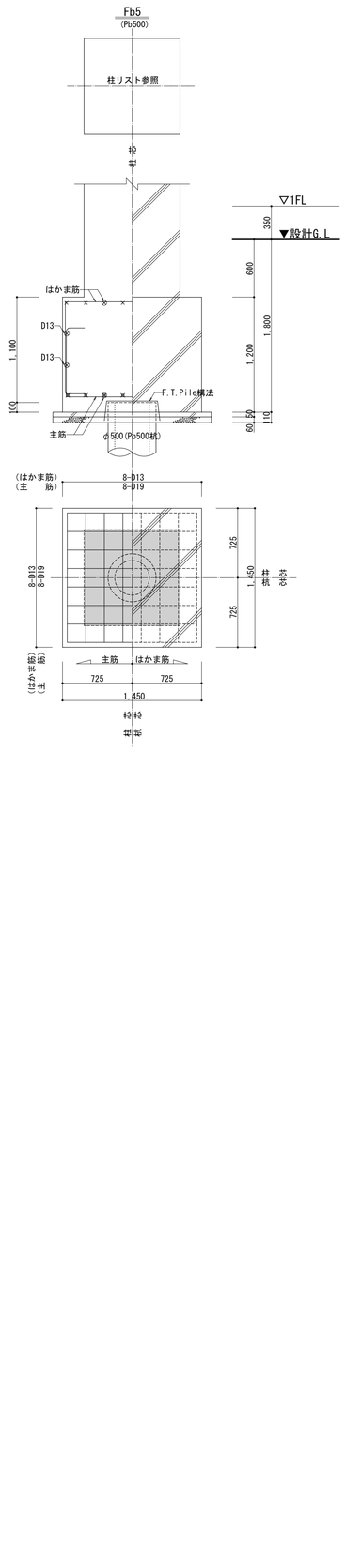
凡例
(FCb1基礎柱
FCb2基礎柱)



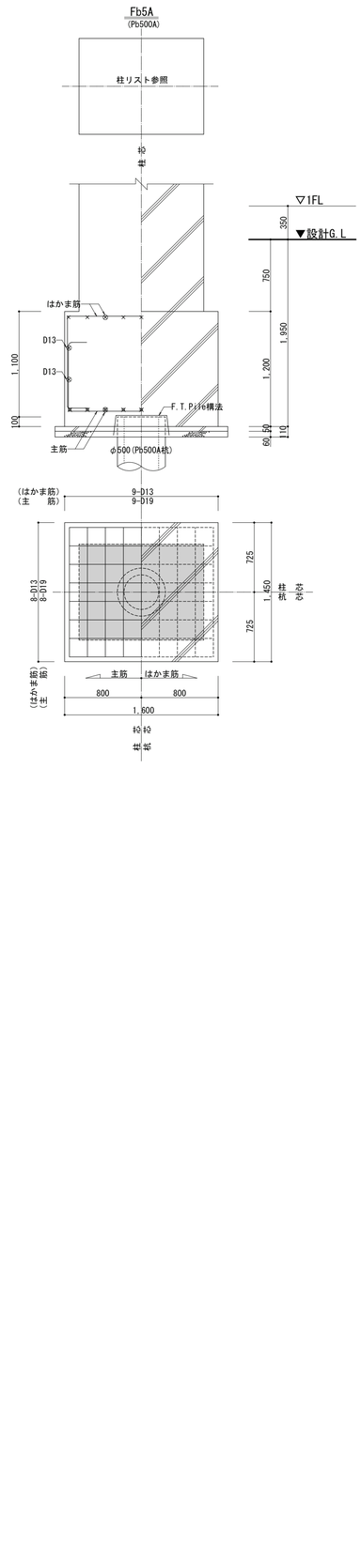
Fb4
(Pb400)



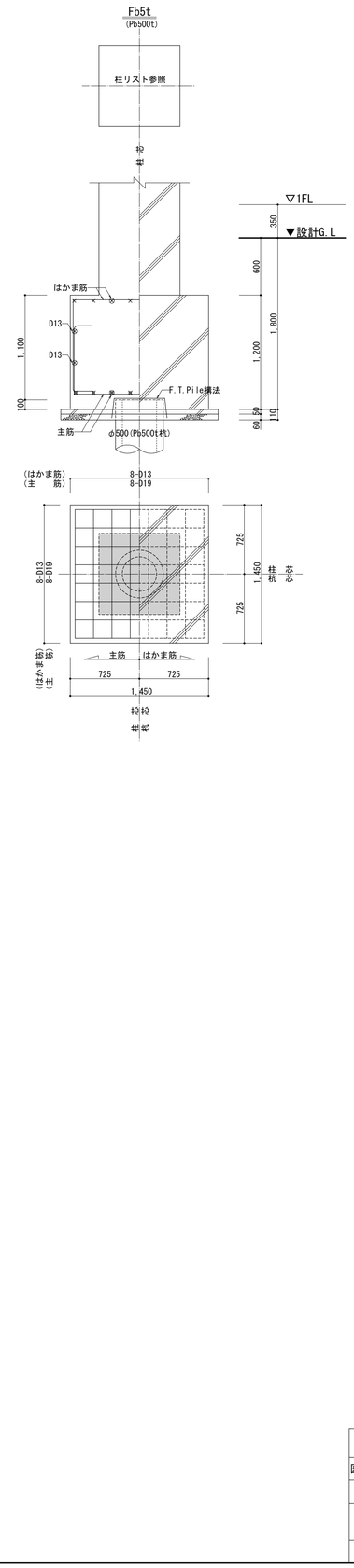
Fb5
(Pb500)



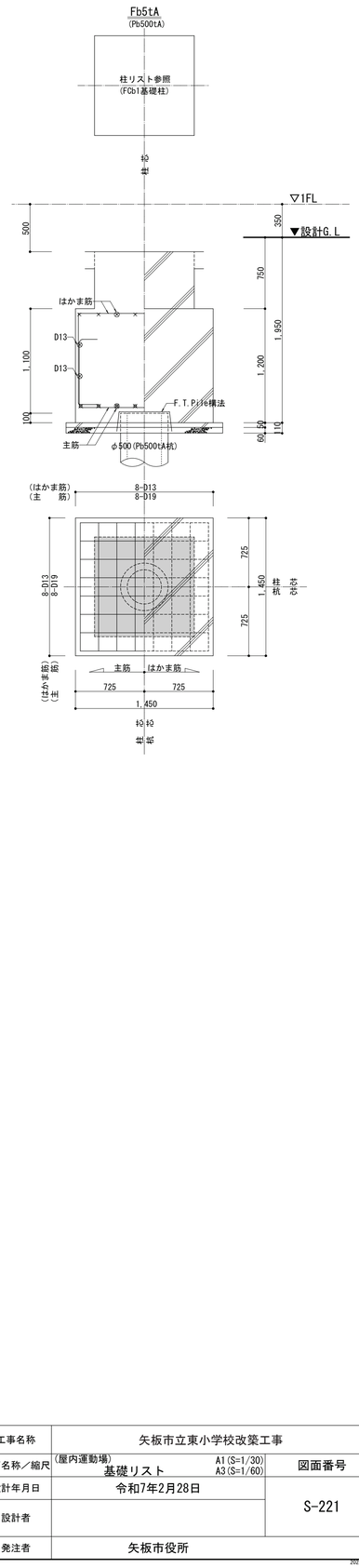
Fb5A
(Pb500A)



Fb5t
(Pb500t)



Fb5tA
(Pb500tA)

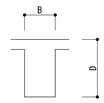


工事名称	矢板市立東小学校改築工事		
図面名称／縮尺	(屋内運動場) 基礎リスト	A1(S=1/30) A3(S=1/60)	図面番号
設計年月日	令和7年2月28日		S-221
設計者			
発注者	矢板市役所		

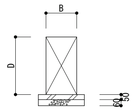
2024/12/27

特記事項　巾止め筋は、D10　@1,000以内とする。
太下線は、他断面と異なる箇所であるため、注意のこと。
梁レベルは、伏図および軸組図による。
カットオフ筋長さは、「S-004」および1階カットオフ筋伏図による。

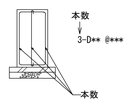
B×Dは、下図による



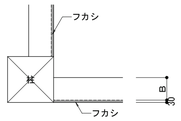
B×Dは、下図による



strの本数は、下図による



柱と梁の側面が同一の場合は、梁の主筋を柱の主筋の内側に配筋すること。
この場合、梁の幅を図面より３０mm大きく加工すること。



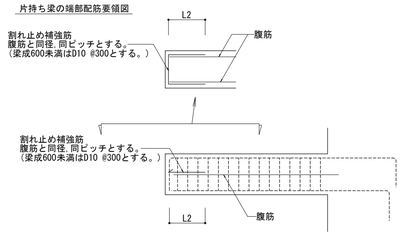
フラットデッキを使用する場合は、
架かり代（10mm）の側面フカシを設けること。



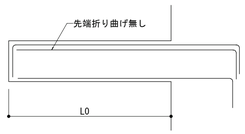
外端、内端は下記による
大　梁



片持ち梁の端部配筋要領図

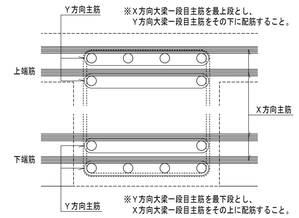


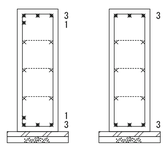
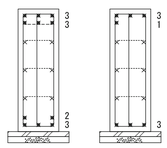
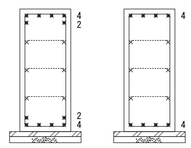
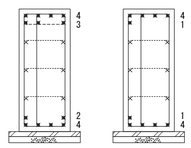
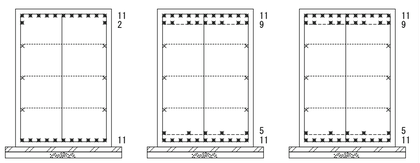
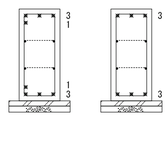
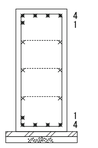
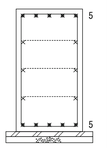
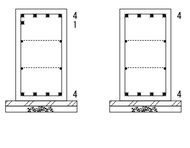
片持ち梁の元端の2段筋は先端まで延ばすこと。

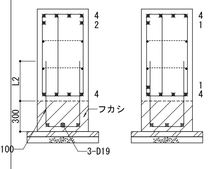
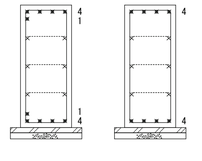
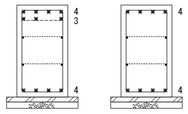
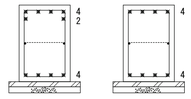


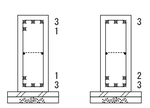
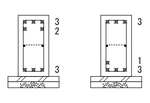
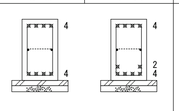
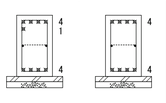
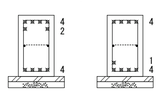
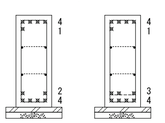
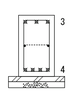
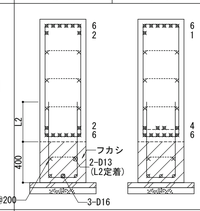
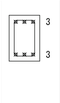
梁主筋位置関係要領図

※Ｘ Ｙ方向の主筋が同レベルとなり、主筋が干渉する場合



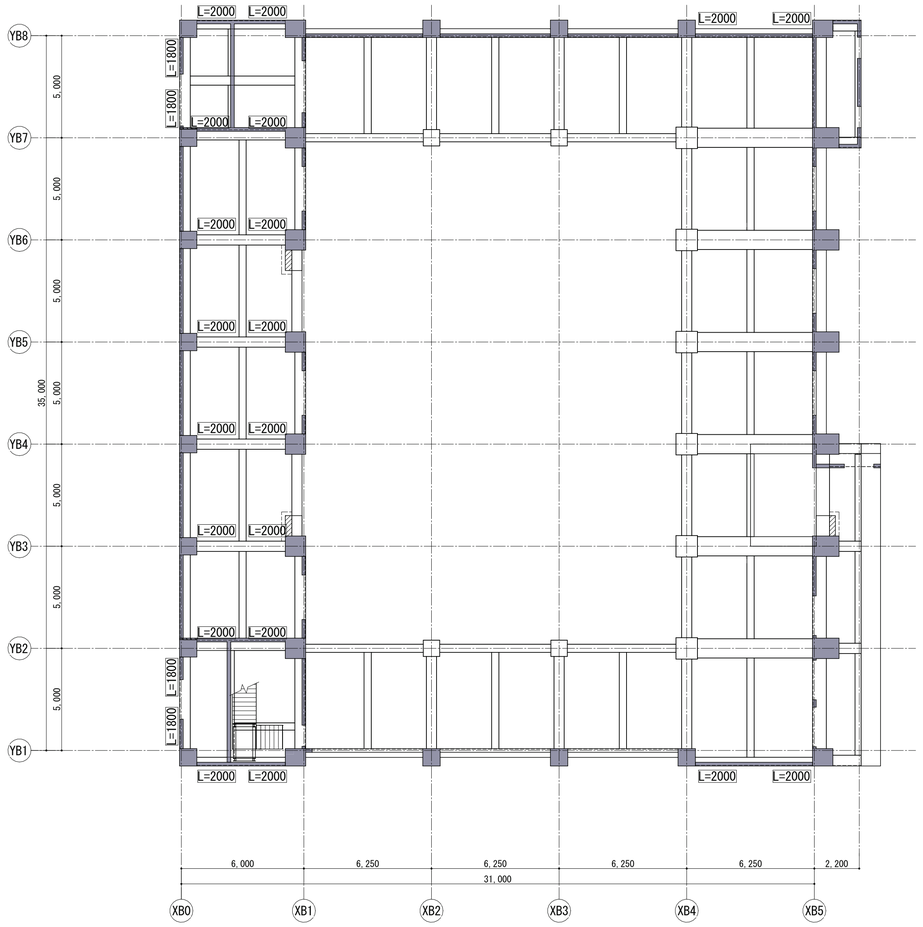
階	符　号	FGb1		FGb2		FGb3		FGb4		FGb5			FGb6		FGb11	FGb12	FGb13	FGb14	
	位　置	端　部	中　央	端　部	中　央	端　部	中　央	端　部	中　央	XB4端	中　央	XB5端	端　部	中　央	全断面	全断面	全断面	端　部	中　央
1階	断　面																		
	Ｂｘ Ｄ	400x1,200		400x1,200		500x1,200		500x1,200		940x1,350			400x900		500x1,200	650x1,200	500x1,200	500x900	
	上端筋	4-D25	3-D25	6-D25	4-D25	6-D25	4-D25	7-D25	5-D25	13-D25	20-D25	20-D25	4-D25	3-D25	5-D25	5-D25	6-D25	5-D25	4-D25
	下端筋	4-D25	3-D25	5-D25	3-D25	6-D25	4-D25	6-D25	5-D25	11-D25	16-D25	16-D25	4-D25	3-D25	5-D25	5-D25	6-D25	4-D25	4-D25
	str	2-D13 @200		3-D13 @100		2-D13 @150		3-D13 @100		3-D13 @100			2-D13 @200		2-D13 @200	2-D13 @150	2-D13 @200	2-D13 @200	
	腹　筋	6-D13		6-D13		6-D13		6-D13		6-D13			4-D10		6-D13	6-D13	6-D13	4-D10	
	備考			YB8,XB0-XB1間の腹筋はL2定着とする				YB7,XB0-XB1間の腹筋はL2定着とする							XB1,YB7-YB8間の腹筋はL2定着とする				

階	符　号	FGb15		FGb16		FcGb11		FcGb12	
	位　置	端　部	中　央	端　部	中　央	元　端	先　端	元　端	先　端
1階	断　面								
	Ｂｘ Ｄ	500x900		500x1,200		500x900		500x750	
	上端筋	6-D25	5-D25	5-D25	4-D25	7-D25	4-D25	6-D25	4-D25
	下端筋	4-D25	5-D25	5-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25
	str	3-D13 @100		2-D13 @200		2-D13 @100		2-D13 @100	
	腹　筋	4-D10(L2定着)		6-D13		4-D10		2-D10	
	備考								

階	符　号	FBb1		FBb2		FBb3		FBb4		FBb5		FBb6		FBb7	FBb8		Bb11
	位　置	端　部	中　央	端　部	中　央	端　部	中　央	端　部	中　央	端　部	中　央	端　部	中　央	全断面	端　部	中　央	全断面
1階	断　面																
	Ｂｘ Ｄ	300x750		300x600		350x600		350x600		350x600		350x900		350x600	450x1,200		300x450
	上端筋	4-D19	3-D19	5-D19	3-D19	4-D19	4-D19	5-D19	4-D19	6-D19	4-D19	5-D19	5-D19	3-D19	8-D19	7-D19	3-D19
	下端筋	4-D19	5-D19	3-D19	4-D19	4-D19	6-D19	4-D19	4-D19	4-D19	5-D19	6-D19	7-D19	4-D19	8-D19	10-D19	3-D19
	str	2-D13 @200		2-D10 @200		2-D10 @200		2-D10 @200		2-D10 @200		2-D13 @200		2-D10 @200	2-D13 @200		2-D10 @200
	腹　筋	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		4-D10		2-D10	6-D13(L2定着)		
	備考																

工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称／縮尺	(屋内運動場) 基礎梁リスト　A1(S=1/30) A3(S=1/60)
図面番号	S-222
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

2025/07/11

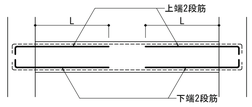


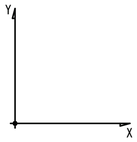
カットオフ長さ

特記なき限り、カットオフ長さは「S-004」による。

柱端からのカットオフ長さLは、図示寸法と「S-004」の大きい値とする。

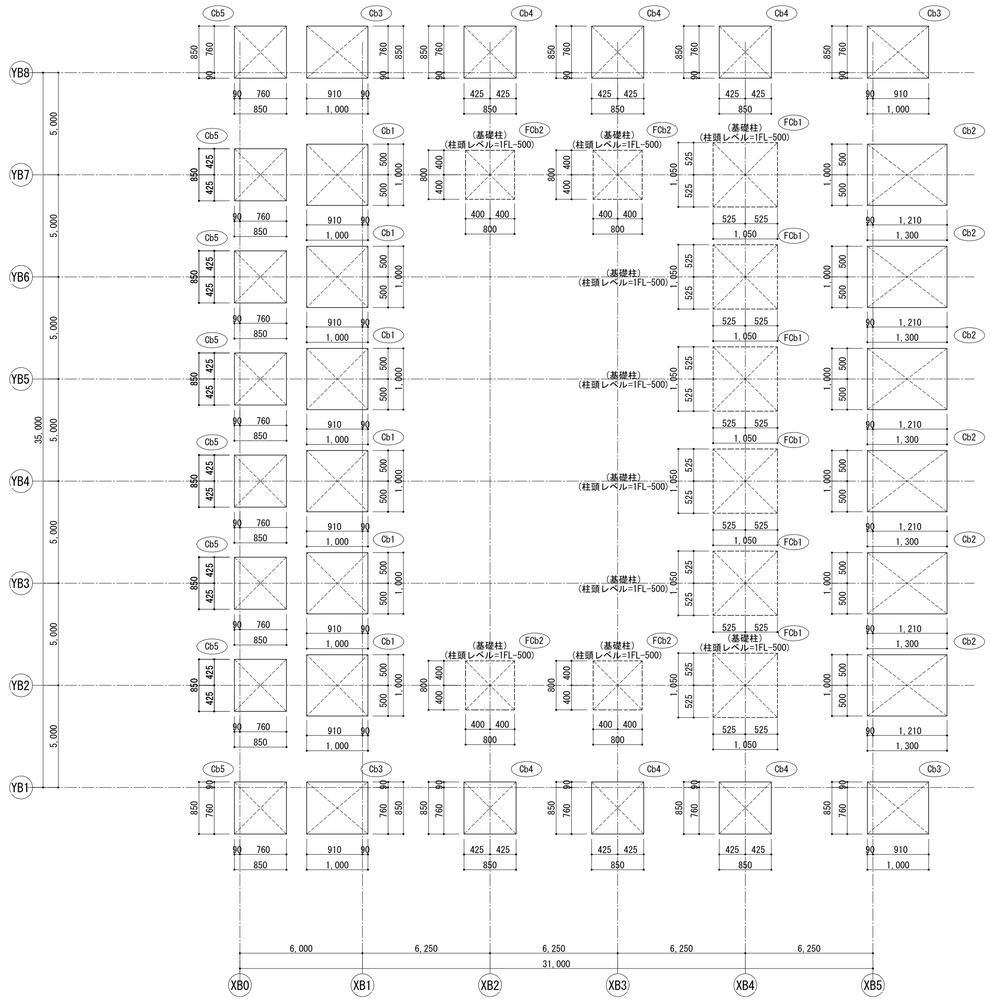
1段筋目がカットオフされている場合においても同様とする。



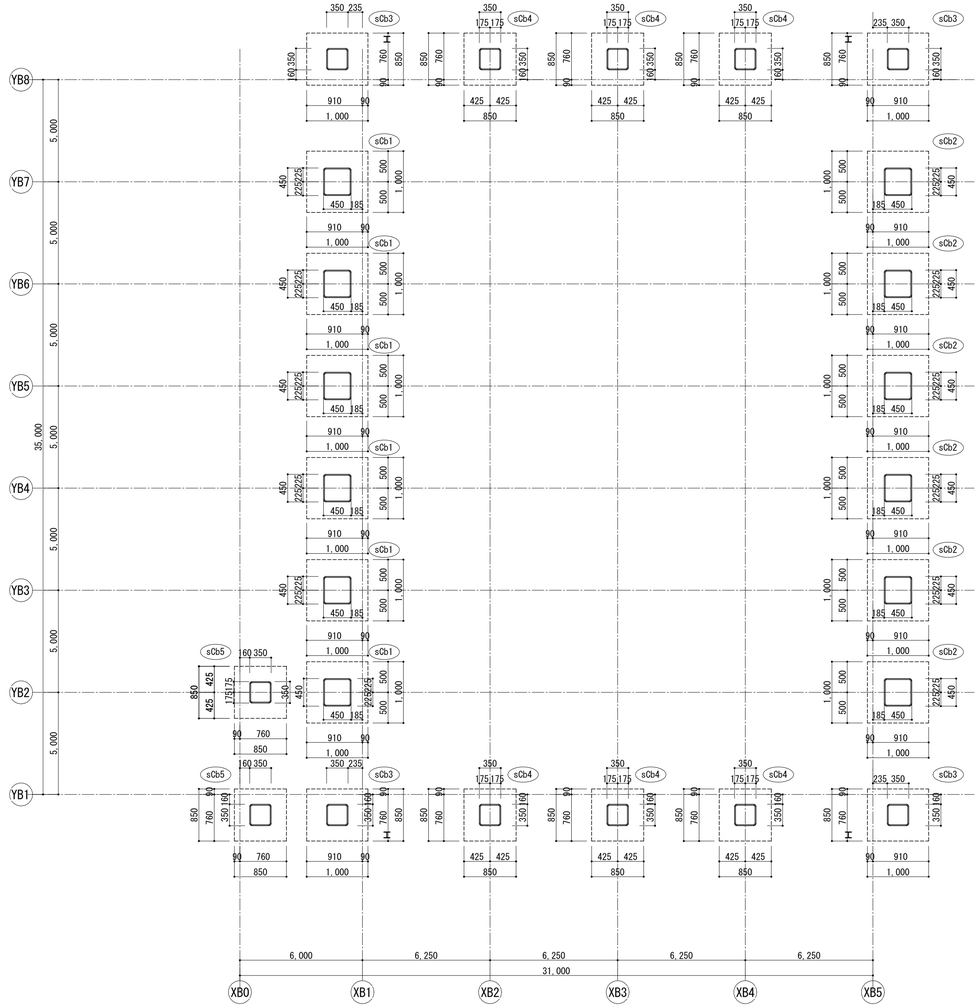


工事名称	矢板市立東小学校改築工事		
図面名称/縮尺	（屋内運動場） 1階カットオフ筋伏図	A1 (S=1/150) A3 (S=1/300)	図面番号
設計年月日	令和7年2月28日		S-223
設計者			
発注者	矢板市役所		

2024/12/27

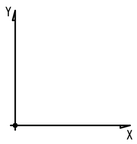


1階柱芯寄り図



2階柱芯寄り図

特記事項　・破線は、根巻柱脚形状を示す。



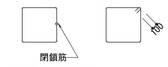
工事名称	矢板市立東小学校改築工事	
図面名称/縮尺	柱芯寄り図（屋内運動場） A1(1/ 50, 1/150) A3(1/100, 1/300)	図面番号
設計年月日	令和7年2月28日	S-224
設計者		
発注者	矢板市役所	

2024/12/27

特記事項　HOOPは、閉鎖筋とする。
太下線は、他断面と異なる箇所であるため、注意のこと。

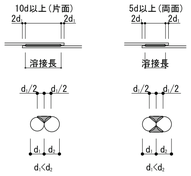
柱梁接合部のHOOP加工

一般階柱梁接合部　基礎梁接合部



機械式継手は
『OSフープクリップ工法(okabe)評定番号BCJ評定-RC0077-04』
とするが同等品による変更は可能とする。

溶接要図
下記の何れかとする。



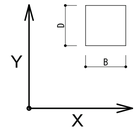
下図の括弧部分の数値は　一辺の配筋本数を示す



HOOPの本数は、下図による

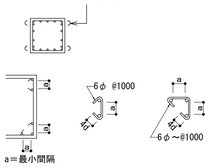


B×Dは　下図による



２段筋の保持は下図による。

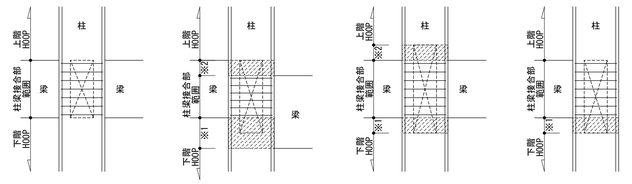
下記の記号は２段筋を示す



柱、梁接合部の範囲と配筋方法は、下図による
※特記がある場合は、特記を優先する。
※梁増し打ち範囲は、柱梁接合部とみなさない。

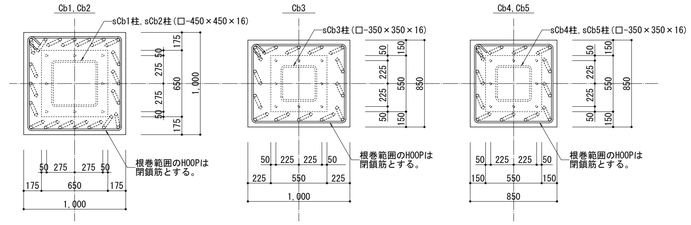
一般部

梁成、梁レベルに差がある場合

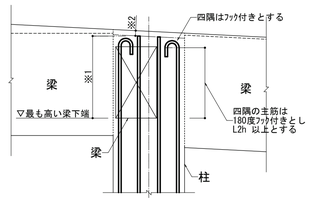


根巻きコンクリート 主筋頂部フック納まり要領

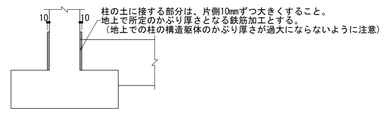
主筋頂部の180°フックはベースプレートに干渉しない角度で配置し、
鉄骨建て方時に主筋を曲げないようにする事。



柱頭部 柱主筋の定着要領図
・定着長さは 柱に取付く梁の中で最も高い梁下端からの長さとする。
・四隅以外の主筋の定着長は 下図の通りとし 定着長が不足する場合は
180度ﾌｯｸ付 L2h もしくは かご鉄筋とする。 『S-003 5.(2) 参照』
・※1の長さは 670mm 以上かつ ※2のかぶり厚さが 40～60mm となる長さとする。



柱の土に接する部分は下図による。



符　号	Cb1(sCb1根巻)		Cb2(sCb2根巻)		Cb3(sCb3根巻)		Cb4(sCb4根巻)		Cb5(sCb5根巻)	
2階根巻柱脚部	7 / 5	□-450×450×16 柱頭全数180°フック 最上段HOOPは二重 2FLまで 1,000 1,000x1,000	7 / 5	□-450×450×16 柱頭全数180°フック 最上段HOOPは二重 2FLまで 1,000 1,000x1,000	5 / 4	□-350×350×16 柱頭全数180°フック 最上段HOOPは二重 2FLまで 1,000 1,000x850	4 / 4	□-350×350×16 柱頭全数180°フック 最上段HOOPは二重 2FLまで 1,000 850x850	4 / 4	□-350×350×16 柱頭全数180°フック 最上段HOOPは二重 2FLまで 1,000 850x850
Ｂｘ Ｄ	1,000x1,000		1,000x1,000		1,000x850		850x850		850x850	
主　筋	20-D25		20-D25		14-D25		12-D25		12-D25	
HOOP	2-2-D13 @100		2-2-D13 @100		2-2-D13 @100		2-2-D13 @100		2-2-D13 @100	
鉄　骨	□-450x450x16(BCR295)		□-450x450x16(BCR295)		□-350x350x16(BCR295)		□-350x350x16(BCR295)		□-350x350x16(BCR295)	
※2	2-2-D13 @80		3-3-D13 @90		2-2-D13 @80		2-2-D13 @95		2-2-D13 @95	
仕口部HOOP	2-2-D13 @80		3-3-D13 @90		2-2-D13 @80		2-2-D13 @95		2-2-D13 @95	
※1	2-2-D13 @80		3-3-D13 @90		2-2-D13 @80		2-2-D13 @95		2-2-D13 @95	
1階	7 / 5		（柱頭） 9 / 12+4		6 / 5		6 / 5		5 / 7	
Ｂｘ Ｄ	1,000x1,000		1,300x1,000		1,000x850		850x850		850x850	
主　筋	20-D25		42-D25		18-D25		18-D25		20-D25	
HOOP	2-2-D13 @100		3-3-D13 @100		2-2-D13 @100		2-2-D13 @100		2-2-D13 @100	
※2	2-2-D13 @80		3-3-D13 @90		2-2-D13 @80		2-2-D13 @95		2-2-D13 @95	
仕口部HOOP	2-2-D13 @80		3-3-D13 @90		2-2-D13 @80		2-2-D13 @95		2-2-D13 @95	
			（柱脚） 9 / 12+10							

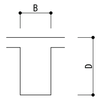
符　号	FCb1	FCb2
	（基礎柱のみ）	（基礎柱のみ）
1階	7 / 7	5 / 5
Ｂｘ Ｄ	1,050x1,050	800x800
主　筋	24-D22	16-D22
仕口部HOOP	2-2-D13 @100	2-2-D13 @100
備　考	全数柱頭フック付き 柱頭レベル=1FL-500	全数柱頭フック付き 柱頭レベル=1FL-500

工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称／縮尺	(屋内運動場) 柱リスト　A1(S=1/30) A3(S=1/60)
図面番号	S-225
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

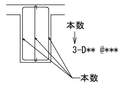
2025/07/11

特記事項　巾止め筋は、D10 @1,000以内とする。
太下線は、他断面と異なる箇所であるため、注意のこと。
梁レベルは、伏図および軸組図による。
カットオフ筋長さは、「S-004」による。

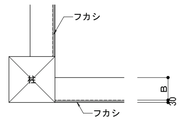
B×Dは、下図による



strの本数は、下図による



柱と梁の側面が同一の場合は、梁の主筋を柱の主筋の内側に配筋すること。
この場合、梁の幅を図面より３０mm大きく加工すること。

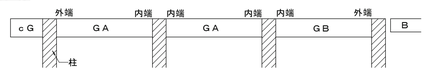


フラットデッキを使用する場合は、
架かり代（10mm）の側面フカシを設けること。

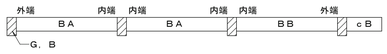


外端、内端は下記による

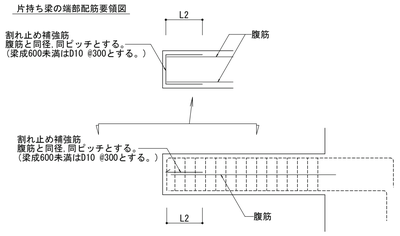
大　梁



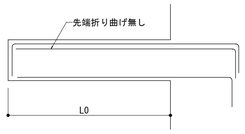
小　梁



片持ち梁の端部配筋要領図

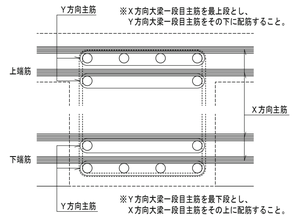


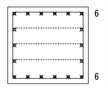
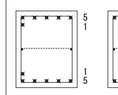
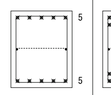
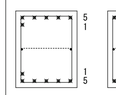
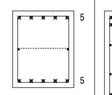
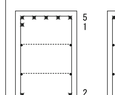
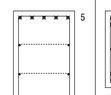
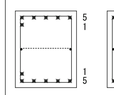
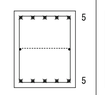
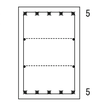
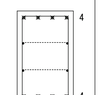
片持ち梁の元端の2段筋は先端まで延ばすこと。

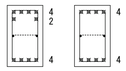
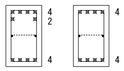
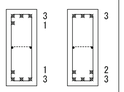
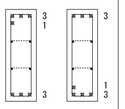


梁主筋位置関係要領図

※ＸＹ方向の主筋が同レベルとなり、主筋が干渉する場合



階	符　号	Gb1	Gb2		Gb3		Gb4		Gb11		Gb12	cGb21		cGb22	
	位　置	全断面	端　部	中　央	端　部	中　央	端　部	中　央	端　部	中　央	全断面	元　端	先　端	元　端	先　端
2階	断　面														
	Ｂｘ Ｄ	790x750	600x750		600x750		600x955		600x750		400x750	600x900		550x900	
	上端筋	6-D25	6-D25	5-D25	6-D25	5-D25	6-D25	5-D25	6-D25	5-D25	3-D25	9-D25	5-D25	6-D25	4-D25
	下端筋	6-D25	6-D25	5-D25	6-D25	5-D25	7-D25	5-D25	6-D25	5-D25	3-D25	5-D25	5-D25	4-D25	4-D25
	str	2-D13 @100	2-D13 @150		2-D13 @150		2-D13 @150		2-D13 @200		2-D13 @200	2-D13 @100		2-D13 @100	
	腹　筋	6-D19(L2定着)	2-D10		2-D10		4-D10		2-D10		2-D10	4-D10		4-D10	
	備考														

階	符　号	Bb21		Bb22		Bb23		Bb24		Bb25
	位　置	端　部	中　央	端　部	中　央	端　部	中　央	端　部	中　央	全断面
2階	断　面									
	Ｂｘ Ｄ	350x600		350x600		300x750		300x900		300x450
	上端筋	6-D19	4-D19	6-D19	4-D19	4-D19	3-D19	4-D19	3-D19	3-D16
	下端筋	4-D19	4-D19	4-D19	4-D19	4-D19	5-D19	3-D19	4-D19	3-D16
	str	2-D10 @200		2-D10 @200		2-D13 @200		2-D13 @200		2-D10 @200
	腹　筋	2-D10		2-D10		2-D10		4-D10		—
	鉄　骨									
	備考									

工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称／縮尺	（屋内運動場）２階梁リスト　A1(S=1/30) A3(S=1/60)
図面番号	S-226
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

2025/01/06

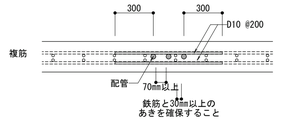
スラブリスト

特記事項

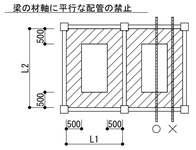
記号	版厚	位置	主筋方向	配力筋方向	スラブ種別				備考
					一般スラブ	片持スラブ	耐圧スラブ	片持耐圧スラブ	
Sb1	180	上端筋	D10,D13交互 @200	D10,D13交互 @200	○				
		下端筋	D10,D13交互 @200	D10,D13交互 @200					
Sb2	180	上端筋	D13 @200	D13 @200	○				
		下端筋	D10,D13交互 @200	D10,D13交互 @200					
Sb11	180	上端筋	D13 @200	D13 @200	○				
		下端筋	D13 @200	D10,D13交互 @200					
Sb12	180	上端筋	D10,D13交互 @200	D10,D13交互 @200	○				
		下端筋	D10,D13交互 @200	D10,D13交互 @200					
Sb13	250	上端筋	D10,D13交互 @200	D10,D13交互 @200	○				
		下端筋	D10,D13交互 @200	D10,D13交互 @200					
		上端筋							
		下端筋							
FSb1	300	上端筋	D13 @150	D13 @150	○				幅止め筋を適宜配筋のこと
		下端筋	D13 @150	D13 @150					
		上端筋							
		下端筋							
cSb11	180	上端筋	D13 @200	D10,D13交互 @200		○			
		下端筋	D10,D13交互 @200	D10,D13交互 @200					
cSb21	180	上端筋	D13 @200	D10,D13交互 @200		○			
		下端筋	D10,D13交互 @200	D10,D13交互 @200					
cSb22	180	上端筋	D13 @100	D13 @200		○			
		下端筋	D13 @200	D10,D13交互 @200					
		上端筋							
		下端筋							

共通事項

・屋根スラブ及び防水を行うスラブには、原則として配管は行わない。
・配管は原則として交差は行わない。
・配管は、CD28(31φ)までとする。
・床版内の配管のアキは70㎜以上とし、配管が２本以上は、下記の補強を行う事。
・配管は、上端筋の下に配筋すること。

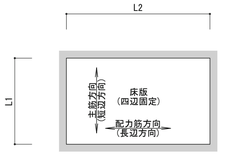


梁の材軸に平行な配管の禁止



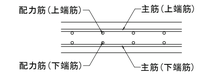
L1≦L2
梁に平行に配管する部分の禁止区域
ただし、L1≦2.0m以下の場合には適用しない。

床版の鉄筋方向

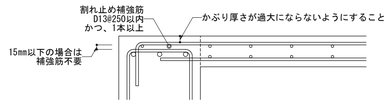


L1<L2とする。
但し、伏図に方向指示がある場合は、伏図を優先すること。

床版の鉄筋方向

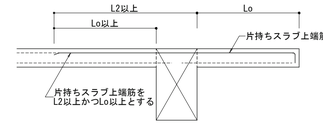


梁内におけるスラブ筋に追加する割れ止め補強筋は下記による。

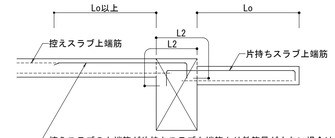


片持ちスラブ上端筋は下記による。

・スラブに段差がない場合



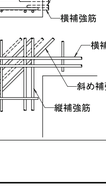
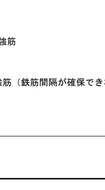
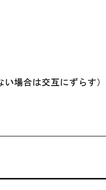
・スラブに段差がある場合



控えスラブの上端筋が片持ちスラブ上端筋より鉄筋量が少ない場合は片持ちスラブ上端筋と同等以上の鉄筋量となるように補強筋をLo以上となる範囲に追加する事。
(例)片持ちスラブ上端筋D13@100、控えスラブ上端筋D13@200の場合は、補強筋D13@200を追加する。

壁リスト

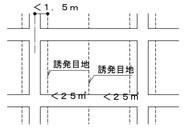
特記事項　巾止め筋は、縦横共D10　@1,000以内とする。

符 号		Wb18	Wb18A	Wa15	Wa12
断 面					
壁 厚		180	180	150	120
縦 筋		D10,D13交互 @200ダブル	D13 @200ダブル	D10 @200チドリダブル	D10 @200シングル
横 筋		D10 @200ダブル	D10 @200ダブル	D10 @200チドリダブル	D10 @200シングル
開 口 補強筋	縦	2-D13	2-D13	2-D13	1-D13
	横	2-D13	2-D13	2-D13	1-D13
	斜	2-D13	2-D13	2-D13	1-D13

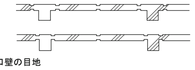
誘発目地は下記による。

但し架構面より突出した壁やバルコニーは３ｍ以内に誘発目地を設けること。

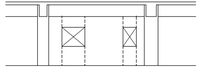
・一般的なとり方



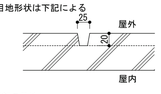
・一般的なとり方



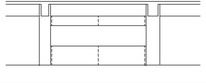
・開口壁の目地



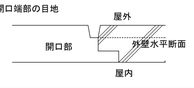
・誘発目地形状は下記による



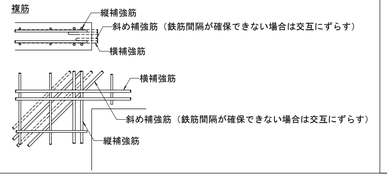
・垂れ壁，腰壁の目地（３ｍ以内毎）



・開口端部の目地



開口補強筋は下記のように納める。



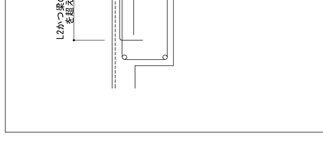
端部小口塞ぎの定着

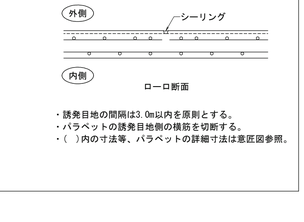
E■*,KE■*の端部(開口含む)小口塞ぎの定着は、下記による。



誘発目地の形状と配筋要領

・RC壁には原則として誘発目地を設けることとするが、ひび割れによる影響がない壁等については、監理者と協議により、誘発目地の有無を決定すること。

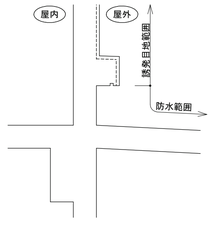




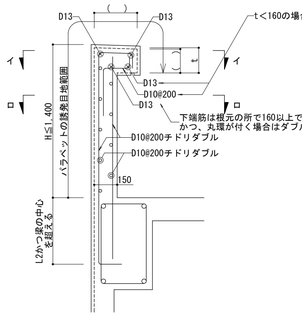
イ-イ断面

「2015年 構造設計Q&A集(一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会)」P.144より、RC造耐震壁の壁厚さに対する深さ方向の断面欠損率が20%程度までは、ひび割れ誘発目地が耐震壁の構造性能に及ぼす影響は生じないことが示されているため、右図の欠損は可とする。

・防水範囲は誘発目地(横筋切断)を設けないことを原則とするがその範囲は監理者と協議により決定すること。

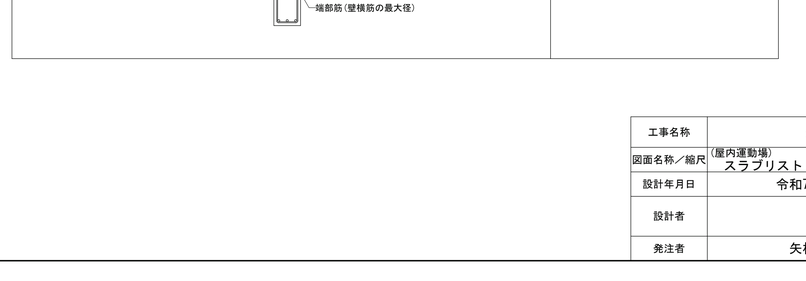


パラペット(H≦1400)の誘発目地と配筋要領



・誘発目地の間隔は3.0m以内を原則とする。
・パラペットの誘発目地側の横筋を切断する。
・(　)内の寸法等、パラペットの詳細寸法は意匠図参照。

※フカシ筋は、鉄筋コンクリート構造配筋標準図による。



耐震スリットは下図による。

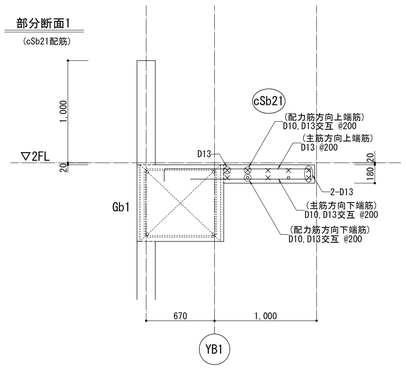
耐震スリットの端部補強筋要領

工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称／縮尺	スラブリスト・壁リスト　(屋内運動場) A1(S=1/30) A3(S=1/60)
図面番号	S-227
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

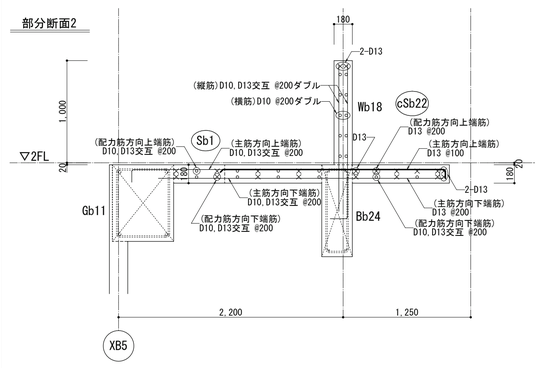
2025/07/17

部分断面1

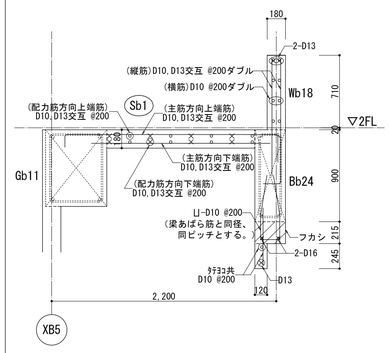
(cSb21配筋)

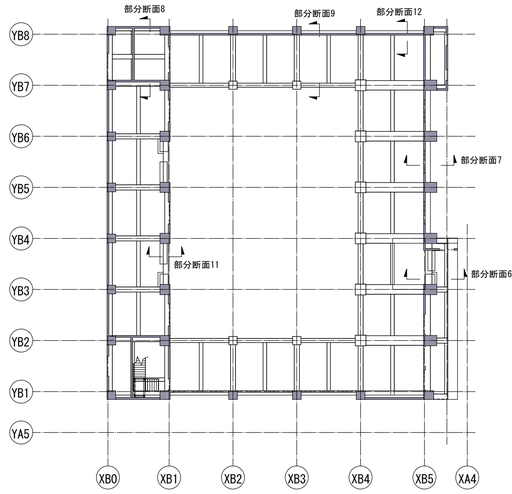


部分断面2

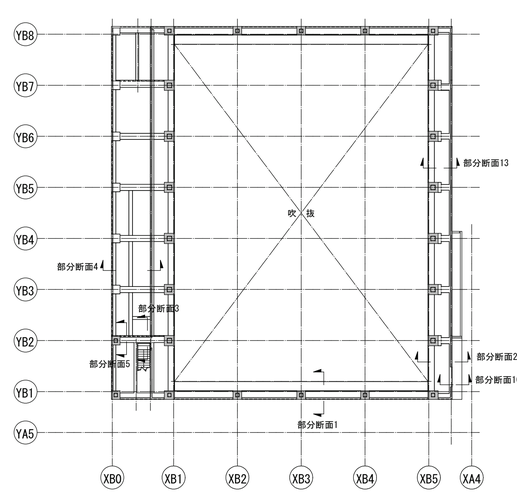


部分断面13





キープラン
（１階ﾚﾍﾞﾙ）

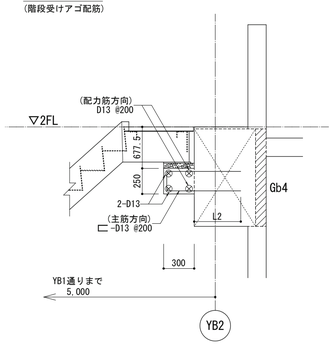


キープラン
（２階ﾚﾍﾞﾙ）

共通事項：床下防湿材・断熱材の有無及び範囲は意匠図による。

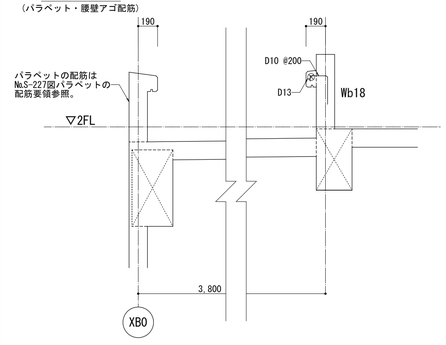
部分断面3

(階段受けアゴ配筋)



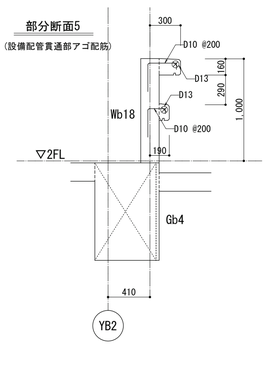
部分断面4

(パラペット・腰壁アゴ配筋)

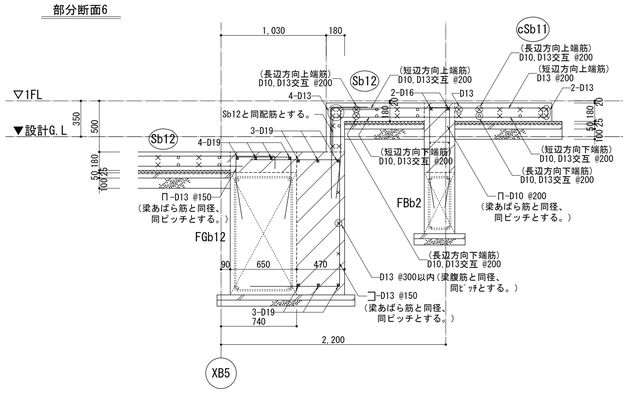


部分断面5

(設備配管貫通部アゴ配筋)

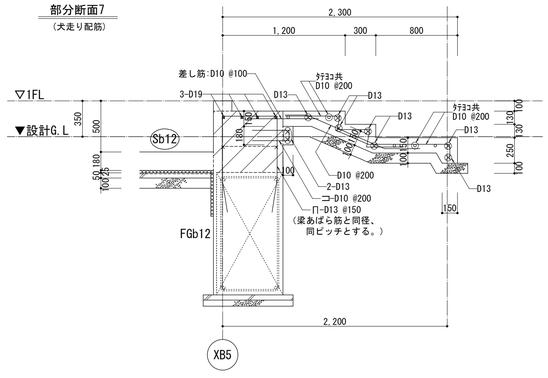


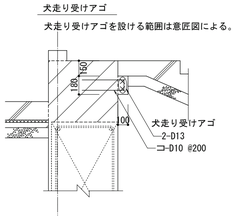
部分断面6

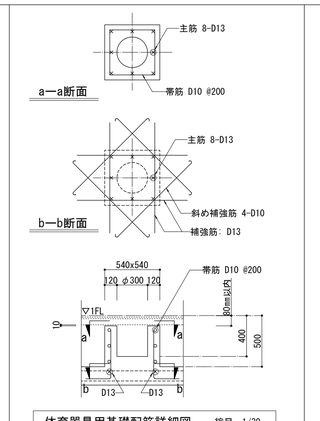


部分断面7

(大走り配筋)



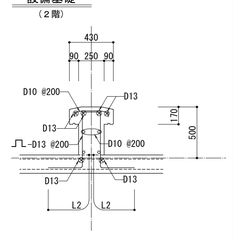




体育器具用基礎配筋詳細図　縮尺 1/30

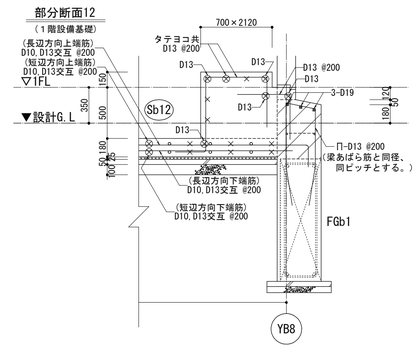
設備基礎

（２階）



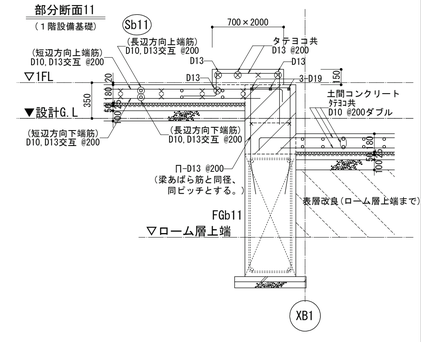
部分断面12

（１階設備基礎）

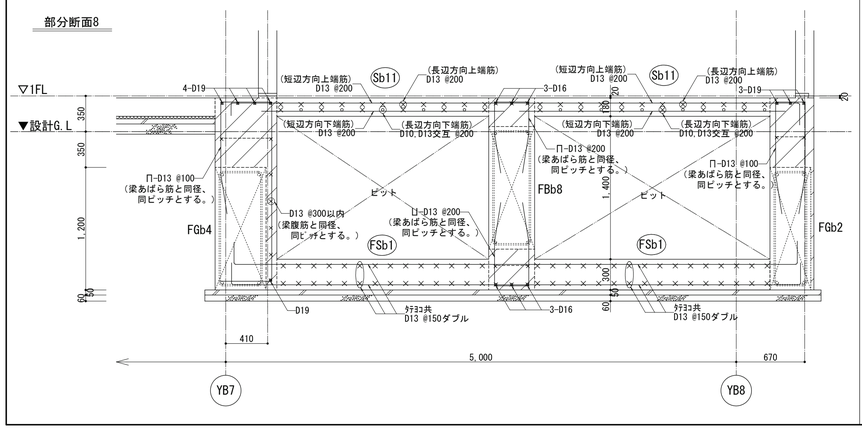


部分断面11

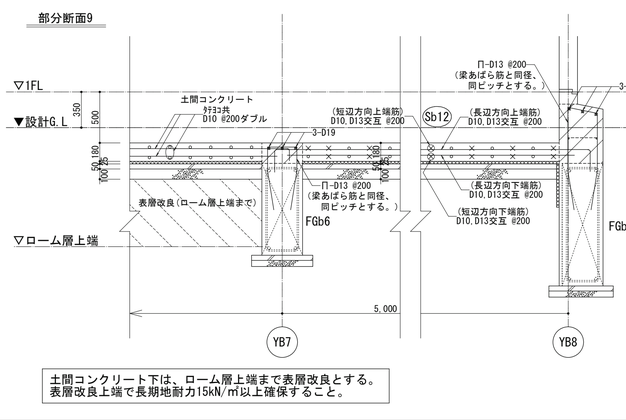
（１階設備基礎）



部分断面8



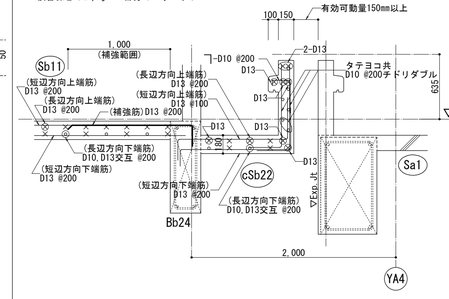
部分断面9



土間コンクリート下は、ローム層上端まで表層改良とする。
表層改良上端で長期地耐力15kN/㎡以上確保すること。

部分断面10

校舎棟とのExp. joint部分のパラペット



工事名称	矢板市立東小学校改築工事	
図面名称／縮尺	（屋内運動場） 部分配筋詳細図	A1 (S=1/30) A3 (S=1/60)
設計年月日	令和7年2月28日	図面番号 S-228
設計者		
発注者	矢板市役所	

2025/07/11

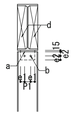
柱リスト　縮尺 1/30

特記なき限り、鋼材はSS400、HTBはF10TまたはS10Tを使用する。

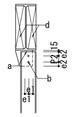
、柱部材 BCR295 において TSC295同等品 への変更は可とする。

符号	階	部　材	TYPE	型式	a	b	c	d	e1	e2	P1	P2	備考
sCb1	2階	□-450×450×16(BCR295)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
sCb2	2階	□-450×450×16(BCR295)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
sCb3	2階	□-350×350×16(BCR295)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
sCb4	2階	□-350×350×16(BCR295)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
sCb5	2階	□-350×350×16(BCR295)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
sPb14	共通	H-148×100×6×9	3	—	GPL-9	HTB 2-M16	—	ﾘﾌﾞPL-9	40	40	—	60	
sPb12W	共通	H-125×125×6.5×9	3	—	GPL-9	HTB 2-M16	—	ﾘﾌﾞPL-9	40	40	—	60	
sPb10W	共通	H-100×100×6×8	3	—	GPL-9	HTB 2-M16	—	ﾘﾌﾞPL-9	30	40	—	60	

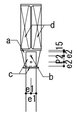
TYPE 1



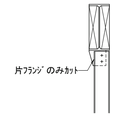
TYPE 3



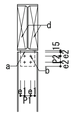
TYPE 5



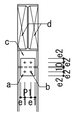
型式 I



TYPE 2



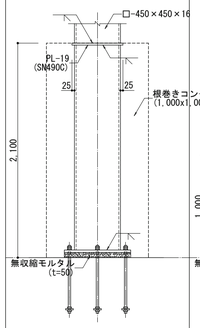
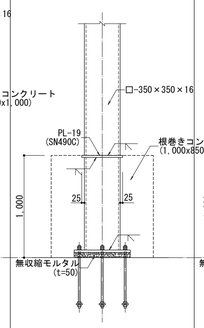
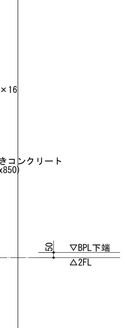
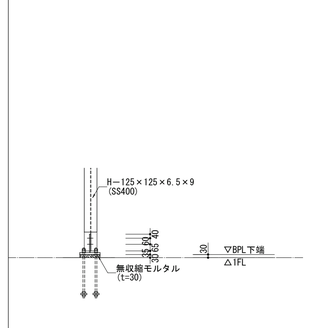
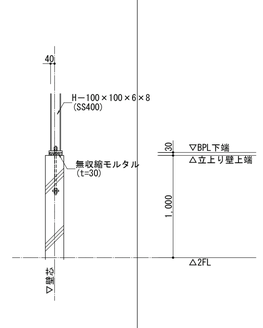
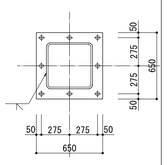
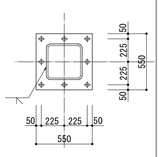
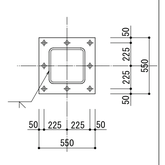
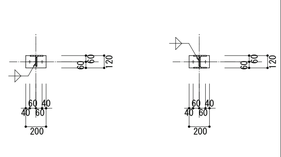
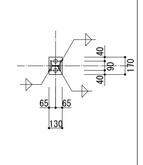
TYPE 4

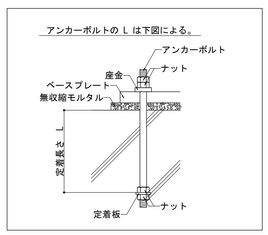


型式 II



柱脚リスト　縮尺 1/30

符号	sCb1, sCb2	sCb3	sCb4, sCb5		sPb12W	sPb10W
断面						
平面						
BPL	BPL-25x650x650(SN490C)	BPL-25x550x550(SN490C)	BPL-25x550x550(SN490C)		BPL-16x200x120(SS400)	BPL-16x170x130(SS400)
A.B	A.B 8-M24(ABR400)　定着長L=500	A.B 8-M20(ABR400)　定着長L=450	A.B 8-M20(ABR400)　定着長L=450		A.B 2-M16(SS400)　定着長L=350	A.B 2-M16(SS400)　定着長L=350
製品名	定着板（PL-16×75×75）	定着板（PL-12×60×60）	定着板（PL-12×60×60）		定着板（PL-9×50×50）	定着板（PL-9×50×50）
備考	ﾀﾞﾌﾞﾙﾅｯﾄ・ｱﾝｶｰﾌﾚｰﾑ使用	ﾀﾞﾌﾞﾙﾅｯﾄ・ｱﾝｶｰﾌﾚｰﾑ使用	ﾀﾞﾌﾞﾙﾅｯﾄ・ｱﾝｶｰﾌﾚｰﾑ使用		ﾀﾞﾌﾞﾙﾅｯﾄ使用	ﾀﾞﾌﾞﾙﾅｯﾄ使用
					適用箇所は鉄骨階段詳細図参照	



工事名称	矢板市立東小学校改築工事		
図面名称／縮尺	(屋内運動場) 鉄骨柱リスト	A1(S=1/30) A3(S=1/60)	図面番号
設計年月日	令和7年2月28日		S-231
設計者			
発注者	矢板市役所		

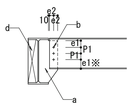
2025/01/17

大梁リスト　　縮尺 1:30

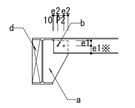
特記なき限り、鋼材はSS400、HTBはF10TまたはS10Tを使用する。
、溶融亜鉛ﾒｯｷの範囲は ﾒｯｷﾎﾞﾙﾄ(F8T) とする。

階	符号	部　材	A	TYPE	型式	a	b	C	d	e1	e2	P1	P2	備考
R階	sGb48	H-488×300×11×18(SN400B)	同　左	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	sGb50	H-500×200×10×16(SN400B)	同　左	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	sGb29	H-294×200×8×12(SN400B)	同　左	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	sGb29A	H-294×200×8×12(SN400B)	同　左	—	—	—	—	—	—	40	40	140	60	
	sGb29B	H-294×200×8×12(SN400B)		右図参照	I	GPL-16	HTB 6-M22	—	—	40	40	140	60	右図参照
	scGb50	H-500×200×10×16(SN400B)	同　左	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	scGb29	H-294×200×8×12(SN400B)	同　左	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

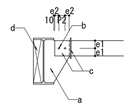
TYPE 1



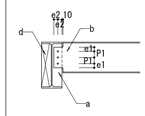
TYPE 3



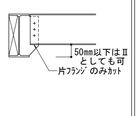
TYPE 5



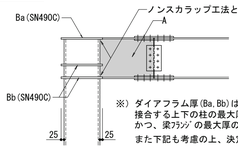
TYPE 7



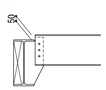
型式 I



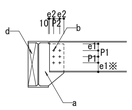
剛接合部



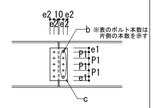
折板受部



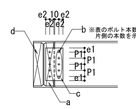
TYPE 2



TYPE 4

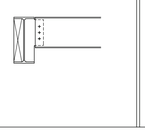


TYPE 6



e1※：型式Ⅰの場合は、e1以上かつ、フランジ外面以上とする。

型式 II

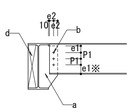


小梁リスト　　縮尺 1/30

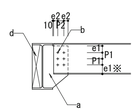
特記なき限り、鋼材はSS400、HTBはF10T又はS10Tを使用する。
、溶融亜鉛ﾒｯｷの範囲は ﾒｯｷﾎﾞﾙﾄ(F8T) とする。

階	符号	部　材	A	TYPE	型式	a	b	C	d	e1	e2	P1	P2	備考
各階共通	sBb30V	H-300×150×6.5×9		2	I	GPL-9(※1)	HTB 4-M20	—	ﾘﾌﾞPL-9	40	40	150	60	※1:sGb48梁接合部は、はさみPL-19(SN490C)と兼用する。
	sBb24	H-244×175×7×11		1	I	GPL-9	HTB 2-M20	—	ﾘﾌﾞPL-9	40	—	100	—	
	sBb20WV	H-200×200×8×12		2	I	GPL-9	HTB 4-M20	—	ﾘﾌﾞPL-9	40	40	60	120	軸回転有りとする。
	sBb19V	H-194×150×6×9		2	I	GPL-9	HTB 4-M20	—	ﾘﾌﾞPL-9	40	40	60	120	軸回転有りとする。
	sBb19A	H-194×150×6×9		1	I	GPL-9	HTB 2-M16	—	ﾘﾌﾞPL-9	40	40	60	—	
	sBb14	H-148×100×6×9		3	I	GPL-9	HTB 2-M20	—	ﾘﾌﾞPL-9	50	40	—	60	
	sBb14V	H-148×100×6×9		3	I	GPL-9	HTB 2-M20	—	ﾘﾌﾞPL-9	50	40	—	120	
	sBb15	H-150×75×5×7		3	I	GPL-9	HTB 2-M16	—	ﾘﾌﾞPL-9	50	40	—	60	
	sBb12W	H-125×125×6.5×9		3	I	GPL-9	HTB 2-M16	—	ﾘﾌﾞPL-9	40	40	—	60	軸回転有りとする。
	sBb10W	H-100×100×6×8		3	I	GPL-9	HTB 2-M16	—	ﾘﾌﾞPL-9	30	40	—	60	
	sBb10M	[-100×50×5×7.5		3	I	GPL-9	HTB 2-M16	—	ﾘﾌﾞPL-9	40	40	—	60	
	sHBb17W	(H)H-175×175×7.5×11[横使い]												詳細図参照
	sHBb15W	(H)H-150×150×7×10[横使い]												詳細図参照
	sHBb14	(H)H-148×100×6×9[横使い]		3	II	GPL-9	HTB 2-M16	—	ﾘﾌﾞPL-9	50	40	—	60	
	sHBb10W	(H)H-100×100×6×8[横使い]												詳細図参照

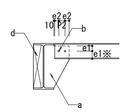
TYPE 1



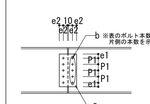
TYPE 2



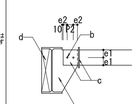
TYPE 3



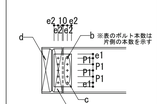
TYPE 4



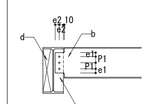
TYPE 5



TYPE 6

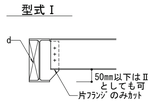


TYPE 7

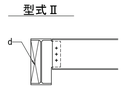


一般部

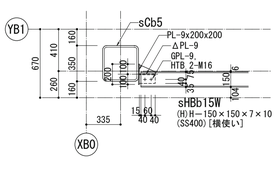
型式 I



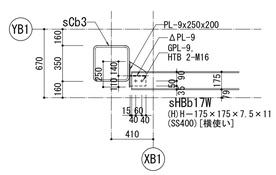
型式 II



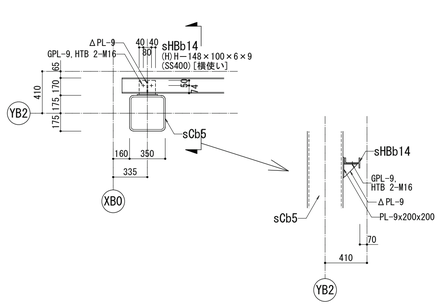
sHBb15W梁納まり詳細



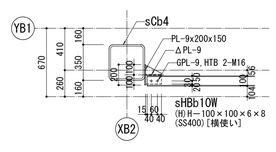
sHBb17W梁納まり詳細

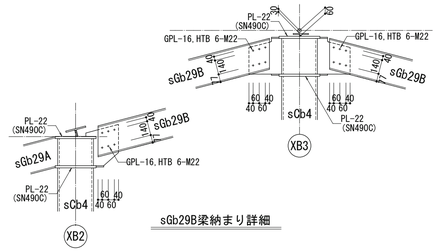


sHBb14梁納まり詳細



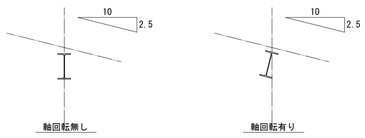
sHBb10W梁納まり詳細





sGb29B梁納まり詳細

備考欄に記載が無い限り　軸回転無し　とする。



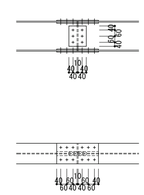
梁継手

※添え板は、主材と同じ材種とする。
※耐風梁で継手を設ける場合は、下図の仕様とすること。

SN400(SCSS-H97)　　F10T

H-294×200×8×12

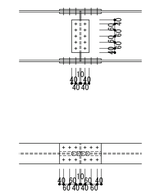
sGb29, sGb29A, scGb29



フランジ	24-M20	2PL- 9×200×410 4PL- 9× 80×410
ウェブ	6-M20	2PL- 9×200×170

H-500×200×10×16

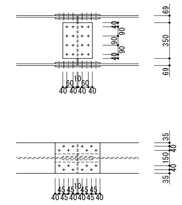
sGb50, scGb50



フランジ	24-M20	2PL-12×200×410 4PL-12× 80×410
ウェブ	10-M20	2PL- 9×320×170

H-488×300×11×18

sGb48



フランジ	32-M20	2PL-12×300×440 4PL-12×110×440
ウェブ	16-M20	2PL-12×350×290

工事名称	矢板市立東小学校改築工事		
図面名称／縮尺	(屋内運動場) 鉄骨大梁リスト・小梁リスト	A1(S=1/30) A3(S=1/60)	図面番号
設計年月日	令和7年2月28日		S-232
設計者			
発注者	矢板市役所		

2025/07/11

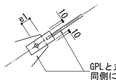
ブレースリスト　　縮尺 1/30

特記なき限り，鋼材はSS400、HTBはF10T又はS10Tを使用する。
，鉄骨部分は溶融亜鉛ﾒｯｷ加工 HTBはF8Tﾒｯｷﾎﾞﾙﾄ とする。

(mm)

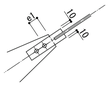
符号	部材	TYPE	GPL	取付ボルト	e1	e2	P1	P2	必要溶接長L 仕口タイプ1	必要溶接長L 仕口タイプ2	必要溶接長L 仕口タイプ3	備考
sTb1(方杖)	φ267.4×9.3(STK400)	—	19	HTB 16-M20	—	—	—	—	—	—	—	接合部詳細は下図参照
sTb2(方杖)	H-100×100×6×8	—	9	HTB 2-M16	—	—	—	—	—	—	—	接合部詳細は下図参照
sBRb1	L-90×90×13	3	12	HTB 6-M20	40	—	60	—	400	220	240	—
sBRb2	T.B M33 (JIS規格品)	2	12	HTB 2-M22	55	—	—	—	340	170	190	—
sBRb3	T.B M16 (JIS規格品)	1	9	HTB 1-M16	45	—	—	—	100	50	70	—

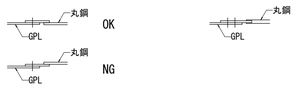
HTB 1本の場合(TYPE 1)



GPLと丸鋼が
同側になるようにすること。

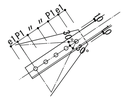
HTB 2本以上の場合(TYPE 2)





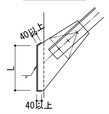
※交差部分は、ブレース同士が干渉する為、
ずらすように納めてから、ターンバックルを締める事。

山形鋼・溝形鋼 HTBｼﾝｸﾞﾙ配置の場合(TYPE 3)

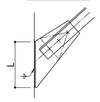


必要溶接長L
溶接長は以上とすること。

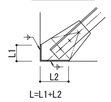
仕口タイプ1



仕口タイプ2

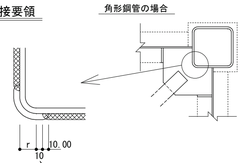


仕口タイプ3

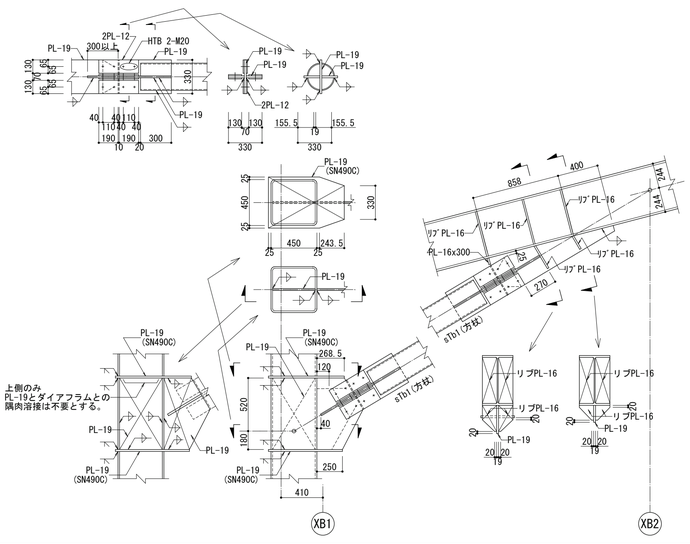


ブレースGPLと柱角部の溶接要領

偽形鋼管の場合

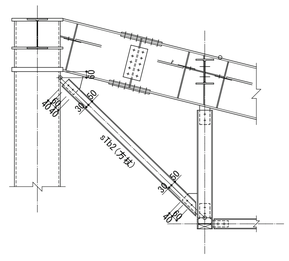


sTb1接合部



上側のみ
PL-19とダイアフラムとの
隅肉溶接は不要とする。

sTb2接合部


PL-19
PL-19
sTb2(方杖)
PL-19
PL-19
PL-19
PL-19

YB2通り -800 鉄骨詳細図　縮尺 1/30

YB1通り鉄骨詳細図　縮尺 1/30

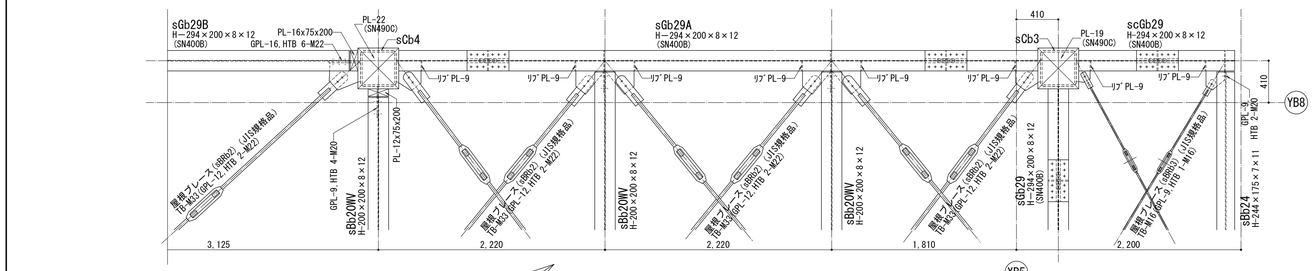
工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称／縮尺	（屋内運動場）鉄骨詳細図（１）　A1(S=1/30) A3(S=1/60)
図面番号	S-234
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

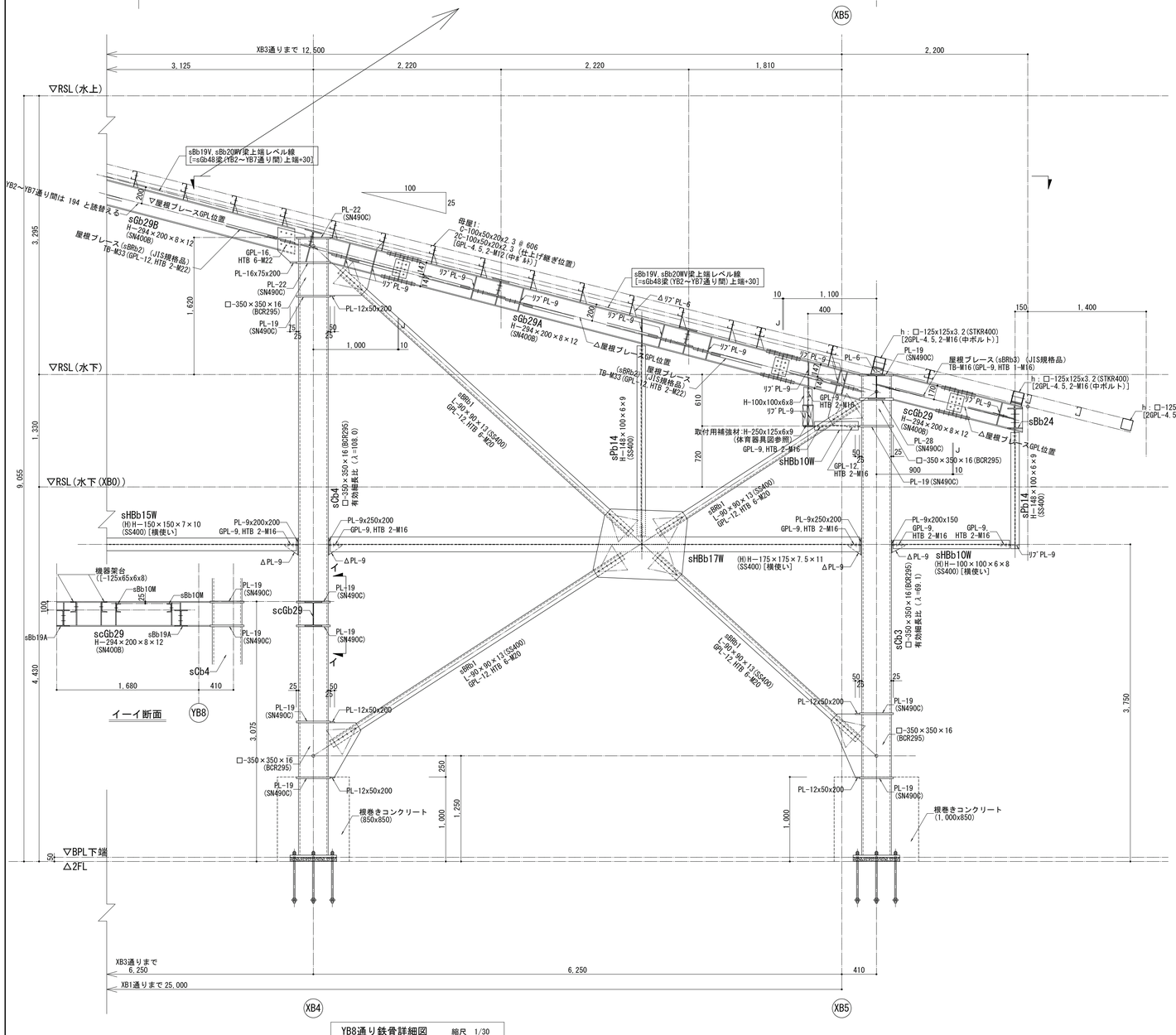
2025/07/11

YB2通り鉄骨詳細図　縮尺 1/30

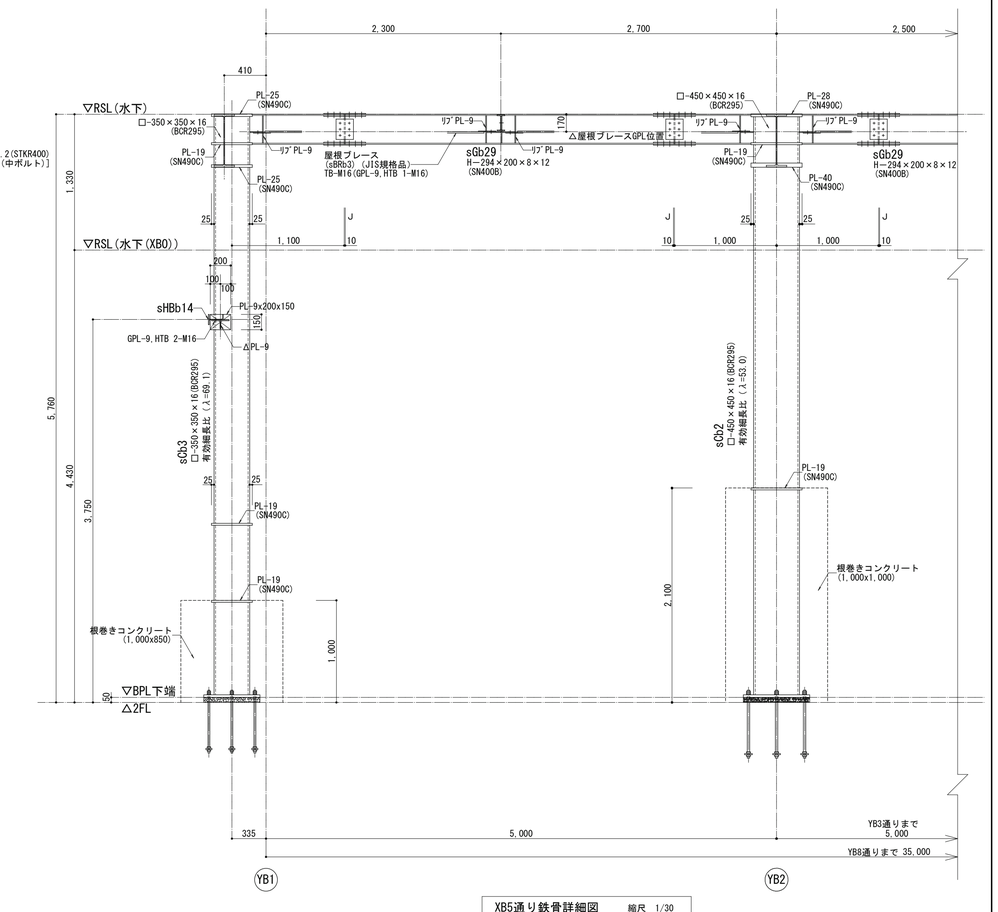
工事名称	矢板市立東小学校改築工事
図面名称／縮尺	(屋内運動場) 鉄骨詳細図（２）　A1 (S=1/30) A3 (S=1/60)
図面番号	S-235
設計年月日	令和7年2月28日
設計者	
発注者	矢板市役所

2025/07/11





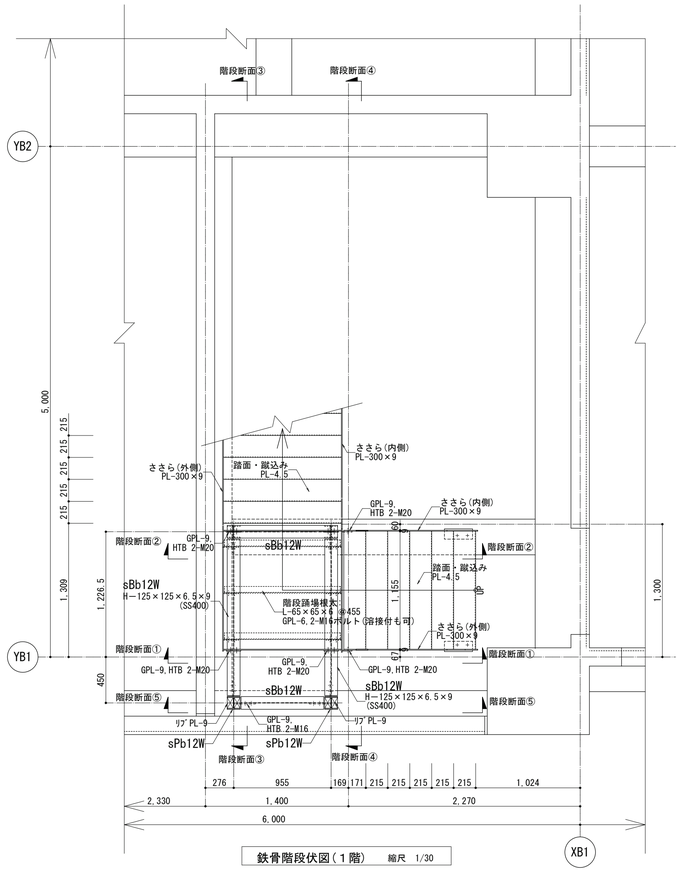
YB8通り鉄骨詳細図　縮尺 1/30



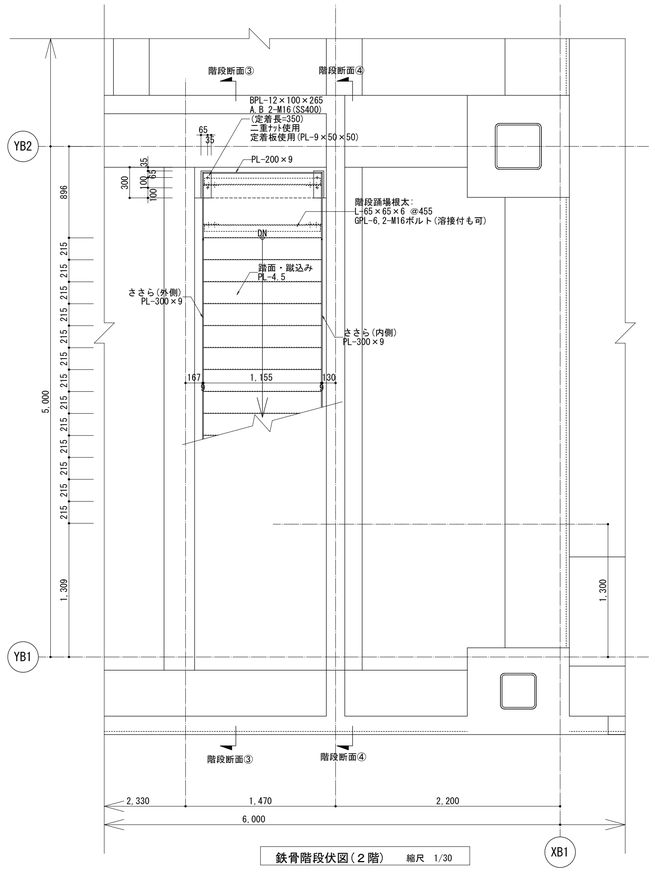
XB5通り鉄骨詳細図　縮尺 1/30

工事名称	矢板市立東小学校改築工事		
図面名称／縮尺	(屋内運動場) 鉄骨詳細図（３）	A1(S=1/30) A3(S=1/60)	図面番号
設計年月日	令和7年2月28日		S-236
設計者			
発注者	矢板市役所		

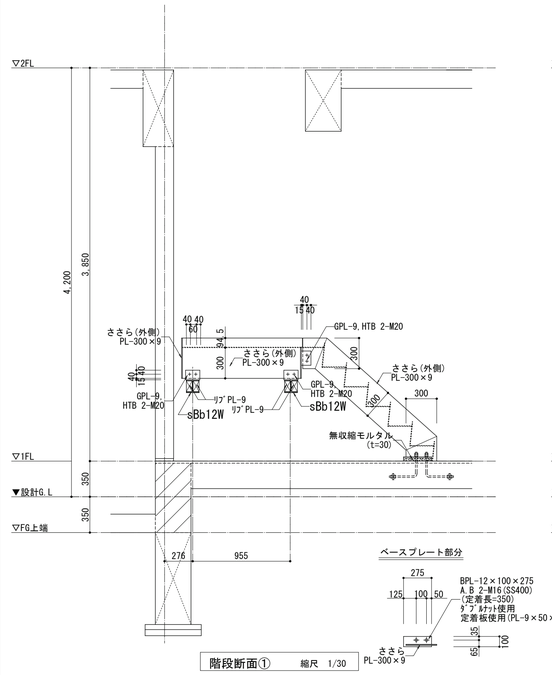
2025/07/17



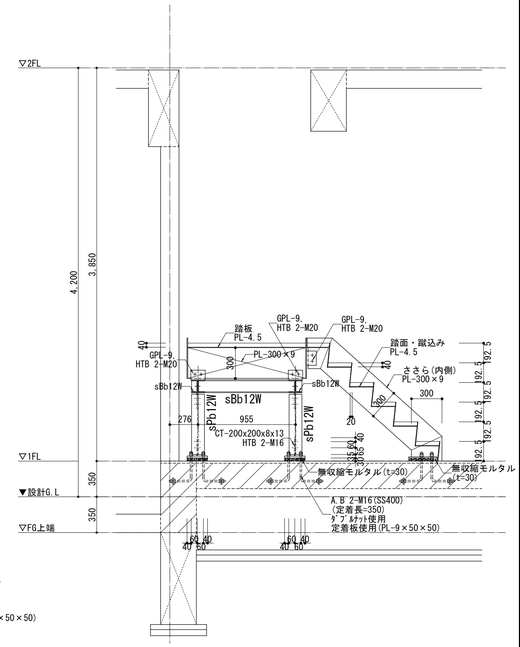
鉄骨階段伏図(1階)　縮尺 1/30



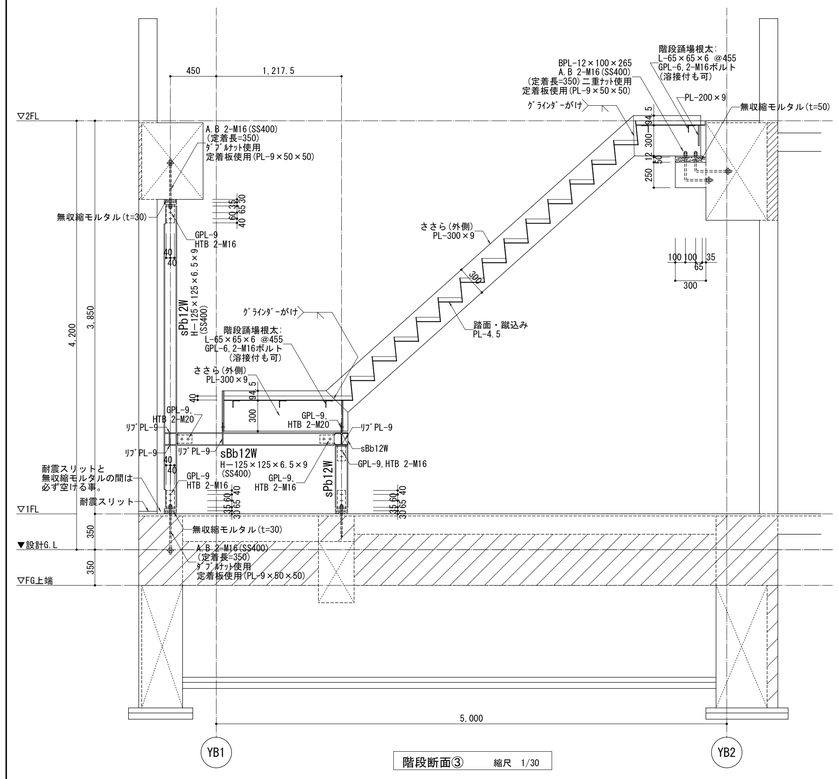
鉄骨階段伏図(2階)　縮尺 1/30



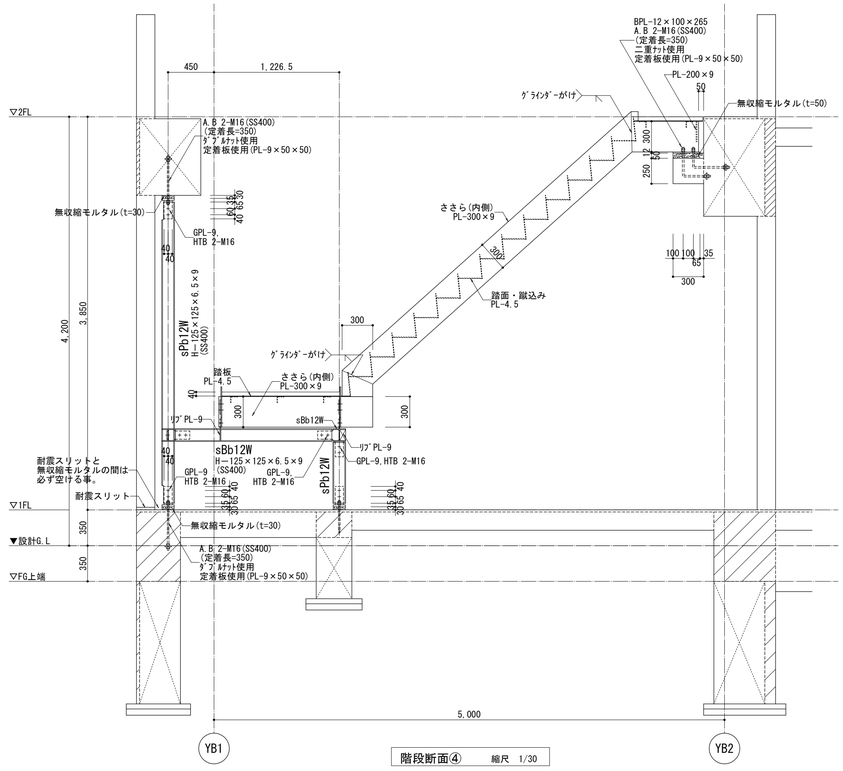
階段断面①　縮尺 1/30



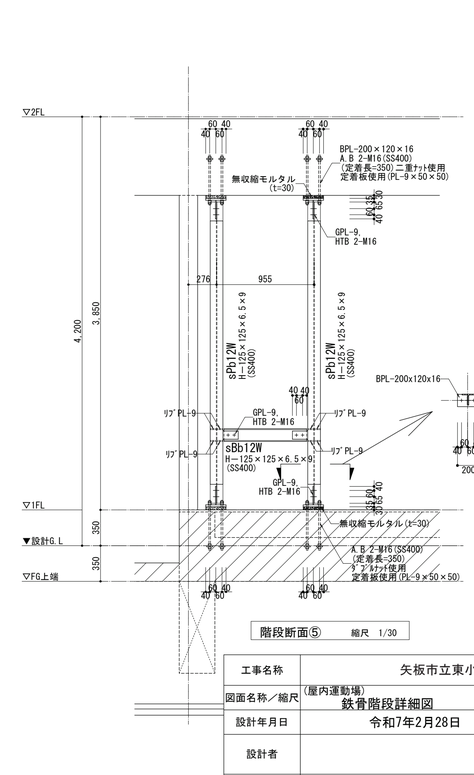
階段断面②　縮尺 1/30



階段断面③　縮尺 1/30



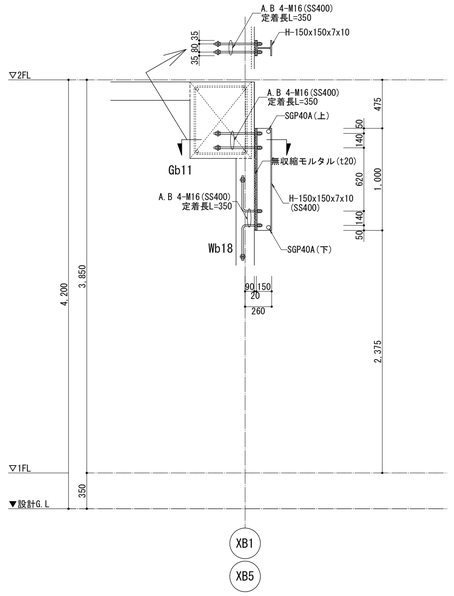
階段断面④　縮尺 1/30



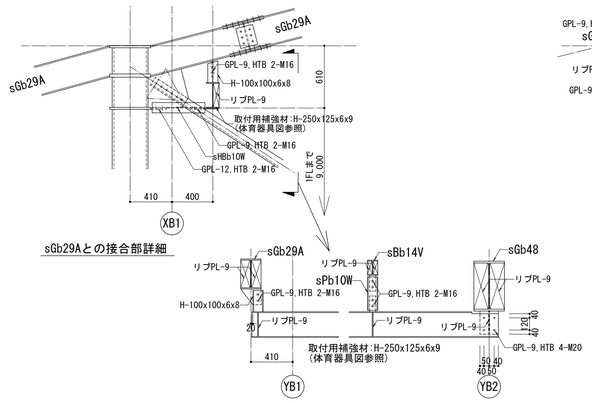
階段断面⑤　縮尺 1/30

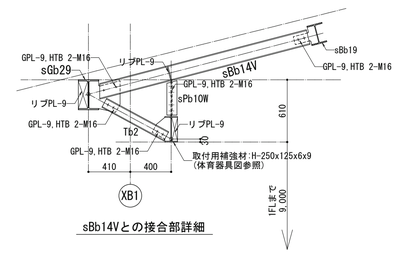
工事名称	矢板市立東小学校改築工事	
図面名称／縮尺	(屋内運動場) 鉄骨階段詳細図 A1(S=1/30) A3(S=1/60)	図面番号
設計年月日	令和7年2月28日	S-237
設計者		
発注者	矢板市役所	

2025/01/17

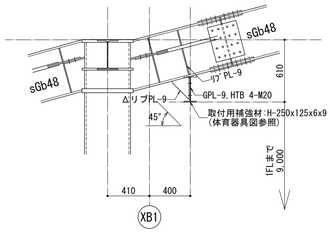


バスケットゴール受け詳細図　縮尺 1/30

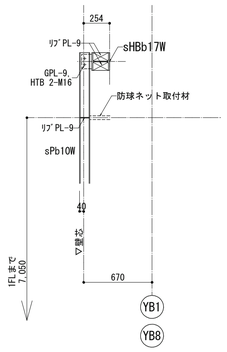




sBb14Vとの接合部詳細



sGb48との接合部詳細
(sGb50も同様)

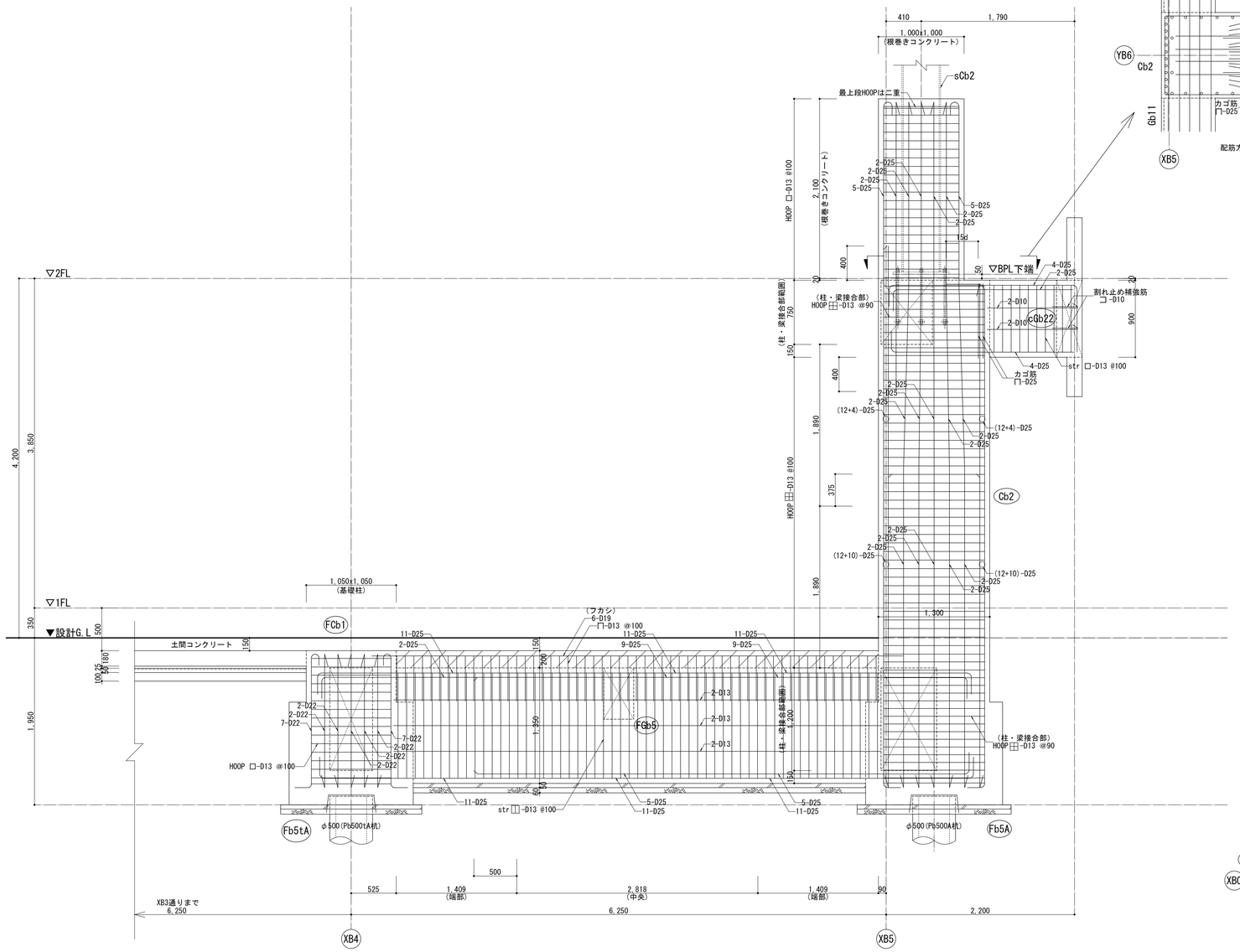


防球ネット受け詳細図　縮尺 1/30

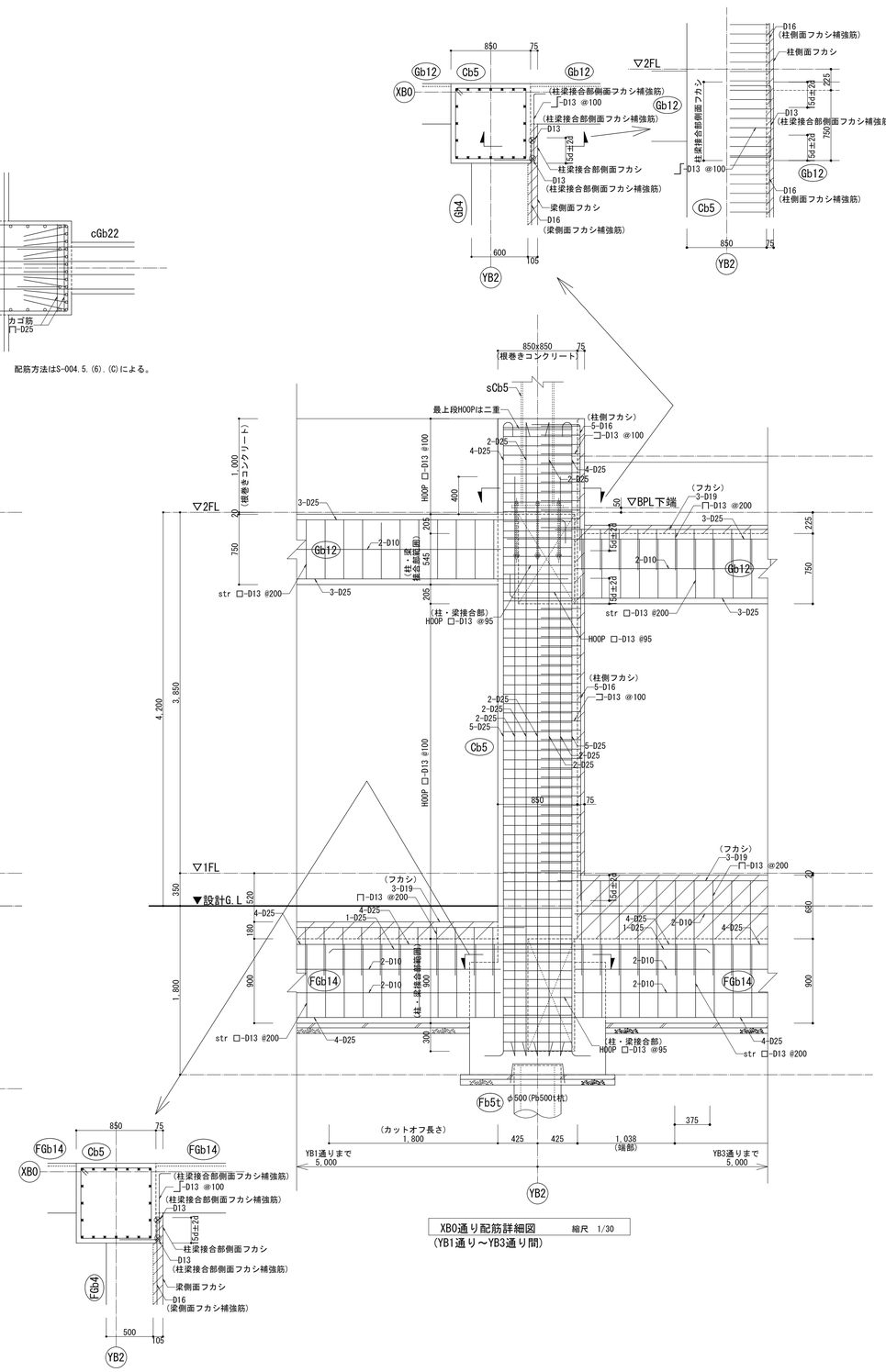
防球ネット受け詳細図　縮尺 1/30

工事名称	矢板市立東小学校改築工事		
図面名称／縮尺	(屋内運動場) 鉄骨部分詳細図	A1(S=1/30) A3(S=1/60)	図面番号
設計年月日	令和7年2月28日		S-238
設計者			
発注者	矢板市役所		

2025/07/11



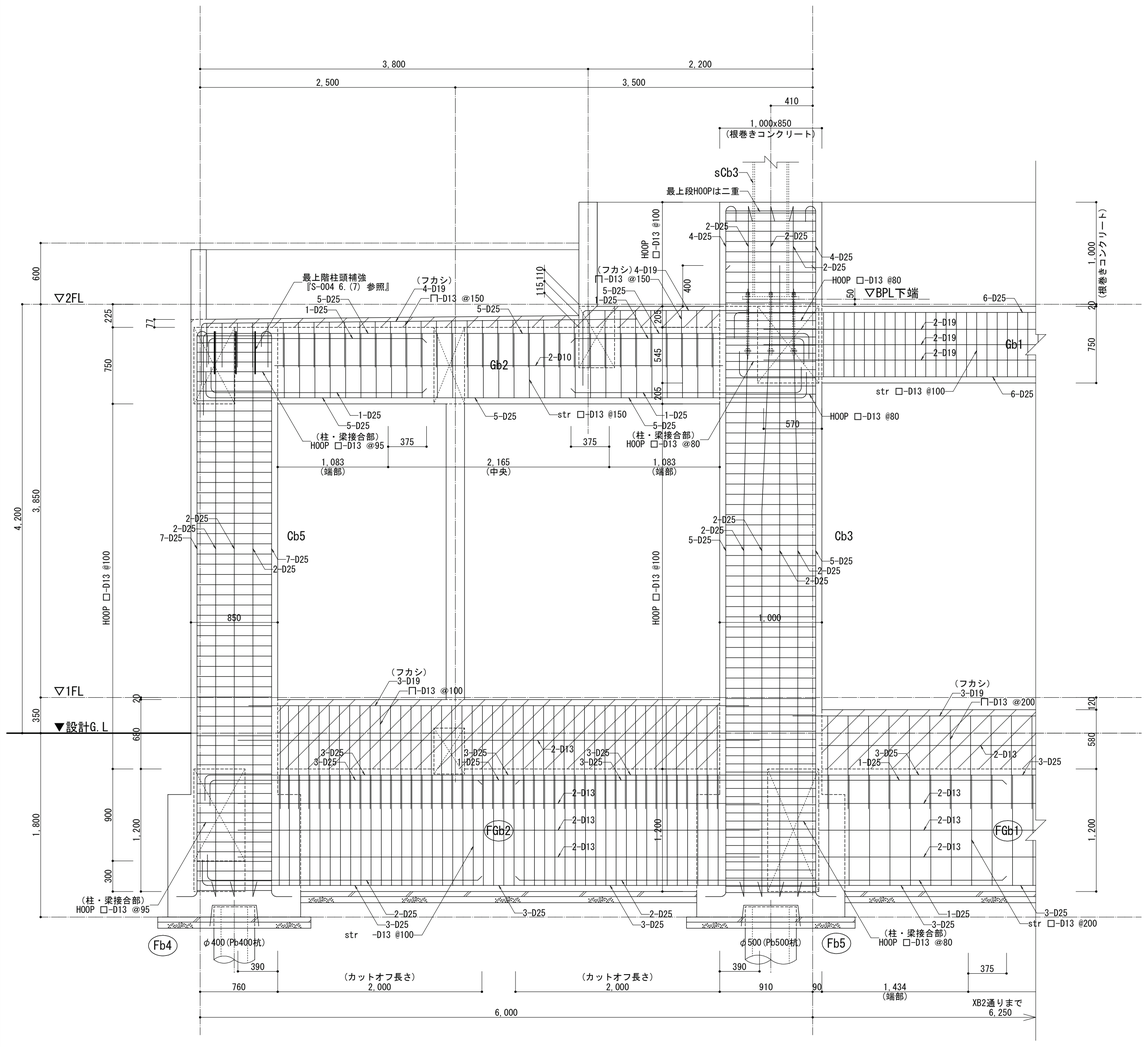
YB6通り配筋詳細図　　縮尺 1/30
(XB3通り～XB5通り間)



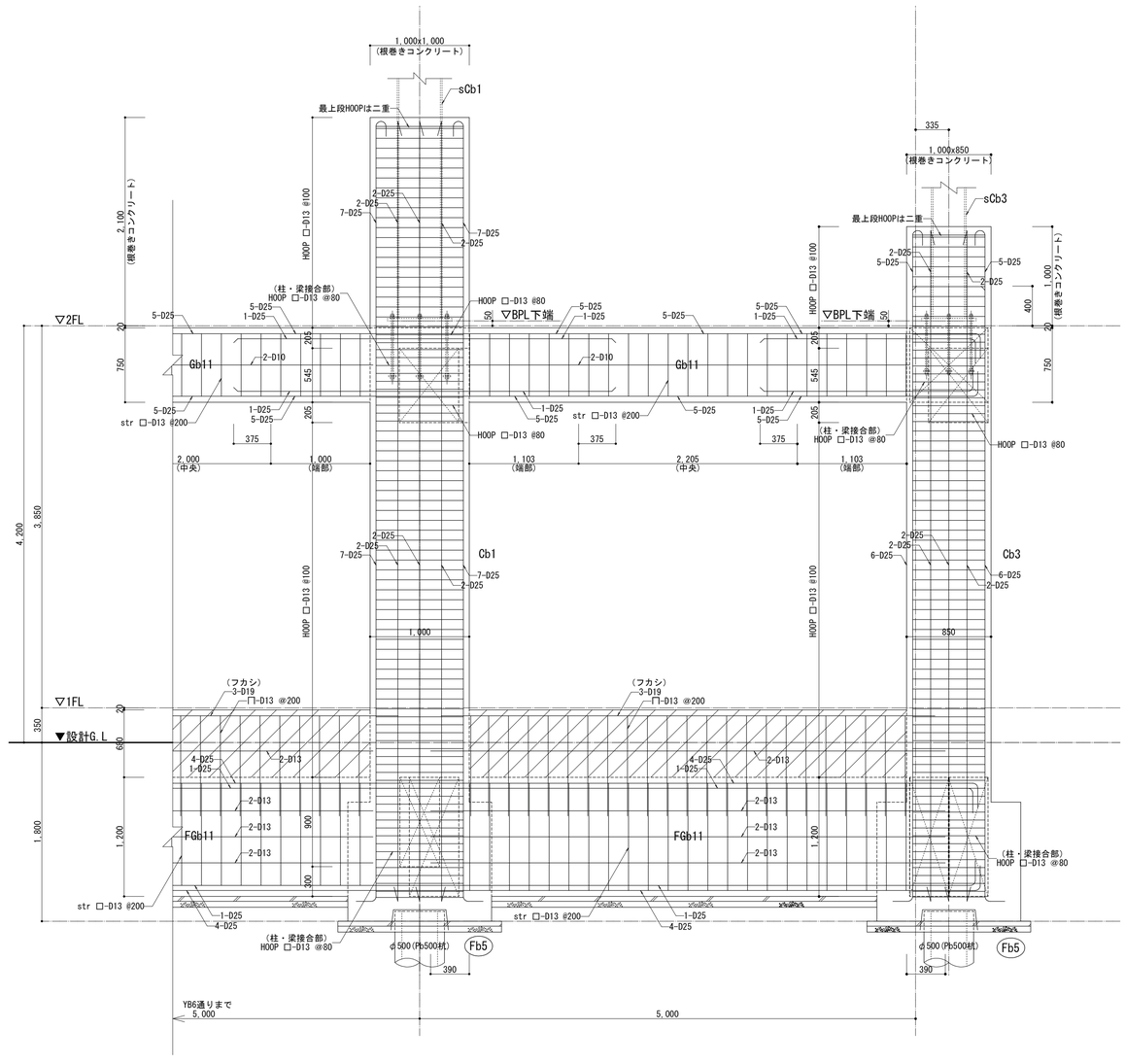
XB0通り配筋詳細図　　縮尺 1/30
(YB1通り～YB3通り間)

工事名称	矢板市立東小学校改築工事	
図面名称／縮尺	(屋内運動場) 配筋詳細図（１） A1(S=1/30) A3(S=1/60)	図面番号
設計年月日	令和7年2月28日	S-241
設計者		
発注者	矢板市役所	

2025/07/11



YB8通り配筋詳細図　　縮尺 1/30
(XB0通り～XB2通り間)



XB1通り配筋詳細図　　縮尺 1/30
(YB6通り～YB8通り間)

工事名称	矢板市立東小学校改築工事		
図面名称／縮尺	(屋内運動場) 配筋詳細図（２）	A1(S=1/30) A3(S=1/60)	図面番号
設計年月日	令和7年2月28日		S-242
設計者			
発注者	矢板市役所		

2025/07/11